作成:2024/10/02
科目コード:KA011

演習特別指導1

Guidance in Preparing a Master's Thesis 1
修士論文執筆に向けた準備プロセス

佐藤　有史(SATO YUJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA011
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	4	科目ナンバリング	ECX6020
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	自動登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「経済学部における一般的ならびに専門的教養の上に，経済学，会計学を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」が実現するように，経済学，会計学に関する基本的な知識を修得し，修士論文構想をまとめ，発表できる力を身につける。
The Graduate School of Economics' curriculum objective is that "students will receive a general yet specialized education in the College of Economics, researching economics and accounting, mastering their intricacies, while cultivating character based in Christian virtues and contributing to cultural progress." In order to stay true to this objective, students will acquire fundamental knowledge on economics and accounting. They will finalize their plans for their master's thesis, sharpening their presentation abilities.

授業の内容 / Course Contents

論文執筆に向けた「スケルトンシート」の作成を通じ，論文執筆を準備するための方法を身につける。自分の研究のオリジナリティを意識しながら，先行研究の検討を行う。修士論文構想発表会に向けて，論点を確認し論文の構成を考える。構想発表会における検討をうけて，スケルトンシートを再確認し，論文構想の推敲を行う。
なお，下記はあくまで理念的，平均的な進行計画を例示したものである。専修領域ごとに異なる指導となったり，個別指導となったりする部分が少なくないこと，同時並行して進めたり相前後して進めたりすべき部分を含むこと，立ち返って繰り返すべき部分を含むことなどに留意されたい。
Students will learn how to prepare for their thesis writing by creating skeleton sheets. Students will bear in mind their research originalities while discussing about prior researches. To prepare for their master's thesis concept presentation, students will check their arguments and think about their thesis structures. After discussion at the concept presentation, students will recheck their skeleton sheets and polish their thesis concepts.
The following is a conceptual, average progress plan. Students should be aware that they may receive different instructions depending on their specializations. In addition, there will be frequent private instructions, simultaneous progresses, and repetition of certain parts.

授業計画 / Course Schedule

【1】:受講の準備。1 修士論文作成指導教員を決定し，2 研究科ガイダンスを受け，3 初回受講の確認を経て，4 初回指導にのぞむこと。
【2】:★論文仮テーマ(仮タイトル)設定。そのために「スケルトンシート」を作成する。スケルトンシートには，下記のうち★印のついた項目を含めるが，若干修正などしてもよい。
【3】:★キーワードの列挙。関心ある領域の，関心あるテーマに関連したキーワードを列挙することで，自身の関心を明示

し洗い出す補助作業とする。
【4】:★問題意識の確認。その課題に取り組もうと思った動機やきっかけを書き出すことで，テーマを意識化する。
【5】:★目標と成果の絞り込み。その研究によって何を明らかにできるのか，何が得られるのかを明示する。「目標規定文」にまで絞り込むための第一歩とする。
【6】:★問いをたてる。疑問や好奇心を出発点にし，気になることがらについて，「なぜ～なのか」という疑問の形で課題をつかむ。「なぜ，おもしろいと思ったのか」「本当に，そうなのか」「それだけだと言い切れるか」など，多様な手がかりがある。
【7】:★仮説をたてる。テーマによっては，仮説の形で課題設定できる場合がある。論証（反証）可能な命題として示す。
【8】:主張を明示する。テーマによっては仮説の形で課題設定しにくい場合もある。「～ではないか」「～のはずだ」という主張として，課題を設定してもよい。
【9】:★アプローチ（研究手法）を選ぶ。研究領域によって中心となる手法が異なる。「先行研究のサーベイと考察」は，ほぼすべての領域に共通する基本的な手法といえる。
【10】:その他のアプローチとして，「史料サーベイと考察」，「アンケート調査と統計処理」，「インタビューと整理」，「実験と考察」，「モデル化とシミュレーション」なども。
【11】:スクリーニング。関連しそうな文献・資料・史料・データ・材料などを収集し，ざっと読む。
【12】:図書や雑誌記事等の検索。Webcat Plus1，OPAC，CiNii Books，GeNii，Google Scholar，CiNii Articles，magazineplus，WorldCat などを目的に応じて用いる。
【13】:★主要参考文献リストの作成。文献リスト作成のきまりに従って書き出していく。その後も追加・修正等を行う。
【14】:先行研究の整理。スクリーニングによって重要なものを絞り込み，精読・検討すべき基本的な先行研究を定める。指導教員や専門家のアドバイスも受ける。
【15】:先行研究の精読・検討。必要に応じてメモをとり，レジュメ化する。疑問点を書き出す。疑問解決への努力の中から新たな課題発見やオリジナリティ獲得につながることもある。
【16】:キーワードのマップ化。すでに書き出し，必要に応じて追加しておいたキーワードを見直す。相互に関連するいくつかのキーワードをまとめ，論点としてとらえなおす。
【17】:論点の列挙。研究目標（成果）を「問い」「仮説」や「目標規定文」などの形で明示できたら，論証のために必要な論点を列挙してみる。
【18】:論文の構成。列挙された論点を取捨し，最適な叙述の順序（論証の順序）を模索する。すなわち論文の構成（章立て） を考える。
【19】:オリジナリティの確認。広く認められた学術成果を引用しつつ，従来なかった（すなわちオリジナリティのある）考えや主張，資料などを追加できているかどうか確認する。
【20】:注の付け方の確認。他人の学術成果を引用してよいが，出所（出典）を明示し，引用していることを注記しなければ，「盗用」「剽窃」となり，厳しく罰せられる。
【21】:注の付け方のルール。注の付け方のきまりを身につける。
【22】:参考文献リスト作成のルール。参考文献の表示のしかたのきまりを身につける。
【23】:修士論文構想発表会向けのレジュメ，パワーポイント資料等の作成。
【24】:修士論文構想発表会（11－12 月）での報告。
【25】:修士論文構想発表会における反省，コメント等をふまえ，構想を再検討，再構成。
【26】:スケルトンシートの再確認。
【27】:論文テーマの再確認。
【28】:論文の推敲と再構成。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ（ﾊﾟﾜﾎﾟ等）の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Master of Writing（立教大学　大学教育開発・支援センター）を入手し，論文執筆に必要な準備を進めておく。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　修士論文構想発表会等における報告:40%　スケルトンシートの作成等:30%　論文執筆準備等:30%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文執筆に関わる参考文献は，各研究指導教員の指示・助言に従うこと。

その他 / Others

【授業形態】授業では学生への質問も活発に行う予定なので，積極的な受講態度が期待される。
【課題に対するフィードバック】最終授業時に，全体に対するフィードバックを行う。

作成:2024/10/02
科目コード:KA012

演習特別指導1

Guidance in Preparing a Master's Thesis 1
修士論文執筆に向けた準備プロセス

林　采成(LIM CHAISUNG)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA012
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	4	科目ナンバリング	ECX6020
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	自動登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「経済学部における一般的ならびに専門的教養の上に，経済学，会計学を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」が実現するように，経済学，会計学に関する基本的な知識を修得し，修士論文構想をまとめ，発表できる力を身につける。
The Graduate School of Economics' curriculum objective is that "students will receive a general yet specialized education in the College of Economics, researching economics and accounting, mastering their intricacies, while cultivating character based in Christian virtues and contributing to cultural progress." In order to stay true to this objective, students will acquire fundamental knowledge on economics and accounting. They will finalize their plans for their master's thesis, sharpening their presentation abilities.

授業の内容 / Course Contents

論文執筆に向けた「スケルトンシート」の作成を通じ，論文執筆を準備するための方法を身につける。自分の研究のオリジナリティを意識しながら，先行研究の検討を行う。修士論文構想発表会に向けて，論点を確認し論文の構成を考える。構想発表会における検討をうけて，スケルトンシートを再確認し，論文構想の推敲を行う。
なお，下記はあくまで理念的，平均的な進行計画を例示したものである。専修領域ごとに異なる指導となったり，個別指導となったりする部分が少なくないこと，同時並行して進めたり相前後して進めたりすべき部分を含むこと，立ち返って繰り返すべき部分を含むことなどに留意されたい。
Students will learn how to prepare for their thesis writing by creating skeleton sheets. Students will bear in mind their research originalities while discussing about prior researches. To prepare for their master's thesis concept presentation, students will check their arguments and think about their thesis structures. After discussion at the concept presentation, students will recheck their skeleton sheets and polish their thesis concepts.
The following is a conceptual, average progress plan. Students should be aware that they may receive different instructions depending on their specializations. In addition, there will be frequent private instructions, simultaneous progresses, and repetition of certain parts.

授業計画 / Course Schedule

【1】:受講の準備。1 修士論文作成指導教員を決定し，2 研究科ガイダンスを受け，3 初回受講の確認を経て，4 初回指導にのぞむこと。
【2】:★論文仮テーマ(仮タイトル)設定。そのために「スケルトンシート」を作成する。スケルトンシートには，下記のうち★印のついた項目を含めるが，若干修正などしてもよい。
【3】:★キーワードの列挙。関心ある領域の，関心あるテーマに関連したキーワードを列挙することで，自身の関心を明示

し洗い出す補助作業とする。
【4】:★問題意識の確認。その課題に取り組もうと思った動機やきっかけを書き出すことで，テーマを意識化する。
【5】:★目標と成果の絞り込み。その研究によって何を明らかにできるのか，何が得られるのかを明示する。「目標規定文」にまで絞り込むための第一歩とする。
【6】:★問いをたてる。疑問や好奇心を出発点にし，気になることがらについて，「なぜ～なのか」という疑問の形で課題をつかむ。「なぜ，おもしろいと思ったのか」「本当に，そうなのか」「それだけだと言い切れるか」など，多様な手がかりがある。
【7】:★仮説をたてる。テーマによっては，仮説の形で課題設定できる場合がある。論証（反証）可能な命題として示す。
【8】:主張を明示する。テーマによっては仮説の形で課題設定しにくい場合もある。「～ではないか」「～のはずだ」という主張として，課題を設定してもよい。
【9】:★アプローチ（研究手法）を選ぶ。研究領域によって中心となる手法が異なる。「先行研究のサーベイと考察」は，ほぼすべての領域に共通する基本的な手法といえる。
【10】:その他のアプローチとして，「史料サーベイと考察」，「アンケート調査と統計処理」，「インタビューと整理」，「実験と考察」，「モデル化とシミュレーション」なども。
【11】:スクリーニング。関連しそうな文献・資料・史料・データ・材料などを収集し，ざっと読む。
【12】:図書や雑誌記事等の検索。Webcat Plus1，OPAC，CiNii Books，GeNii，Google Scholar，CiNii Articles，magazineplus，WorldCat などを目的に応じて用いる。
【13】:★主要参考文献リストの作成。文献リスト作成のきまりに従って書き出していく。その後も追加・修正等を行う。
【14】:先行研究の整理。スクリーニングによって重要なものを絞り込み，精読・検討すべき基本的な先行研究を定める。指導教員や専門家のアドバイスも受ける。
【15】:先行研究の精読・検討。必要に応じてメモをとり，レジュメ化する。疑問点を書き出す。疑問解決への努力の中から新たな課題発見やオリジナリティ獲得につながることもある。
【16】:キーワードのマップ化。すでに書き出し，必要に応じて追加しておいたキーワードを見直す。相互に関連するいくつかのキーワードをまとめ，論点としてとらえなおす。
【17】:論点の列挙。研究目標（成果）を「問い」「仮説」や「目標規定文」などの形で明示できたら，論証のために必要な論点を列挙してみる。
【18】:論文の構成。列挙された論点を取捨し，最適な叙述の順序（論証の順序）を模索する。すなわち論文の構成（章立て） を考える。
【19】:オリジナリティの確認。広く認められた学術成果を引用しつつ，従来なかった（すなわちオリジナリティのある）考えや主張，資料などを追加できているかどうか確認する。
【20】:注の付け方の確認。他人の学術成果を引用してよいが，出所（出典）を明示し，引用していることを注記しなければ，「盗用」「剽窃」となり，厳しく罰せられる。
【21】:注の付け方のルール。注の付け方のきまりを身につける。
【22】:参考文献リスト作成のルール。参考文献の表示のしかたのきまりを身につける。
【23】:修士論文構想発表会向けのレジュメ，パワーポイント資料等の作成。
【24】:修士論文構想発表会（11－12 月）での報告。
【25】:修士論文構想発表会における反省，コメント等をふまえ，構想を再検討，再構成。
【26】:スケルトンシートの再確認。
【27】:論文テーマの再確認。
【28】:論文の推敲と再構成。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ（ﾊﾟﾜﾎﾟ等）の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Master of Writing（立教大学　大学教育開発・支援センター）を入手し，論文執筆に必要な準備を進めておく。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　修士論文構想発表会等における報告:40%　スケルトンシートの作成等:30%　論文執筆準備等:30%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文執筆に関わる参考文献は，各研究指導教員の指示・助言に従うこと。

その他 / Others

【授業形態】授業では学生への質問も活発に行う予定なので，積極的な受講態度が期待される。
【課題に対するフィードバック】最終授業時に，全体に対するフィードバックを行う。

作成:2024/10/02
科目コード:KA051

演習特別指導2

Guidance in Preparing a Master's Thesis 2
修士論文執筆に向けたプロセス

佐藤　有史(SATO YUJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA051
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	4	科目ナンバリング	ECX6020
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	自動登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定	演習特別指導1		
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「経済学部における一般的ならびに専門的教養の上に，経済学，会計学を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」が実現するように，経済学，会計学に関する応用的な知識を修得し，修士論文について中間発表，草稿発表を行ったうえで，論文を作成し，提出する。

Students will study universal and specialized subjects found in curriculum of Graduate School of Economics, "researching and understanding in depth general and specialized studies in College of Economics as well as economics, accountancy, and train one's personality based on the Christian teaching and to contribute to cultural development". Students will acquire practical knowledge on economy and accounting. They will make interim and draft presentations before creating and submitting their theses.

授業の内容 / Course Contents

論文執筆に向けた「スケルトンシート」の作成を通じ，論文を執筆するための方法を身につける。自分の研究のオリジナリティを意識しながら，先行研究の検討を行う。修士論文中間発表会に向けて，論点を確認し論文の構成を考える。中間発表会における検討をうけて， スケルトンシートを再確認し，論文構想の推敲を行う。修士論文草稿発表会を経て，論文を作成し提出する。

なお，下記はあくまで理念的，平均的な進行計画を例示したものである。専修領域ごとに異なる指導となったり，個別指導となったりする部分が少なくないこと，同時並行して進めたり相前後して進めたりすべき部分を含むこと，立ち返って繰り返すべき部分を含むことなどに留意されたい。

Students will learn how to prepare for their thesis writing by creating skeleton sheets. Students will bear in mind their research originalities while discussing about prior researches. To prepare for their master's thesis interim presentation, students will check their arguments and think about their thesis structures. After discussion at the interim presentation, students will recheck their skeleton sheets and polish their thesis concepts. After master's thesis draft presentation, students will create and submit their theses.

The following is a conceptual, average progress plan. Students should be aware that they may receive different instructions depending on their specializations. In addition, there will be frequent private instructions, simultaneous progresses, and repetition of certain parts.

授業計画 / Course Schedule

【1】:受講の準備。1 修士論文作成副指導教員届を提出し，2 初回受講の確認を経て，3 初回指導にのぞむこと。
【2】:★論文テーマ(タイトル)設定。そのために「スケルトンシート」を作成する。スケルトンシートには，下記のうち★印の

ついた項目を含めるが，若干修正などしてもよい。
【3】:★キーワードの列挙。関心ある領域の，関心あるテーマに関連したキーワードを列挙することで，自身の関心を明示し洗い出す補助作業とする。
【4】:★問題意識の確認。その課題に取り組もうと思った動機やきっかけを書き出すことで，テーマを意識化する。
【5】:★目標と成果の絞り込み。その研究によって何を明らかにできるのか，何が得られるのかを明示する。その後，これを 「目標規定文」にまで絞り込む。
【6】:★問いをたてる。疑問や好奇心を出発点にし,気になることがらについて,「なぜ～なのか」という疑問の形で課題をつか
む。「なぜ，おもしろいと思ったのか」「本当に,そうなのか」「それだけだと言い切れるか」など,多様な手がかりがある。
【7】:★仮説をたてる。テーマによっては，仮説の形で課題設定できる場合がある。論証（反証）可能な命題として示す。
【8】:主張を明示する。テーマによっては仮説の形で課題設定しにくい場合もある。「～ではないか」「～のはずだ」という主張として，課題を設定してもよい。
【9】:★アプローチ（研究手法）を選ぶ。研究領域によって中心となる手法が異なる。「先行研究のサーベイと考察」は，ほぼすべての領域に共通の基本手法である。その他のアプローチとして「史料サーベイと考察」，「アンケート調査と統計処理」，「インタビューと整理」，「実験と考察」，「モデル化とシミュレーション」なども。
【10】:修士論文中間発表会向けのレジュメ，パワーポイント資料等の作成。
【11】:修士論文中間発表会（6－7 月）での報告。昼の院生は水曜午後，社会人コースは土曜午後を予定。
【12】:スクリーニング。関連しそうな文献・資料・史料・データ・材料などを収集し，ざっと読む。
【13】:図書や雑誌記事等の検索。Webcat Plus1，OPAC，CiNii Books，GeNii，Google Scholar，CiNii Articles，magazineplus，WorldCat などを目的に応じて用いる。
【14】:★主要参考文献リストの作成。文献リスト作成のきまりに従って書き出していく。その後も追加・修正等を行う。
【15】:先行研究の整理。スクリーニングによって重要なものを絞り込み，精読・検討すべき基本的な先行研究を定める。指導教員や専門家のアドバイスも受ける。
【16】:先行研究の精読・検討。必要に応じてメモをとり，レジュメ化する。疑問点を書き出す。疑問解決への努力の中から新たな課題発見やオリジナリティ獲得につながることもある。
【17】:キーワードのマップ化。すでに書き出し，必要に応じて追加しておいたキーワードを見直す。相互に関連するいくつかのキーワードをまとめ，論点としてとらえなおす。
【18】:論点の列挙。研究目標（成果）を「問い」「仮説」や「目標規定文」などの形で明示できたら，論証のために必要な論点を列挙してみる。
【19】:論文の構成。列挙された論点を取捨し，最適な叙述の順序（論証の順序）を模索する。すなわち論文の構成(章立て)を考える。
【20】:オリジナリティの確認。広く認められた学術成果を引用しつつ，従来なかった（すなわちオリジナリティのある）考えや主張，資料などを追加できているかどうか確認する。
【21】:注の付け方の確認。他人の学術成果を引用してよいが，出所（出典）を明示し，引用していることを注記しなければ，「盗用」「剽窃」となり，厳しく罰せられる。
【22】:注の付け方のルール。注の付け方のきまりを身につける。
【23】:参考文献リスト作成のルール。参考文献の表示のしかたのきまりを身につける。
【24】:修士論文草稿発表会（11－12 月）での報告。演習特別指導や特論での発表となる場合もある。
【25】:修士論文草稿発表会における反省，コメント等をふまえて，再検討，再構成しながら，論文執筆。
【26】:論文の再確認。スケルトンシートにも立ち返りながら，論文を見直すこと。
【27】:論文の再確認。
【28】:論文の推敲。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ（ﾊﾟﾜﾎﾟ等）の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Master of Writing（立教大学　大学教育開発・支援センター)を入手し，論文執筆に必要な準備を進めておく。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　修士論文中間発表会，草稿発表会等における報告:50%　スケルトンシートの作成等:30%　論文執筆準備等:20%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文執筆に関わる参考文献は，各研究指導教員の指示・助言に従うこと。

その他 / Others

【授業形態】授業では学生への質問も活発に行う予定なので，積極的な受講態度が期待される。
【課題に対するフィードバック】最終授業時に，全体に対するフィードバックを行う。

作成:2024/10/02
科目コード:KA052

演習特別指導2

Guidance in Preparing a Master's Thesis 2
修士論文執筆に向けたプロセス

林　采成(LIM CHAISUNG)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA052
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	4	科目ナンバリング	ECX6020
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	自動登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定	演習特別指導1		
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「経済学部における一般的ならびに専門的教養の上に，経済学，会計学を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」が実現するように，経済学，会計学に関する応用的な知識を修得し，修士論文について中間発表，草稿発表を行ったうえで，論文を作成し，提出する。

Students will study universal and specialized subjects found in curriculum of Graduate School of Economics, "researching and understanding in depth general and specialized studies in College of Economics as well as economics, accountancy, and train one's personality based on the Christian teaching and to contribute to cultural development". Students will acquire practical knowledge on economy and accounting. They will make interim and draft presentations before creating and submitting their theses.

授業の内容 / Course Contents

論文執筆に向けた「スケルトンシート」の作成を通じ，論文を執筆するための方法を身につける。自分の研究のオリジナリティを意識しながら，先行研究の検討を行う。修士論文中間発表会に向けて，論点を確認し論文の構成を考える。中間発表会における検討をうけて， スケルトンシートを再確認し，論文構想の推敲を行う。修士論文草稿発表会を経て，論文を作成し提出する。

なお，下記はあくまで理念的，平均的な進行計画を例示したものである。専修領域ごとに異なる指導となったり，個別指導となったりする部分が少なくないこと，同時並行して進めたり相前後して進めたりすべき部分を含むこと，立ち返って繰り返すべき部分を含むことなどに留意されたい。

Students will learn how to prepare for their thesis writing by creating skeleton sheets. Students will bear in mind their research originalities while discussing about prior researches. To prepare for their master's thesis interim presentation, students will check their arguments and think about their thesis structures. After discussion at the interim presentation, students will recheck their skeleton sheets and polish their thesis concepts. After master's thesis draft presentation, students will create and submit their theses.

The following is a conceptual, average progress plan. Students should be aware that they may receive different instructions depending on their specializations. In addition, there will be frequent private instructions, simultaneous progresses, and repetition of certain parts.

授業計画 / Course Schedule

【1】:受講の準備。1 修士論文作成副指導教員届を提出し，2 初回受講の確認を経て，3 初回指導にのぞむこと。
【2】:★論文テーマ(タイトル)設定。そのために「スケルトンシート」を作成する。スケルトンシートには，下記のうち★印の

ついた項目を含めるが，若干修正などしてもよい。
【3】:★キーワードの列挙。関心ある領域の，関心あるテーマに関連したキーワードを列挙することで，自身の関心を明示し洗い出す補助作業とする。
【4】:★問題意識の確認。その課題に取り組もうと思った動機やきっかけを書き出すことで，テーマを意識化する。
【5】:★目標と成果の絞り込み。その研究によって何を明らかにできるのか，何が得られるのかを明示する。その後，これを 「目標規定文」にまで絞り込む。
【6】:★問いをたてる。疑問や好奇心を出発点にし,気になることがらについて,「なぜ～なのか」という疑問の形で課題をつか
む。「なぜ，おもしろいと思ったのか」「本当に,そうなのか」「それだけだと言い切れるか」など,多様な手がかりがある。
【7】:★仮説をたてる。テーマによっては，仮説の形で課題設定できる場合がある。論証（反証）可能な命題として示す。
【8】:主張を明示する。テーマによっては仮説の形で課題設定しにくい場合もある。「～ではないか」「～のはずだ」という主張として，課題を設定してもよい。
【9】:★アプローチ（研究手法）を選ぶ。研究領域によって中心となる手法が異なる。「先行研究のサーベイと考察」は，ほぼすべての領域に共通の基本手法である。その他のアプローチとして「史料サーベイと考察」，「アンケート調査と統計処理」，「インタビューと整理」，「実験と考察」，「モデル化とシミュレーション」なども。
【10】:修士論文中間発表会向けのレジュメ，パワーポイント資料等の作成。
【11】:修士論文中間発表会（6－7 月）での報告。昼の院生は水曜午後，社会人コースは土曜午後を予定。
【12】:スクリーニング。関連しそうな文献・資料・史料・データ・材料などを収集し，ざっと読む。
【13】:図書や雑誌記事等の検索。Webcat Plus1，OPAC，CiNii Books，GeNii，Google Scholar，CiNii Articles，magazineplus，WorldCat などを目的に応じて用いる。
【14】:★主要参考文献リストの作成。文献リスト作成のきまりに従って書き出していく。その後も追加・修正等を行う。
【15】:先行研究の整理。スクリーニングによって重要なものを絞り込み，精読・検討すべき基本的な先行研究を定める。指導教員や専門家のアドバイスも受ける。
【16】:先行研究の精読・検討。必要に応じてメモをとり，レジュメ化する。疑問点を書き出す。疑問解決への努力の中から新たな課題発見やオリジナリティ獲得につながることもある。
【17】:キーワードのマップ化。すでに書き出し，必要に応じて追加しておいたキーワードを見直す。相互に関連するいくつかのキーワードをまとめ，論点としてとらえなおす。
【18】:論点の列挙。研究目標（成果）を「問い」「仮説」や「目標規定文」などの形で明示できたら，論証のために必要な論点を列挙してみる。
【19】:論文の構成。列挙された論点を取捨し，最適な叙述の順序（論証の順序）を模索する。すなわち論文の構成(章立て)を考える。
【20】:オリジナリティの確認。広く認められた学術成果を引用しつつ，従来なかった（すなわちオリジナリティのある）考えや主張，資料などを追加できているかどうか確認する。
【21】:注の付け方の確認。他人の学術成果を引用してよいが，出所（出典）を明示し，引用していることを注記しなければ，「盗用」「剽窃」となり，厳しく罰せられる。
【22】:注の付け方のルール。注の付け方のきまりを身につける。
【23】:参考文献リスト作成のルール。参考文献の表示のしかたのきまりを身につける。
【24】:修士論文草稿発表会（11－12 月）での報告。演習特別指導や特論での発表となる場合もある。
【25】:修士論文草稿発表会における反省，コメント等をふまえて，再検討，再構成しながら，論文執筆。
【26】:論文の再確認。スケルトンシートにも立ち返りながら，論文を見直すこと。
【27】:論文の再確認。
【28】:論文の推敲。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ（ﾊﾟﾜﾎﾟ等）の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

Master of Writing（立教大学　大学教育開発・支援センター)を入手し，論文執筆に必要な準備を進めておく。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　修士論文中間発表会，草稿発表会等における報告:50%　スケルトンシートの作成等:30%　論文執筆準備等:20%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

修士論文執筆に関わる参考文献は，各研究指導教員の指示・助言に従うこと。

その他 / Others

【授業形態】授業では学生への質問も活発に行う予定なので，積極的な受講態度が期待される。
【課題に対するフィードバック】最終授業時に，全体に対するフィードバックを行う。

作成:2024/10/02
科目コード:KA103

流通・分配特論1

Special Lecture on Theory of Commodities and Income Distribution 1
『資本論』からマルクスの経済学の基本を学ぶ

森本　壮亮(MORIMOTO SOUSUKE)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA103
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5120
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

K.マルクスの『資本論』を読むことで、古典派経済学およびマルクス経済学の基礎を習得する。
Students will learn basic theories of Marxian economics and classical economics by reading Marx's Capital.

授業の内容 / Course Contents

マルクスの『資本論』を実際に読んでいくことにより、古典派経済学およびマルクス経済学の基本を学んでいく。
具体的に『資本論』のどの部分を、毎回どの分量で読んでいくかは、受講者の希望も聞いて最終的に判断するが、一つのプランとしては、下記の「授業計画」欄のように読み進めていくことを考えている。このプランは第一巻部分となっているが、第一巻部分の知識がある受講者の場合は、第二巻・第三巻部分を読んでもよい。
※ 適宜、参加者の研究発表もしてもらう予定である。
Students will learn basic theories of Marxian economics and classical economics by reading Das Kapital.
Professor will listen to and discuss with students to decide which parts of Das Kapital and how much students will read every time. The following lesson plan is one of the reading recommendations. With this plan, students will read the first volume but those who know the first volume may read the second and third volumes.
Note: Some research talks will be required.

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション、各自の自己紹介と研究の方向性について
【2】:第一版序文、第二版後記、フランス語版序文および後記、第三版へ、英語版序文、第四版へ
【3】:第 1 章第 1 節～第 3 節 A
【4】:第 1 章第 3 節 B～第 2 章
【5】:第 3 章
【6】:第 4 章
【7】:第 5 章～第 6 章
【8】:第 7 章～第 8 章第 3 節
【9】:第 8 章第 4 節～第 7 節
【10】:第 9 章～第 11 章
【11】:第 12 章
【12】:第 13 章第 1 節～第 5 節
【13】:第 13 章第 6 節～第 10 節
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回進んでいく『資本論』の該当部分を事前に読み、担当箇所のレジュメを作るほか、授業後に参考文献などを用いて復習すること。なお、毎回のレジュメ作成や復習には、「参考文献」欄に示す『資本論体系』(有斐閣)の各巻が非常に参考になるはずである。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 担当箇所のレジュメ作成:60% 毎回の議論等への参加度:40%

テキスト / Textbooks

K.マルクス 『資本論』 新日本出版社、大月書店

『資本論』の邦訳は幾種類もあるが、本授業においては、新日本出版社のものか、大月書店(国民文庫)のものを推奨する(実際にこれまでの研究論文等々で用いられてきた用語と合わせるため)。新日本出版社の方が新しく、誤訳が修正されていたりするが、大月書店の岡崎訳の方が読みやすい日本語が用いられている。実際に授業で用いる限りでは、両訳書に大差はないので、受講者の好みの方を用いてくれて構わない。なお、新日本出版社版のものに関しては、旧来の新書版のものに加えて、若干の訳語の修正がなされた新版が近年出版されたので、これから手に入れる人は、その最新版のものが良いだろう。

参考文献 / Readings

富塚良三・服部文男・本間要一郎(編) 『資本論体系(各巻)』 有斐閣 1984～2001

作成:2024/10/02
科目コード:KA104

流通・分配特論2

Special Lecture on Theory of Commodities and Income Distribution 2
『資本論』からマルクスの経済学の基本を学ぶ

森本　壮亮(MORIMOTO SOUSUKE)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA104
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5120
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

K.マルクスの『資本論』を読むことで、古典派経済学およびマルクス経済学の基礎を習得する。
Students will learn basic theories of Marxian economics and classical economics by reading Marx's Capital.

授業の内容 / Course Contents

流通・分配特論1に引き続いて、『資本論』を実際に読んでいくことにより、古典派経済学およびマルクス経済学の基本を学んでいく。また何度か、受講者の研究内容に基づいた研究報告もおこなってもらう予定である。
After Special Lecture on Theory of Commodities and Income Distribution 1, students will learn basic theories of Marxian and classical economics by reading Marx's Das Kapital. In addition, participants should give some research talks on their own research topics.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション、割り振り
【2】:第 14 章～第 16 章
【3】:第 17 章～第 19 章
【4】:第 20 章～第 22 章第 1 節
【5】:第 22 章第 2 節～第 5 節
【6】:第 23 章第 1 節～第 3 節
【7】:第 23 章第 4 節～第 5 節 d
【8】:第 23 章第 5 節 e～f
【9】:第 24 章第 1 節～第 3 節
【10】:第 24 章第 4 節～第 25 章
【11】:これまでのまとめ(1)
【12】:これまでのまとめ(2)
【13】:各個人が興味をもったテーマについての研究報告(1)
【14】:各個人が興味をもったテーマについての研究報告(2)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	

上記いずれも用いない予定	

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

毎回進んでいく『資本論』の該当部分を事前に読み、担当箇所のレジュメを作るほか、授業後に参考文献などを用いて復習すること。なお、毎回のレジュメ作成や復習には、「参考文献」欄に示す『資本論体系』（有斐閣）の各巻が非常に参考になるはずである。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 担当箇所のレジュメ:60% 毎回の議論への参加度:40%

テキスト / Textbooks

K.マルクス 『資本論』 新日本出版社、大月書店
『資本論』の邦訳は幾種類もあるが、本授業においては、新日本出版社のものか、大月書店（国民文庫）のものを推奨する（実際にこれまでの研究論文等々で用いられてきた用語と合わせるため）。新日本出版社の方が新しく、誤訳が修正されていたりするが、大月書店の岡崎訳の方が読みやすい日本語が用いられている。実際に授業で用いる限りでは、両訳書に大差はないので、受講者の好みの方を用いてくれて構わない。なお、新日本出版社版に関しては、近年新訳が出版されたので、これから手に入れる人はその新版が良いだろう。

参考文献 / Readings

富塚良三・服部文男・本間要一郎（編）『資本論体系（各巻）』 有斐閣 1984～2001

作成:2024/10/02
科目コード:KA105

価値論特論1

Special Lecture on Theory of Value 1

佐々木　隆治(SASAKI RYUJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA105
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5120
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA361 価値論特殊講義1		

授業の目標 / Course Objectives

『資本論』および『資本論草稿』を読解し，内容を正確に理解する。また、それをつうじて、マルクスの経済学批判体系の現代的意義についての理解を深めるとともに、関連する論争や学説についての理解も深める。
To read and understand Karl Marx's 'Capital ' and related manuscripts correctly. Through this, students deepen their understanding of the contemporary significance of Marx's critique of political economy, as well as their understanding of related disputes and theories.

授業の内容 / Course Contents

『資本論』および関連草稿を輪読する。詳細は参加院生の研究テーマを踏まえて決定する。
Participants read 'Capital' and related manuscripts. Details will be decided based on the research themes of the participants.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(1)
【3】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(2)
【4】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(3)
【5】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(4)
【6】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(5)
【7】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(6)
【8】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(7)
【9】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(8)
【10】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(9)
【11】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(10)
【12】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(11)
【13】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(12)
【14】:振り返り

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	

上記いずれも用いない予定	

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの予習。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:100%

テキスト / Textbooks

カール・マルクス『資本論』大月書店
カール・マルクス『資本論草稿集』大月書店

参考文献 / Readings

適宜授業中に指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA106

価値論特論2

Special Lecture on Theory of Value 2

佐々木　隆治(SASAKI RYUJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA106
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5120
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA362 価値論特殊講義2		

授業の目標 / Course Objectives

『資本論』および『資本論草稿』を読解し，内容を正確に理解する。また、それをつうじて、マルクスの経済学批判体系の現代的意義についての理解を深めるとともに、関連する論争や学説についての理解も深める。
To read and understand Karl Marx's 'Capital ' and 'Manuscript of Capital' correctly. Through this, students deepen their understanding of the contemporary significance of Marx's critique of political economy, as well as their understanding of related disputes and theories.

授業の内容 / Course Contents

『資本論』および関連草稿を輪読する。詳細は参加院生の研究テーマを踏まえて決定する。
Participants read 'Capital' and related drafts. Details will be decided based on the research themes of the participants.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(1)
【3】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(2)
【4】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(3)
【5】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(4)
【6】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(5)
【7】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(6)
【8】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(7)
【9】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(8)
【10】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(9)
【11】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(10)
【12】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(11)
【13】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(12)
【14】:振り返り

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの予習。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:100%

テキスト / Textbooks

カール・マルクス『資本論』 大月書店
カール・マルクス『資本論草稿集』 大月書店

参考文献 / Readings

適宜授業中に指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA107

景気変動特論1

Special Lecture on Business Cycles 1

二宮　健史郎(NINOMIYA KENSHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA107
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5120
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA303 景気変動特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済の供給面を重視する(新)古典派経済学と需要面を重視するケインズ経済学の相違を理解した上で、ポスト・ケインズ派マクロ動学モデルの分析手法の基礎を修得することを本講義の目標とする。
Students will understand differences between (neo) classical economics which emphasize supply and Keynesian economics which emphasizes demand. The goal of this class is to help students to learn basic analysis methods in post-Keynesian macrodynamic model.

授業の内容 / Course Contents

新古典派、ケインズ派の基本モデルを学習したのち、ポスト・ケインズ派マクロ動学モデルの分析手法等を学習する。さらに、その応用例としてポスト・ケインズ派マクロ動学モデルの一つであるカルドア型循環モデルと数値シミュレーションの方法を学習する。ポスト・ケインズ派のマクロ動学では、Hopf の分岐定理を適用した閉軌道の存在証明など、非線形経済動学が用いられている。
While learning basic neoclassical and Keynesian models, students will learn how to analyze post-Keynesian macrodynamic model. As its application, students will learn Kaldor cycle model, one of post-Keynesian macrodynamic model, and numeral simulation method. Post-Keynesian macrodynamics use non-linear economics such as proving existence of closed orbit with Hopf branch theorem.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:現代の経済と経済学の考え方
【3】:貨幣数量説モデル(1)
【4】:貨幣数量説モデル(2)
【5】:ケインズ派モデル(1)
【6】:ケインズ派モデル(2)
【7】:マクロ動学分析の方法(1)
【8】:マクロ動学分析の方法(2)
【9】:マクロ動学分析の方法(3)
【10】:新古典派成長モデル
【11】:異時点間の最適消費とラムゼイ・モデル
【12】:内生的景気循環論(1)
【13】:内生的景気循環論(2)
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

復習に重点を置くことを勧める。経済数学(特に、微分、微分方程式、線形代数など)を予習しておくことが非常に望ましい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 小レポート:30% 出席討論:70%
授業の性質上、全回出席を前提とする。

テキスト / Textbooks

二宮健史郎・得田雅章 『金融構造の変化と不安定性の経済学』 日本評論社 2024
二宮健史郎 『金融不安定性のマクロ動学』 大月書店 2018

参考文献 / Readings

二宮健史郎 『金融恐慌のマクロ経済学』 中央経済社 2006
A.C.チャン・K.ウエインライト 『現代経済学の数学基礎(上)(下)』 シーエーピー出版 2010
小林幹・吉田博之 『経済数学 15 講義』 新世社 2020
二宮健史郎「物価・利子率の理論と金融の不安定性」『立教経済学研究』第 77 巻第 4 号、2024 年。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

授業の性質上、少なくとも高校数学(微分や数列などの概念)が十分に理解できていることが必要である。

その他 / Others

・研究室での対面、Zoom を利用したオンラインを併用して講義を行う。
・景気変動特論 2 も受講することが望ましい。マクロ経済学、ミクロ経済学の基礎は習得済みであることを前提として講義する。本科目では、報告やディスカッションなどの双方向形式で行われることがある。

作成:2024/10/02
科目コード:KA108

景気変動特論2

Special Lecture on Business Cycles 2

二宮　健史郎(NINOMIYA KENSHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA108
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5120
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA304 景気変動特殊講義2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

サブプライム問題に端を発した世界的な金融危機により、異端の経済学者ミンスキーの金融不安定性仮説は注目を集めた。 本講義では、金融不安定性仮説を数理モデルに展開した諸研究を概観することにより金融的な景気変動を理解し、モデル分析の素養を身につけることを目標とする。

After global financial crisis triggered by sub-prime crisis, many have focused on financial instability hypothesis by unorthodox economist Minsky. In this class, students will review various researches that apply mathematical models on financial instability hypothesis. Through this, students will understand economic climate trend and acquire knowledge of model analysis.

授業の内容 / Course Contents

本講義では、ミンスキーの金融不安定性仮説、金融不安定性仮説を数理モデルに展開した諸研究を概観し、関連する論文を輪読する。授業計画の「報告」と書かれている部分は、受講者による論文などの報告である。報告してもらう論文等はこちらが指定する。報告者は、レジュメ、スライド(TeX または Power Point)等を作成して報告すること。

In this class, students will review various researches that apply mathematical models on financial instability hypothesis and read relevant papers. The "report" in the lesson plan refers to the report by students such as papers. Professor will determine theses and other reports to be submitted. Students will create reports such as summaries and slides (TeX or PowerPoint).

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:マンキュー・モデル
【3】:負債効果
【4】:金融不安定性仮説の基本的な考え方(1) 報告
【5】:金融不安定性仮説の基本的な考え方(2) 報告
【6】:内生的景気循環論(3)
【7】:内生的景気循環論(4)
【8】:論文輪読(1) 報告
【9】:論文輪読(2) 報告
【10】:新古典派成長モデル
【11】:論文輪読(3) 報告
【12】:異時点間の最適消費
【13】:ラムゼイ・モデル
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

経済数学(特に、微分、微分方程式、線形代数など)を予習しておくことが望ましい。論文を報告する際には、数式の導出まで説明できるようにすること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業の報告・討論:70% 小レポート、授業内のテスト等:30%
授業の性質上、全回出席を前提とする。

テキスト / Textbooks

二宮健史郎・得田雅章『金融構造の変化と不安定性の経済学』日本評論社 2024
二宮健史郎『金融不安定性のマクロ動学』大月書店 2018

参考文献 / Readings

二宮健史郎『金融恐慌のマクロ経済学』中央経済社 2006
A.C.チャン・K.ウエインライト『現代経済学の数学基礎(上)(下)』シーエーピー出版 2010
小林幹・吉田博之『経済数学 15 講義』新世社 2020
二宮健史郎「物価・利子率の理論と金融の不安定性」『立教経済学研究』第 77 巻第 4 号、2024 年。

その他 / Others

・研究室での対面と Zoom を利用したオンラインを併用して講義を行う。
・景気変動特論 1 も受講することが非常に望ましい。景気変動特論1の内容を理解できていないと、景気変動特論 2 の内容を理解することはほぼ不可能である。本科目では、全授業回数の 50%以上が論文の報告やディスカッションなどの双方向形式の授業によって運営される。

作成:2024/10/02
科目コード:KA109

計量経済特論1

Special Lecture on Econometrics 1

安藤　道人(ANDO MICHIHITO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA109
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5320
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA367 計量経済特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

計量経済学の理論の基礎を学び、実証分析を行う際に必要となる知識を身に着ける。計量経済特論1では伝統的な計量経済学の基礎を学ぶ。

Students will learn basics of econometrics and acquire the knowledge required to conduct empirical analysis. Students will study basics of traditional econometrics in Special Lecture on Econometrics 1.

授業の内容 / Course Contents

学部上級及び大学院修士レベルの計量経済学の基礎理論を学ぶ。確率・統計の復習から入り、単回帰分析や多重回帰分析などの基礎事項を学んだあとに、パネルデータ分析、線形確率・ロジット・プロビットモデルの分析、操作変数法を用いた分析などを学ぶ。計量経済特論2で取り上げる、より現代的な分析フレームや分析手法を意識しつつ、伝統的な計量経済学の考え方の基礎を身に着けることに重点を置く。なお、本授業に必要な数学レベルは、テキストである Stock and Watson(2014)"Introduction to Econometrics"である。

Students will study basic econometrics at senior undergraduate or master's degree level. Students will review probability and statistics before progressing to single regression analysis and multiple regression analysis. After that, students will study analyses that use panel data analysis, linear statistics, logit and probit models, and instrumental variable method. Students will focus on learning basics of traditional econometric thinking, while considering modern analytical frameworks and analytical techniques covered in Special Lecture on Econometrics 2. Students should have mathematical skill equivalent to Introduction to Econometrics (2014) by Stock and Watson.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:確率・統計の基礎 1
【3】:確率・統計の基礎 2
【4】:単回帰分析の基礎:回帰係数と決定係数 1
【5】:単回帰分析の基礎:回帰係数と決定係数 2
【6】:単回帰分析の基礎:推定と仮説検定 1
【7】:単回帰分析の基礎:推定と仮説検定 2
【8】:不均一分散と均一分散
【9】:説明変数が二値変数のときの回帰分析
【10】:多重回帰分析
【11】:非線形回帰分析1
【12】:非線形回帰分析 2
【13】:目的変数が二値変数の場合の回帰分析

【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回、授業の復習を行い、授業の内容を理解した上で次の授業にのぞむようにして下さい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

筆記試験 :100%
平常点割合 :0%

テキスト / Textbooks

Stock and Watson Introduction to Econometrics, fourth edition Pearson Education Limited 2019 129226456
※Fourth edition (Global Edition)はやや高額です。したがって、比較的安価な Updated Third Edition, Global Edition (ISBN-10; 935286350X)でも構いません。

参考文献 / Readings

田中 隆一『計量経済学の第一歩 -- 実証分析のススメ』有斐閣ストゥディア 2015 9784641150287
参考文献については適宜授業で紹介する。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

基礎的な数学力

その他 / Others

講義は、https://sites.google.com/site/michihito7ando/lectures/econome_lec に掲載する講義ノートに沿って行います。
教科書や参考書については初回授業時に説明します。

作成:2024/10/02
科目コード:KA110

計量経済特論2

Special Lecture on Econometrics 2

安藤　道人(ANDO MICHIHITO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA110
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5320
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA368 計量経済特殊講義2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

計量経済学の理論の基礎を学び、実証分析を行う際に必要となる知識を身に着ける。特論2ではミクロ計量経済学における政策評価分析や統計的因果推論の基礎を学ぶ。

Students will learn basics of econometrics and acquire the knowledge required to conduct empirical analysis. In Special Lecture 2, students will learn fundamentals of policy evaluation analysis and statistical causal inference used in microeconometrics.

授業の内容 / Course Contents

ミクロ計量経済学における統計的因果推論や政策評価分析の基礎理論を学ぶ。計量経済学とりわけ現代的なミクロ計量経済学では、単に回帰分析を行った結果を「因果効果」と解釈するのではなく、「どのような場合に回帰分析や他の統計分析の分析結果を因果効果と解釈することができるのか」を詳細に検討することがスタンダードとなっている。したがって、本講義では、計量経済特論1で学んだ計量経済学の基礎をベースに、このような「統計的因果推論」の考え方に基づいた分析手法や分析デザインを学ぶ。また実際の論文で用いられている分析例を紹介しながら、具体的な分析手順についても学ぶ。

Students learn the basic theory of statistical causal inference and policy evaluation analysis used in microeconometrics. In econometrics, especially modern microeconometrics, results using regression analysis are not automatically interpreted as “causal effects,” and the standard is to consider in detail “in which cases can the analytical results of regression analysis and other statistical analysis be interpreted as causal effects?” Therefore, in this lecture students will capitalize on econometric basics learnt in Special Lecture on Econometrics 1. They will learn analytical techniques and analysis designs based on this statistical causal inference concept. In addition, students will study specific analysis processes while being introduced to analysis examples used in actual academic papers.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:ルービンの因果モデルと潜在的結果
【3】:割当メカニズム / ルービンの因果モデルの利点
【4】:実験と疑似実験
【5】:Directed Acyclic Graphs (DAG)
【6】:交絡要因の制御:クロス集計
【7】:交絡要因の制御:マッチングと傾向スコア
【8】:パネルデータ分析(その1)
【9】:パネルデータ分析(その2)
【10】:差の差法1

【11】:差の差法2
【12】:操作変数法1
【13】:操作変数法2
【14】:回帰不連続デザイン

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回、授業の復習を行い、授業の内容を理解した上で次の授業にのぞむようにして下さい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

筆記試験 :100%
平常点割合 :0%

テキスト / Textbooks

講義ノート中心に授業を行います。

参考文献 / Readings

Stock & Watson Introduction to Econometrics, Fourth Edition Pearson Education Limited 2019 9781292264561
田中隆一 『計量経済学の第一歩 -- 実証分析のススメ』 有斐閣 2015 9784641150287
Angrist and Pischke Mostly Harmless Econometrics: An Empiricist's Companion Princeton University Press 2008 9780691120355
伊藤 公一朗 『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』 光文社 2014 9784334039868
安井翔太 『効果検証入門～正しい比較のための因果推論/計量経済学の基礎』 技術評論社 2020 9784297111175
参考文献は適宜紹介します。

その他 / Others

講義は、https://sites.google.com/site/michihito7ando/lectures/econome_lec に掲載する講義ノートに沿って行います。
教科書や参考書については初回授業時に説明します。

作成:2024/10/02
科目コード:KA111

財政学1特論1

Special Lecture on Finance 1-1

池上　岳彦(IKEGAMI TAKEHIKO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA111
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA305 財政学1特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

学生が、経費・租税・公債・地方財政等の理論及び日本財政に関する最近の研究成果等を検討することにより、財政学の理解を深めることができる。

Students will deepen their understanding on public finance by discussing latest research works on public finance and Japanese public financial institutions involving expense, tax, public debt, and local finance.

授業の内容 / Course Contents

財政については、経済学・社会学・政治学・法律学・会計学等、多様な学問分野において研究が進められている。そこで本科目では、経費構造改革、税制改革、財政再建、地方分権推進等の観点から、財政理論及び日本財政の現状分析に関する最近の学術文献を素材として、講義及び議論を行う。

Many researches on public finance are taking place in various intellectual fields, including economics, sociology, politics, law, and accounting. In this class, students will select, study, and discuss about the latest academic literatures on public finance and Japanese public financial institutions. Students will consider perspectives of expense structural reform, tax reform, financial revitalization, decentralization, etc.

授業計画 / Course Schedule

【1】:財政学及び日本財政論の焦点について
【2】:日本の経費について(1)
【3】:日本の経費について(2)
【4】:日本の税制について(1)
【5】:日本の税制について(2)
【6】:日本の税制について(3)
【7】:日本の税制について(4)
【8】:日本の税制について(5)
【9】:公債と財政収支について(1)
【10】:公債と財政収支について(2)
【11】:社会保障財政について(1)
【12】:社会保障財政について(2)
【13】:地方財政について(1)
【14】:地方財政について(2)　及び　まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

本科目では、学部レベルの財政学の内容を理解していることを前提として授業を行うので、復習しておくこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

レポート試験 :50%
平常点割合 :50% 授業への取組み(報告・議論):50%

テキスト / Textbooks

下記の参考文献を含む書籍及び学術雑誌掲載論文のなかから選んで講義・議論の素材とする。

参考文献 / Readings

神野直彦 『財政学〔第3版〕』 有斐閣 2021 年 9784641165816
神野直彦・池上岳彦編 『租税の財政社会学』 税務経理協会 2009 年 9784419051969
池上岳彦 『分権化と地方財政』 岩波書店 2004 年 9784000270458
池上岳彦(編) 『現代財政を学ぶ』 有斐閣 2015 年 9784641184244
井手英策編 『危機と再建の比較財政史』 ミネルヴァ書房 2013 年 9784623065790
高端正幸・佐藤滋 『財政学の扉をひらく』 有斐閣 2020 年 9784641150826
沼尾波子・池上岳彦・木村佳弘・高端正幸 『地方財政を学ぶ〔新版〕』 有斐閣 2023 年 9784641184640

その他 / Others

本科目以外の財政学関連科目も履修することが望ましい。

作成:2024/10/02
科目コード:KA112

財政学1特論2

Special Lecture on Finance 1-2

池上　岳彦(IKEGAMI TAKEHIKO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA112
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA306 財政学1特殊講義2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

学生が，外国の財政制度及びその運営に関する最近の研究成果を検討することにより，国際比較の観点から，財政学の理解を深めることができる。

Students will discuss foreign countries' public financial institutions and the latest management research findings on them. Students will deepen their understanding on public finance by making international comparative studies.

授業の内容 / Course Contents

本科目では，外国の財政制度(税制，経費，政府間財政関係等) 及びその運営に関する最近の学術文献を素材として，講義及び議論を行う。さらに，当該国の制度を日本財政と比較した場合の共通点及び相違点，そしてそれが日本における制度改革の参考となるかどうかについて検討する。

In this class, students will select, study, and discuss about the latest academic literatures on foreign countries' public financial institutions (tax system, expense, intergovernmental fiscal relations, etc.) and their operations. Furthermore, students will explore similarities and differences among Japan and foreign countries in terms of these systems. Students will explore their potential as Japanese fiscal reform.

授業計画 / Course Schedule

【1】:財政学における国際比較の意義と課題について
【2】:個人所得課税について(1)
【3】:個人所得課税について(2)
【4】:個人所得課税について(3)
【5】:消費課税について(1)
【6】:消費課税について(2)
【7】:消費課税について(3)
【8】:法人課税について
【9】:資産課税について
【10】:経費について(1)
【11】:経費について(2)
【12】:政府間財政関係について(1)
【13】:政府間財政関係について(2)
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

本科目では，学部レベルの財政学の内容を理解していることを前提として授業を行うので，復習しておくこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

レポート試験 :50%
平常点割合 :50% 授業への取組み(報告・議論):50%

テキスト / Textbooks

下記の参考文献を含む書籍及び雑誌論文のなかから選んで講義・議論の素材とする。

参考文献 / Readings

Jonathan Gruber, Public Finance and Public Policy, 7th Edition Worth Publishers, 2022 9781319466923
C. Eugene Steuerle, Dead Men Ruling: How to Restore Fiscal Freedom and Rescue Our Future The Century Foundation Press, 2014 9780870785382
Harvey Rosen, et al., Public Finance in Canada, 5th Canadian Edition McGraw-Hill Education, 2016 9781259030772
Joseph E. Stiglitz and Jay K. Rosengard, Economics of the Public Sector, 4th Edition W.W. Norton, 2015 9780393925227
Leonard E. Burman and Joel Slemrod, Taxes in America: What Everyone Needs to Know, 2nd Edition Oxford University Press, 2020 9780190920852
Nicholas Barr, Economics of the Welfare State, 6th Edition Oxford University Press, 2020 9780198748582
Institute for Fiscal Studies, Tax by Design:The Mirrlees Review Oxford University Press, 2011 9780199553747
また「財政学1特論1」の参考文献は，本科目の参考文献でもある。

その他 / Others

本科目以外の財政学関連科目も履修することが望ましい。

作成:2024/10/02
科目コード:KA113

財政学2特論1

Special Lecture on Finance 2-1
DX や GX の同時推進持と続可能なまちづくり

デウィット, A(DEWIT ANDREW)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA113
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA307 財政学 2 特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

政治経済学からみた現代の都市が直面する課題と DX、GX、ESG や SDGs について学習する。
The goal of the course is to learn the political economy of DX, GX, ESG, and SDGs related to issues confronting contemporary urbanization

授業の内容 / Course Contents

コース運営については参加者と話し合いの上、決定する。1 冊にまとまった教科書はないため、DX、GX、ESG や SDGs、クリティカル・ミネラルズ、コンパクトシティ、税制改革などのテーマに応じて、関連する論文等を読んでいく。また、学生には発表や討議を通じて、現代財政や都市統治のあり方についての理解を深め、最新の情報を学ぶことも求められる。
Course management will be discussed and determined with the students. Since there is no single applicable textbook, students will read relevant papers and other materials on topics such as DX, GX, ESG and SDGs, critical minerals, compact cities, and tax reform. Students will also be expected to broaden their understanding of contemporary public finance and urban governance through presentations and discussion.

授業計画 / Course Schedule

【1】:DX、GX、ESG や SDGs と持続可能なまちづくり
【2】:DX と持続可能なまちづくり
【3】:GX と持続可能なまちづくり
【4】:ESG と持続可能なまちづくり
【5】:SDGs と持続可能なまちづくり
【6】:実例:スマートシティ東京都と官民連携
【7】:実例:富山市におけるコンパクトでスマートなまちづくり
【8】:実例:浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム
【9】:実例:国土強靭化地域計画とその背景
【10】:実例:大阪モデルのスマートシティ
【11】:実例:福島新エネ社会構想
【12】:実例:スマートシティ会津若松
【13】:実例:災害に強い地域マイクログリッド
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習については、別途指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% プレゼンテーション:30% ディスカッション:30% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

KPMG コンサルティング 『スマートシティ 3.0 (日経ムック)』 日本経済新聞出版 2022 9784296113934
瀬藤澄彦 『グローバル都市革命: コンパクトシティ 田園都市 第 3 の都市』 文眞堂 2022 9784830951886
富国生命投資顧問 『ESG 投資 持続可能な将来設計』 ダイヤモンド社 2022 9784478115893
スマートシティ官民連携プラットフォーム
https://www.mlit.go.jp/scpf/
地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム
https://future-city.go.jp/platform/
GX を支える地域・くらしの脱炭素
https://www.env.go.jp/council/content/i_05/000096596.pdf

参考文献 / Readings

その他 / Others

国土強靱化
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/
地域強靱化計画(国土強靱化地域計画)
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/tiiki.html
本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが，後期課程の受講者においては，全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA114

財政学2特論2

Special Lecture on Finance 2-2
DX や GX の同時推進と持続可能なまちづくり

デウィット, A(DEWIT ANDREW)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA114
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA308 財政学 2 特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

政治経済学からみた現代の都市が直面する課題と DX、GX、ESG、SDGs について学習する。
The goal of the course is to learn the political economy of DX, GX, ESG, and SDGs related to issues confronting contemporary urbanization

授業の内容 / Course Contents

コース運営については参加者と話し合いの上、決定する。1 冊にまとまった教科書はないため、DX、GX、ESG や SDGs、クリティカル・ミネラルズ、コンパクトシティ、税制改革などのテーマに応じて、関連する論文等を読んでいく。また、学生には発表や討議を通じて、現代財政や都市統治のあり方についての理解を深め、最新の情報を学ぶことも求められる。
Course management will be discussed and determined with the students. Since there is no single applicable textbook, students will read relevant papers and other materials on topics such as DX, GX, ESG and SDGs, critical minerals, compact cities, and tax reform. Students will also be expected to broaden their understanding of contemporary public finance and urban governance through presentations and discussion.

授業計画 / Course Schedule

【1】:世界における都市化と DX、GX、ESG、SDGs
【2】:スマートシティとエネルギー安全保障
【3】:実例:日米スマートシティ協力1
【4】:実例:日米スマートシティ協力2
【5】:実例:日印スマートシティ協力1
【6】:実例:日印スマートシティ協力2
【7】:実例:日欧スマートシティ協力1
【8】:実例:日欧スマートシティ協力2
【9】:実例:NEC とスマートシティ
【10】:実例:国際協力機構とスマートシティ
【11】:実例:日立とスマートシティ
【12】:実例:日建設計とスマートシティ
【13】:実例:新エネルギー・産業技術総合開発機構とスマートシティ
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習については、別途指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% プレゼンテーション:30% ディスカッション:30% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

安岡 美佳;ユリアン 森江 原 ニールセン『北欧のスマートシティ: テクノロジーを活用したウェルビーイングな都市づくり』 学芸出版社 2022 9784761528386
ジェフ・スペック『ウォーカブルシティ入門』 学芸出版社 2022 9784761528249
アジアの脱炭素都市の実現に向けた情報提供サイト
https://www.env.go.jp/earth/coop/lowcarbon-asia/
日米グローバル地方ゼロカーボン促進イニシアティブ
https://www.env.go.jp/press/110703.html
持続可能な開発目標(SDGs) - 2030 アジェンダ | 国連広報センタ
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

参考文献 / Readings

日系企業の海外進出機会 - 資源エネルギー庁
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/advanced_systems/smart_community/smartcity_ws/pdf/smartcity_ws2022_01r.pdf

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

特にない

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

特にない

その他 / Others

全世界 スマートシティアプローチの適用性に係る
https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12342507.pdf
本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが，後期課程の受講者においては，全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA115

現代金融特論1

Special Lecture on Modern Finance 1

飯島　寛之(IIJIMA HIROYUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA115
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

本授業のひとつの目標は、拡大と複雑化の一途を辿る金融活動を分析するための能力を養うため、その理論的・歴史的理解を深めることである。また上記の理解をもとに現代資本主義下における諸課題に対し金融を切り口として分析できるようになることがいまひとつの目標である。

There are two goals for this class. One is to deepen its theoretical and historical understanding to develop the ability to analyze financial activities that continue to expand and become more complex. The other is that based on this understanding, it will be possible to analyze financial issues from various perspectives under modern capitalism.

授業の内容 / Course Contents

講義の目的を達するために必要な文献を輪読したあと、議論を行う。文献は、信用に関する古典、または英語文献あるいはその他の必須文献であるが、いずれの場合も報告者のみならず参加者が用意する議論のための資料にもとづいて講義が行われる。また後半には受講生の研究報告をもとに、議論を行う。どちらの割合が多くなるかは、受講生の人数による。

After reading the literature necessary to achieve the objectives of this lecture, we will have a discussion. In the second half, we will discuss the research reports of the students. All students, not just the presenters, will be required to prepare resumes and materials for discussion.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:輪読と議論
【3】:輪読と議論
【4】:輪読と議論
【5】:輪読と議論
【6】:輪読と議論
【7】:輪読と議論
【8】:輪読と議論
【9】:輪読と議論
【10】:輪読と議論
【11】:研究報告
【12】:研究報告
【13】:研究報告
【14】:研究報告

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業の後半の研究報告に向けて、自分の研究テーマと関連する書籍や論文を自ら選び、報告の準備をしておくこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業への参加度:60% 報告・準備内容:40%

テキスト / Textbooks

受講者と相談の上で決定する

参考文献 / Readings

飯島・五百旗頭・佐藤・菅原『身近に感じる国際金融』有斐閣 2017 9784641150447

作成:2024/10/02
科目コード:KA116

現代金融特論2

Special Lecture on Modern Finance 2

飯島　寛之(IIJIMA HIROYUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA116
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

本授業のひとつの目標は、拡大と複雑化の一途を辿る金融活動を分析するための能力を養うため、その理論的・歴史的理解を深めることである。また上記の理解をもとに現代資本主義下における諸課題に対し金融を切り口として分析できるようになることがいまひとつの目標である。

There are two goals for this class. One is to deepen its theoretical and historical understanding to develop the ability to analyze international financial activities that continue to expand and become more complex. The other is that based on this understanding, it will be possible to analyze financial issues from various perspectives under modern capitalism.

授業の内容 / Course Contents

講義の目的を達するために必要な文献を輪読したあと、議論を行う。文献は、信用に関する古典、または英語文献あるいはその他の必須文献であるが、いずれの場合も報告者のみならず参加者が用意する議論のための資料にもとづいて講義が行われる。また後半には受講生の研究報告をもとに議論を行う。どちらの割合が多くなるかは、受講生の人数と関心による。

After reading the literature necessary to achieve the objectives of this lecture, we will have a discussion. In the second half, we will discuss the research reports of the students. All students, not just the presenters, will be required to prepare resumes and materials for discussion.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:輪読と議論
【3】:輪読と議論
【4】:輪読と議論
【5】:輪読と議論
【6】:輪読と議論
【7】:輪読と議論
【8】:輪読と議論
【9】:輪読と議論
【10】:輪読と議論
【11】:研究報告
【12】:研究報告
【13】:研究報告
【14】:研究報告

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

後半に予定される研究報告に向けて、自分の研究テーマと関連する書籍や論文を自ら選び、報告の準備をしておくこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業への参加度:60% 報告・準備内容:40%

テキスト / Textbooks

受講者と相談の上決定する

参考文献 / Readings

飯島・五百旗頭・佐藤・菅原『身近に感じる国際金融』有斐閣 2017 9784641150447

作成:2024/10/02
科目コード:KA119

国際金融特論1

Special Lecture on International Finance 1
国際通貨システムと国際資金循環

山本　周吾(YAMAMOTO SHUGO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA119
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

国際金融論及び金融論に関する修士論文を執筆するための知識や思考を養うことを目的としている。
具体的には、国際通貨システムと国際資金循環の歴史と現状についての最新の理論について深く学ぶ。
This course is intended for students who want to write a Master's thesis in the field of international finance and finance

授業の内容 / Course Contents

この講義は 2 部に分かれており、演習形式でおこなう。
・第 1 部:テキスト・論文の輪読・議論
・第 2 部:学生による修士論文に関する研究報告
The course content is about history and recent trends in international currency and cross-border capital flow. Not only reading, but also we will make a discussion. Therefore, every students must prepare for the course.

授業計画 / Course Schedule

【1】:中央銀行のバランスシートと通貨供給①
【2】:中央銀行のバランスシートと通貨供給②
【3】:リーマンショックと FRB①
【4】:リーマンショックと FRB②
【5】:欧州危機とユーロシステム①
【6】:欧州危機とユーロシステム②
【7】:金融機関の破綻処理と日本銀行①
【8】:金融機関の破綻処理と日本銀行②
【9】:ベイルアウトとベイルイン①
【10】:ベイルアウトとベイルイン②
【11】:「異次元緩和」の論理①
【12】:「異次元緩和」の論理②
【13】:修士論文に関する研究報告①
【14】:修士論文に関する研究報告②

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表	○	ディスカッション・ディベート	○

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

報告者は報告のための準備を入念に行うこと。当然のことながら、報告者以外も事前に文献を読み込む等の質の高い準備が必要である。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:70% 議論への貢献度:30%

テキスト / Textbooks

伊豆久 『金融危機と中央銀行』 九州大学出版会 2016 9784798501819
服部 孝洋 『日本国債入門』 金融財政事情研究会 2023 9784322143867

参考文献 / Readings

その他 / Others

この講義の履修の後に「国際金融特論2」を履修するのが望ましい

作成:2024/10/02
科目コード:KA120

国際金融特論2

Special Lecture on International Finance 2
世界金融危機と国際通貨システム

山本　周吾(YAMAMOTO SHUGO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA120
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

国際金融論に関する修士論文を執筆するための必要な知識や思考力を養うことが目的である。そのために、最新の国際金融の論文とレポートについて深く読み込み、議論をおこなう。
This course is intended for students who want to write a Master's thesis in the field of international finance and finance.

授業の内容 / Course Contents

この講義は演習形式でおこなう。世界金融危機以降の最新の国際金融の動向を理解するために、体系的に文献を読み込み、議論をおこなう。
The course content is about history and recent trends in international currency and cross-border capital flow. Not only reading, but also we will make a discussion. Therefore, every students must prepare for the course.

授業計画 / Course Schedule

【1】:論文の輪読とそれを基にディスカッション
【2】:論文の輪読とそれを基にディスカッション
【3】:論文の輪読とそれを基にディスカッション
【4】:論文の輪読とそれを基にディスカッション
【5】:論文の輪読とそれを基にディスカッション
【6】:論文の輪読とそれを基にディスカッション
【7】:論文の輪読とそれを基にディスカッション
【8】:論文の輪読とそれを基にディスカッション
【9】:論文の輪読とそれを基にディスカッション
【10】:修士論文に関する研究報告①
【11】:修士論文に関する研究報告②
【12】:修士論文に関する研究報告③
【13】:修士論文に関する研究報告④
【14】:修士論文に関する研究報告⑤

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表	○	ディスカッション・ディベート	○

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

報告者以外も事前に文献を読み込む等の質の高い準備が必要である。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 報告:60% 議論への貢献度:30% 事前の準備:10%

テキスト / Textbooks

日本証券経済研究所の以下のレポートを中心に進めていく（著者はいずれも伊豆久先生）

・「ECB の量的緩和政策」1709 号、2018 年 8 月。
・「日本銀行の引当金について」1711 号、2018 年 12 月。
・「中央銀行の資本金制度と利益処分」1713 号、2019 年 4 月。
・「レバ・ローンは第二のサブプライムか？」1715 号、2019 年 8 月。
・「米国の金利急騰と FRB の負債構造」1717 号、2019 年 12 月。
・「FRB のコロナ危機対応策ーリーマン危機との比較ー」1719 号、2020 年 4 月。
・「日本銀行のコロナ危機対応策」1721 号、2020 年 8 月。
・「ECB のコロナ危機対応策」1723 号、2020 年 12 月。
・「FRB のコロナ危機対応策と財政資金」1725 号、2021 年 4 月。
・「コロナ対応策と資金フロー」1726 号、2021 年 6 月。
・「SRF 導入の背景－FRB と国債市場－」1729 号、2021 年 12 月。

参考文献 / Readings

その他 / Others

この講義を履修する前に「国際金融特論1」を受講するのが望ましい

作成:2024/10/02
科目コード:KA121

経済統計特論1

Special Lecture on Economic Statistics 1
公的統計制度における経済統計

櫻本　健(SAKURAMOTO TAKESHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA121
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5320
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA309 経済統計特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済統計の設計を把握しながら、政府の HP や統計アプリを使用しながら統計データを分析できるようになること。
Students will be able to analyze statistical data while studying financial statistics design by focusing on System of National Accounts.

授業の内容 / Course Contents

公的統計全体のフレームと内側の国民経済計算体系のフレームの 2 つのフレームのうち、主に後者について輪読形式で授業を進める。部分的に PC による演習を行って、概念と実際の数値の利便性の両方を理解する。多くの場合、統計整備は社会問題をきっかけに進む。統計作成と社会問題との関係は授業時に随所に触れることになる。
In this class, students will study overall framework of official statistics and System of National Accounts framework within. Students will focus particularly on the later and take turns to read these in the class. Occasionally students will use PC to practice and to understand usability of both concept and numerical value. In many cases, social issues are catalysts for statistical developments. Students will come across relationship between statistical production and social issue any time during this class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:授業ガイダンス、本学における統計教育
【2】:公的統計制度、統計法と統計制度フレーム
【3】:公的統計の二次的利用制度、ミクロデータ分析と限界
【4】:疑似ミクロデータを利用した分析
【5】:RESAS、OECD.Stat
【6】:e-Stat の機能と j-STATMAP
【7】:季節調整法 1
【8】:季節調整法 2
【9】:輪読 1、討論 1
【10】:輪読 2、討論 2
【11】:輪読 3、討論 3
【12】:輪読 4、討論 4
【13】:輪読 5、討論 5
【14】:輪読 6、討論 6

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験	○	学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

関連テキストを事前に読み、関連する著作物を調べてくること。授業に関連して学課外で社会情報教育研究センターでのセミナーへの参加やコンテンツに基づく自主学習をお願いする。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 提出物:50% 報告:40% 討論:10%

テキスト / Textbooks

テキストはいくつかの候補の中から受講者と相談して決める。社会情報教育研究センター『日本の公的統計・統計調査』も利用するが、学内資料のため、教員が印刷して配布する。

参考文献 / Readings

李潔 『入門 GDP 統計と経済波及効果分析』 大学教育出版 2016 4864293597
ダイアン・コイル, 高橋 璃子 『GDP――〈小さくて大きな数字〉の歴史』 みすず書房 2015 4622079119
アンガス・マディソン 『世界経済史概観 紀元 1 年～2030 年』 岩波書店 2015 4000610333
宮川努 『生産性とは何か』 筑摩書房 2018 448007189
テキストは以上の 4 冊に経済財政白書を加えた 5 冊から 1 冊選んで取り組む。授業範囲と統計調査士試験の内容が重複するため、資格取得をお勧めする。

その他 / Others

履修者が統計学を学んできた内容に応じて授業内容を変える。社会情報教育研究センターHP が関連情報となる。

作成:2024/10/02
科目コード:KA122

経済統計特論2

Special Lecture on Economic Statistics 2
マクロ経済を取り巻く統計概念を理解する。

櫻本　健(SAKURAMOTO TAKESHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA122
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5320
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA310 経済統計特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済統計のうち、コアとなるマクロの統計について体系だった理解できるようにする。主に高度な加工統計を中心にグローバリゼーション、経済波及効果といった応用分析を学ぶ。
Students will acquire systematic understanding about macro statistics, the core of financial statistics. Students will learn how to use and analyze data, while deepening their understanding about System of National Accounts.

授業の内容 / Course Contents

国民経済計算体系(SNA)は公的統計のコア勘定として位置付けられている。SNA を中心に、国際収支統計・付加価値貿易指標、金融統計、生産性統計、開発指標等、供給使用産業連関表、政府財政統計、マクロの統計を体系的に学ぶ。統計に必要な分類として産業分類、生産物分類も扱う。授業は輪読形式のものと、演習形式も組み合わせたものと 2 種類ある。Excel を利用した演習や宿題を多く課すと同時に、テキストの報告を定期的に求める。
System of National Accounts is considered core accounting system for official statistics. Focusing on SNA, students will learn systematically international trade balance statistics, Trade in Value Added Database, financial statistics, productivity statistics, development indicator, Supply, Use and Input-Output Tables, government financial statistics, and macro statistics. Students will also study industrial and production classifications that are essential in statistics. This class will proceed in both reading and seminar formats. Students will receive high volume of Excel seminars and assignments. They will also submit written reports regularly.

授業計画 / Course Schedule

【1】:授業ガイダンス
【2】:テキストに基づく輪読 1、討論 1
【3】:テキストに基づく輪読 2、討論 2
【4】:テキストに基づく輪読 3、討論 3
【5】:テキストに基づく輪読 4、討論 4
【6】:テキストに基づく輪読 5、討論 5
【7】:テキストに基づく輪読 6、討論 6
【8】:テキストに基づく輪読 7、討論 7
【9】:テキストに基づく輪読 8、討論 8
【10】:PC による演習 1
【11】:PC による演習 2
【12】:PC による演習 3
【13】:PC による演習 4

【14】:PC による演習 5

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験	○	学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

輪読や報告に際してテキストは事前に読み、テキストに関する周辺の情報も調べてくること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:60% 討論:20% 提出物:20%

テキスト / Textbooks

授業冒頭でテキストを選ぶ。授業では経済財政白書も参考にする。教科書以外に授業に必要な資料・データは、授業時に配布する。

参考文献 / Readings

ダイアン・コイル 『GDP――〈小さくて大きな数字〉の歴史』 みすず書房 2015 4622079119
宮川努 『生産性とは何か』 ちくま新書 2018 9784480071897
François Lequiller,Derek Blades Understanding National Accounts 2014 Oecd Publishing 2014 9264214623
授業内容は統計検定統計調査士試験と重複する部分があるため、統計調査士試験を受験してついでに資格取得することもお勧めできる。その場合、本学社会情報教育研究センターが提供している統計検定の HP を参考にする。

その他 / Others

e-Stat HP,社会情報教育研究センターHP と各種指標も活用する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA123

近代経済学1特論1

Special Lecture on Modern Economics 1-1
制度の経済学の基礎

荒川　章義(ARAKAWA AKIYOSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA123
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5120
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA311 近代経済学 1 特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

大学院レヴェルの制度の経済学の基礎を学び，今後の研究のための土台を作る。
Students will learn basics of economics of graduate school level to create foundation for their future researches.

授業の内容 / Course Contents

大学院レヴェルの制度の経済学の代表的なテキストを用いてその内容を学ぶ。現在では，制度の経済学と呼ばれる学問分野は，コモンズやミッチェルなどの旧制度派経済学からコースやノースの新制度派経済学、青木昌彦の比較制度分析などの幅広い領域に及んでいる。この授業では，参加者の関心に応じて，上記のいずれかの領域における代表的なテキストを取り上げ，その内容を学んでいくことにしたい。
Students will use and study typical graduate school economics texts. Current institutional economics covers wide areas, including old institutional economics by Commons and Mitchell, new institutional economics by Coase and North, and comparative institutional analysis by Masahiko Aoki. In this class, professor will refer to students' interests and select typical textbooks from areas mentioned above for students to learn.

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション
【2】:参加者による発表と議論
【3】:参加者による発表と議論
【4】:参加者による発表と議論
【5】:参加者による発表と議論
【6】:参加者による発表と議論
【7】:参加者による発表と議論
【8】:参加者による発表と議論
【9】:参加者による発表と議論
【10】:参加者による発表と議論
【11】:参加者による発表と議論
【12】:参加者による発表と議論
【13】:参加者による発表と議論
【14】:参加者による発表と議論

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

学部レベルのミクロ経済学をマスターしておくことが望ましい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 授業参加度並びに授業内での報告:50% 発表と議論:50%

テキスト / Textbooks

詳細は参加者と相談の上決定する。

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:KA124

近代経済学1特論2

Special Lecture on Modern Economics 1-2
進化の経済学の基礎

荒川　章義(ARAKAWA AKIYOSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA124
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5120
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA312 近代経済学 1 特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

大学院レヴェルの進化の経済学の基礎を学び，今後の研究のための土台を作る。
Students will learn basics of evolutionary economics at graduate school level as foundation for their future researches.

授業の内容 / Course Contents

大学院レヴェルの進化の経済学の代表的なテキストを用いてその内容を学ぶ。現在では、進化の経済学は、シュンペーターの経済学から、ネルソン・ウィンターのアプローチ、ボールズやギンタスのアプローチなど多岐に及んでいる。また進化心理学も人間行動の非合理性の説明に大いに寄与している。この授業では，参加者の関心に応じて，進化の経済学の代表的なテキストを取り上げ，その内容を学んでいくことにしたい。
Students will use and study typical textbooks of graduate school evolutionary economics. Current evolutionary economics covers many branches, including Schumpeter economics, Nelson Winter's approach, Bowles and Gintis' approach. Evolutionary psychology has also contributed greatly to explaining irrationality of human behavior. In this class, professor will refer to students' interests and select typical evolutionary economics textbooks for students to learn.

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション
【2】:参加者による発表と議論
【3】:参加者による発表と議論
【4】:参加者による発表と議論
【5】:参加者による発表と議論
【6】:参加者による発表と議論
【7】:参加者による発表と議論
【8】:参加者による発表と議論
【9】:参加者による発表と議論
【10】:参加者による発表と議論
【11】:参加者による発表と議論
【12】:参加者による発表と議論
【13】:参加者による発表と議論
【14】:参加者による発表と議論

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

学部レベルのミクロ経済学をマスターしておくことが望ましい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 授業参加度並びに授業内での報告:50% 発表と議論:50%

テキスト / Textbooks

詳細は参加者と相談の上決定する。

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:KA125

近代経済学2特論1

Special Lecture on Modern Economics 2-1
制度と進化のミクロ経済学

池田　毅(IKEDA TAKESHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA125
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5120
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA313 近代経済学2特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

近年のミクロ経済学の新たな展開を学び，同時に新たな分析手法の可能性を理解する。特に，個々の経済主体の行動と制度との関連，あるいはそれらの共進化といった問題を理解する。
Students will learn about new developments in microeconomics in recent years and, at the same time, understand the possibilities of new analytical methods. In particular, students will understand the relationship between the behaviour of individual economic agents and institutions and their co-evolution.

授業の内容 / Course Contents

近年ミクロ経済学と呼ばれる分野の変貌は著しい。従来，完全競争市場を前提に議論されてきた価格メカニズム中心の分析はもはや後景に退き，経済主体間の戦略的相互作用，経済における制度の役割，さらには経済進化の問題といった多様なトピックへと分析の重心は移動しつつある。
こうした中，米ラディカル派のS. ボウルズによって近年，包括的なテキストが出版された。この講義では，この大著を輪読し，ミクロ経済学の新たな展開について，その基礎から学ぶ。また関連する分析手法についても学ぶことにしたい。
The field of microeconomics has undergone a remarkable transformation in the last thirty years. Modern microeconomic analysis includes various topics, such as strategic interactions among economic agents, the role of institutions in the economy, and the problem of economic evolution. In this lecture, we will read through Samuel Bowles's book, Microeconomics, which shows a brilliant synthesis and development in the theory of economic behaviour. We will also learn about related analytical methods.

授業計画 / Course Schedule

【1】:Prologue: Economics and the Wealth of Nations and People
【2】:Social Interactions and Institutional Design
【3】:Spontaneous Order: The Self-organization of Economic Life
【4】:Preferences and Behavior
【5】:Coodination Failures and Institutional Responses
【6】:Dividing the Gains to Cooperation: Bargaining and Rent Seeking
【7】:Utopian Capitalism: Decentralized Coodination
【8】:Exchange: Contracts, Norms, and Power
【9】:Employment, Unemployment, and Wages
【10】:Credit Markets, Wealth Constraints, and Allocative Inefficiency
【11】:The Institutions of a Capitalist Economy
【12】:Institutional and Individual Evolution

【13】:Chance, Collective Action, and Institutional Innovation
【14】:The Coevolution of Institutions and Preferences

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

報告担当者はもちろんのこと，参加者全員が事前にテキストを精読し，授業内でのディスカッションに備えること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告担当:50% ディスカッション:50%

テキスト / Textbooks

Samuel Bowles, Microeconomics:Behavior, Institutions, and Evolution Princeton University Press 2006: Paper Back

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:KA126

近代経済学2特論2

Special Lecture on Modern Economics 2-2
ポスト・ケインジアンのマクロ経済分析

池田　毅(IKEDA TAKESHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA126
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5120
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA314 近代経済学2特殊講義2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

いわゆるポスト・ケインジアンと呼ばれるアプローチのマクロ経済分析について，その基礎的な内容を学び，その分析手法の可能性を理解する。
Students will learn modern structuralist and post-Keynesian macroeconomic approaches and understand the potential of these approaches, focusing on the interaction of growth, stability and income distribution under different social relations.

授業の内容 / Course Contents

ポスト・ケインジアンのマクロ経済分析の知的源泉の一つである Structuralist の代表的な論者である Lance Taylor の著作を輪読し，オルタナティブなマクロ経済分析の方向性と可能性を検討する。
またいわゆる主流派と呼ばれるスタンダードなアプローチについても，適宜参照しながら，それとの対比の上で， 上記のアプローチを検討する。
Students will read "Reconstructing Macroeconomics" by Lance Taylor, a well-known structuralist and post-Keynesian macroeconomist. Students will discuss modern structuralist approaches and critiques of mainstream macroeconomics from a structuralist perspective in learning about the standard technical tools of economics.

授業計画 / Course Schedule

【1】:Social Accounts and Social Relations
【2】:Prices and Distribution 1
【3】:Prices and Distribution 2
【4】:Money, Interest, and Inflation 1
【5】:Money, Interest, and Inflation 2
【6】:Short-Term Model Closure and Long-Term Growth
【7】:Chicago Monetarism, New Classical Macroeconomics, and Mainstream Finance
【8】:Effective Demand and the Distributive Curve 1
【9】:Effective Demand and the Distributive Curve 2
【10】:Structuralist Finance and Money
【11】:A Genus of Cycles 1
【12】:A Genus of Cycles 2
【13】:Exchange Rate Complications
【14】:Growth and Development Theories

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

報告担当者はもちろんのこと，参加者全員が事前にテキストを精読し，授業内でのディスカッションに備えること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告担当:50% ディスカッション:50%

テキスト / Textbooks

Lance Taylor Reconstructing Macroeconomics: Structuralist Proposals and Critiques of the Mainstream Harvard University Press 2004

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:KA129

財政学3特論1

Special Lecture on Finace 3-1
財政・租税政策の国際比較

関口　智(SEKIGUCHI SATOSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA129
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA317 財政学 3 特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

各国の財政・租税制度及び社会保障制度等の動向を理解する。
Students will understand trends of finance, tax, and social security systems in various countries.

授業の内容 / Course Contents

本講義では，財政・租税論や社会保障論等を念頭に置きつつ，各国の財政・租税制度及び社会保障制度等の国際比較を行う。

講義は担当者による簡単な解説の後，受講者によるレジュメ報告，全体での議論，担当者による論点整理により進めることを想定している。

講義開始時に具体的な題材を例示するが，前半は最新の日本語文献を，後半は最新の外国語文献を取り上げる。

In this class, students will compare financial, tax, and social security systems in various countries while paying attention to theories about finance, tax, and social security.
Professor will make brief explanations. After that, students will make summary reports and participate in discussions. Selected students will then organize these arguments.
Professor will show students specific subjects at the beginning of class. In the first half, students will use the latest Japanese literatures and in the second half the latest foreign language literatures.

授業計画 / Course Schedule

【1】:財政学 3 特論1のガイダンスとテキスト選定
【2】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【3】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【4】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【5】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【6】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【7】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【8】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【9】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【10】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【11】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【12】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【13】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【14】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

財政学に隣接する多様な領域に関心のある学生の参加も歓迎する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100%　授業中の発言, 課題, 出席の総合評価:80%　最終レポート割合::20%

テキスト / Textbooks

特定・単一のテキストは用いない。受講者と相談しながら決定する。

参考文献 / Readings

関口　智『現代アメリカ連邦税制-付加価値税なき国家の租税構造』東京大学出版会　2015 年　9784130461146

その他は,輪読の際に適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA130

財政学3特論2

Special Lecture on Finace 3-2
財政・金融政策と公会計制度の国際比較

関口　智(SEKIGUCHI SATOSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA130
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA318 財政学 3 特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

財政学や金融論等の視点から，公会計制度論の動向と予算・決算論との関連を理解する。
Students will understand connections among trend of public accounting theory and budget/settlement theory, through perspective of public finance and financial theory.

授業の内容 / Course Contents

本講義では，現代日本における財政・金融政策上の諸問題を念頭に置きつつ，近年盛んに議論されている公会計制度について，国際比較の観点からその意義と問題点について議論する。
講義は担当者による簡単な解説の後，受講者によるレジュメ報告，全体での議論，担当者による論点整理を行うことを想定している。
講義開始時に具体的な題材を例示するが，前半は最新の日本語文献を，後半は最新の外国語文献を取り上げる。
In this class, students will discuss significance and issue of financial budget/settlement theory and public accounting system debated actively in recent years while paying attention to various issues in modern Japan's public finance. Students will make comparisons internationally when doing so.
Professor will make brief explanations. After that, students will make summary reports and participate in discussions. Selected students will then organize these arguments.
Professor will show students specific subjects at the beginning of class. In the first half, students will use the latest Japanese literatures and in the second half the latest foreign language literatures.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス:財政学3特論2の内容とテキスト選定
【2】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【3】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【4】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【5】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【6】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【7】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【8】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【9】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【10】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【11】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【12】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)

【13】:輪読(レジュメ報告, 全体議論, 論点整理)
【14】:輪読(レジュメ報告, 全体議論, 論点整理)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

財政学に隣接する多様な領域に関心のある学生も歓迎する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　授業中の発言, 課題, 出席の総合評価:80%　最終レポート割合::20%

テキスト / Textbooks

特定・単一のテキストは用いない。受講者と相談しながら決定する。

参考文献 / Readings

関口　智『イギリス及びスウェーデンの国家財政における予算・公会計制度と会計検査院ーミクロ予算編成とマクロ予算編成の視点からー』会計検査院　2017 年
関口　智編『地方財政・公会計制度の国際比較』日本経済評論社　2016 年
その他は,輪読の際に適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA137

財政学A特論1

Special Lecture on Public Finance A-1
租税制度論

上田　衛門(UEDA EIMON)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA137
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

日本の租税制度の基本的事項に関する知識を習得し、その課題と今後の方向性を検討する能力を身につける。
This course aims to provide basic information and knowledge about Japan's tax system and to enable students to examine and discuss its issues and future directions.

授業の内容 / Course Contents

(1)日本の財政の現状と課題を議論する。
(2)日本の租税制度における主要税目である所得税、法人税、消費税および相続・贈与税について、それらの現状と課題および今後の方向性を議論する。
(注 1)以下の授業計画は、授業の進行に応じて適宜変更することがありうることに留意されたい。
(注 2)授業は原則として教員による講義を中心に進められるが、教員より学生に対して質問の投げかけを行うなどによって、双方向のディスカッションの機会が適宜与えられる。
(注 3)財政・税制に関する時事問題を適宜取り上げるので、履修者は時事問題を常にフォローすることが求められる。
(1) Analyze the current situation of Japan's fiscal system and discuss its issues
(2) Analyze the main taxes of Japan (Personal Income tax, Corporate Income Tax, Consumption Tax and Inheritance and Gift Tax) including by comparing them with those of other countries and discuss their issues and future directions
(Note 1) The following course schedule may be modified depending upon the actual proceeding.
(Note 2) While the class proceeds based on lectures given by the lecturer, opportunities for interactive discussion will be provided by the lecturer making questions to the students from time to time.
(Note 3) Students are required to keep an eye on media news regarding the fiscal and tax system as topical issues will be picked up for class discussion on a timely basis.

授業計画 / Course Schedule

【1】:授業計画と授業の進め方
日本の租税制度の概観
【2】:日本の財政の現状と課題
【3】:所得税制(1)
【4】:所得税制(2)
【5】:所得税制(3)
【6】:所得税制(4)
【7】:法人税制(1)
【8】:法人税制(2)

【9】:消費税制(1)
【10】:消費税制(2)
【11】:消費税制(3)
【12】:相続・贈与税制
【13】:その他の税制(炭素税など)
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

必要に応じて別途指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業におけるディスカッション参加:70% 小課題へのフィードバック:30%

テキスト / Textbooks
参考文献 / Readings

金子宏『租税法(第24版)』弘文堂 2021 9784335315558

作成:2024/10/02
科目コード:KA138

財政学A特論2

Special Lecture on Public Finance A-2
国際租税制度論

上田　衛門(UEDA EIMON)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA138
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

国際租税制度の基本的知識を修得し、その課題と今後の方向性を検討する能力を身につける。
This course aims to provide basic information and knowledge about the international tax system and to enable students to examine and discuss its issues and future directions.

授業の内容 / Course Contents

(1) 国際租税制度の基本的枠組みおよび租税回避防止措置について、日本の制度および措置に焦点を当てつつ、その現状と課題について議論する。具体的事例の検討(ケース・スタディ)も適宜活用する。
(2) 現下の国際租税制度改革の状況をフォローし、その問題点につき議論する。
(注 1)以下の授業計画は、授業の進行に応じて適宜変更することがありうることに留意されたい。
(注 2)授業は原則として教員による講義を中心に進められるが、教員より学生に対して質問の投げかけを行うなどによって、双方向のディスカッションの機会が適宜与えられる。
(注 3)国際租税制度に関する時事問題についても適宜取り上げる。
(1) The course will analyze the basic framework of the international tax system and the measures to prevent tax avoidance by focusing on Japan's system and measures and discuss their issues. Case studies will be utilized.
(2) The course will follow the on-going reform of the international tax system and discuss its issues
(Note 1) The following course schedule may be modified depending upon the actual proceeding.
(Note 2) While the class proceeds based on lectures given by the lecturer, opportunities for interactive discussion will be provided by the lecturer making questions to the students from time to time.
(Note 3) Topical issues related to the international tax system may be picked up for class discussion on a timely basis.

授業計画 / Course Schedule

【1】:授業計画と授業の進め方
国際租税制度の概観
【2】:居住者・非居住者
【3】:国内源泉所得
【4】:租税条約
【5】:外国税額控除
【6】:移転価格税制(1)
【7】:移転価格税制(2)
【8】:相互協議
【9】:その他の租税回避防止措置

【10】:BEPS(税源浸食と利益移転)
【11】:デジタル経済と国際税制
【12】:デジタル経済と国際税制
【13】:国際的な税務協力
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

必要に応じて別途指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業におけるディスカッション参加:70% 小課題へのフィードバック:30%

テキスト / Textbooks
参考文献 / Readings

増井良啓・宮崎裕子 『国際租税法』 東京大学出版会 2019 9784130323932

作成:2024/10/02
科目コード:KA201

アメリカ経済史特論1

Special Lecture on American Economic History 1
アメリカ国内経済の発展

水野　里香(MIZUNO RIKA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA201
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

アメリカ経済史をテーマにした論文の輪読によって、報告の方法や、論点の抽出、討論の展開等について学ぶ。
アメリカにおける過去の事象と、現代の問題とを比較検討できるような視点を形成する。
Students will learn how to report, extract arguments, and participate in discussion by reading papers on American economic history.
Students will form their perspective so that they can compare and discuss historical and modern issues in US.

授業の内容 / Course Contents

19 世紀までのアメリカ経済史をテーマにした論文を取り上げ、論文ごとに報告者と進行役を決めて、報告・輪読ののち、討論を行う。
Papers on American economic history up to 19th century will be selected. Reporter and moderator will be selected for each paper. Students will then participate in discussion in addition to reporting and reading.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:アメリカ資本主義の確立(1)
【3】:アメリカ資本主義の確立(2)
【4】:アメリカ資本主義の確立(3)
【5】:アメリカ資本主義の確立(4)
【6】:産業発展期のアメリカと諸問題(1)
【7】:産業発展期のアメリカと諸問題(2)
【8】:産業発展期のアメリカと諸問題(3)
【9】:産業発展期のアメリカと諸問題(4)
【10】:独占の形成と政府の対応(1)
【11】:独占の形成と政府の対応(2)
【12】:独占の形成と政府の対応(3)
【13】:独占の形成と政府の対応(4)
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	

個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

授業で取り上げる論文については、事前に指示または配布するので、授業前までに精読してくること。
また、授業時には、報告・進行役でなくとも討論への積極的な参加が望まれます。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:30% 進行:30% 討論への参加:40%

テキスト / Textbooks

とくに指定しません。

参考文献 / Readings

鈴木圭介編『アメリカ経済史』東京大学出版会 1972
鈴木圭介編『アメリカ経済史Ⅱ』東京大学出版会 1988
有賀 貞、大下 尚一、志邨 晃佑、平野 孝『アメリカ史〈1〉』山川出版社 1994
有賀 貞、大下 尚一、志邨 晃佑、平野 孝『アメリカ史〈2〉』山川出版社 1993
Stanley L. Engerman, Robert E. Gallman The Cambridge economic history of the United States 1-3 Cambridge University Press 1996～2000
谷口明丈・須藤功 編『現代アメリカ経済史』有斐閣 2017
授業で取り上げる論文については、履修者と相談のうえ、参考文献などから適宜選択し、事前に指示または配布します。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

高校までの歴史の知識があることが望ましいです。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

授業に関する連絡や授業資料の配布は、Canvas LMS を通じて行うので適宜閲覧するようにしてください。

その他 / Others

履修者は初回授業に必ず出席してください。止むを得ず欠席する場合は、Canvas LMS を通じて教員に連絡してください。

作成:2024/10/02
科目コード:KA202

アメリカ経済史特論2

Special Lecture on American Economic History 2
経済大国への道

水野　里香(MIZUNO RIKA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA202
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

アメリカ経済史をテーマにした論文の輪読によっ て、報告の方法や、論点の抽出、討論の展開等について学ぶ。
アメリカにおける過去の事象と、現代の問題とを比較検討できるような視点を形成する。
Students will learn how to report, extract arguments, and participate in discussion by reading papers on American economic history.
Students will form their perspective so that they can compare and discuss historical and modern issues in US.

授業の内容 / Course Contents

20 世紀から現代までのアメリカ経済史をテーマにした論文を取り上げ、論文ごとに報告者と進行役を決めて、報告・輪読ののち、討論を行う。
Papers on American economic history from 20th century until now will be selected. Reporter and moderator will be selected for each paper. Students will then participate in discussion in addition to reporting and reading.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:第1次世界大戦とアメリカの役割(1)
【3】:第1次世界大戦とアメリカの役割(2)
【4】:第1次世界大戦とアメリカの役割(3)
【5】:第1次世界大戦とアメリカの役割(4)
【6】:金融構造とアメリカ経済(1)
【7】:金融構造とアメリカ経済(2)
【8】:金融構造とアメリカ経済(3)
【9】:金融構造とアメリカ経済(4)
【10】:第2次世界大戦から現代のアメリカ(1)
【11】:第2次世界大戦から現代のアメリカ(2)
【12】:第2次世界大戦から現代のアメリカ(3)
【13】:第2次世界大戦から現代のアメリカ(4)
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	

個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

授業で取り上げる論文については、事前に指示または配布するので、授業前までに精読してくること。
また、授業時には、報告・進行役でなくとも討論への積極的な参加が望まれます。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:30% 進行:30% 討論への参加:40%

テキスト / Textbooks

とくに指定しません。

参考文献 / Readings

鈴木圭介編『アメリカ経済史Ⅱ』東京大学出版会 1988
有賀 貞、大下 尚一、志邨 晃佑、平野 孝『アメリカ史〈1〉』山川出版社 1994
有賀 貞、大下 尚一、志邨 晃佑、平野 孝『アメリカ史〈2〉』山川出版社 1993
Stanley L. Engerman, Robert E. Gallman The Cambridge economic history of the United States 1-3 Cambridge University Press 1996～2000
谷口明丈・須藤功 編『現代アメリカ経済史』有斐閣 2017
授業で取り上げる論文については、履修者と相談のうえ、参考文献などから適宜選択し、事前に指示または配布します。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

高校までの歴史の知識があることが望ましいです。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

授業に関する連絡や授業資料の配布は、Canvas LMS を通じて行うので適宜閲覧するようにしてください。

その他 / Others

履修者は初回授業に必ず出席してください。止むを得ず欠席する場合は、Canvas LMS を通じて教員に連絡してください。

作成:2024/10/02
科目コード:KA211

日本経済史特論1

Special Lecture on Japanese Economic History 1
近現代日本の経済と経営

岡部　桂史(OKABE KEISHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA211
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA321 日本経済史特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「一般的ならびに専門的教養の上に，経済，経済政策，会計，経営を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」が実現するように，次の 3 点を目標とします。
1.日本経済史・経営史の基礎的な文献を理解する。
2.日本経済史・経営史の研究方法を獲得する。
3.日本経済史・経営史に基づくプレゼンテーション能力を獲得する。
Students will study universal and specialized subjects found in curriculum of Graduate School of Economics, “researching and understanding in depth general and specialized studies as well as economics, accountancy, and train one’s personality based on the Christian teaching and to contribute to cultural development”. Students will aim to achieve the following three points.
1. Students will understand basic literatures on Japan economic and management history.
2. Students will acquire research methods on Japan economic and management history.
3. Students will acquire ability to make presentations based on Japanese economic and management history.

授業の内容 / Course Contents

本授業では，近現代日本経済史，特に「産業史」研究の学術論文を複数輪読(音読)していきます。受講にあたって，明治以降の日本経済史に関する専門的知識や学習を求めませんが，指定論文について事前に精読し，固有名詞や歴史的背景を確認しておく必要があります。授業では輪読を進めながら，随時，担当教員と受講者でディスカッションを行い，理解を深めていきます。1 論文を輪読後に受講者に A4 用紙 1 枚程度のレポートを課し，授業内でフィードバックすることで，対象論文をさらに理解するようにします。
In this class, we will read academic papers on modern Japanese economic history, especially on ″industrial history. No specialized knowledge or study of Japanese economic history since the Meiji period is required for this course. However, students are expected to read the papers carefully in advance, and to confirm proper nouns and the historical background of the papers. In class, we will read the papers by turns, and at the same time, the instructor and students will discuss and deepen their understanding of the papers. After the reading, students will be required to write a report and feedback will be given in class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:日本経済史・経営史に関する文献輪読(1)
【3】:日本経済史・経営史に関する文献輪読(2)

【4】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(3)
【5】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(4)
【6】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(5)
【7】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(6)
【8】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(7)
【9】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(8)
【10】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(9)
【11】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(10)
【12】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(11)
【13】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(12)
【14】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(13)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

課題文献を精読し，論点をまとめる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:60% レポート:40%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

日本経済史に対する興味・関心

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

特になし

その他 / Others

【授業形態】授業では学生への質問も活発に行う予定なので，積極的な受講態度が期待される。
【課題に対するフィードバック】最終授業時に，全体に対するフィードバックを行う。

作成:2024/10/02
科目コード:KA212

日本経済史特論2

Special Lecture on Japanese Economic History 2
近現代日本の経済と経営

岡部　桂史(OKABE KEISHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA212
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA322 日本経済史特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「一般的ならびに専門的教養の上に，経済，経済政策，会計，経営を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」が実現するように，次の 3 点を目標とします。
1.日本経済史・経営史の基礎的な文献を理解する。
2.日本経済史・経営史の研究方法を獲得する。
3.日本経済史・経営史に基づくプレゼンテーション能力を獲得する。
Students will study universal and specialized subjects found in curriculum of Graduate School of Economics, “researching and understanding in depth general and specialized studies as well as economics, accountancy, and train one’s personality based on the Christian teaching and to contribute to cultural development”. Students will aim to achieve the following three points.
1. Students will understand basic literatures on Japan economic and management history.
2. Students will acquire research methods on Japan economic and management history.
3. Students will acquire ability to make presentations based on Japanese economic and management history.

授業の内容 / Course Contents

本授業では，近現代日本経済史，特に「産業史」研究の学術論文を複数輪読(音読)していきます。受講にあたって，明治以降の日本経済史に関する専門的知識や学習を求めませんが，指定論文について事前に精読し，固有名詞や歴史的背景を確認しておく必要があります。授業では輪読を進めながら，随時，担当教員と受講者でディスカッションを行い，理解を深めていきます。1 論文を輪読後に受講者に A4 用紙 1 枚程度のレポートを課し，授業内でフィードバックすることで，対象論文をさらに理解するようにします。
In this class, we will read academic papers on modern Japanese economic history, especially on ″industrial history. No specialized knowledge or study of Japanese economic history since the Meiji period is required for this course. However, students are expected to read the papers carefully in advance, and to confirm proper nouns and the historical background of the papers. In class, we will read the papers by turns, and at the same time, the instructor and students will discuss and deepen their understanding of the papers. After the reading, students will be required to write a report and feedback will be given in class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:日本経済史・経営史に関する文献輪読(1)
【3】:日本経済史・経営史に関する文献輪読(2)

【4】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(3)
【5】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(4)
【6】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(5)
【7】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(6)
【8】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(7)
【9】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(8)
【10】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(9)
【11】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(10)
【12】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(11)
【13】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(12)
【14】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(13)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

課題文献を精読し，論点をまとめる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:60% レポート:40%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

日本経済史に対する興味・関心

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

特になし

その他 / Others

【授業形態】授業では学生への質問も活発に行う予定なので，積極的な受講態度が期待される。
【課題に対するフィードバック】最終授業時に，全体に対するフィードバックを行う。

作成:2024/10/02
科目コード:KA213

ヨーロッパ経済史特論1

Special Lecture on Economic History of　Europe1
中世～近代のヨーロッパ商人と経済発展

菊池　雄太(KIKUCHI YUTA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA213
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA363 ヨーロッパ経済史特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

ヨーロッパ経済史に関する知識を獲得し，ヨーロッパ経済の構造について考察できるようになる。それに基づき，経済史研究における問題の所在や議論の枠組みを理解する。
Students will acquire knowledge on Europe economic history and be able to analyze its economic structure. Based on that, students will understand problems found in economic history researches and their discussion frameworks.

授業の内容 / Course Contents

社会・経済は，どのようにして発展するのでしょうか。この授業では，そのことを歴史的に考察・分析します。とくに注目するのは，商人・企業家が果たした役割です。商人・企業家は，人びとが求めるモノを調達し，商業で世界各地を結びつけ，また，さまざまな部門でイノヴェーションを引き起こします。
中世から近代にかけてのヨーロッパの商人について，英語を含む専門文献の精読を基に解説と議論を行います。
受講者は授業で与えられた課題(テーマに関する簡単なメモないしレジュメの作成，受講者の研究に関する自由発表)をこなすことが求められます。毎回何らかの課題が与えられます。
How society and economy develop? In this seminar, we consider and analyze this subject from the historical approaches. A special focus is put on the role of merchants/entrepreneuers. They procure products people demand, connect and integrate all parts of the world, create innovation in various economic sectors.
We argue the role of merchants/entrepreneur of Europe from the Middle Ages to the 19th century. Main topics will be "merchants/entrepreneur".
Students must complete assignments given in the class (create simple note or summary on these subjects or free research presentation). Professor will give assignment in every class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:中世ヨーロッパ商人／企業家の役割(1)
【3】:中世ヨーロッパ商人／企業家の役割(2)
【4】:中世ヨーロッパ商人／企業家の役割(3)
【5】:近世ヨーロッパ商人／企業家の役割(1)
【6】:近世ヨーロッパ商人／企業家の役割(2)
【7】:近世ヨーロッパ商人／企業家の役割(3)
【8】:近代ヨーロッパ商人／企業家の役割(1)
【9】:近代ヨーロッパ商人／企業家の役割(1)
【10】:近代ヨーロッパ商人／企業家の役割(2)

【11】:近代ヨーロッパ商人／企業家の役割(3)
【12】:受講者による自由発表と議論
【13】:受講者による自由発表と議論
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

文献(日本語・英語)を事前に指示あるいは配布します。それを授業前までに精読し，論点をまとめてくること。自由発表の準備を計画的に進めること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業への参加(事前準備・議論への参加):80% 発表:20%

テキスト / Textbooks

とくに指定しません。文献は授業中に適宜指示します。文献は英語のものを含みます。

参考文献 / Readings

ここではとくに指定しません。文献は授業中に適宜指示します。文献は英語のものを含みます。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

日本語が母国語でない場合は，大学授業レベルの日本語能力が求められます。それ以外は，特別な能力は求められません。ヨーロッパの歴史に関する予備知識がなくても，授業にしっかり取り組めば理解できる内容になっています。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

ノート PC またはタブレット端末

作成:2024/10/02
科目コード:KA214

ヨーロッパ経済史特論2

Special Lecture on Economic History of　Europe2
ハンザ史

菊池　雄太(KIKUCHI YUTA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA214
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA364 ヨーロッパ経済史特殊講義2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

「ハンザ」というテーマから，ヨーロッパ経済の地域的特徴を考察できるようになる。とくに制度やネットワークが経済発展に果たした役割について理解できるようになる。
Consider the regional characteristics from the perspective of the "Hanseatic History". Understand the role of institutions and networks for the economic development.

授業の内容 / Course Contents

「ハンザ」の歴史を学ぶことを通じて，ヨーロッパ経済の地域的・歴史的特徴とその発展過程を考察します。その際は，とくにハンザの制度やネットワークが果たした役割に注目します。
中世から近代にかけてのハンザ，またはハンザ都市およびハンザ商人の発展，衰退または構造変化について，英語を含む専門文献の精読を基に解説と議論を行います。
受講者は授業で与えられた課題(テーマに関する簡単なメモないしレジュメの作成，受講者の研究に関する自由発表)をこなすことが求められます。毎回何らかの課題が与えられます。
We consider the regional and historical characteristics of European economy and the process of its development through the history of the German Hanse. A special attention is put on the role of the institutions and networks of the Hanse.
We argue the historical development, decline, or structural change of the Hanse as well as Hanseatic cities and merchants, reading and discussing the relevant literature written in Japanese and English.
Students must complete assignments given in the class (create simple note or summary on these subjects or free research presentation). Professor will give assignment in every class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:ハンザ形成前の北海・バルト海地域(1)
【3】:ハンザ形成前の北海・バルト海地域(2)
【4】:ハンザの形成と興隆(1)
【5】:ハンザの形成と興隆(2)
【6】:ハンザの構造とハンザ経済(1)
【7】:ハンザの構造とハンザ経済(2)
【8】:ハンザの構造とハンザ経済(3)
【9】:ハンザの構造とハンザ経済(4)
【10】:ハンザの衰退をめぐって

【11】:近世・近代のハンザ(1)
【12】:近世・近代のハンザ(2)
【13】:近世・近代のハンザ(3)
【14】:まとめと研究発表

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

文献(日本語・英語)を事前に指示あるいは配布します。それを授業前までに精読し，論点をまとめてくること。自由発表の準備を計画的に進めること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業への参加(事前準備・議論への参加):80% 発表:20%

テキスト / Textbooks

とくに指定しません。文献は授業中に適宜指示します。文献は英語のものを含みます。

参考文献 / Readings

ここではとくに指定しません。文献は授業中に適宜指示します。文献は英語のものを含みます。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

日本語が母国語でない場合は，大学授業レベルの日本語能力が求められます。それ以外は，特別な能力は求められません。ヨーロッパの歴史に関する予備知識がなくても，授業にしっかり取り組めば理解できる内容になっています。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

ノート PC またはタブレット端末

作成:2024/10/02
科目コード:KA217

経営史特論1

Special Lecture on Business History 1
近現代日本経営史の探究

島西　智輝(SHIMANISHI TOMOKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA217
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA323 経営史特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

近現代日本経営史研究の方法と研究の現状を理解し、論評と討論ができる。
Students should become able to understand, critique and discuss methods of researching the business history of modern Japan and the current state of research in this field.

授業の内容 / Course Contents

近現代日本経営史の研究文献・論文を検討し、専門的知識と文章作成能力を身につける。
We will study literature and academic papers containing research on the business history of modern Japan, and students will develop specialized knowledge and writing skills.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(1)
【3】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(2)
【4】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(3)
【5】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(4)
【6】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(5)
【7】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(6)
【8】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(7)
【9】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(8)
【10】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(総括と討論)
【11】:文献検索の方法
【12】:資料検索の方法
【13】:文献・資料整理の実践
【14】:講義のまとめと夏期休暇に向けた研究指導

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	○
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

輪読の際は、事前に文献・論文を精読し、報告資料を準備する必要がある。
授業外の時間を利用して、先行研究を踏まえて文献・論文を検討する必要がある。
平均して毎日 60 分以上を事前・事後学習時間とすることを目安とする。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:50% 研究報告:50%

テキスト / Textbooks

履修者と相談の上、決定する。

参考文献 / Readings

授業中に適宜提示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA218

経営史特論2

Special Lecture on Business History 2
近現代日本経営史の探究

島西　智輝(SHIMANISHI TOMOKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA218
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA324 経営史特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

近現代日本経営史研究の方法と研究の現状を理解し、論評と討論ができる。
Students should become able to understand, critique and discuss methods of researching the business history of modern Japan and the current state of research in this field.

授業の内容 / Course Contents

近現代日本経営史の研究文献・論文を検討し、専門的知識と文章作成能力を身につける。
We will study literature and academic papers containing research on the business history of modern Japan, and students will develop specialized knowledge and writing skills.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(1)
【3】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(2)
【4】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(3)
【5】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(4)
【6】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(5)
【7】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(6)
【8】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(7)
【9】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(8)
【10】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(総括と討論)
【11】:文献検索の方法
【12】:資料検索の方法
【13】:文献・資料整理の実践
【14】:講義のまとめと春期休暇に向けた研究指導

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用	○	校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

輪読の際は、事前に文献・論文を精読し、報告資料を準備する必要がある。
授業外の時間を利用して、先行研究を踏まえて文献・論文を検討する必要がある。
平均して毎日 60 分以上を事前・事後学習時間とすることを目安とする。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:50% 研究報告:50%

テキスト / Textbooks

履修者と相談の上、決定する。

参考文献 / Readings

授業中に適宜提示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA221

東洋史特論1

Oriential History1
東西ユーラシアにおける瓔珞・宝飾の伝播に関する研究(方法論)

四日市　康博(YOKKAICHI YASUHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA221
授業形態	対面(全回対面)	授業形態(補足事項)	
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

瓔珞・宝飾を研究資料とした歴史研究の方法論を習得し、実際に研究を進める能力を身につける。
Students will acquire methodologies for historical research using Yingluo (ornaments of Buddhist origin) and jewellery as research materials, and acquire the ability to carry out actual research.

授業の内容 / Course Contents

瓔珞・宝飾をめぐる諸問題についてのこれまでの研究を検証し、学術研究の方法について学ぶ。授業はゼミ形式で実施。受講生による発表と討論、教員による講評と指導を組み合わせて進める。
受講者は、発表時に分担された対象論文を要約し、使用している史資料および参考文献をチェックしたうえで、その研究に対する批評をおこなうこと。
This course will be conducted in a seminar format. Student presentations and discussions will be combined with faculty review and guidance to facilitate this course. Students will examine previous research on Yingluo (ornaments of Buddhist origin) and report it.

授業計画 / Course Schedule

【1】:導論
【2】:資料実見・考察
【3】:資料実見・考察
【4】:先行研究に関する発表と討論
【5】:先行研究に関する発表と討論
【6】:先行研究に関する発表と討論
【7】:先行研究に関する発表と討論
【8】:資料実見・考察
【9】:資料実見・考察
【10】:先行研究に関する発表と討論
【11】:先行研究に関する発表と討論
【12】:先行研究に関する発表と討論
【13】:先行研究に関する発表と討論
【14】:授業総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	

個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

履修者は分担されたテーマに沿いながら先行研究の読解や史資料・参考文献の確認をおこなって発表準備をし、発表後には復習として発表内容の再検証をおこなう。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加態度（授業内での発表の内容、方法、準備状況、授業内での意見の提示状況など）:100%
履修者は1回以上の発表をおこなうこと。

テキスト / Textbooks

周琳 辽代璎珞佩饰研究 辽宁师范大学硕士论文 2011
王富松 辽代契丹族服饰研究 湖南工业大学硕士论文 2012
张晓艳 唐代外来宝石研究 西南大学硕士论文 2016
崔树增 《大正新修大藏经》所见唐代佛教典籍中的外来宝石研究 西南大学硕士论文 2018
李嘩 中原地区 4-6 世纪菩萨造像研究──以弥勒和观音为中心 南京艺术学院博士论文 2022

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

先行研究を収集・分析・理解・整理し、その上で新たな知見を提示する能力

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

ノートパソコンかタブレット、Miro(ホワイトボードアプリ)

作成:2024/10/02
科目コード:KA222

東洋史特論2

Oriential History2
東西ユーラシアにおける瓔珞・宝飾の伝播に関する発展研究(方法論)

四日市　康博(YOKKAICHI YASUHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA222
授業形態	対面(全回対面)	授業形態(補足事項)	
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

瓔珞・宝飾を研究資料とした歴史研究の方法論を習得し、実際に研究を進める能力を身につける。
Students will acquire methodologies for historical research using Yingluo (ornaments of Buddhist origin) and jewellery as research materials, and acquire the ability to carry out actual research.

授業の内容 / Course Contents

春学期に引続き、瓔珞・宝飾をめぐる諸問題についてのこれまでの研究を検証し、学術研究の方法について学ぶ。授業はゼミ形式で実施。受講生による発表と討論、教員による講評と指導を組み合わせて進める。
受講者は、発表時に分担された対象論文を要約し、使用している史資料および参考文献をチェックしたうえで、その研究に対する批評をおこなうこと。
This course will be conducted in a seminar format. Student presentations and discussions will be combined with faculty review and guidance to facilitate this course. Students will examine previous research on Yingluo (ornaments of Buddhist origin) and report it.

授業計画 / Course Schedule

【1】:導論
【2】:資料実見・考察
【3】:資料実見・考察
【4】:先行研究に関する発表と討論
【5】:先行研究に関する発表と討論
【6】:先行研究に関する発表と討論
【7】:先行研究に関する発表と討論
【8】:資料実見・考察
【9】:資料実見・考察
【10】:先行研究に関する発表と討論
【11】:先行研究に関する発表と討論
【12】:先行研究に関する発表と討論
【13】:先行研究に関する発表と討論
【14】:授業総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	

個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

履修者は分担されたテーマに沿いながら先行研究の読解や史資料・参考文献の確認をおこなって発表準備をし、発表後には復習として発表内容の再検証をおこなう。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加態度（授業内での発表の内容、方法、準備状況、授業内での意見の提示状況など）:100%
履修者は1回以上の発表をおこなうこと。

テキスト / Textbooks

卓未央 仙裳珠垂缕—敦煌莫高窟晚唐璎珞在当代首饰设计中的活化 中国美术学院硕士论文 2019
唐洁诗 北京法海寺壁画人物服饰璎珞的形制研究 中国美术学院硕士论文 2022
刘燕 唐代“金筐宝钿”工艺研究 北京服装学院硕士论文 2018
徐胭胭 图像的“翻译”：中古时期莫高窟菩萨璎珞的流变 艺术设计研究 2015
李婧杰 草原丝绸之路上东西方文化交流研究 文化交流 28 2021

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

先行研究を収集・分析・理解・整理し、その上で新たな知見を提示する能力

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

ノートパソコンかタブレット、Miro(ホワイトボードアプリ)

作成:2024/10/02
科目コード:KA223

西洋史特論1

Occidental History1

荒井　雅子(ARAI MASAKO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA223
授業形態	対面(全回対面)	授業形態(補足事項)	
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

自らの専門性に立脚しつつ、より広い歴史的文脈に自身の専門領域を置く視点を養う。そのために、専門性をより多くの人々と共有するための技能を習得する。

The purpose of this course is to help students develop a perspective that places their own expertise in a broader historical context. To this end, students will acquire the skills to share their area of expertise with a broad audience.

授業の内容 / Course Contents

履修生の研究・関心テーマについて確認したのち、履修生の専門以外の分野も含めて、幅広く研究論文を輪講します。近接諸地域や類似現象について理解することで、比較の視点を養いつつ、自身の専門性をより広い文脈に位置づけることを目指します。専門分野に限らず、幅広く現在の歴史学ではどのような研究がなされているのかを理解すること・伝えることをゴールとします。

After reviewing the students' research topics, the course will cover a wide range of research papers including topics outside of the students' field of research, in order to better understanding their own fields within larger contexts. By understanding neighboring regions and similar phenomena, students will develop the ability to employ a comparative perspective and place their own major within a broader context. The goal of the course is to provide students with an understanding of current research in a wide range historical, not limited to their own field of specialization.

授業計画 / Course Schedule

【1】:研究・関心テーマについての簡単な紹介、調査分野についての振り分け、文献の選定
【2】:文献講読(関連事項の発表)
【3】:文献講読(関連事項の発表)
【4】:文献講読(関連事項の発表)
【5】:文献講読(関連事項の発表)
【6】:文献講読(関連事項の発表)
【7】:文献講読(関連事項の発表)
【8】:文献講読(関連事項の発表)
【9】:文献講読(関連事項の発表)
【10】:文献講読(関連事項の発表)
【11】:文献講読(関連事項の発表)
【12】:文献講読(関連事項の発表)
【13】:文献講読(関連事項の発表)
【14】:プレゼン

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用	○	校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習に関する指示は、必要に応じて別途指示する。
各種研究会への参加を推奨する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 発表:50% リアクションペーパー:30% レポート:20%

テキスト / Textbooks

桃木至朗 市民のための歴史学 大阪大学出版会 2022 9784872597561

参考文献 / Readings

史学会 史学雑誌第 132 編 5 号 山川出版社 2023
『史学雑誌』各編 5 号(回顧と展望)、『岩波講座 世界歴史』を必要に応じて参照します。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

初回授業時に A4 1 枚程度のレジュメを準備し、自身の研究計画を報告できるようにしておくこと。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

パソコンまたはタブレット等

作成:2024/10/02
科目コード:KA224

西洋史特論2

Occidental History2
グローバル・フェミニズム史

小田原　琳(ODAWARA RIN)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA224
授業形態	対面(全回対面)	授業形態(補足事項)	
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

・フェミニズムの思想と実践について、グローバルな視点から学ぶ
・フェミニズムの多様な歴史について、基本的な知識を身につける
・歴史上のさまざまなフェミニズムに関する課題について議論する
・それぞれの問題関心と関連づけて議論する
- Learn about feminist thought and practice from a global perspective
- Acquire basic knowledge about the diverse history of feminism
- Discuss various issues related to feminism throughout history
- Discuss each issue in relation to your interests.

授業の内容 / Course Contents

・Lucy Delap, Feminisms: a global history (The University of Chicago Press, 2020)の講読と、受講生の研究課題との関連性を重視したディスカッションを行う
・各回の担当者 2 名は内容のレジュメ作成と議論のモデレートを行う
・受講生は期末に、それぞれの問題関心を主題と関連づけて研究発表を行う
- We will read Lucy Delap's Feminisms: A Global History (The University of Chicago Press, 2020) and discuss the relevance to the students' research questions.
- Two students in each session will make a resume of the content and moderate the discussion.
- The students will present on research topics related to the course theme at the term end.

授業計画 / Course Schedule

【1】:Introduction
【2】:1. Dreams
【3】:2. Ideas
【4】:3. Spaces
【5】:4. Objects
【6】:5. Looks
【7】:6. Feelings
【8】:7. Actions
【9】:8. Songs
【10】:Conclusion
【11】:受講生による研究発表
【12】:受講生による研究発表

【13】:受講生による研究発表
【14】:全体のふりかえり

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの予習、問題点の整理を行う

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% レジュメ作成:30% ディスカッションへの参加度:35% 研究発表:35% 最終レポート割合::0%最終テスト割合::0%

テキスト / Textbooks

初回授業で指示します。

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

英語のリーディング能力を必須とします。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

初回授業で指示します。

作成:2024/10/02
科目コード:KA225

現代経済史特論1

Special Lecture on Modern Economic History 1

西崎　純代(NISHIZAKI SUMIYO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA225
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン授業:4回、5回、9回、10回、14回目に行います。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5723
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

日本経済史を通し、①関連知識の習得、②研究手法と批判的分析力の獲得、③プレゼンテーションと討論参加のスキルを習得します。
[Knowledge] Students will acquire knowledge of major economic events in Japanese history, including its distinctive characteristics and features shared with other economies and their influence on contemporary Japan.
[Critical thinking skills] Students will develop critical thinking skills through historical cases.
[Presentation and discussion skills] Students will enhance their presentation skills and the ability to engage in constructive debates.

授業の内容 / Course Contents

近代から 21 世紀までの日本経済の歴史をたどり、知識習得、研究手法と批判的分析力の獲得、プレゼンテーションと討論関連のスキルの習得を目標とします。「現代経済史特論1」は、明治期から 1945 年までを、「現代経済史特論2」は、1945 年から 21 世紀までを扱います。授業内容は輪読、プロジェクト、小課題提出が中心です。プロジェクトは、歴史的なテーマをケースとして、批判的分析力を養うことを目的とし、エッセーまたはプレゼンテーションを提出します。
The course examines Japanese economic history from the modern era to the 21st century. The course is designed to develop research, critical analysis, presentation, and discussion skills. Modern Economic History 1 examines the period from the Meiji era to 1945, and Modern Economic History 2 discusses the period from 1945 to the 21st century. The course content includes lectures, readings, projects, and short assignments.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(1)
【3】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(2)
【4】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(3)
【5】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(4)
【6】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(5)
【7】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(6)
【8】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(7)
【9】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(8)
【10】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(9)
【11】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(10)
プレゼンテーション
【12】:日本経済史に関する輪読(明治維新から 1945 年まで)(11)

プレゼンテーション
【13】: 日本経済史に関する輪読（明治維新から 1945 年まで）(12)
プレゼンテーション
【14】: まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ（ﾊﾟﾜﾎﾟ等）の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

課題文献を事前に精読し、授業でのディスカッションに積極的に参加してください。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% プロジェクト（小論文）:50% プレゼンテーション:25% 小課題提出・発言点:25%

テキスト / Textbooks
参考文献 / Readings

アンドルー・ゴードン『日本の 200 年 新版 上』みすず書房 2013 9784622076964
アンドルー・ゴードン『日本の 200 年 新版 下』みすず書房 2013 9784622076971
伊藤隆敏 、星岳雄『日本経済論』東洋経済新報社 2023 9784492396742
N・グレゴリー・マンキュー（足立 英之，石川 城太，小川 英治，地主 敏樹訳）『マンキュー入門経済学(第 3 版)』東洋経済新報社 2019 9784492315217
その他参考文献は、授業時に指定します。

作成:2024/10/02
科目コード:KA226

現代経済史特論2

Special Lecture on Modern Economic History 2

西崎　純代(NISHIZAKI SUMIYO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA226
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン授業:4回、5回、9回、10回、14回目に行います。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5723
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

日本経済史を通し、①関連知識の習得、②研究手法と批判的分析力の獲得、③プレゼンテーションと討論参加のスキルを習得します。
[Knowledge] Students will acquire knowledge of major economic events in Japanese history, including its distinctive characteristics and features shared with other economies and their influence on contemporary Japan.
[Critical thinking skills] Students will develop critical thinking skills through historical cases.
[Presentation and discussion skills] Students will enhance their presentation skills and the ability to engage in constructive debates.

授業の内容 / Course Contents

近代から 21 世紀までの日本経済の歴史をたどり、知識習得、研究手法と批判的分析力の獲得、プレゼンテーションと討論関連のスキルの習得を目標とします。「現代経済史特論1」は、明治期から 1945 年までを、「現代経済史特論2」は、1945 年から 21 世紀までを扱います。授業内容は輪読、プロジェクト、小課題提出が中心です。プロジェクトは、歴史的なテーマをケースとして、批判的分析力を養うことを目的とし、エッセーまたはプレゼンテーションを提出します。
The course examines Japanese economic history from the modern era to the 21st century. The course is designed to develop research, critical analysis, presentation, and discussion skills. Modern Economic History 1 examines the period from the Meiji era to 1945, and Modern Economic History 2 discusses the period from 1945 to the 21st century. The course content includes lectures, readings, projects, and short assignments.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(1)
【3】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(2)
【4】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(3)
【5】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(4)
【6】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(5)
【7】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(6)
【8】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(7)
【9】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(8)
【10】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(9)
【11】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(10)
プレゼンテーション
【12】:日本経済史に関する輪読(1945 年から 21 世紀まで)(11)

プレゼンテーション
【13】: 日本経済史に関する輪読（1945 年から 21 世紀まで）(12)
プレゼンテーション
【14】: まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ（ﾊﾟﾜﾎﾟ等）の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

課題文献を事前に精読し、授業でのディスカッションに積極的に参加してください。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% プロジェクト（小論文）:50% プレゼンテーション:25% 小課題提出・発言点:25%

テキスト / Textbooks
参考文献 / Readings

アンドルー・ゴードン『日本の 200 年 新版 上』みすず書房 2013 9784622076964
アンドルー・ゴードン『日本の 200 年 新版 下』みすず書房 2013 9784622076971
伊藤隆敏 、星岳雄『日本経済論』東洋経済新報社 2023 9784492396742
N・グレゴリー・マンキュー（足立 英之，石川 城太，小川 英治，地主 敏樹訳）『マンキュー入門経済学(第 3 版)』東洋経済新報社 2019 9784492315217
その他参考文献は、授業時に指定します。

作成:2024/10/02
科目コード:KA301

経済政策特論1

Special Lecture on Economic Policies 1
グローバル資本主義の持続可能性と反グローバリズム政策の背景を探る

櫻井　公人(SAKURAI KIMIHITO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA301
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5520
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA325 経済政策特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

転機にあるグローバル資本主義は生き延びることができるのか。そのために必要な政策課題は何か。定義，歴史，多様性など，グローバリゼーションについて多次元的に理解する。また，反グローバリズムの政策背景を理解する。
Can global capitalism survive ? What policy issues does it need to cope with ?
To understand multi dimensions of globalization such as its definition, history and diversity.
To understand the background of anti-globalist economic policies.

授業の内容 / Course Contents

21 世紀の資本主義は転機にある。グローバル金融危機，情報技術革新，さらには資源・エネルギーにおける持続可能性が，反グローバリズムとポピュリズムのゆくえを左右するだろう。
金融化とカジノ資本主義化，マッド・マネー化のもたらした危機に，非伝統的な政策とグローバル金融規制で対処できるのか。「インダストリアル・インターネット」や「IoT」などのデジタル技術や AI が産業と雇用の構造を変え，失業・格差・貧困の構図をどう変えるのか。人口増加と水・食糧の需要など，資源・エネルギー面は持続可能か。今日の資本主義が抱えるグローバルな政策課題への対処のため，グローバリゼーションの起源にさかのぼって検討する。なお，テキストは 2023 年刊行の 6th edition を用いる。
21 century capitalism is now at the turning point. Global financial crisis, IT, sustainability of resource and energy will be at stake. We have also antiglobaism and populism. Can we cope with crises caused by financialization, casino capitalism, and 'mad money'? How do digital technologies such as industrial internet and I o T transform the structure of industry and labor ? Can we deal with population, water and food issues?　Explanations will be given from historical view with the origin of globalization to correspond to the global capitalism today.

授業計画 / Course Schedule

【1】:はじめに
Introduction
【2】:グローバリゼーションとは何か？
What is Globalization？
【3】:歴史の中のグローバリゼーション
Globalization in history
【4】:グローバリゼーションの経済的・テクノロジー的次元
The economic and technological dimension of globalization
【5】:グローバリゼーションの政治的次元ー国民国家のゆくえ，移民，EU
The political dimension of globalization

【6】:グローバリゼーションの文化的次元ーマクドナルド化, メディア, 言語
The cultural dimension of globalization
【7】:グローバリゼーションのエコロジー的次元
The ecological dimension of globalization
【8】:グローバリゼーションをめぐるイデオロギー対立
Ideologiical confrontations over globalization
【9】:ー市場派グローバリズム
market globalism
【10】:ー正義派グローバリズム
justice globalism
【11】:ー宗教派グローバリズム
religious globalism
【12】:反グローバリスズム, ポピュリズム, D トランプ
antiglobalist populism and D. Trump
【13】:現状と将来の傾向
Present and future trends
【14】:グローバリゼーションと政策対応
Globalization and policy response

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

講義前の事前準備は必須である。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 毎回の講義での報告:50% 講義への貢献度:30% 最終レポート割合::20%

テキスト / Textbooks

Manfred B. Steger Globalization 6th ed.: A Very Short Introduction Oxford U. P. 2023 0192886193
斉藤・古川編『分水嶺にたつ市場と社会』文眞堂 2020 9784830950766

参考文献 / Readings

S. ストレンジ『国家の退場』岩波書店 2011 9784000285155
斎藤修・古川純子編『分水嶺にたつ市場と社会』文眞堂 2020 9784830950766

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

英語を日本語にする能力を鍛えようという意志が求められる。当初つらくても、取り組みを続けることで、知らず知らずのうちに能力がついてくるはずである。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

テキストを購入し、ZOOM 接続できる環境を備えておくこと。

作成:2024/10/02
科目コード:KA302

経済政策特論2

Special Lecture on Economic Policies 2
経済危機への政策対応とグローバル経済史―資本主義の持続可能性と反グローバリズムに関する研究
Global economic history of policy responses to crisis－on sustainability of capitalism and anti-globalism

櫻井　公人(SAKURAI KIMIHITO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA302
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5520
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	－(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA326 経済政策特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

グローバル経済史と危機への政策対応の歴史を学ぶ。転機にある 21 世紀に資本主義が生き延びるために必要な政策課題は何か。定義，歴史，多様性を学びつつ，グローバル資本主義とその危機について理解する。
To understand global economic history and its crisis.
Can global capitalism survive in the age of transition?
What policy issues does it need to cope with ?
To understand crisis and multi dimensions of globalization such as its definition, history and diversity.

授業の内容 / Course Contents

21 世紀の資本主義は転機にある。グローバル金融危機，情報技術革新，さらには資源・エネルギーにおける持続可能性が，今後のゆくえを左右するだろう。ところが、世界システムの不安定性が増している。アメリカは，国内の分断に対処できずに信頼を失う一方で、中国は国内経済の停滞によりアメリカに追いつくことができない。
金融化とカジノ資本主義化，マッド・マネー化のもたらした危機に，非伝統的な政策とグローバル金融規制で対処できるのか。「インダストリアル・インターネット」や「IoT」などのデジタル技術や AI が産業と雇用の構造を変え，失業・格差・貧困の構図をどう変えるのか。人口増加と水・食糧の需要など，資源・エネルギー面は持続可能か。今日のグローバル資本主義の抱える多くの政策課題を，その起源にさかのぼって検討する(受講者との相談もふまえ，秋学期内容とどちらを先に行うかを決める)。
21 century capitalism is now at the turning point. Global financial crisis, IT, sustainability of resource an energy will be at stake. But USA is losing trust in its foreign policy because of divided domestic politics, while China can't catch up with USA because of stagnant domestic economy.
Can we cope with crises caused by financialization, casino capitalism, and 'mad money' ? How do digital technologies such as industrial internet and I o T transform the structure of industry and labor ? Can we deal with population, water and food issues?　Explanations will be given from the historical view with the origin of globalization to correspond to the global capitalism today.

授業計画 / Course Schedule

【1】:はじめに
【2】:What is capitalism?
【3】:資本主義とは何か
【4】:Where did capitalism come from?
【5】:資本主義はどこで生まれたのか

【6】:How did we get here?
【7】:こに至るまでの資本主義のあゆみと大きな分岐
【8】:Is capitalism everywhere the same?
【9】:資本主義の多様性？
【10】:Has capitalism gone global?
【11】:グローバル資本主義か資本主義のグローバル化か
【12】:Crisis? What crisis?
【13】:何が資本主義の危機なのか
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

講義前の事前準備は必須である。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 講義内での発表:50% 講義への貢献:30% 最終レポート割合::20%

テキスト / Textbooks

James Fulcher Capitalism 2nd ed.: A very Short Introduction Oxford U.P. 2015 9780198726074

参考文献 / Readings

斎藤修・古川純子編『分水嶺にたつ市場と社会』文眞堂 2020 年 9784830950766

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

ZOOM に接続できるデバイスと環境を用意すること。

作成:2024/10/02
科目コード:KA303

工業経済特論1

Special Lecture on Industrial Economics 1

菊池　航(KIKUCHI WATARU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA303
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA365 工業経済特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「一般的ならびに専門的教養の上に，経済，経済政策，会計，経営を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」を実現できるように，産業の理論・歴史・実態を学びます。
産業を分析対象とした研究は，重厚な蓄積を有しています。産業とは，個別企業と経済全体の中間に位置する広い概念であるため，積み重ねられた研究は多様です。工業経済特論1では，膨大であり多様な蓄積を有する産業研究のなかでも，主に，日本企業が高い国際競争力を有する自動車産業を対象とした実証研究を輪読します。
工業経済特論1では，次の2点を目標とします。
1．工業経済に関する基礎的な知識を獲得する。
2．工業経済の研究方法に関する基礎的な知識を獲得する。
Students will study the theory, history, and actual conditions of industry in order to realize the Graduate School of Economics' curricular policy: "On the basis of general and specialized education, study the economy, economic policy, accounting, and management, and pursue their depths, while cultivating character and contributing to the advancement of culture on the basis of Christianity.
There is wealth of cumulative researches that analyze industries. Industry refers to broad concept placed amidst individual company and overall economy. Because of that, there have been many cumulative researches. In Special Lecture on Industrial Economics 1, from large store of industrial researches, students select and read about empirical researches targeting Japanese automotive industry with large global competitive edge.

授業の内容 / Course Contents

輪読する論文の意義を理解するため，まず，Academy of Management Journal, Academy of Management Review などに掲載された定性的研究方法に関する論文を輪読します。その後，Enterprise & Society, Industrial and Corporate Change などに掲載された自動車産業を分析対象とした論文を輪読します。
Students will read articles on qualitative research methods published in the Academy of Management Journal, Academy of Management Review and other journals. In addition, we will also read papers on the automobile industry published in Enterprise & Societ and other journals.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション:工業経済特論1の課題
【2】:輪読:産業や企業を対象とした定性的研究の方法(1)
:Building Theories from Case Study Research
【3】:輪読:産業や企業を対象とした定性的研究の方法(2)
:Eisenhardt Method

【4】:輪読:産業や企業を対象とした定性的研究の方法(3)
:Understanding Historical Methods in Organization Studies
【5】:輪読:産業や企業を対象とした定性的研究の方法(4)
:Analyzing and Interpreting Historical Sources
【6】:輪読:産業や企業を対象とした定性的研究の方法(5)
:Oral History and Business History
【7】:輪読:産業や企業を対象とした定性的研究の方法(6)
:Oral History and Business History
【8】:輪読:自動車産業研究(1)
:Chinese government and automobile industry
【9】:輪読:自動車産業研究(2)
:Chinese government and automobile industry
【10】:輪読:自動車産業研究(3)
:Hierarchical Clusters
【11】:輪読:自動車産業研究(4)
:Hierarchical Clusters
【12】:輪読:自動車産業研究(5)
:Mirroring in production
【13】:輪読:自動車産業研究(6)
:Mirroring in production
【14】:まとめ:自動車産業の競争力とは

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

講義は，主に，英語論文の内容に関するディスカッションです。ディスカッションは日本語で行います。
十分な予習をしてから講義に臨んでください。
そのほか，授業時間外の学習に関する指示は，必要に応じて別途指示します。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 輪読の報告:40% ディスカッションへの貢献:60%

テキスト / Textbooks

初回講義に文献リストを配布します。

参考文献 / Readings

適宜，講義中に提示します。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

大学で学習する経営学の基礎的な知識を必要とします。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

輪読の報告(個人発表)に必要な提出物のやりとりは，Canvas LMS を通じて行ないます。

作成:2024/10/02
科目コード:KA304

工業経済特論2

Special Lecture on Industrial Economics 2

菊池　航(KIKUCHI WATARU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA304
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA366 工業経済特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「一般的ならびに専門的教養の上に，経済，経済政策，会計，経営を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」を実現できるように，産業の理論・歴史・実態を学びます。
産業を分析対象とした研究は，重厚な蓄積を有しています。産業とは，個別企業と経済全体の中間に位置する広い概念であるため，積み重ねられた研究は多様です。工業経済特論2では，膨大であり多様な蓄積を有する産業研究のなかでも，デザインやブランドに着目した実証研究を輪読します。
工業経済特論2では，次の2点を目標とします。
1．工業経済に関する基礎的な知識を獲得する。
2．工業経済の研究方法に関する基礎的な知識を獲得する。
Students will study the theory, history, and actual conditions of industry in order to realize the Graduate School of Economics' curricular policy: "On the basis of general and specialized education, study the economy, economic policy, accounting, and management, and pursue their depths, while cultivating character and contributing to the advancement of culture on the basis of Christianity.
There is wealth of cumulative researches that analyze industries. Industry refers to broad concept placed amidst individual company and overall economy. Because of that, there have been many cumulative researches. In Industrial Economics 2, students will read through empirical studies focusing on design and brands.

授業の内容 / Course Contents

輪読する論文の意義を理解するため，まず，Research Policy，Journal of Brand Management などに掲載されたデザインマネジメントやブランドマネジメントに関する論文を輪読します。その後，Business History などに掲載された特定の産業を分析対象とした論文を輪読します。
Students will first read articles on design management and brand management published in Research Policy, Journal of Brand Management, and other journals. After that, we will read papers on specific industries published in Business History, etc. in order to understand the significance of the papers.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション:工業経済特論 2 の課題
【2】:輪読:デザインマネジメント(1)
:Design, innovation, boundaries of the firm
【3】:輪読:デザインマネジメント(2)
:Design, innovation, boundaries of the firm
【4】:輪読:ブランドマネジメント(1)

:What is a luxury brand?
【5】:輪読:ブランドマネジメント(2)
:Luxury brand marketing
【6】:輪読:産業研究(1)
:European luxury big business
【7】:輪読:産業研究(2)
:European luxury big business
【8】:輪読:産業研究(3)
:Transformation of global luxury brands
【9】:輪読:産業研究(4)
:Transformation of global luxury brands
【10】:輪読:産業研究(5)
:Role of history in corporate brand strategy
【11】:輪読:産業研究(6)
:Role of history in corporate brand strategy
【12】:輪読:産業研究(7)
:Governance of Global Value Chains
【13】:輪読:産業研究(8)
:Governance of Global Value Chains
【14】:まとめ:産業の競争力とは

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

講義は，主に，英語論文の内容に関するディスカッションです。ディスカッションは日本語で行います。
十分な予習をしてから講義に臨んでください。
そのほか，授業時間外の学習に関する指示は，必要に応じて別途指示します。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 輪読の報告:40% ディスカッションへの貢献:60%

テキスト / Textbooks

初回講義に文献リストを配布します。

参考文献 / Readings

適宜，講義中に提示します。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

大学で学習する経営学の基礎的な知識を必要とします。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

輪読の報告(個人発表)に必要な提出物のやりとりは，Canvas LMS を通じて行ないます。

作成:2024/10/02
科目コード:KA305

農業政策特論1

Special Lecture on Agricultural Policies 1

大山　利男(OYAMA TOSHIO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA305
授業形態	対面(全回対面)	授業形態(補足事項)	
校地	池袋	学期	秋学期 1
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

農業および関連産業についてフードシステム学の視点から把握し理解する。そのため，品目ごとの農産物・食品流通の実態，さまざまな付加価値を生み出すフードチェーンおよび関連作業の実態，表示・認証制度等の意義について検証し議論する。

To understand agriculture and related industries from the perspective of food system approach, students will examine and discuss the actual status of agricultural production and food distribution systems by each item, the actual status of food chains and related operations that create various added values, and the labeling and certification systems.

授業の内容 / Course Contents

農業では，生産から消費にいたるバリューチェーンの構築が鍵となっている。また関連産業がさまざまに展開することで多くのビジネス機会を生み出している。一方でグローバル化を指向することがあるが，他方でローカル化が強みとなり高い価値を生み出している。本授業では，農業および関連産業の動向をフードシステムの視点でとらえ，課題や論点について検討し議論する。

In agriculture, building a value chain from farm to table is a key to success. In addition, many related food industries is creating many business opportunities. On the one hand, they are oriented towards globalization, but on the other hand, they are oriented towards localization, which is their strength and creates high value. In this course, students will examine trends in agriculture and related industries from a food system perspective, and understand actual issues.

授業計画 / Course Schedule

【1】:農産物市場の特性(1)
【2】:農産物市場の特性(2)
【3】:食品産業とフードシステム(1)
農業関連企業によるインテグレーション
【4】:食品産業とフードシステム(2)
食品産業の発展とフードチェーン
【5】:品質とは何か
品質属性，付加価値，付加的サービスなど
【6】:情報の不完全と表示(1)
食品市場における情報の不完全
【7】:情報の不完全と表示(2)
品質・安全をめぐるモラルハザード問題
【8】:食のリスク管理(1)
【9】:食のリスク管理(2)
【10】:表示制度と認証(1)

【11】:表示制度と認証(2)
【12】:地理的表示と地域ブランド(1)
【13】:地理的表示と地域ブランド(2)
【14】:地理的表示と地域ブランド(3)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

Canvas LMS にて随時指示するので，確認のうえ準備学習すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:40% 授業時の発表:30% 授業時のレポート:30%

テキスト / Textbooks

授業時に随時指示する。

参考文献 / Readings

注意事項

本科目では、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

作成:2024/10/02
科目コード:KA306

農業政策特論2

Special Lecture on Agricultural Policies 2

大山　利男(OYAMA TOSHIO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA306
授業形態	対面(全回対面)	授業形態(補足事項)	
校地	池袋	学期	秋学期 2
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

農業は，各地域に特有の立地条件，気候条件の違いにより，多様な経営形態・生産技術が展開している。もっとも一般的な家族経営(自営業，家業として)は歴史的にそれなりの必然と有利点があったが，今日では課題が少なくない。本授業では，農業部門におけるそのような特殊性と一般性を検討するとともに，法人による農業参入の課題，食品産業との関係性構築について議論する。

In agriculture, a variety of farm management and production techniques are developed due to differences in location and climate conditions specific to each region. The most common type of family business (family business) has historically had certain advantages and disadvantages, but today it faces many challenges. In this course, we will examine the particularities and generalities of the agricultural sector, as well as discuss the challenges of corporations entering agriculture and building relationships with the food industry.

授業の内容 / Course Contents

農業経営は多様化が進んでいるものの，先進国ではひきつづき家族農業が主流である。その特質と課題は何かを考える。また，農業はさまざまな関連産業とも結びつきやすく多くのビジネス機会を提供しており，その特徴と可能性を考える。とくにローカル化に強みをもつ農業者，事業者が多いのがひきつづき特徴となっているが，近年では輸出志向の事業者が増えている。本授業では，企業等による農業参入の実態，経営・マーケティングの課題等について考察する。

Although agricultural management is diversifying, family farming continues to be the mainstream in developed countries. In addition, agriculture is often connected to various related industries and provides many business opportunities. So, we will consider its characteristics and possibilities. In the many of countries, there are many farmers and businesses that have a particular strength in localization, but in recent years there has been an increase in the number of export-oriented businesses. In this course, we will consider the actual state of companies' entry into agriculture, management and marketing issues, etc.

授業計画 / Course Schedule

【1】:農業経営の特殊性(1)
家族経営と法人経営
【2】:農業経営の特殊性(2)
家族経営と法人経営
【3】:農業の外部経済効果(1)
農業における多面的機能論
【4】:農業の外部経済効果(2)
農業と地域活性化
【5】:農業の外部経済効果(3)

農業の 6 次産業化とは
【6】:異業種からの農業参入(1)
【7】:異業種からの農業参入(2)
【8】:異業種からの農業参入(3)
【9】:農業と食品産業の連携(1)
【10】:農業と食品産業の連携(2)
【11】:農業と食品産業の連携(3)
【12】:マーケティングと情報・表示制度(1)
生産情報の重要性
【13】:マーケティングと情報・表示制度(2)
ラベル表示に関する規制と活用
【14】:マーケティングと情報・表示制度(3)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

Canvas LMS にて随時指示するので, 確認のうえ準備学習すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:40% 授業時の発表:30% 授業時のレポート:30%

テキスト / Textbooks

授業時に随時指示する。

参考文献 / Readings

注意事項

本科目では、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

作成:2024/10/02
科目コード:KA307

世界経済特論1

Special Lecture on the Global Economies1
EU の経済政策について学ぶ

蓮見　雄(HASUMI YU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA307
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA327 世界経済特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

欧州連合(EU)の産業政策と通商政策について学ぶ
Students will learn about the industrial policy and the trade policy of the European Union (EU) .

授業の内容 / Course Contents

欧州連合(EU)は、グローバルな競争力がありグリーンでデジタルなヨーロッパを目指す新産業戦略を実現するために、通商政策を進めている。そこで、この講義では、EU の産業政策、通商政策、及び日本、中国、ロシア、その他諸国との経済関係について EU の一次資料(英文)を輪読する。成績評価は、提出されたレポートに基づく。
The European Union (EU) is pursuing the trade policy to realize A New Industrial Strategy for a global competitive, green and digital Europe. In this lecture, we will read the primary source on EU industrial policy, trade policy, and economic relations with Japan,China,Russia and others. Grading is based on the submitted report.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【3】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【4】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【5】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【6】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【7】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【8】:レポート作成の構想検討会
【9】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【10】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【11】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【12】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【13】:EU 通商政策関連の資料・文献(英文)を読む。
【14】:レポート作成の構想検討会

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

履修の前提として、課題となる文献・資料を必ず読んで、予習をすること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

レポート試験 :60%
平常点割合 :40%　　最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks
参考文献 / Readings

ブラッドフォード『ブリュッセル効果 EU の覇権戦略:いかに世界を支配しているのか』白水社 2022 9784560098936
蓮見雄・高屋定美編著『欧州グリーンでディールと EU 経済の復興』文眞堂 2023 9784830952210
欧州連合（EU） https://europa.eu/european-union/index_en
EU MAG http://eumag.jp/
https://www.jetro.go.jp/world/europe/eu/epa/
https://ec.europa.eu/trade/

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

ノート PC

作成:2024/10/02
科目コード:KA308

世界経済特論2

Special Lecture on the Global Economies2
ロシア経済について学ぶ

蓮見　雄(HASUMI YU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA308
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA328 世界経済特殊講義2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

ロシアの産業政策と通商政策について学ぶ
Students will learn about the industrial policy and the trade policy of Russia.

授業の内容 / Course Contents

G7 や EU による経済制裁下において、ロシアは、大西洋からアジア太平洋へのパワーシフトに適応する通商政策(東方シフト)を進めている。そこで、この講義では、ロシアの産業政策、通商政策、及び日本、中国、EU,その他諸国との経済関係について外国語文献(英語あるいはロシア語)の資料を輪読する。成績評価は、提出されたレポートに基づく。
Under economic sanctions by the G7 and the EU, Russia is pursuing the trade policy that adapts to the power shift from the Atlantic to the Asia-Pacific(Eastward Shift). In this lecture, we will read papers on Russia's industrial policy, trade policy,and economic relations with Japan,China,the EU and others. Grading is based on the submitted report.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【2】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【3】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【4】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【5】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【6】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【7】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【8】:レポート作成の構想検討会
【9】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【10】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【11】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【12】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【13】:ロシアの通商政策関連の資料・文献(英文あるいはロシア語)を読む。
【14】:レポート作成の構想検討会

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

履修の前提として、課題となる文献・資料を必ず読んで、予習をすること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

レポート試験 :60%
平常点割合 :40%　　最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks
参考文献 / Readings

Marek Dabrowski The Contemporary Russian Economy: A Comprehensive Analysis Palgrave Macmillan 2023 9783031173813
Imogen Sophie Kristin Wade Innovation and Modernisation in Contemporary Russia Routledge 2024 9781032187808
青島顕 『MOCT「ソ連」を伝えたモスクワ放送の日本人』 集英社 2023 9784087817478
ホダルコフスキー 『ロシアの二〇世紀』 藤原書店 2023 9784865783827
加藤学 『ウクライナ侵攻『地政学×地経学』の衝撃 ～領土、エネルギー、脱炭素、3つの戦い』 アメージング出版 9784910782799
Oxford Economics,Country Economic Forecasts https://my.oxfordeconomics.com/reports?cat0=2341
https://www.bofit.fi/en/
https://cbr.ru/eng/

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

ロシアに関する基礎知識

作成:2024/10/02
科目コード:KA311

外国貿易特論1

Special Lecture on Foreign Trade 1
貿易の基礎・歴史・現代的課題

石田　周(ISHIDA AMANE)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA311
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

貿易の理論や政策、歴史、現代的課題について理解し、その内容を具体的に説明できるようになること。
Students will be able to explain the theory, policy, history and contemporary issues of trade in detail.

授業の内容 / Course Contents

貿易に関するテキストの輪読を行う。輪読を通じて、まず貿易の理論、政策、実務についての基本について解説する。次に、国際貿易の歴史について検討する。最後に、特定分野に関する貿易の現代的な課題について議論する。
Through the reading of texts on trade, the basics of trade theory, policy and practice are first explained. Next, the history of international trade will be examined. Finally, contemporary issues of trade in relation to specific sectors will be discussed.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:貿易の理論
【3】:貿易に関連する政策
【4】:貿易に関わる実務
【5】:国際収支と外国為替
【6】:大航海時代以降の貿易の歴史
【7】:IMF と GATT
【8】:多国籍企業と直接投資
【9】:WTO
【10】:地域主義と地域貿易協定
【11】:サービス貿易、人の移動、環境
【12】:貿易と開発
【13】:資源貿易
【14】:日本の貿易

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	

上記いずれも用いない予定	

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

予習として、テキストを事前に読了し、報告担当者はレジュメを作成すること。また、復習として、講義内での議論を振り返りつつ、テキストとレジュメを見直すこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 担当箇所のレジュメ作成:60% 毎回の議論等への参加度:40%

テキスト / Textbooks

小林尚朗・篠原敏彦・所康弘（編）『貿易入門（第 2 版）』 大月書店 2023

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:KA312

外国貿易特論2

Special Lecture on Foreign Trade 2
欧州連合(EU)における貿易とその政策

石田　周(ISHIDA AMANE)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA312
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

EU における貿易とそれに関連する政策の展開について、具体的に説明できるようになること。
Students will be able to explain in detail the development of trade and related policies in the EU.

授業の内容 / Course Contents

授業計画で提示した各テーマに関わる資料を事前に提示し、それらの資料の輪読を通じて、EU における貿易や貿易政策の歴史的展開と現代的な問題について検討を行う。
Texts and papers related to each of the themes presented in the course schedule will be presented in advance of the course. Through the reading of these texts and papers, the historical development and contemporary issues of trade and trade policy in the EU will then be examined.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:マーシャルプラン
【3】:IMF と EPA
【4】:欧州石炭鉄鋼共同体
【5】:関税同盟
【6】:共通農業政策
【7】:通貨協力からユーロへ
【8】:EU 域内市場の形成
【9】:EU 域内の貿易不均衡
【10】:BREXIT
【11】:対外通商政策①
【12】:対外通商政策②
【13】:EU と経済制裁
【14】:EU と経済安全保障

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	

上記いずれも用いない予定	

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

予習として、指定される資料を事前に読了し、報告担当者はレジュメを作成すること。また、復習として、講義内での議論を振り返りつつ、資料とレジュメを見直すこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 担当箇所のレジュメ作成:60% 毎回の議論等への参加度:40%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治(編)『現代ヨーロッパ経済(第 6 版)』有斐閣 2022

本田雅子・山本いづみ(編)『EU 経済入門(第 2 版)』文眞堂 2022

作成:2024/10/02
科目コード:KA313

社会政策特論1

Special Lecture on Social Policies 1
イノベーティブ福祉国家としてのデンマークの社会経済構造分析
(Analysis on socio-economic structure of Denmark as an innovative welfare state)

菅沼　隆(SUGANUMA TAKASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA313
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5520
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA331 社会政策特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

福祉国家の 21 世紀的形態である「イノベーティブ福祉国家」システムを、労使のパートナーシップのもとでの職業と教育に着目して構造を分析し、日本への示唆を得る。
The "Innovative Welfare State" is the 21st century form of the welfare state. To analyze its structure, we will study labor-management relations and vocational training under labor-management partnership.

授業の内容 / Course Contents

イノベーティブ福祉国家は「福祉国家の諸制度・諸価値によりイノベーティブな人材や組織が促進され、イノベーションが誘発されやすい国家」と定義できる。北欧諸国はイノベーティブ福祉国家のモデルになりうる国である。特にデンマークは発達した職業訓練制度、高い労使のパートナーシップ、小さい社会的格差という点でモデル国にふさわしい。日本の「新しい資本主義」が「成長と分配の好循環」を目標に掲げているが、そのモデルを提供している。春学期は、まず、日本の「新しい資本主義」の概念を吟味し、また、日本の職業訓練制度に関する研究論文を確認する。次いで、デンマークの職業訓練政策に関する論文を読む。
Innovative welfare states can be defined as "states in which the institutions and values of the welfare state promote innovative human resources and organizations, and in which innovation is easily induced. The Nordic countries can serve as models for innovative welfare states. Denmark, in particular, is a good model in terms of its well-developed vocational training system, high level of labor-management partnership, and small social disparities. It offers a model for Japan's "new capitalism," whose goal is a "virtuous circle of growth and distribution. In the spring semester, we will first examine the concept of Japan's "new capitalism" and also review research papers on Japan's vocational training system. Next, we will read a paper on Danish vocational training policy.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:新しい資本主義実現会議政策文書分析(1)
【3】:新しい資本主義実現会議政策文書分析(2)
【4】:日本の職業訓練システム概観
【5】:ヨーロッパの社会的パートナーシップ
【6】:ヨーロッパの社会的パートナーシップ
【7】:Social Partnership and Employment Relations(英語文献)
【8】:Social Partnership and Employment Relations(英語文献)
【9】:Socia Partnership(英語文献)

【10】:Social Partnership(英語文献)
【11】:Vocational Education(英語文献)
【12】:Vocational Education(英語文献)
【13】:Nordic Vocational Education System(英語文献)
【14】:Nordic Vocational Education System(英語文献)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

指定した論文を予め読み、関係情報を収集した上で、授業に参加していただく。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告とディスカッション:100%

テキスト / Textbooks

Svein Michelsen, et. al. Vocational Education in the Nordic Countries Routledge 2020 9781315411811
中野聡『社会的パートナーシップ』日本評論社 2018 9784535559134
James Arrowsmith, et.al. The Transformation of Employment Relations in Europe Routledge 2013 9780415875936
Ulf Blossing et.al. The Nordic Education Model Springer 2014 9789400771253
浅見和彦『労使関係論とはなにか』旬報社 2021 9784845116997
上記はテキストの例である。日本語の論文を取り上げることもある。受講者の問題意識に基づいて選定する。

参考文献 / Readings

クラウス・ペーターセン他『北欧福祉国家は持続可能か』ミネルヴァ書房 2017 9784623075355
斉藤弥生、石黒暢『北欧』旬報社 2019 9784845115976
佐野利男『女神フライアが愛した国』東海大学出版社 2017 9784486021629
Torben M.Andersen.et.al. The Danish Economy in a Global Context Djoef Publishing 2017 9788757436358

作成:2024/10/02
科目コード:KA314

社会政策特論2

Special Lecture on Social Policies 2
イノベーティブ福祉国家としてのデンマークの社会経済構造分析
(Analysis on socio-economic structure of Denmark as an innovative welfare state)

菅沼　隆(SUGANUMA TAKASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA314
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5520
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA332 社会政策特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

デンマークのイノベーションシステムについて、企業と職場と公共部門に注目して、学究型職場、従業員主導のイノベーション、公共部門のイノベーションの具体的な内容について理解することを目的とする。
The aim of the seminar is to understand the Danish innovation system, with a focus on companies, workplaces and the public sector, and the specifics of academic workplaces, employee-led innovation and public sector innovation.

授業の内容 / Course Contents

秋学期は、職場、企業、自治体、研究機関でどのようにイノベーティブな活動が行われているのか、を知る研究論文を読んでいく。デンマークのイノベーションシステムの最先端の研究動向を扱う。
The project deals with cutting-edge research trends in the Danish innovation system. Focusing on government policies, the research will study innovation in general, digital policies, and green policies.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:Learning Factories, Learning Economy (学究企業、学究経済)
【3】:Learning Factories, Learning Economy (学究企業、学究経済)
【4】:Employee Driven Innovation(従業員主導のイノベーション)
【5】:Employee Driven Innovation(従業員主導のイノベーション)
【6】:Employee Driven Innovation(従業員主導のイノベーション)
【7】:Innovative Companies(イノベーティブな企業)
【8】:Innovative Companies(イノベーティブな企業)
【9】:Innovative Companies(イノベーティブな企業)
【10】:Innovative Companies(イノベーティブな企業)
【11】:Collaborative Innovation in the Public Sector(公共部門における共同的イノベーション)
【12】:Collaborative Innovation in the Public Sector(公共部門における共同的イノベーション)
【13】:Collaborative Innovation in the Public Sector(公共部門における共同的イノベーション)
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	

個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

指定した論文を予め読み、関係情報を収集した上で、授業に参加していただく。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告とディスカッション:100%

テキスト / Textbooks

Halvor Holtskog Learning Factories Palgrave Macmillan 2018 9783319824567
Jacob Torfing Collaborative Innovation Georgetown University Press 2016 9781626163614
Nicolai J. Foss Innovating Orgnization & Management Cambridge 2012 9781107011052
Peter Oeij, et.al. Workplace Innovation Springer 2017 9783319858876
Nora Rathzel, et.al Trade Unions in th Green Economy earthscan 2013 9781849714648
上記はテキストの例である。日本語の論文を取り上げることもある。受講者の問題意識に基づいて選定する。

参考文献 / Readings

Bent Greve Den sociale og innovative velfaerdsstat Hans Reitzel 2015 9788741261065
Mazzucato The entrepreneurial state : debunking public vs. private sector myths Anthem 2013 9780857282521
Augustin K. Fosu Development success : historical accounts from more advanced countries Oxford Univ. 2013 9780199660704
豊泉周治『幸福のための社会学－日本とデンマークの間』星雲社 2021 9784434292644
Francis Fukuyama Political order and political decay : from the industrial revolution to the globalization of democracy Farrar, Straus and Giroux 2014 9780374227357
Ove Kaj Pedersen Konkurrencestaten Hans Reitzel 2011 9788741251561
he Observatory of Public Sector Innovation in OECD Directorate for Public Governance Public Sector Innovation Scan of Denmark OECD 2021

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

Zoom と Slack を使用するので PC が必要である。

作成:2024/10/02
科目コード:KA315

労働経済特論1

Special Lecture on Labor Economics 1
日本の労使関係・雇用慣行

首藤　若菜(SHUTO WAKANA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA315
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA333 労働経済特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

日本の労使関係・雇用慣行について，その特質，形成過程を理解したうえで，今日の変化を議論する。
Students will understand characteristics and formation process of labor-employment relationship and employment practice in Japan. They will also discuss current changes.

授業の内容 / Course Contents

かつて日本の国際競争力を牽引してきたとされる日本型雇用慣行は，今日，大きく揺らいでいる。有期雇用者や短時間労働者の増加，職務給や成果・業績給制度の導入がすすむなか，長期に安定した雇用や年功型の賃金体系は，過去の産物として語られることが多い。本講義では，まず日本的雇用システムとは何であったのかについて，その形成過程から論じ，そこに内包されてきた問題を検討する。同時に，賃金制度，技能育成のあり方，労使関係について，先進諸外国の実態と比較することで，日本的特質を明らかにする。そのうえで，今日，日本型雇用慣行が質的にどう変わりつつあるのかを議論し，今後の労使関係，雇用慣行を展望する。
Previously Japanese employment practice has contributed greatly to Japan's international competitiveness, but its balance is being upset. Due to increase of fixed-term and short-term employees, companies introduce performance-based or evaluation/result-based pays. Many people state that stable long-term employment and seniority system are legacy of the past. In this class, students will discuss previous Japanese employment system's essence, formation, and issues it brought. At the same time, students will compare Japan with other developed nations in terms of salary system, skill cultivation, and labor-employment relationship to clarify characteristics found in Japan. Furthermore, students will discuss gradual qualitative changes in Japanese employment practice and forecast future labor-employment relationship and employment practice.

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション
【2】:参加者による報告，議論(1)
【3】:参加者による報告，議論(2)
【4】:参加者による報告，議論(3)
【5】:参加者による報告，議論(4)
【6】:参加者による報告，議論(5)
【7】:参加者による報告，議論(6)
【8】:参加者による報告，議論(7)
【9】:参加者による報告，議論(8)
【10】:参加者による報告，議論(9)

【11】:参加者による報告，議論(10)
【12】:参加者による報告，議論(11)
【13】:参加者による報告，議論(12)
【14】:全体総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

講義のなかで適宜指示する

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告および発言を総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

テキストは参加者と相談して決める。

参考文献 / Readings

講義のなかで適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA316

労働経済特論2

Special Lecture on Labor Economics 2
グローバル化と労使関係の変化

首藤　若菜(SHUTO WAKANA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA316
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA334 労働経済特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

グローバル化に対応した労使関係の枠組みについて議論し，理解を深める。
Students will deepen their understanding by discussing globalized labor-employment relationship framework.

授業の内容 / Course Contents

経営のグローバル化が進展する一方で，労働組合による国際連帯の強化が叫ばれて久しいが，日本の多くの労働組合は，未だ一国的な活動にとどまっている。本講義では，企業のグローバル化と労働組合の一国的運動という労使間のズレが何をもたらすのか，議論する。そのうえで，欧州を中心に，多国籍企業に対する社会的規制や労働組合のネットワークの拡大のケースを考察し，グローバル化に対応した労使関係のあり方を検討したい。
As globalization of management is progressing, labor unions are called to fortify their international solidarity. Nevertheless, many Japanese labor unions are still active only in Japan. In this class, students will discuss countrywide labor-employment gap between globalization of corporations and stagnated globalization of labor unions. In addition, students will focus on Europe when analyzing social regulations on multi-national corporations and labor unions' expanding network. Students will discuss about how the labor-employment relationship in response to globalization should be.

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション
【2】:参加者による報告，議論(1)
【3】:参加者による報告，議論(2)
【4】:参加者による報告，議論(3)
【5】:参加者による報告，議論(4)
【6】:参加者による報告，議論(5)
【7】:参加者による報告，議論(6)
【8】:参加者による報告，議論(7)
【9】:参加者による報告，議論(8)
【10】:参加者による報告，議論(9)
【11】:参加者による報告，議論(10)
【12】:参加者による報告，議論(11)
【13】:参加者による報告，議論(12)
【14】:全体総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業のなかで適宜指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告および発言を総合的に評価する:100%

テキスト / Textbooks

テキストは参加者と相談して決める。

参考文献 / Readings

授業のなかで適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA317

中小企業特論1

Special Lecture on Small Business Problems and Studies 1

遠山　恭司(TOYAMA KYOJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA317
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5820
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA335 中小企業特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

日本経済におけるものづくり中小企業の理論・実態を踏まえて、グローバル化する経済構造と分業体制、研究開発や知財連携、市場創造など、産業競争力基盤を体系的に理解し、政策的含意を抽出する能力を身につける。
Students will consider theories and current states of SMEs and Monozukuri corporations in Japanese economy. Students will understand systematically foundation of industrial competitive edge and be able to extract its political significance. These subjects include globalized economic structure, system of division of labor, R&D, intellectual collaboration, and market creation.

授業の内容 / Course Contents

日本産業の国際競争力が問われて久しい。全国の企業数、事業所数は減少傾向にあるが、付加価値を増大させ、あるいは海外とのネットワーク形成で雇用を維持している分野や地域も存在する。本講では、港徹雄著『日本のものづくり　競争力基盤の変遷』日本経済新聞出版社を取り上げ、各章ごとに輪読形式で日本のものづくり産業の競争力基盤を考察していく。
受講者は、各章を読むだけではなく、そこで示されている参考文献や関連する複数の論文をあわせて読み込んで、毎回、レジメ形式にて報告と討論を行う。ものづくりの思想と方法に日本企業の競争力を見いだす議論が多いが、ここでは分業の効率化からR＆D型プロダクトイノベーションへの競争要因シフトを提示している。こうした論理を複眼的で多角的に検討し、中小企業・ベンチャー企業の存立基盤と役割、政策課題を考察する。
Since long ago, many people have been questioning international competitiveness of Japanese industries. Nationwide corporations and businesses are decreasing. Some sectors and regions sustain their employment by increasing their added value or forming network with foreign countries. Students will study Japanese Monozukuri: Changing Competitive Edge (Nikkei Publishing) by Tetsuo Minato. Students will read each chapter and analyze foundation of competitive edge Japanese Monozukuri industry .
Students will read not only each chapter, but also reference literatures and several related papers shown. Each time, students will submit summary report and participate in discussion. Many people sought Japanese corporation competitive edge in Monozukuri thinking and method. Here, students will see shifting competition factor from more efficient labor division to R&D product innovation. Students will discuss these theories from multiple perspectives and angles. In addition to political issues, students will consider existential foundation of SMEs, Business Vuntures and their roles.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:競争力基盤と国際分業
【3】:分業システム転換と国際競争力

【4】:分業システム転換と世界不況
【5】:日本産業の競争力要因
【6】:国際競争環境の変化と海外投資
【7】:競争力基盤と国際移転性
【8】:研究開発投資と知的生産性
【9】:起業選択とベンチャーのリスク耐性
【10】:大企業と中小企業との知的連携
【11】:中小企業の共同技術開発
【12】:21 世紀の知的競争力基盤
【13】:下請システムの源流と進化
【14】:パワーと信頼形成による分業システム進化

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

準備学習の指示は、履修登録完了後に立教メール(または Canvas LMS)で履修者に対して行う。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告と討論の参加・貢献度:60% 授業参加度:40%

テキスト / Textbooks

港徹雄『日本のものづくり 競争力基盤の変遷』日本経済新聞出版社 2011 9784532134082

参考文献 / Readings

藤本隆宏『日本のもの造り哲学』日本経済新聞出版社 2004 9784532311391

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

日本産業とりわけ製造業に関する中小企業研究成果を理解し、現状・実態とのインタラクティブな確認・ディスカッションを積極的におこなう能力が求められる。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

テキストおよびレジュメを用意すること。

その他 / Others

授業に関する連絡は、立教 G メールを利用します。

作成:2024/10/02
科目コード:KA318

中小企業特論2

Special Lecture on Small Business Ploblems and Studies 2

遠山　恭司(TOYAMA KYOJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA318
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5820
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA336 中小企業特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

日本の中小企業とグローバル経済を有機的に考察し,「東アジア」における現代的諸問題を切り口に複眼的な思考をもった研究推進能力の形成を目指す。

Students will analyze Japanese SMEs and global economy organically. Students will acquire research skills to think about various modern issues in East Asia from multiple perspectives.

授業の内容 / Course Contents

本授業では, 中小企業の事業活動範囲・ビジネスモデル・存立構造を東アジア大の経済社会構造の中でとらえ, 主体的な姿勢で考察することが肝要である。経済大国の中国・日本, 韓国・台湾, 東南アジアの間には, 産業, 企業, 技術, 生産, 組織, 分業といった複雑な「競争と協調」,「成長・発展」のメカニズムが存在する。これらを俯瞰的かつ複眼的に検討し, 日本中小企業の諸問題と可能性を考察する。授業は受講生によるテキストの輪読と報告, それに対するディスカッションによって進められる。

In this class, students will think about activities of SMEs, models, and structures in terms of East Asian economic and social structures. It is crucial for students to conduct self-directed analyses. Competition and cooperation, growth and development - These complicated mechanisms exist among economic giants such as China-Japan, South Korea-Taiwan, and among Southeast Asian countries. These mechanisms cover industry, corporation, technology, production, organization, and labor division. Students will discuss these from bird-eye view and multiple perspectives to explore various issues and potential in Japanese SMEs. In the class, students will report, read textbooks, and participate in discussion.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:新興アジア経済論の視角
【3】:歴史の中のアジア・世界の中のアジア
【4】:アジア化するアジア
【5】:キャッチアップ型工業論再考
【6】:「鼎構造」論
【7】:中所得国の罠
【8】:社会大変動の時代
【9】:社会発展なき成長
【10】:経済と社会のバランス　日本の役割
【11】:東アジアと中小企業1
【12】:東アジアと中小企業2

【13】:東アジアと中小企業3
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

準備学習の指示は，初回授業時(ガイダンス)にて，履修者に対して行う。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告とディスカッション:100%

テキスト / Textbooks

末廣 昭『新興アジア経済論』岩波書店 2014 9784000287425 0333
そのほか，必要に応じて指示する。

参考文献 / Readings

遠藤 環他『現代アジア経済論』有斐閣 2018 9784641184428

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

アジア経済社会の変化を踏まえ、アジア大における中小企業に関する現状や課題を議論する能力を形成する。

その他 / Others

授業に関する連絡は、立教 G メールを利用します。

作成:2024/10/02
科目コード:KA319

アジア経済特論1

Special Lecture on Structure of Asian Economy 1

郭　洋春(KWAK YANGCHOON)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA319
授業形態	対面(全回対面)	授業形態(補足事項)	
校地	池袋	学期	春学期 1
単位	2	科目ナンバリング	ECX5520
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA337 アジア経済特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

アジア各国の経済構造の分析を通し，アジア地域が抱えている諸問題の解明とその解決方法について考察する。
Through the analysis of the economic structure of Asian countries, we will consider the elucidation of various problems in the Asian region and their solutions.

授業の内容 / Course Contents

テキストの輪読を通して，アジア地域が抱えている諸問題－所得格差，環境破壊，ジェンダー問題，地域紛争等－の発生の背景，課題などを考える。
授業の進め方は，履修者による報告と議論を通して上記問題を履修者自らの頭で考える力を養う。
Through reading the textbook, we will consider the background and issues of various problems (income disparity, environmental destruction, gender problems, regional conflicts, etc.) that the Asian region has.
As for how to proceed with the lessons, students will develop the ability to think about the above problems by themselves through reports and discussions by the students.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:経済開発の今日的課題
【3】:萌芽期の経済開発 1
【4】:萌芽期の経済開発 2
【5】:物的成長から人間の成長へと転化した開発経済学
【6】:もう 1 つの潮流としての開発経済学1
【7】:もう 1 つの潮流としての開発経済学2
【8】:OECD レポートと NICs
【9】:量から質へと転換する経済開発目標
【10】:持続可能な経済開発
【11】:開発経済学の再生に向けて1
【12】:開発経済学の再生に向けて2
【13】:21 世紀の開発経済学
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

テキストは事前に読んでくること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業中での発表:50% 授業での発言:30% 授業への貢献:20%

テキスト / Textbooks

郭洋春 経済開発の過去・現在・未来 : 開発経済学の果たした役割 文眞堂 2023

参考文献 / Readings

郭洋春編著『開発リスクの政治経済学』文眞堂 2013 483094806
郭洋春著『国家戦略特区の正体』集英社 2016
郭洋春 100 均資本主義～脱成長社会「幸せな暮らし」のつかみ方 プレジデント社 2022 9784833424653

注意事項

本科目では、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

作成:2024/10/02
科目コード:KA320

アジア経済特論2

Special Lecture on Structure of Asian Economy 2

郭　洋春(KWAK YANGCHOON)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA320
授業形態	対面(全回対面)	授業形態(補足事項)	
校地	池袋	学期	秋学期 1
単位	2	科目ナンバリング	ECX5520
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA338 アジア経済特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

アジアで起きている諸問題を学ぶことで，21世紀のアジア，日本とアジアとの関係などを理解する。アジアのダイナミズムの理解を通して、日本経済の抱えている課題を振り返る。最終的には世界経済の中で、アジア経済の占める位置・意義について理解する。

By studying various problems occurring in Asia, we will understand Asia in the 21st century and the relationship between Japan and Asia. Through understanding the dynamism of Asia, we will look back on the challenges facing the Japanese economy. Finally, understand the position and significance of the Asian economy in the world economy.

授業の内容 / Course Contents

アジアで起きている諸問題を解説しながら，その発生要因，解決方法等を理解する。また，アジアの一員である日本が、今後アジア諸国とどのように付き合っていくのかを解説することで、アジアの中の日本の果たすべき役割について考える契機とする。授業の後半にはバズセション(グループディスカッション)を行い，受講生自らが上記問題について考える力を養えるようにする。

While explaining various problems that are currently occurring in Asia, understand the causes and solutions. In addition, by explaining how Japan, which is a member of Asia, will deal with Asian countries in the future, it will be an opportunity to think about the role that Japan should play in Asia. Buzz sessions (group discussions) will be held in the latter half of the class so that students can develop their own ability to think about the above problems.

授業計画 / Course Schedule

【1】:世界が注目するアジア
【2】:なぜアジアは経済成長したのか 1
【3】:なぜアジアは経済成長したのか 2
【4】:巨大サプライチェーンの拠点・アジア
【5】:本物を凌駕する？アジアのコピー商品
【6】:成長戦略と化したアジアのエンタメ 1
【7】:成長戦略と化したアジアのエンタメ 2
【8】:インバウンドこそ日本が生き残る道1
【9】:インバウンドこそ日本が生き残る道2
【10】:増える人口・減る食糧
【11】:アジアに広がる領土問題
【12】:増える人口・減る食糧
【13】:アジアにおける環境問題
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストは事前に読んできて，持参すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業での報告:50% 授業中の発言:30% 授業への貢献:20%

テキスト / Textbooks

第 1 回授業で提示

参考文献 / Readings

郭洋春 『TPP すぐそこに迫る亡国の罠』 三交社 2013 4879197122
郭洋春 『100 均資本主義～脱成長社会「幸せな暮らし」のつかみ方』 プレジデント社 2022 9784833424653
郭洋春 『国家戦略特区の正体』 集英新書 2016

注意事項

本科目では、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

作成:2024/10/02
科目コード:KA321

証券経済特論1

Special Lecture on Economic Theory of Securities 1

現代の資本主義システムを「金融化(ファイナンシャリゼーション)」という観点から分析し、金融システムや金融市場の歴史的な発展を理論的・実証的に解明していく。

三谷　進(MITANI SUSUMU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA321
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	14 回目の授業の総括はオンラインで実施する。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA339 証券経済特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

現代の資本主義システムを「金融化(ファイナンシャリゼーション)」という観点から分析し、金融システムや金融市場の歴史的な発展を理論的・実証的に解明していく。

Students will analyze modern capitalism system from financialization perspective. Students will clarify theoretically and empirically historical development of financial system and market.

授業の内容 / Course Contents

この授業では、コスタス・ラパヴィツァスの『金融化資本主義』(2018 年、日本経済評論社)をテキストにしながら、現代の金融市場の基本的な仕組みや、金融機関における証券投資や資産運用のあり方について学んでいく。また、授業の進め方としては、テキストを輪読しながら、報告者による発表とその内容に関する討論を行っていく。

In this class, students will use Financialised Capitalism by Costas Lapavistas (2018, published by Nihon Keizai Hyoronsha) as textbook. Students will learn about basic framework of modern financial market, securities investment, and asset management in financial institutions. This class will proceed with textbook reading, reporters' presentations, and discussion about these contents.

授業計画 / Course Schedule

【1】:授業のガイダンス
【2】:金融化の分析視角について
【3】:金融化の文献および理論
【4】:金融化についてのアプローチ
【5】:金融の優位の第一波動
【6】:資本主義の変化についてのヒルファディングの分析
【7】:株式市場と金融資本
【8】:金融化資本主義の貨幣的基礎
【9】:現代貨幣に関する理論
【10】:金融化資本主義における新たな形態の貨幣
【11】:金融化の流動領域 :金融と資本主義経済
【12】:資本主義的な社会的条件が要求する金融システム
【13】:資本市場、投資銀行、機関投資家および金融システムのデザイン
【14】:授業の総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの事前学習と、発表時のレジュメ等の準備が必要となる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 授業参加度:50% 報告および討論:25% レポート:25%

テキスト / Textbooks

コスタス・ラパヴィツァス『金融化資本主義』 日本経済評論社 2018 9784818825000

参考文献 / Readings

参考文献については、授業の際に、適宜、指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA322

証券経済特論2

Special Lecture on Economic Theory of Securities 2

現代の資本主義システムを「金融化(ファイナンシャリゼーション)」という観点から分析し、金融システムや金融市場の歴史的な発展を理論的・実証的に解明していく。

三谷　進(MITANI SUSUMU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA322
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	14 回目の授業の総括はオンラインで実施する。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5620
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA340 証券経済特殊講義2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

現代の資本主義システムを「金融化(ファイナンシャリゼーション)」という観点から分析し、金融システムや金融市場の歴史的な発展を理論的・実証的に解明していく。

Students will analyze modern capitalism system from financialization perspective. Students will clarify theoretically and empirically historical development of financial system and market.

授業の内容 / Course Contents

この授業では、コスタス・ラパヴィツァスの『金融化資本主義』(2018 年、日本経済評論社)をテキストにしながら、現代の金融市場の基本的な仕組みや、金融機関における証券投資や資産運用のあり方について学んでいく。また、授業の進め方としては、テキストを輪読しながら、報告者による発表とその内容に関する討論を行っていく。

In this class, students will use Financialised Capitalism by Costas Lapavistas (2018, published by Nihon Keizai Hyoronsha) as textbook. Students will learn about basic framework of modern financial market, securities investment, and asset management in financial institutions. This class will proceed with textbook reading, reporters' presentations, and discussion about these contents.

授業計画 / Course Schedule

【1】:授業のガイダンス
【2】:金融利潤の難問
【3】:株式保有から生じる金融利潤
【4】:金融化的蓄積の背景
【5】:国家が形作る金融化的蓄積の「チャネル」
【6】:成熟した金融化と従属的金融化
【7】:実物的蓄積と金融的蓄積の間の区分
【8】:バブルの崩壊と金融危機の発生
【9】:国家の介入と危機の財政化
【10】:金融のコントロール
【11】:第二次世界大戦後の金融規制の軌跡
【12】:金融化の条件下における規制
【13】:金融化への対抗:いくつかの結論
【14】:授業の総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの事前学習と、発表時のレジュメ等の準備が必要となる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 授業参加度:50% 報告および討論:25% レポート:25%

テキスト / Textbooks

コスタス・ラパヴィツァス『金融化資本主義』 日本経済評論社 2018 9784818825000

参考文献 / Readings

参考文献については、授業の際に、適宜、指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA323

環境経済特論1

Special Lecture on Environmental Economics 1

一ノ瀬　大輔(ICHINOSE DAISUKE)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA323
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

環境経済学の考え方やその理論を学ぶことで，環境問題に対する客観的な分析手法を身につけるとともに，論理的な思考力を養うことを目標とする。

Students will learn the ideas and theories of environmental economics. Through this learning, they will develop their ability to logically analyze environmental issues, and cultivate their theoretical thinking skills.

授業の内容 / Course Contents

環境問題の多くは人々の経済活動が原因となって発生しており，その解決のためには経済学的な視点から問題を分析することが必要不可欠となる。授業では環境経済学の理論について扱ったテキスト(洋書を含む)として取り上げ，輪読を中心とした演習形式の授業を通し環境経済学の分析手法を習得することを目指す。環境経済学の理論には様々なものがあるが，その中でも特に，ミクロ経済学をベースとした数理的な枠組みを用いた分析方法についての理解を深めていく。なお，授業では地球温暖化問題や廃棄物問題といった個別の環境問題を大きく取り上げることはせず，それらの問題の分析に用いることができる一般的な理論を学ぶことを目標とする。授業計画はあくまで目安であり参加者の状況によって変化する場合がある。

Many environmental issues are caused by human economic activities. To solve these issues, it is essential to analyze them from economic perspective. In this class, students will read English textbooks on environmental economic theories. This class will be in seminar format and focus on reading. Through these, students will learn environmental economic analysis method. Among many environmental economic theories, students will focus and delve into analysis method using mathematical framework and microeconomics foundation. Instead of studying individual environmental issues such as global warming and waste, students will learn universal theories that can apply to the analysis of these issues. The lesson plan is tentative and subject to change depending on the situation.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:外部性の理論 1
【3】:外部性の理論 2
【4】:外部性の理論 3
【5】:環境政策の理論 1
【6】:環境政策の理論 2
【7】:環境政策の理論 3
【8】:不確率性と政策選択 1
【9】:不確実性と政策選択 2
【10】:資源採取問題 1

【11】:資源採取問題 2
【12】:資源採取問題 3
【13】:ゲーム論的アプローチ 1
【14】:ゲーム論的アプローチ 2

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

微分とミクロ経済学に関して学部レベルの知識があることを前提とするので，講義履修前にこれらの分野の予習を行うことを推奨する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

筆記試験 :60%
平常点割合 :40% 出席・および授業中の発言:40%

テキスト / Textbooks

Charles D. Kolstad, Environmental Economics (Oxford University Press) などの洋書を予定しているが，詳細については参加者と相談の上決定する。

参考文献 / Readings

必要に応じて授業内で提示する。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

本講義では学部レベルのミクロ経済学の知識があることを前提に輪読形式の講義を行う。

作成:2024/10/02
科目コード:KA324

環境経済特論2

Special Lecture on Environmental Economics 2

一ノ瀬　大輔(ICHINOSE DAISUKE)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA324
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

環境経済学の分野の学術論文を精読することで，環境経済学の手法や研究の流れ，最新の研究内容を理解することを目指す。

Students will read the latest academic literature in environmental economics to understand methods, research processes, and the latest research findings in this field.

授業の内容 / Course Contents

環境経済学は比較的歴史の新しい分野であるが，近年海外を中心に急速に研究が進められてきた分野でもある。授業では環境経済学系の論文誌に掲載された論文の中から，海外の文献を中心に，環境経済学の研究において影響の大きかったと思われる文献に注目し，演習形式の輪読を行うことでその内容を丁寧に追っていく。特に，環境税や規制，環境法といった政策の効果を分析した論文を取り上げ，環境政策の効果を分析する手法や研究論文の書き方を実践的に学ぶことを目指す。また，古典的な文献だけでなく最新の研究論文も取り上げることで，環境経済学の研究内容に幅広く触れることも目標とする。授業計画では各回に取り上げる予定の論文テーマを挙げてあるが，あくまでも目安であり，参加者の状況によって変更する場合がある。

Although environmental economics is relatively a new area of study, research in this field have been making rapid progress overseas in recent years. In this class, students will intensively read influential articles on environmental economics in turn. The articles we read are dealt with the analysis of policy effects including environmental tax, regulation, and law. Students will learn and practice how to analyze the effect of environmental policy. They will also learn and practice writing research thesis. In this seminar, we will deal with not only classic literatures but also the latest research theses, covering wide range of environmental economics study. The articles to be read in the class are listed in the syllabus, but they are tentative and subject to change depending on the situation.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:サーベイ研究 1 温暖化問題
【3】:サーベイ研究 2 水質汚染
【4】:サーベイ研究 3 資源利用
【5】:サーベイ研究 4 環境評価
【6】:古典的文献 1 大気汚染
【7】:古典的文献 2 水質汚染
【8】:古典的文献 3 廃棄物問題
【9】:古典的文献 4 環境評価
【10】:近年の文献 1 大気汚染

【11】:近年の文献 2 水質汚染
【12】:近年の文献 3 廃棄物問題
【13】:近年の文献 3 廃棄物問題
【14】:近年の文献 5 環境評価

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

微分と学部レベルのミクロ経済学の知識があることを前提とするので，講義履修前にこれらの内容についての予習を行うことを推奨する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

筆記試験 :60%
平常点割合 :40% 出席・報告内容:40%

テキスト / Textbooks

環境経済学の論文誌に掲載された論文の中から，授業で扱う文献を適宜指示する。なお，扱う論文は英文のものが中心となる。

参考文献 / Readings

必要に応じて授業内で提示する。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

学部レベルのミクロ経済学の知識があることを前提に輪読形式の講義を実施する。また、輪読する論文は原則全て英文であるため、ある程度の量の英文を読みこなす能力を必要とする。

作成:2024/10/02
科目コード:KA325

日本経済特論1

Special Lecture on Japanese Economic 1
日本と東アジアの経済成長史研究 1

林　采成(LIM CHAISUNG)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA325
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA341 日本経済特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

戦後東アジア経済は冷戦の傍ら長期間にわたる「高度成長」あるいは「圧縮成長」を経験した。経済史的観点から見れば、日本、台湾、韓国、中国の隣接する 4 つの地域あるいは国が時間差を置きながら、このような高成長を工業化に基づいて成し遂げたのは人類史上、東アジアに限られる現象である。その中で日本経済がいわゆる投資循環型高度成長メカニズムを構築し、1955 年から石油危機が起こる 1973 年にかけて年平均 10%前後の成長率を記録している。日本は外資の導入と高い貿易依存度を前提として全く別の国となってしまうが、高度成長の原型ともいえる。こうした比較の視点から、なぜ日本と東アジアでは成長メカニズムが作動して展開し、最後には終息に向かえざるを得なかったのかを明らかにする。

Post-war East Asian economy has experienced long period of high or compressed growth parallel to the cold war. From perspective of economic history, Japan, Taiwan, South Korea, China and their surrounding 4 regions and countries have achieved great economic growth based on industrialization despite lag in their progress. In human history this phenomenon is only observed in Easy Asia. Amidst this, Japan has constructed high-growth mechanism through the so-called investment cycle model. Through these, Japan has recorded roughly 10% annual growth from 1955 to crude oil crisis 1973. Although Japan seems like different country if we look at foreign capital inflow and high dependency on trade, it is still the prototype for high growth. Through comparative perspective, professor will clarify how these economic growth mechanisms work in Japan and East Asia, and why they had inevitably end.

授業の内容 / Course Contents

林采成(2021)『東アジアのなかの満鉄:鉄道帝国のフロンティア』名古屋大学出版会、松本俊郎編(2023)『「満洲国」以後:中国工業化の源流を考える』名古屋大学出版会などを順番に読んでいく。そして東アジアにおける戦後経済成長の歴史的前提として戦前経済体制の成立と戦後再編過程を検討する。具体的には院生との相談の上、テキストなどを決定する。

Students will read South Manchurian Railway in East Asia: The Frontier of the Railway Empire (2021), After "Manchukuo": Thinking about the origins of China's industrialization (2023). Students will examine the establishment of the prewar economic system and the postwar reorganization process as historical premises for postwar economic growth in East Asia. Specifically, the text will be determined in consultation with graduate students.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:『東アジアのなかの満鉄:鉄道帝国のフロンティア』
【3】:『東アジアのなかの満鉄:鉄道帝国のフロンティア』
【4】:『東アジアのなかの満鉄:鉄道帝国のフロンティア』

【5】:『東アジアのなかの満鉄:鉄道帝国のフロンティア』
【6】:『東アジアのなかの満鉄:鉄道帝国のフロンティア』
【7】:関連論文および資料分析
【8】:関連論文および資料分析
【9】:関連論文および資料分析
【10】:関連論文および資料分析
【11】:関連論文および資料分析
【12】:関連論文および資料分析
【13】:関連論文および資料分析
【14】:中間まとめ―「高度成長」の歴史的条件

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

参加者は交代でレポーターとなる。レポーターはもちろん、その他の参加者も熟読の上、必ず討論点を提出する。また、適宜討論内容を記録し、中間まとめレポートの材料とする。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% ディスカッション技術など:60% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

武田晴人・林采成 『歴史としての高成長:東アジアの経験』 京都大学出版会 2019 9784814002474
堀和生 『東アジア高度成長の歴史的展開』 京都大学出版会 2016 9784814000548
林采成 『東アジアのなかの満鉄:鉄道帝国のフロンティア』 名古屋大学出版会 2021 9784815810139
松本俊郎 『「満洲国」以後:中国工業化の源流を考える 名古屋大学出版会 2023 9784815811143

参考文献 / Readings

授業時に提示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA326

日本経済特論2

Special Lecture on Japanese Economic 2
日本と東アジアの経済成長史研究2

林　采成(LIM CHAISUNG)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA326
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA342 日本経済特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

戦後東アジア経済は冷戦の傍ら長期間にわたる「高度成長」あるいは「圧縮成長」を経験した。経済史的観点から見れば、日本、台湾、韓国、中国の隣接する 4 つの地域あるいは国が時間差を置きながら、このような高成長を工業化に基づいて成し遂げたのは人類史上、東アジアに限られる現象である。その中で日本経済がいわゆる投資循環型高度成長メカニズムを構築し、1955 年から石油危機が起こる 1973 年にかけて年平均 10%前後の成長率を記録している。日本は外資の導入と高い貿易依存度を前提として全く別の国となってしまうが、高度成長の原型ともいえる。こうした比較の視点から、なぜ日本と東アジアでは高成長メカニズムが作動して展開し、最後には終息に向かえざるを得なかったのかを明らかにする。

Post-war East Asian economy has experienced long period of high or compressed growth parallel to the cold war. From perspective of economic history, Japan, Taiwan, South Korea, China and their surrounding 4 regions and countries have achieved great economic growth based on industrialization despite lag in their progress. In human history this phenomenon is only observed in Easy Asia. Amidst this, Japan has constructed high-growth mechanism through the so-called investment cycle model. Through these, Japan has recorded roughly 10% annual growth from 1955 to crude oil crisis 1973. Although Japan seems like different country if we look at foreign capital inflow and high dependency on trade, it is still the prototype for high growth. Through comparative perspective, professor will clarify how these high-growth mechanisms work in Japan and East Asia, and why they had inevitably end.

授業の内容 / Course Contents

林采成(2019)『鉄道員と身体:帝国の労働衛生』京都大学出版会、林采成(2024)『健康朝鮮:植民地のなかの感染症・衛生・身体』名古屋大学出版会、林采成 ・武田晴人編(2022)『企業類型と産業育成』京都大学学術出版会、関連論文などを順番に読んでいく。そしてそれを基に戦前東アジアの社会経済メカニズムを探る。

Students will read Railroad Workers and the Body: Labor Hygiene in the Empire (Kyoto University Press, 2019), Healthy Korea: Infectious Disease, Hygiene, and the Body in the Colonies (Nagoya University Press, 2024), Enterprise Types and Industrial Development (Kyoto University Press 2022), and related papers. And based on them, we will explore the socioeconomic mechanisms of prewar East Asia.

授業計画 / Course Schedule

【1】:戦前東アジアの経済成長に関する経済史的分析
【2】:関連論文および資料分析
【3】:関連論文および資料分析
【4】:関連論文および資料分析
【5】:関連論文および資料分析

【6】:関連論文および資料分析
【7】:関連論文および資料分析
【8】:関連論文および資料分析
【9】:関連論文および資料分析
【10】:関連論文および資料分析
【11】:関連論文および資料分析
【12】:関連論文および資料分析
【13】:関連論文および資料分析
【14】:まとめ―経済成長史の総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

輪読については日本経済特論1に同じ。資料分析については担当した資料群の分析経過を報告し、分析上の隘路についは打開方法を協議するので、それらを明確にしておくこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% ディスカッション技術など:60% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

林采成 『健康朝鮮:植民地のなかの感染症・衛生・身体』 名古屋大学出版会 2024 9784815811440
林采成 『鉄道員と身体:帝国の労働衛生』 京都大学学術出版会 2019 9784814001842
武田晴人・林采成 『歴史としての高成長』 京都大学学術出版会 2019 9784814002474
林采成 ・武田晴人 『企業類型と産業育成』 京都大学学術出版会 2022 9784814004485
授業時、院生との相談の上、決定する。

参考文献 / Readings

授業時に提示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA327

都市政策特論1

Special Lecture on Urban Policy Studies 1
都市と地域の経済学

香川　涼亮(KAGAWA RYOSUKE)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA327
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	数値計算を実演する 3・6・8・11 回目をオンラインで行う(受講生と相談の上、変更の場合は事前に Canvas で連絡)。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA343 都市政策特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

・経済学の理論的枠組みに沿って、都市と地域に関する諸問題を分析できるようになる。
・都市と地域の経済学に関する考え方を、論理的に説明できるようになる。
To be able to analyze various problems related to cities and regions in accordance with the theoretical framework of economics.
To be able to logically explain the concept of economics of cities and regions.

授業の内容 / Course Contents

都市経済学の基本概念と理論的枠組みをカバーしたテキストを演習形式で学ぶ。導入として経済活動の分布は空間的に不均一であることを確認する。前半では都市経済学の枠組みにおいて、都市内構造および複数都市間の規模の関係を考察する。後半では空間経済学を用いて、経済活動の分布(集積が起きる理由)をヒト・モノの流れを内生化して説明できることを理解する。
授業においては、受講者によるプレゼンテーションおよび、活発な議論を重視する。使用するテキストや授業の内容は、受講者の理解度や関心領域によって変更することがある。
This course is a seminar-style study of texts dealing with the basic concepts and theoretical framework of urban economics. As an introduction, we will confirm that the distribution of economic activities is spatially heterogeneous. In the first half of the course, we will examine the relationship between intra-city structure and scale among multiple cities in the framework of urban economics. In the second half, we will use spatial economics to understand that the distribution of economic activity (the reason why agglomeration occurs) can be explained by endogenizing the flow of people and goods.
In class we emphasize presentations by students and active discussions. The textbook used and the content of the class may be changed depending on the level of understanding of the students and their areas of interest.

授業計画 / Course Schedule

【1】:Introduction: A Spiky World
【2】:Geo-Human Interaction (1)
【3】:Geo-Human Interaction (2)
【4】:Space Within Cities (1)
【5】:Space Within Cities (2)
【6】:Space Within Cities (3)

【7】:City Systems (1)
【8】:City Systems (2)
【9】:The Core Model (1)
【10】:The Core Model (2)
【11】:The Core Model (3)
【12】:Extensions of the Core Model (1)
【13】:Extensions of the Core Model (2)
【14】:Extensions of the Core Model (3)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

・予習として毎回テキストを精読し、授業内での議論に備えること。
・復習として授業内で課す練習問題を解き、説明できるようにすること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業内での報告や議論への貢献:70% 最終レポート割合::30%

テキスト / Textbooks

Steven Brakman, Harry Garretsen and Charles van Marrewijk An Introduction to Geographical and Urban Economics: A Spiky World 3rd. edition Cambridge University Press 2019 9781108407366
英文のテキストを利用するが、適宜和文の資料を紹介して受講者の理解に資する。
初回授業時までに用意する必要はない。

参考文献 / Readings

門川和男 『例題で学ぶ 地域経済学入門』 学術研究出版 2020 9784865844436
神取道宏 『ミクロ経済学の力』 日本評論社 2014 9784535557567

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

履修の前提として、学部レベルのミクロ経済学を習得していることが望ましい。

作成:2024/10/02
科目コード:KA328

都市政策特論2

Special Lecture on Urban Policy Studies 2
都市・地域の実証経済分析

香川　涼亮(KAGAWA RYOSUKE)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA328
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	計量分析の実演、実習を行う第 7・12 回をオンラインで実施する(受講生との相談により変更の可能性あり)。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA344 都市政策特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

・経済学の理論的枠組みに沿って、都市と地域に関する諸問題を分析できるようになる。
・計量経済学の手法を用いた実証分析や政策評価の方法を理解し、研究能力を身につける。
To be able to analyze various problems related to cities and regions in accordance with the theoretical framework of economics.
Understand the methods of empirical analysis and policy evaluation using econometric methods, and acquire research skills.

授業の内容 / Course Contents

都市・地域の実証経済分析をカバーしたテキストを演習形式で学ぶ。導入として空間固有の指標である不平等指標および経済集積指標に触れるとともに、因果推論や自然実験の手法について確認する。前半では都市経済学のうち、集積の経済の実証分析を扱う。後半では経済地理学の実証分析を扱い、自国市場効果、空間的賃金構造、交易費用といったトピックの実証分析を理解する。
また分析手法にとどまらず実際の分析事例を取り上げて検討し、受講者自身の研究ができるように統計ソフトや GIS の活用についての演習を行う。
授業においては、受講者によるプレゼンテーションおよび、活発な議論を重視する。使用するテキストや授業の内容は、受講者の理解度や関心領域によって変更することがある。
This course is a seminar-style study of a textbook that covers empirical economic analysis of cities and regions. As an introduction, we will touch on inequality indices and economic agglomeration indices, which are space-specific indices, and confirm methods of causal inference and natural experiments. The first half of the course deals with the empirical analysis of the economy of agglomeration in urban economics. The second half of the course deals with the empirical analysis of economic geography, covering topics such as home market effects, spatial wage structure, and trade costs. We will also discuss not only analytical methods but also actual cases of analysis, and practice using statistical software and GIS to enable students to conduct their own research.
Emphasis will be placed on presentations by the students and active discussions in the class. The textbook used and the content of the class may be changed depending on the level of understanding and interest of the students.

授業計画 / Course Schedule

【1】:Introduction: Empirical Methods
【2】:Inequality and Economic Concentration Measures

【3】:Spatial Concentration and Productivity
【4】:The Empirics of Agglomeration (1)
【5】:The Empirics of Agglomeration (2)
【6】:The Empirics of Agglomeration (3)
【7】:Exercises in The Empirics of Agglomeration
【8】:Empirics of Economic Geography (1)
【9】:Empirics of Economic Geography (2)
【10】:Empirics of Economic Geography (3)
【11】:Empirics of Economic Geography (4)
【12】:Exercises in Empirics of Economic Geography
【13】:Policy Implications (1)
【14】:Policy Implications (2)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

・予習として毎回テキストを精読し、授業内での議論に備えること。
・復習として授業内で課す練習問題を解き、説明できるようにすること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業内での報告や議論への貢献:70% 最終レポート割合::30%

テキスト / Textbooks

Steven Brakman, Harry Garretsen and Charles van Marrewijk An Introduction to Geographical and Urban Economics: A Spiky World 3rd. edition Cambridge University Press 2019 9781108407366
英文のテキストを利用するが、適宜和文の資料を紹介して受講者の理解に資する。

参考文献 / Readings

鹿野繁樹 『新しい計量経済学 データで因果関係に迫る』 日本評論社 2015 9784535557710
加藤久和 『やさしい計量経済学: プログラミングなしで身につける実証分析』 オーム社 2019 9784274224539
河端瑞貴 『事例で学ぶ経済・政策分析のための GIS 入門: QGIS,R,GeoDa 対応』 古今書院 2022 9784772242301
星野匡郎 他 『R による実証分析 [第 2 版] 回帰分析から因果分析へ』 オーム社 2023 9784274230028

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

学部レベルのミクロ経済学・計量経済学を習得していることが望ましい。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

進度に応じて gretl, R, QGIS 等をインストールする(授業中に指示)。

作成:2024/10/02
科目コード:KA329

アメリカ経済特論1

Special Study on American Economy1

山縣　宏之(YAMAGATA HIROYUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA329
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5520
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA345 アメリカ経済特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

アメリカ経済に関連する内外の研究論文を講読する。あわせて参加者の研究テーマ設定の一助となるよう研究指導を行う。

Students will read US economy research papers from Japan and overseas. At the same time, professor will guide students in their researches so students can establish their research subjects.

授業の内容 / Course Contents

アメリカ経済に関連する論文や文献を講読する。2023 年度は河崎信樹・河音琢郎・藤木剛康編著(2021)『現代アメリカ政治経済入門』ミネルヴァ書房などを検討対象として想定している。

希望があれば受講者の研究報告を行う。研究テーマの設定に際して重要となるのは当該分野のすぐれた研究者を特定し，その著作や論文を熟読理解し未だ解明されていない論点を見出すことである。受講者には早期にこの課題に取り組むことを推奨している。

Students will read US economy research papers and literatures. In 2021, students will study "Introduction to Contemporary US Political Economy" by Nobuki Kawasaki, Takuro Kawane and Takeyasu Fujiki, Minerva Shobo.

If students desire, they may present their research reports. When selecting research subjects, it is important to specify outstanding researchers in these areas, read their works and papers, and find out unclear arguments. Students are recommended to work on this early.

授業計画 / Course Schedule

【1】:開講ガイダンス
【2】:テキスト検討(1)
【3】:テキスト検討(2)
【4】:テキスト検討(3)
【5】:受講者の研究報告およびディスカッション(1)
【6】:テキスト検討(4)
【7】:テキスト検討(5)
【8】:テキスト検討(6)
【9】:受講者の研究報告およびディスカッション(2)
【10】:大学院生に必要なアカデミックスキル(学術論文読解法および先行研究評価法)教授(英語論文読解を含む)(1)
【11】:大学院生に必要なアカデミックスキル(学術論文読解法および先行研究評価法)教授(英語論文読解を含む)(2)
【12】:大学院生に必要なアカデミックスキル(学術論文読解法および先行研究評価法)教授

（英語論文読解を含む）(3)
【13】:受講者の研究報告およびディスカッション(3)
【14】:総括　受講者の研究成果報告およびディスカッション，今後の研究計画作成のアドバイス

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習に関する指示は，必要に応じて別途行う。大学院生は自立した研究者を目指し，指定文献や自らの研究報告に関する十分な予習を行うこと。講義内容やテキスト読解に関する復習も継続することが望まれる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合　:100%　報告，ディスカッション，その他研究に関わる成果:100%

テキスト / Textbooks

藤木剛康編『アメリカ政治経済論』ミネルヴァ書房　2012　9784623062102
河音琢郎・藤木剛康編『オバマ政権の経済政策』ミネルヴァ書房　2016　9784623077939
河崎信樹・河音琢郎・藤木剛康(編著)『現代アメリカ政治経済入門』ミネルヴァ書房　2021　9784623092673
「授業の内容」に記載した文献を含め受講生と相談して決定する。

参考文献 / Readings

講義中に適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA330

アメリカ経済特論2

Special Study on American Economy2

山縣　宏之(YAMAGATA HIROYUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA330
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5520
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA346 アメリカ経済特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

最新の政策資料や政策論争に関する研究文献の読み込みを進め，アメリカ経済政策の最新の展開を理解する。あわせて参加者に研究指導を行う。

Students will read the latest research literatures on policy documents and debates to understand latest trend of US economic policy. At the same time, professor will guide students in their researches.

授業の内容 / Course Contents

アメリカ経済特論1に続き，「現代アメリカ政治・経済の新展開」を検討テーマとする。この講義ではアメリカ経済政策の基本線を巡る最新の政策論争を検討する。参加者の希望があれば，種々の文献の輪読を行うことも可能である。多様なジャンルに対応している。

希望があれば受講者の研究報告を行う。研究テーマの設定に際して重要となるのは当該分野のすぐれた研究者を特定し，その著作や論文を熟読理解し未だ解明されていない論点を見出すことである。受講者には早期にこの課題に取り組むことをお願いしたい。

Following Special Study on American Economy 1, students will discuss new modern US political and economic trend. In this class, students will discuss the latest policy issue over baseline of US economic policy. If students desire, they may read various literatures. Professor will accommodate various genres.

If students desire, they may present their research reports. When selecting research subjects, it is important to specify outstanding researchers in these areas, read their works and papers, and find out unclear arguments. Students should work on this assignment early.

授業計画 / Course Schedule

【1】:開講ガイダンス
【2】:テキスト検討(1)
【3】:テキスト検討(2)
【4】:テキスト検討(3)
【5】:テキスト検討(4)
【6】:受講者の研究報告およびディスカッション(1)
【7】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(1)
【8】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(2)
【9】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(3)
【10】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(4)
【11】:受講者の研究報告およびディスカッション(2)
【12】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(5)

【13】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(6)
【14】:総括　受講者の研究成果のまとめとディスカッション　修士論文執筆に向けた研究アドバイス等

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習に関する指示は，必要に応じて別途行う。大学院生は自立した研究者を目指し，指定文献や自らの研究報告に関する十分な予習を行うこと。講義内容やテキスト読解に関する復習も継続することが望まれる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合　:100%　報告内容，ディスカッション内容，その他研究に関わる成果:100%

テキスト / Textbooks

河音琢郎・藤木剛康(編著)『G・W・ブッシュ政権の経済政策』ミネルヴァ書房　2008　9784623052295
河音琢郎・藤木剛康(編著)『オバマ政権の経済政策』ミネルヴァ書房　2016　9784623077939
河崎信樹・河音琢郎・藤木剛康(編著)『現代アメリカ政治経済入門』ミネルヴァ書房　2021　9784623092673
受講生と相談して決定する。

参考文献 / Readings

講義中に適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA331

国際経済特論1

Special Lecture on International Economics 1
現代国際経済の成立と展開

宮崎　礼二(MIYAZAKI REIJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA331
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期 1
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

戦後国際経済秩序の形成・展開を政治経済学的に把握する。
Students will understand formation and development of post-war international economic order from political economics perspective.

授業の内容 / Course Contents

本講義は今日の国際経済を理解するために，第二次世界大戦前後から今日に至る世界経済の展開と変遷を，インターナショナルな経済関係からグローバルな経済への移行とその構造変化に焦点を当てながら，政治経済学的に考察をおこなう。さらに，この変遷過程に，現実経済と経済思想との関係性を見出し，政策面からも国際経済を捉える。講義では，個々の具体的な政治経済事象や政策展開を時系列的に取り上げ，それらの政治経済的な意味とそれらが現実の世界経済にどのような影響をもたらし，またどのような意義をもったのかを論じたい。したがって，本講義は理論を中心とする「学」ではなく，事実を踏まえて解釈する「論」に重きをおく。つまり，定量的ではなく定性的分析が主たるアプローチである。

講義では，個々の具体的な国際経済事象や政策展開を時系列的に取り上げながら，それらの相互連関性，政治経済学的な意義，そしてそれらが現実の世界経済にどのような意味をもっていたのか，またどのような影響をもたらしたのかを考察する。日々流れる膨大な個別情報を統合して，今日の国際経済の状況を把握できるようにすることを目標とする。

In this class, students will understand current international economy. To do that, students will study global economic development and transitions around WWII until today from political economics perspective, focusing on transition from international relationship to global economy, and its structural change. Furthermore, students will explore relation between actual economy and economic thinking during this transition. Students will also study international economy from policy perspective. In this class, specific political economic phenomena and policy development will be addressed sequentially and their political economic meanings, their impacts on actual economy worldwide, and their significances will be discussed. Therefore, this class tilts towards theories interpret based on the fact, instead of knowledge that focus on theories. In other words, students will focus on qualitative instead of quantitative analysis.
In this class,specific international economic phenomena and policy development will be picked up sequentially to discuss about their mutual relationships, political economic meanings, their impacts and significances in actual economy worldwide. Students will be able to grasp current global economic states by integrating individual information available in large volume daily.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス

【2】:イントロダクション:現代国際経済をどのように把握するのか？
【3】:戦後自由貿易体制の形成と背景:なぜアメリカは自由貿易を希求したのか？
【4】:戦後構想と現実の乖離:復興援助政策の意味1
【5】:戦後構想と現実の乖離:復興援助政策の意味2
【6】:Pax Americana への統合:政治経済資源としての石油1
【7】:Pax Americana への統合:政治経済資源としての石油2
【8】:国民国家を超越する資本:多国籍資本の台頭
【9】:国民国家を超越する資本:国民国家と金からの「呪縛」からの解放
【10】:石油を巡る政治経済1
【11】:石油を巡る政治経済2
【12】:アメリカの金融政策の波及効果と累積債務危機
【13】:プラザ合意とルーブル合意
協調為替介入の時代:プラザ合意とルーブル合意
プラザ合意とルーブル合意
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

参考文献と講義ノートによる毎講義ごとの復習。
対話形式の講義の準備。
オンディマンド動画による反転学習。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 毎回のレポート:50% 毎回の発表:50%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:KA332

国際経済特論2

Special Lecture on International Economics 2
グローバリゼーションの全面展開と動揺

宮崎　礼二(MIYAZAKI REIJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA332
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期 2
単位	2	科目ナンバリング	ECX5420
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

グローバリゼーションを政治経済学的に把握する.
Students will understand globalization through political economics perspective.

授業の内容 / Course Contents

21 世紀に入ってから、BRICS に象徴される新興国の台頭は, 19 世紀・20 世紀の帝国主義列強諸国・先進工業国中心の世界経済地図を大きく書き換えつつある. とりわけ、中国の台頭は覇権国アメリカとの対抗関係を強めてもいる. また, イギリスの EU 離脱やアメリカでの前トランプ政権成立に象徴されるように, 先進国の多くで「グローバル化恐怖症」(globaphobia)がそれまでのグローバリズムの興隆を凌駕しようとしている. また、コロナ・パンデミックや米中対立によって、グローバリゼーションの不安定性が露呈しつつあり、不確定かつ不確実性の高まる時代を予兆させる.

本講義は今日の国際経済を理解するために, 第二次世界大戦前後から今日に至る世界経済の展開と変遷を, インターナショナルな経済関係からグローバルな経済への移行とその構造変化に焦点を当てながら, 政治経済学的に考察をおこなう. さらに, この変遷過程に, 現実経済と経済思想との関係性を見出し, 政策面からも国際経済を捉える. 講義では, 個々の具体的な政治経済事象や政策展開を時系列的に取り上げ, それらの政治経済的な意味とそれらが現実の世界経済にどのような影響をもたらし, またどのような意義をもったのかを論じたい. したがって, 本講義は理論を中心とする「学」ではなく, 事実を踏まえて解釈する「論」に重きをおく. つまり, 定量的ではなく定性的分析が主たるアプローチである.

講義では, 個々の具体的な国際経済事象や政策展開を時系列的に取り上げながら, それらの相互連関性, 政治経済学的な意義, そしてそれらが現実の世界経済にどのような意味をもっていたのか, またどのような影響をもたらしたのかを考察する. 日々流れる膨大な個別情報を統合して, 今日の国際経済の状況を把握できるようにすることを目標とする.

After entering 21st century, emerging countries, particularly BRICS, have changed drastically global economic map, which had been dominated by 19th and 20th century imperialism countries and developed industrial countries. Particularly, the rise of China has challenged reigning country US more and more. In many developed nations, globaphobia is trying to outdo emerging globalism, evidenced by Brexit and Trump administration in US. This seems to be a sign of arriving era with higher uncertainty and instability.

In this class, students will examine development and transition of world economy from around WWII until today while focusing on the transition from international economic relationship to global economy and changes in its structure to understand current international economy. Students will also try to understand the international economy from political policy perspective by finding out the relationship between actual economic and the conceptual economic within the transition process. Furthermore, the class will look into specific political economic phenomena and policy development sequentially to discuss their political economic meanings, their impacts and significances in actual economy worldwide.

Therefore, this class tilts towards “theories” that is to be used for interpretation based on the fact, instead of “knowledge” that focus on theories. In other words, the approaches focus on qualitative instead of quantitative analysis. In this class, specific international economic phenomena and policy development will be picked up sequentially, while considering their mutual relationships and political economic meanings as well as their impacts and significances in actual economy worldwide. Students will be able to grasp current global economic states by integrating individual information available in large volume daily.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:イントロダクション:グローバリゼーション、グローバリズム
【3】:ポスト冷戦時代の幕開け:Pax Americana の再生とグローバリズムの始動1
【4】:ポスト冷戦時代の幕開け:Pax Americana の再生とグローバリズムの始動2
【5】:バブル連鎖:サブプライムローンと世界同時不況1
【6】:バブル連鎖:サブプライムローンと世界同時不況2
【7】:グローバリゼーションと国民主権1
【8】:グローバリゼーションと国民主権2
【9】:国際経済秩序を巡る米中対抗1
【10】:国際経済秩序を巡る米中対抗2
【11】:国際経済秩序を巡る米中対抗3
【12】:輪読
【13】:輪読
【14】:輪読

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

参考文献と講義ノートでの毎講義の復習。
オンディマンド動画による反転学習。
輪読の課題。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 毎回のレポート:50% 毎回の発表:50%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:KA333

国際企業法務特論1

Special Lecture on International Justice and Corporate Governance 1
コーポレート・ガバナンスを中心に，ビジネスエシックス（企業倫理），コンプライアンス，CSR（企業の社会的責任），ESG（環境・社会・ガバナンス），SDGs（持続可能な開発目標）を理解する

白坂　亨（SHIRASAKA TORU）

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA333
授業形態	対面（一部オンライン）	授業形態（補足事項）	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5820
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	－（履修中止制度なし/ No system for cancellation）	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

近年，会社経営においてその重要性を増している（1）コーポレート・ガバナンス（2）企業倫理（ビジネス・エシックス）・コンプライアンス（3）CSR（企業の社会的責任），ESG（環境・社会・ガバナンス）とSDGs（持続可能な開発目標）などをとりあげ，国際企業法務の視点から，考察・解明する（本講義では（1）が中心となる。（2）および（3）は国際企業法務特論 2 にて講義する）。
Students will study increasingly important issues in corporate management in recent years: (1) corporate governance, (2) business ethics, compliance, (3) corporate social responsibility (CSR), environment, society, and governance (ESG), and sustainable development goals (SDGs). Students will analyze and clarify these subjects from international corporate legal perspective. (This class will focus on (1). (2) and (3) will be lectured in Special Lecture on International Justice and Corporate Governance 2.)

授業の内容 / Course Contents

授業は受講生の関心のニーズを確認したうえで，配布するスライド，資料，論文とともに，視聴覚教材等を活用し，適宜質疑応答や小レポートの発表，質疑応答を組み入れながら受講生参画型で行う。まずはコーポレート・ガバナンスについて，その議論と進展，国際的な環境変化，経営システムの制度改革，内部統制システムの構築義務，多発しているグローバル企業の不祥事例などを取り上げる。次に，企業倫理，企業の社会的責任（CSR））のあり方を理解し，さらにはESG（環境・社会・ガバナンス）の重要性とSDGs（持続可能な開発目標）のあり方を理解する。近年，企業を見る社会の眼が一段と厳しくなる中，企業として従来の財務業績向上に加えて，誠実な企業行動をとり，社会的責任を果たすことがビジネス成功の鍵であることを理論と事例研究で考察する。
In this class, professor will consider students’ interests and use distributed PowerPoint slides, documents, papers, and audio-visual materials. Students will participate actively in class through Q&A and mini report presentation. First, students will study corporate governance, including its discussion, development, international environmental change, management system revolution, obligation when constructing internal control system, and frequent unfavorable cases among global corporations. Next, students will understand corporate ethics and social responsibilities (CSR). They will understand importance of environment, society, and governance (ESG) and current state of sustainable development goals (SDGs). In recent years, society are judging corporations with harsher eyes. In addition to existing financial performance improvement, corporations must be honest in their actions and fulfill their social responsibilities. These are the key to business success. Students will analyze these through theories and case researches.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス/会社の仕組み，株式会社とは何か，講義の進め方，小レポート，質疑応答などについて.

【2】:1-1　コーポレートガバナンスの概要
【3】:1-2 コーポレート・ガバナンスと社外取締役①在任期間／受講生の小レポート報告・質疑応答
【4】:1-3 コーポレート・ガバナンスと社外取締役②報酬と兼任／受講生の小レポート報告・質疑応答
【5】:1-4 コーポレート・ガバナンスと社外取締役③取締役会への出席／受講生の小レポート報告・質疑応答
【6】:1-5 コーポレート・ガバナンスと相談役・顧問①その意義と実態／受講生の小レポート報告・質疑応答
【7】:1-6 コーポレート・ガバナンスと相談役・顧問②問題点／受講生の小レポート報告・質疑応答
【8】:1-7 コーポレート・ガバナンスと取締役①報酬／受講生の小レポート報告・質疑応答
【9】:1-8 コーポレート・ガバナンスと取締役②国際比較／受講生の小レポート報告・質疑応答
【10】:1-9 コーポレート・ガバナンスと中期経営計画／受講生の小レポート報告・質疑応答
【11】:1-10 コーポレート・ガバナンスと自己株式取得／受講生の小レポート報告・質疑応答
【12】:1-11 コーポレート・ガバナンスと政策保有株式／受講生の小レポート報告・質疑応答
【13】:1-12 コーポレート・ガバナンスとは何か-総括へ向けて-／受講生の小レポート報告・質疑応答
【14】:1-13 受講生のレポート報告・総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

必要に応じて，授業内で都度指示する(予習の必要はない)。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 最終レポートの発表:20% 授業内で指示した課題(小レポート)の提出状況:30% 出席の状況・参画意欲等:20%　　最終レポート割合::30%
最終レポート、最終レポートの発表および主要課題へのレポート提出のほか，リアクションペーパー，意見交換，ディスカッションなどを総合的に勘案して評価する。

テキスト / Textbooks

レジュメおよび資料を配布する。

参考文献 / Readings

講義の中で，課題に合わせて適宜紹介する。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

基本的なことから始めますが、興味、関心は必須です。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

パソコンは必要です。

その他 / Others

無し。

作成:2024/10/02
科目コード:KA334

国際企業法務特論2

Special Lecture on International Justice and Corporate Governance 2
ESG(環境・社会・ガバナンス)及びSDGs(持続可能な開発目標)を理解する

白坂　亨(SHIRASAKA TORU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA334
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5820
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

近年，会社経営においてその重要性を増している(1)コーポレート・ガバナンス(2)企業倫理(ビジネス・エシックス)・コンプライアンス(3)CSR(企業の社会的責任)，ESG(環境・社会・ガバナンス)とSDGs(持続可能な開発目標)などをとりあげ，国際企業法務の視点から，考察・解明する(本講義では(2)および(3)を講義する)。
This class will cover increasing important issues in corporate management in recent years: (1) corporate governance, (2) business ethics and compliance, (3) corporate social responsibility (CSR), environment, society, and governance (ESG), and sustainable development goals (SDGs). Students will analyze and clarify these subjects from international corporate law perspective. (This class will focus on (2) and (3)).

授業の内容 / Course Contents

授業は受講生の関心のニーズを確認したうえで，配布するスライド，資料，論文とともに，視聴覚教材等を活用し，適宜質疑応答や小レポートの発表を組み入れながら受講生参画型で行う。まずはコーポレート・ガバナンスについて，その議論と進展，国際的な環境変化，経営システムの制度改革，内部統制システムの構築義務，多発しているグローバル企業の不祥事例などを取り上げる。次に，企業倫理，企業の社会的責任(CSR))のあり方を理解し，さらにはESG(環境・社会・ガバナンス)の重要性とSDGs(持続可能な開発目標)のあり方を理解する。近年，企業を見る社会の眼が一段と厳しくなる中，企業として従来の財務業績向上に加えて，誠実な企業行動をとり，社会的責任を果たすことがビジネス成功の鍵であることを理論と事例研究で考察する。
In this class, professor will consider students' interests and use distributed PowerPoint slides, documents, papers, and audio-visual materials. Students will participate actively in class through Q&A and mini report presentation. First, students will study corporate governance, including its discussion, development, international environmental change, management system revolution, obligation when constructing internal control system, and frequent unfavorable cases among global corporations. Next, students will understand corporate ethics and social responsibilities (CSR). They will understand importance of environment, society, and governance (ESG) and current state of sustainable development goals (SDGs). In recent years, society are judging corporations with harsher eyes. In addition to existing financial performance improvement, corporations must be honest in their actions and fulfill their social responsibilities. These are the key to business success. Students will analyze these through theories and case researches.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス/講義の概要，講義の進め方，小レポート，質疑応答などについて
【2】:2-1　ESG の概要
【3】:2-2　ESG と国連／受講生の小レポート報告・質疑応答
【4】:2-3　ESG と投資家／受講生の小レポート報告・質疑応答

【5】:2-4　ESG と企業(1)日立・エーザイ①環境／受講生の小レポート報告・質疑応答
【6】:2-5　ESG と企業(2)日立・エーザイ②社会／受講生の小レポート報告・質疑応答
【7】:2-6　ESG と企業(3)日立・エーザイ③ガバナンス／受講生の小レポート報告・質疑応答
【8】:3-1　SDGsの概要／受講生の小レポート報告・質疑応答
【9】:3-2　SDGsと国連／受講生の小レポート報告・質疑応答
【10】:3-3　SDGsと企業(1)ソニーの対応／受講生の小レポート報告・質疑応答
【11】:3-4　SDGsと企業(2)丸井の対応／受講生の小レポート報告・質疑応答
【12】:3-5　SDGsと企業(3)イギリス企業の SDGsへの対応／受講生の小レポート報告・質疑応答
【13】:3-6　SDGsと企業(4)アメリカ企業の SDGsへの対応／受講生の小レポート報告・質疑応答
【14】:受講生のレポート報告・総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

必要に応じて，授業内で都度指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合　:100%　小レポートの発表:20%　授業内で指示した課題(小レポート)の提出状況:30%　出席の状況・参画意欲等:20%　　最終レポート割合：:30%

テキスト / Textbooks

レジュメおよび資料を配布する。

参考文献 / Readings

講義の中で，課題に合わせて適宜紹介する。

その他 / Others

授業形態については、受講生の都合に合わせたいと考えています。

作成:2024/10/02
科目コード:KA339

企業環境C特論1

Special Lecture on Economics and Environment C-1
事業戦略概論と定性分析の技法
Business strategy overview and qualitative analysis techniques

玉木　昭宏(TAMAKI AKIHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA339
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期 1
単位	2	科目ナンバリング	ECX5820
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

学生が企業における事業戦略の目的や意味合いを理解し，その前提となる事業環境の洞察に必要な分析フレームワークの理解と活用を通じて，経営目線から企業の抱える課題を的確に抽出するスキル習得を目標とする。
Students will understand purpose and implication of business strategies in corporations. They will also understand and use analysis frameworks, which are prerequisites for business-environment analysis. By doing this, students will acquire skill to accurately extract corporates issues from management perspective.

授業の内容 / Course Contents

冒頭の講義で，企業における事業戦略策定の枠組みを理解する。その後は分析の基礎となる思考力についての理解を踏まえ，SWOT や 3C，5Forces など定性面からの経営分析ツールを活用事例とともに学ぶ。仕上げとして，上場企業を題材としたケーススタディに取り組むことで，それらツールの実践的な活用イメージを習得する。
In early lectures, students will understand frameworks used to determine business strategies in corporations. After that, with the understandings of analysis basics, students will learn about qualitative management analysis tool such as SWOT, 3C and 5Forces while studying about application examples. To finish, students will work on case studies using listed companies as materials to acquire the image for practical application.

授業計画 / Course Schedule

【1】:戦略構築のアプローチと留意点について
Approach and points to keep in mind when building a strategy
【2】:思考のベースロジック:　論理的思考(概論)
Base logic of thinking: Logical thinking (overview)
【3】:思考のベースロジック　論理的思考と仮説構築の技法
Base logic of thinking: Techniques for logical thinking and hypothesis construction
【4】:思考のベースロジック　論理的思考と仮説構築の技法
Base logic of thinking: Techniques for logical thinking and hypothesis construction
【5】:定性面からの経営分析の枠組みと技法(1)
Framework and techniques for qualitative management analysis (1)
【6】:定性面からの経営分析の枠組みと技法(1)
Framework and techniques for qualitative management analysis (1)
【7】:定性面からの経営分析の枠組みと技法(2)
Framework and techniques for qualitative management analysis (2)

【8】:定性面からの経営分析の枠組みと技法(2)
Framework and techniques for qualitative management analysis (2)
【9】:ソリューション思考とビジネスモデル
Solution thinking and business model
【10】:ソリューション思考とビジネスモデル
Solution thinking and business model
【11】:定性分析ケーススタディ
Qualitative analysis case study
【12】:定性分析ケーススタディ
Qualitative analysis case study
【13】:ストーリー構築の技法
Story building techniques
【14】:戦略立案プロセスにおける財務の活用場面
Scenes in which finance is used in the strategic planning process

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表	○	ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

論理思考や戦略の基礎知識について，自身で選んだ書籍等で確認しておくことが望ましい。
It is recommended that you check the basic knowledge of logical thinking and strategy using books of your own choice.

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業への出席およびクラス貢献度(発言、質問、事前準備、グループワーク参加など):70%
最終レポート割合::30%

テキスト / Textbooks

講義の都度，資料を配布する。
Materials will be distributed at each lecture.

参考文献 / Readings

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

レポートはパワーポイントまたはワードを使用して作成するので、いずれかのアプリが利用可能な PC やタブレットなどの機器を準備願う。
The report will be created using PowerPoint or Word, so please prepare a device such as a PC or tablet that can use either of these apps.

その他 / Others

各回のテキスト等は授業実施 5 日程度前に Canvas LMS にアップロードされるので、各自でダウンロードして授業当日に持参する(PC やタブレット、紙など形式は自由)。
The texts for each class will be uploaded to Canvas LMS about 5 days before the class starts, so each student should download them and bring them on the day of the class (you can use any format such as PC, tablet, paper, etc.).

作成:2024/10/02
科目コード:KA340

企業環境C特論2

Special Lecture on Economics and Environment C-2
財務分析の技法と課題抽出アプローチ

玉木　昭宏(TAMAKI AKIHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA340
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期 2
単位	2	科目ナンバリング	ECX5820
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

学生が企業の経営課題を財務面からも見極めることができるよう，財務分析に必要な知識を企業活動や事業戦略と関連付けて理解し、それを分析に実践できるスキル習得を目標とする。
Students will acquire essential knowledge in financial analyses in relationships with corporate activities and business strategies to understand thoroughly corporate management subjects also from financial perspective. Students will aim to acquire skills applicable in these analyses.

授業の内容 / Course Contents

財務数字を入口に，企業経営の状況を分析・評価する技法を学ぶ。損益計算書，貸借対照表、キャッシュフロー計算書各々の体系と主要項目について，経営や事業活動の側から見た意味合いを理解するとともに，上場企業を題材とした財務分析ケースに取り組むことで，財務指標の読み解き方や企業活動との関連を肌感覚として養う。
Students will learn techniques to analyze and evaluate corporate managements by approaching them through financial numbers. Students will understand implications of systems and major subjects such as profit-and-loss statements, balance sheets and statement of cash flows from perspective of managements and business activities. At the same time, students will work on the case study about listed companies for financial analyses. They will learn hands-on how to read financial indicators and their relationships with corporate activities.

授業計画 / Course Schedule

【1】:損益計算書の体系と分析・評価の視点(1)
【2】:損益計算書の体系と分析・評価の視点(1)
【3】:損益計算書の体系と分析・評価の視点(2)
【4】:損益計算書の体系と分析・評価の視点(2)
【5】:貸借対照表(バランスシート)の体系と分析・評価の視点
【6】:貸借対照表(バランスシート)の体系と分析・評価の視点
【7】:キャッシュフローのロジック
【8】:ビジネスモデルと財務構造
【9】:企業価値、株主価値創造の枠組み
【10】:企業価値、株主価値創造の枠組み
【11】:財務分析ケーススタディ
【12】:財務分析ケーススタディ
【13】:振り返りとまとめ
【14】:振り返りとまとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表	○	ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

会計分野の基礎知識について，自身で選んだ書籍等で確認しておくことが望ましい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業への出席およびクラス貢献度(発言、質問、事前準備、グループワーク参加など):70%
最終レポート割合::30%

テキスト / Textbooks

講義の都度，資料を配布する。

参考文献 / Readings

玉木昭宏 『計数感覚スキル入門』 中央経済グループパブリッシング 2022/9/8 4502443018

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

参考文献として挙げた「計数感覚スキル入門」を予習・復習を目的に読んでおくと、授業内容の理解が進むと思われる。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

授業では簡単な計算を伴う演習などを実施するので、電卓(スマートフォンのアプリでも可)、PC、タブレットなど計算機能のある機器の持参を願う。

その他 / Others

各回のテキスト等は授業実施 5 日程度前に Canvas LMS にアップロードされるので、各自でダウンロードして授業当日に持参する(PC やタブレット、紙など形式は自由)。

作成:2024/10/02
科目コード:KA343

現代企業特論1

Special Lecture on the Contemporary Firm 1
イノベーションと経済的価値

坂本　義和(SAKAMOTO YOSHIKAZU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA343
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5820
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA347 現代企業特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

本講義の目標は、現代社会、特に市場経済の観点において重要な概念となっているイノベーションについて理解することにあります。特にイノベーションとは何かを理解する目的から、イノベーションの概念に論者によって違いはあるのか、イノベーションが経済状況や経済体制に対してどのような影響を与えるのか、イノベーションはどのように実現されるのか、といった問題を検討することにあります。

This lecture aims to understand the concept of 'Innovation'. We will primarily focus on such points as whether there are any differences in definitions among scholars, how innovations affect the situation or regime of the economy, and how players succeed in innovations.

授業の内容 / Course Contents

様々なトピックを通じてイノベーションの概観を理解する目的から、指定のテキスト『イノベーション』の各章を読解することから始めます。読解した内容をベースに関連する諸問題について議論を行います。ただし参加者の関心に応じて取り上げるトピックを柔軟に変更したいと思います。

This lecture asks participants to read the text to understand various topics of the concept of 'Innovation'. And we will discuss related problems on every topic. However, we will change the issue flexibly depending on the interests of the participants.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:イノベーションとは何か
【3】:イノベーションの測定
【4】:イノベーションのパターン
【5】:イノベーションを持続的に生み出す要因
【6】:国によるイノベーションの違い
【7】:産業によるイノベーションの違い
【8】:企業によるイノベーションの違い
【9】:イノベーションと企業:企業の特性
【10】:イノベーションと企業:企業の戦略
【11】:イノベーションと企業:企業間関係
【12】:イノベーションと政策
【13】:イノベーションと社会
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

予習、復習等の指示は毎回の講義内において行います。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業貢献度:60% 報告:40%

テキスト / Textbooks

清水洋『イノベーション』有斐閣 2022 9784641166028

参考文献 / Readings

J. A. シュムペーター『経済発展の理論 上・下』岩波書店 1977 9784003414712978400341472 9784003414729
ブノワ ゴダン『イノベーション概念の現代史』名古屋大学出版会 2021 9784815810467
フィリップ アギヨン・セリーヌ アントニン・サイモン ブネル『創造的破壊の力』東洋経済新報社 2022 9784492396711
ウィリアム J. ボーモル『自由市場とイノベーション』勁草書房 2010 9784326503421
岡田羊祐『イノベーションと技術変化の経済学』日本評論社 2019 9784535559141
鈴木潤・安田聡子・後藤晃(編)『変貌する日本のイノベーション・システム』有斐閣 2021 9784641165786
一橋大学イノベーション研究センター(編)『イノベーション・マネジメント入門』日本経済新聞出版社 2001 9784532134747

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

指定のテキストを読解し、それをベースに議論を行います。関連のトピックスを事前に調べ、議論の場において疑問点や議論点を開示し、議論に積極的に参加することを望みます。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

オンラインにて講義を行う際は、ネットにつながる情報機器を用意してください。

その他 / Others

オンラインにて講義を行う回を設定する予定です。

作成:2024/10/02
科目コード:KA344

現代企業特論2

Special Lecture on the Contemporary Firm 2
イノベーションとアントレプレナーシップ

坂本　義和(SAKAMOTO YOSHIKAZU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA344
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5820
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA348 現代企業特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

本講義の目標は、現代社会、特に市場経済の観点において重要な概念となっているイノベーションについて理解することにあります。特にイノベーションの担い手とされるアントレプレナー(企業家)とそのあり方としてのアントレプレナーシップ(企業家精神)について理解することにあります。
This lecture aims to understand the concept of 'Innovation'. We will primarily focus on 'Entrepreneur' and 'Entrepreneurship', which are thought of as the leader of 'Innovation'.

授業の内容 / Course Contents

様々なトピックを通じてイノベーションの概観を理解する目的から、指定のテキスト『アントレプレナーシップ』の各章を読解することから始めます。読解した内容をベースに関連する諸問題について議論を行います。ただし参加者の関心に応じて取り上げるトピックを柔軟に変更したいと思います。
This lecture asks participants to read the text to understand various topics of the concept of 'Innovation'. And we will discuss related problems on every topic. However, we will change the issue flexibly depending on the interests of the participants.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:アントレプレナーシップとは何か
【3】:新しいビジネスの機会
【4】:アントレプレナーシップの測定
【5】:起業の方法
【6】:資金調達の方法
【7】:生存率を上げる方法
【8】:撤退の決定
【9】:組織とアントレプレナーシップ
【10】:アントレプレナーの特性
【11】:アントレプレナーと社会的ネットワーク
【12】:アントレプレナーシップと政策
【13】:アントレプレナーシップと社会
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

予習、復習等の指示は毎回の講義内において行います。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業貢献度:60% 発言:40%

テキスト / Textbooks

清水洋『アントレプレナーシップ』有斐閣 2022 9784641165984

参考文献 / Readings

J. A. シュンペーター『企業家とは何か』東洋経済新報社 1998 9784492370896
J. A. シュンペーター『新装版 資本主義・社会主義・民主主義』東洋経済新報社 1995 9784492370797
R. F. ヘバート・A. N. リンク『企業者論の系譜』ホルト・サウンダース・ジャパン 1984 9784833750158
池本正純『企業家とはなにか』八千代出版 2005 9784842913414
關智一『イノベーションと内部非効率性』白桃書房 2017 9784561267027
加藤雅俊『スタートアップの経済学』有斐閣 2022 9784641166011
トム ニコラス『ベンチャーキャピタル全史』新潮社 2022 9784105072919

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

指定のテキストを読解し、それをベースに議論を行います。関連のトピックスを事前に調べ、議論の場において疑問点や議論点を開示し、議論に積極的に参加することを望みます。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

オンラインにて講義を行う際は、ネットにつながる情報機器を用意してください。

その他 / Others

オンラインにて講義を行う回を設定する予定です。

作成:2024/10/02
科目コード:KA401

会計学特論1

Special Lecture on Accounting 1

浅野　敬志(ASANO TAKASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA401
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンラインの回は受講生と相談のうえ決定する。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA349 会計学特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

現行の会計制度の背後にある仕組みや考え方について理解を深めるとともに、伝統的な会計理論や企業会計原則についても理解を深める。

We deepen our understanding of the mechanisms and ideologies behind the current accounting system, while also enhancing our understanding of traditional accounting theories and corporate accounting principles.

授業の内容 / Course Contents

会計は多くの複雑なルールに基づいているが、その背後にある仕組みや考え方について、主に輪読を通じて理解を深める。過去 100 年にわたり、会計は静態論から動態論へ、収益費用アプローチから資産負債アプローチへと、基本的な足場を移行させている。この移行の中で、従来の会計基準全体を支える基本的な考え方との整合性が常に検討されており、伝統的な会計理論や企業会計原則についても理解を深める。

Accounting is based on many complex rules, but understanding the underlying mechanisms and principles is primarily achieved through group reading. Over the past 100 years, accounting has transitioned from static to dynamic perspectives and from revenue-cost to asset-liability approaches, shifting its foundational framework. Within this transition, the consistency with the fundamental principles supporting traditional accounting standards is constantly under scrutiny. It is important to deepen understanding of traditional accounting theories and corporate accounting principles as well.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:会計の機能
【3】:会計のルール
【4】:会計の制度性
【5】:会計の基礎概念
【6】:会計の仕組み
【7】:利益計算の考え方
【8】:発生主義会計
【9】:配分と評価
【10】:資産負債アプローチと収益費用アプローチ
【11】:資産・負債の認識と測定(1)
【12】:資産・負債の認識と測定(2)
【13】:純資産の会計
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの該当箇所に目を通し、疑問点や討論したい事項をまとめてくること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:40% 討論:40% 最終レポート:20%

テキスト / Textbooks

藤井秀樹 入門財務会計(第 4 版) 中央経済社 2021 4502375519

参考文献 / Readings

佐藤信彦ほか スタンダードテキスト財務会計論 I (基本論点編)(第 16 版) 中央経済社 2023 4502461911
桜井久勝 財務会計講義(第 25 版) 中央経済社 2024 9784502500718
本講義は、受講者がディスカッションをしながら進める講義である。学部上級レベルの財務会計の知識(上記参考文献程度の知識)を前提として進めていく予定である。

作成:2024/10/02
科目コード:KA402

会計学特論2

Special Lecture on Accounting 2

浅野　敬志(ASANO TAKASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA402
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンラインの回は受講生と相談のうえ決定する。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA350 会計学特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

企業による会計処理や情報開示の選択が財務会計の機能に及ぼす影響について理解するとともに、会計基準や財務報告制度の理論を通じて、制度設計に関する示唆を得ることを目標とする。
The goal is to understand how companies' choices in accounting policy and disclosure affect the function of financial accounting, and to derive insights for institutional design through an understanding of accounting standards and financial reporting theories.

授業の内容 / Course Contents

企業が会計処理や情報開示の選択を行うプロセスを確認しつつ、これらが財務会計に期待される情報提供機能と利害調整機能にどのような影響を与えるかを学習する。さらに、会計基準や財務報告制度の理論についても理解を深めることで、制度設計への示唆を考察する予定である。
We will examine the process through which companies make choices regarding accounting policy and disclosure while learning about the impact of these choices on the information-providing and stakeholder alignment functions expected of financial accounting. Furthermore, by deepening our understanding of accounting standards and financial reporting system theories, we plan to consider implications for system design.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:利益調整
【3】:発生主義会計の優位性の源泉
【4】:発生主義会計の潜在的な弱点
【5】:財務報告の機能と制度
【6】:利害調整機能
【7】:情報提供機能
【8】:利益調整による株価形成の誤導
【9】:財務報告の制度設計と株価・会計情報研究の役割
【10】:基準設定の理論(1)
市場の失敗と情報開示インセンティブ
【11】:基準設定の理論(2)
財務報告の質と量
【12】:基準設定の理論(3)
基準設定のデュープロセス
【13】:基準設定の理論(4)

資本市場の国際統合と会計
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの該当箇所に目を通し、疑問点や討論したい事項をまとめてくること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:40% 討論:40% 最終レポート:20%

テキスト / Textbooks

桜井久勝 利益調整:発生主義会計の光と影 中央経済社 2023 9784502451119
ウィリアム・R・スコット 新版 財務会計の理論と実証 中央経済社 2022 4502427616

参考文献 / Readings

浅野敬志 会計情報と資本市場:変容の影響と分析 中央経済社 2018 9784502250415

その他 / Others

本講義は、受講者がディスカッションをしながら進める講義である。学部上級レベルの財務会計の知識(上記参考文献程度の知識)を前提として進めていく予定である。

作成:2024/10/02
科目コード:KA403

経営分析特論1

Special Lecture on Business Analysis 1

田村　八十一(TAMURA YASOKAZU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA403
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	一部オンラインは第 1 回、第 2 回に実施するので、オンラインに関する情報などを CanvasLMS で確認されたい。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5820
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

現代の企業，すなわち個別資本は，その規模が巨大化すればするほど，我々の生活に様々な影響を与えている。このような巨大企業の実態は，どのように把握すれば良いのだろうか。経営分析特論1では，このような企業の動向と特質を社会経済的な視点から分析する方法を研究する。

Modern corporations, i.e. individual capitals, bring greater impacts on our lives as they grow. How can we approach and understand current states of these mega corporations? In Special Lecture on Business Analysis 1, students will research methods to analyze these corporate trends and characteristics from social economics perspective.

授業の内容 / Course Contents

個別資本は，単体企業だけでなく，連結企業集団として活動している。経営分析特論1では，様々なステークホルダーの立場だけでなく，国民の視点ないし社会経済的な視点から，このような個別資本の基礎的な経営分析の方法を検討するとともに，「有価証券報告書」などの様々なデータを用いて，実際の企業のケースについても研究する。

特に経営分析を考える視点として，現代資本主義や現代産業などの特質などを踏まえて，経営分析の方法とフレームワークを検討する。

また，会計政策やアーニングスマネジメントとのかかわりで会計情報の特質を検討するとともに，巨大企業がいかにして成長してきたのか，収益性と企業の本質とは何か，企業の支払能力や財務構造の安定性などについてディスカッションしながら研究していく。

Individual capitals are active not only in individual corporations but also in consolidated business groups. In Special Lecture on Business Analysis 1, students will look into basic management analysis method in these individual capitals considering perspectives of not only various stakeholders, but also citizens and social economics. At the same time, students will also research the actual corporation cases using various data such as securities reports.

Notably, students will consider characteristics of modern capitalism and industry from business analysis perspective. They will then discuss business analysis methods and frameworks.

Furthermore, students will study how mega corporations have been grown, what is the essence of profitability and corporations, and corporates' paying capability and financial structure stability while discussing characteristics of accounting data from its relationships with accounting policies and earnings management.

授業計画 / Course Schedule

【1】:経営分析特論について
【2】:何のための経営分析か
【3】:現代資本主義の特質と経営分析

【4】:現代産業の特質と経営分析
【5】:財務データなどの活用と会計政策
【6】:経営分析の方法
【7】:現代企業の基礎分析
【8】:タイムシリーズ分析と成長性分析
【9】:現代企業の収益性分析
【10】:現代企業におけるバランスシートの構造と安全性分析
【11】:企業の資金構造と資金分析
【12】:経営分析の課題と地平
【13】:総合分析と問題点
【14】:ケーススタディと総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習については，必要に応じて指示するが，以下の点に留意すること。
(1)指示した文献の内容を事前に理解して本特論に臨むこと。
(2)本特論でマスターした内容についてケース分析を試みること。
上記(1)，(2)の詳細については，別途指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 学期中の報告:60% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

授業において指示する。

参考文献 / Readings

大橋英五編著『日本の製造業を分析する』(唯学書房 2010 年)
その他は，随時，講義において紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA404

経営分析特論2

Special Lecture on Business Analysis 2

田村　八十一(TAMURA YASOKAZU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA404
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	一部オンラインは第 1 回、第 2 回に実施するので、オンラインに関する情報などを CanvasLMS で確認されたい。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5820
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

経営分析特論2では，個別資本の実態を社会経済的に分析する方法を検討していく。現代の巨大企業は，いわゆるリストラクチャリングを推進して，また多角化，多国籍化しながら、内部留保を蓄積している。そこで，このような企業の動向を分析するとともに，混迷する現代社会において企業が国民のために真に向かわなければならない方向を研究する。

In Special Lecture on Business Analysis 2, students will look into methods used to analyze current states of individual capitals from social economics perspective. Modern mega corporations promote restructuring, diversifying, and multi-nationalizing themselves to accumulate retained earnings. Therefore, in addition to analyzing these corporate trends, students will also research the way corporations should go to for people in this chaotic modern society.

授業の内容 / Course Contents

大企業などの生産性分析などの単体データを用いた分析に加えて，多角化，多国籍化した企業の動向を分析するために，連結データやセグメント情報などの各種のデータを活用する方法を検討する。

また，巨大企業における内部留保の強蓄積をどのように析出して，その実態をどのように分析すれば良いかなどの応用的な研究を行う。

さらに，キャッシュフロー情報で企業の何がわかるのか，従業員の状況と企業の社会的責任，新しい指標とその問題点などを研究する。

In addition to the analysis that uses simple data such as productivity analysis in mega corporations, students will also look into methods that utilize the various data including consolidated data and segment information to analyze diversifying and globalizing corporate trends.

Furthermore, students will conduct applied researches to filter out large reserve of retained earnings in mega corporations and to analyze their current states.

Students will study and research what can be read about corporation from their cash flow data, their employee status and corporate social responsibilities, new indicators and their issues.

授業計画 / Course Schedule

【1】:経営分析特論について
【2】:生産性分析と合理化
【3】:現代企業の収益構造と損益分岐点分析
【4】:内部留保と分析方法
【5】:現代ビッグビジネスの内部留保
【6】:連結企業集団と連結財務諸表分析

【7】:多国籍・多角化するビッグビジネスの動向とセグメント情報
【8】:M&A&D とセグメント分析
【9】:企業活動とキャッシュフロー分析
【10】:SDGs・ESG・現代企業の社会的責任と労務分析
【11】:リストラクチャリングと経営分析
【12】:その他の指標と課題
【13】:経営分析の史的展開
【14】:ケーススタディと総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習については，必要に応じて指示するが，以下の点に留意すること。
(1)指示した文献の内容を事前に理解して本特論に臨むこと。
(2)本特論でマスターした内容についてケース分析を試みること。
上記(1)，(2)の詳細については，別途指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 学期中の報告:60% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

授業において指示する。

参考文献 / Readings

丸山惠也 編著『日本の多国籍企業』(新日本出版社 2012 年)
その他は，随時，講義において指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA405

管理会計特論1

Special Lecture on Management Accounting 1

諸藤　裕美(MOROFUJI YUMI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA405
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA351 管理会計特殊講義 1 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経営管理者の意思決定や業績管理に有用な会計手法についての知識をブラッシュアップしたうえで、日本企業の管理会計・原価計算の動向、理論と実務の乖離の状況などに関する文献を読み、適切な管理会計システムの設計・利用について自身で考えられるようになる。管理会計が人の行動や心理に与える影響にも焦点を当てる。

After brushing up your knowledge of accounting methods useful for business managers' decision-making and performance management, read literature on trends in management accounting and cost accounting in Japanese companies, the state of disparity between theory and practice, and apply appropriate methods. Students will be able to think about the design and use of management accounting systems on their own. We will also focus on the impact of management accounting on human behavior and psychology.

授業の内容 / Course Contents

管理会計の理論体系を数回で大まかに復習し、日本企業の管理会計・原価計算の動向、理論と実務の乖離などに関する文献を輪読する。管理会計が人の行動や心理に与える影響にも焦点を当てる。

We will briefly review the theoretical system of management accounting, and read literature on trends in management accounting and cost accounting in Japanese companies, and the gap between theory and practice. We will also focus on the impact of management accounting on human behavior and psychology.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:管理会計に関するテキストの輪読(1)
【3】:管理会計に関するテキストの輪読(2)
【4】:管理会計に関するテキストの輪読(3)
【5】:管理会計に関するテキストの輪読(4)
【6】:管理会計に関する文献の輪読(1)
【7】:管理会計に関する文献の輪読(2)
【8】:管理会計に関する文献の輪読(3)
【9】:管理会計に関する文献の輪読(4)
【10】:管理会計に関する文献の輪読(5)
【11】:管理会計に関する文献の輪読(6)
【12】:管理会計に関する文献の輪読(7)
【13】:管理会計に関する文献の輪読(8)
【14】:振り返り

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

各回の文献をよく読み、議論ができる状態にして授業に臨むこと。自分の報告担当章については、明らかでない点は他の文献等で調べて報告に臨むこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 出席、報告・質疑応答・議論への取り組み:70% 小テスト・提出課題の質:30%

テキスト / Textbooks

谷武幸『エッセンシャル管理会計第4版』 中央経済社 2022 9784502439018
川野克典『管理会計・原価計算の変革』 中央経済社 2023 9784502479212
前半の管理会計の復習については受講者のバックグラウンドをもとに確定する。

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

開講時に、学部レベル(概ね日商簿記工業簿記 2 級レベル)の管理会計の知識を習得していることを前提とする。

その他 / Others

正当な理由のない欠席は、減点の対象となる。

作成:2024/10/02
科目コード:KA406

管理会計特論2

Special Lecture on Management Accounting 2

諸藤　裕美(MOROFUJI YUMI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA406
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA352 管理会計特殊講義 2 と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経営管理者や組織成員の意思決定、行動、心理に望ましい影響を与えるための管理会計のあり方について自身で考えられるようになる。

Students will be able to think for themselves about how management accounting should affect the decision-making, behavior, and psychology of managers and organizational members.

授業の内容 / Course Contents

近年、組織成員の創造性発揮や組織成員間の連携が一層重要になってきている。創造性や連携のための管理会計に関する論文を読み、議論する。

In recent years, it has become more important for organizational members to exhibit their creativity and to cooperate with each other. Read and discuss papers on management accounting for creativity and collaboration.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:管理会計に関する文献の輪読(1)
【3】:管理会計に関する文献の輪読(2)
【4】:管理会計に関する文献の輪読(3)
【5】:管理会計に関する文献の輪読(4)
【6】:管理会計に関する文献の輪読(5)
【7】:管理会計に関する文献の輪読(6)
【8】:管理会計に関する文献の輪読(7)
【9】:管理会計に関する文献の輪読(8)
【10】:管理会計に関する文献の輪読(9)
【11】:管理会計に関する文献の輪読(10)
【12】:管理会計に関する文献の輪読(11)
【13】:管理会計に関する文献の輪読(12)
【14】:振り返り

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	

上記いずれも用いない予定	

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

各回の文献を熟読し、議論ができる状態にして授業に臨むこと。自分の報告担当章については、明らかでない点は他の文献等で調べて報告に臨むこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 出席、報告・質疑応答・議論への取り組み:70% レポート:30%

テキスト / Textbooks

諸藤裕美 『自律的組織の管理会計 原価企画の進化』 中央経済社 2013
浅田拓史 『自律創造型コントロールの理論と実践』 中央経済社 2023
上記文献以外に、『原価計算研究』や Accounting, Organizations and Society などに掲載されている、創造性とコントロールに関する論文を扱う。

参考文献 / Readings

谷武幸 『エッセンシャル管理会計(第 4 版)』 中央経済社 2022

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

管理会計の学部レベル（概ね日商簿記 2 級程度）の知識を前提とする。このトピックの著名な英語論文を数本読む可能性が高いため、春学期から構文読解の準備をしておくこと。

その他 / Others

管理会計特論 1 を受講していることが望ましい。正当な理由のない欠席は、減点の対象となる。

作成:2024/10/02
科目コード:KA407

財務会計特論1

Special Lecture on Financial Accounting 1

米谷　健司(KOMETANI KENJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA407
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	第8～14回の授業はオンラインでの実施を予定している。詳細はCanvas LMSを通じて連絡する。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部のR Guideに掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業60単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

この授業では、財務会計が果たすべき役割を理論と実証の両面から考察することを目的とする。財務会計研究に関連する理論を理解し、それらが会計実務や基準設定とどのように関連するのかを実証的証拠をもとに考察する。
In this class, students will analyze roles of financial accounting theoretically and empirically. Students will understand theories related to financial accounting researches. They will also analyze relationships among these theories, accounting tasks and standards setting based on actual evidences.

授業の内容 / Course Contents

財務会計研究のうち主として資本市場研究に関連する理論と実証を取り扱う。受講者は、各回の授業で取り扱うテキストの内容を授業日までに予習し、必要に応じてレジュメ等を準備する必要がある。各回の授業では、受講者による説明を基礎としながら、教員が補足的に説明を加える予定である。ただし、受講者数に応じて授業の進め方を変更する場合がある。また、各回の授業では、テキストのほかに、関連する論文を取り扱う場合がある。
Among the researches on financial accounting, this class will mainly cover the theories and empirical proof related to the capital market research. Students will study textbooks contents used in each lesson beforehand. When necessary, students will prepare summary of these contents. Each class will focus on students' explanations, with supplementary explanations from professor. Professor may change class structure based on number of students. In addition to textbooks, students may also use related papers in each class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:理想的状況の会計
【3】:財務会計に対する意思決定有用性アプローチ(1)
【4】:財務会計に対する意思決定有用性アプローチ(2)
【5】:財務会計に対する意思決定有用性アプローチ(3)
【6】:効率的証券市場(1)
【7】:効率的証券市場(2)
【8】:効率的証券市場(3)
【9】:会計情報の価値関連性(1)
【10】:会計情報の価値関連性(2)
【11】:会計情報の価値関連性(3)
【12】:意思決定有用性に対する価値評価アプローチ(1)

【13】:意思決定有用性に対する価値評価アプローチ(2)
【14】:意思決定有用性に対する価値評価アプローチ(3)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

この授業では予習に多くの時間を費やす必要がある。各回の授業で取り扱うテキストの内容をよく読み、事前にその内容や疑問点等を簡潔なレジュメにして整理する必要がある。当該レジュメは各回の講義終了時に提出してもらう。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業時の報告レジュメおよび授業参加度:60% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

ウィリアム・R・スコット, パトリシア・C・オブライエン著(太田康広・椎葉淳・西谷順平訳)『新版 財務会計の理論と実証』中央経済社 2022 9784502427619
授業内容に関する資料を Canvas LMS を通じて配布する場合がある。

参考文献 / Readings

Scott, W. R., P. O'Brien Financial Accounting Theory 8th edition Pearson 2019 9780134166681
ウィリアム・H・ビーバー著(伊藤 邦雄訳)『財務報告革命 第3版』白桃書房 2010 9784561264224
Beaver, W. H. Financial Reporting: An Accounting Revolution (3rd Edition) Pearson 1997 9780137371495

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

学部レベルの財務会計の知識を必要とする。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

レジュメ等を作成するために、パソコンが必要である。

その他 / Others

各回の授業内容については、授業の進捗等によって変更の可能性がある。

作成:2024/10/02
科目コード:KA408

財務会計特論2

Special Lecture on Financial Accounting 2

米谷　健司(KOMETANI KENJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA408
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	第8～14回の授業はオンラインでの実施を予定している。詳細はCanvas LMSを通じて連絡する。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部のR Guideに掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業60単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

この授業では、財務会計が果たすべき役割を理論と実証の両面から考察することを目的とする。「財務会計特論1」で取り扱わなかった財務会計研究に関連する理論を理解し、それらが会計実務や基準設定とどのように関連するのかを実証的証拠をもとに考察する。

In this class, students will analyze roles of financial accounting theoretically and empirically. Students will understand financial accounting research theories not discussed in Special Lecture on Financial Accounting 1. Students will analyze relationships among these theories, accounting tasks, and standards setting based on actual evidences.

授業の内容 / Course Contents

財務会計研究のうち主として会計情報の経済的帰結に関連する理論と実証を取り扱う。受講者は、各回の授業で取り扱うテキストの内容を授業日までに予習し、必要に応じてレジュメ等を準備する必要がある。各回の授業では、受講者による説明を基礎としながら、教員が補足的に説明を加える予定である。ただし、受講者数に応じて授業の進め方を変更する場合がある。また、各回の授業では、テキストのほかに、関連する論文を取り扱う場合がある。

Among these financial accounting researches, students will use mostly theories and evidences related to financial conclusions of accounting data. Students will study textbooks contents used in each lesson beforehand. When necessary, students will prepare summary of these contents. Each class will focus on students' explanations, with supplementary explanations from professor. Professor may change class structure based on number of students. In addition to textbooks, students may also use related papers in each class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:効率的契約理論と会計(1)
【3】:効率的契約理論と会計(2)
【4】:コンフリクトの分析(1)
【5】:コンフリクトの分析(2)
【6】:経営者報酬(1)
【7】:経営者報酬(2)
【8】:利益マネジメント(1)
【9】:利益マネジメント(2)
【10】:利益マネジメント(3)
【11】:基準設定の経済学(1)

【12】:基準設定の経済学(2)
【13】:基準設定の政治学(1)
【14】:基準設定の政治学(2)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

この授業では予習に多くの時間を費やす必要がある。各回の授業で取り扱うテキストの内容をよく読み、事前にその内容や疑問点等を簡潔なレジュメにして整理する必要がある。当該レジュメは各回の講義終了時に提出してもらう。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業時の報告レジュメおよび授業参加度:60% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

ウィリアム・R・スコット, パトリシア・C・オブライエン著(太田康広・椎葉淳・西谷順平訳)『新版 財務会計の理論と実証』中央経済社 2022 9784502427619
授業内容に関する資料を Canvas LMS を通じて配布する場合がある。

参考文献 / Readings

Scott, W. R., P. O'Brien Financial Accounting Theory 8th edition Pearson 2019 9780134166681
ウィリアム・H・ビーバー著(伊藤 邦雄訳)『財務報告革命 第 3 版』白桃書房 2010 9784561264224
Beaver, W. H. Financial Reporting: An Accounting Revolution (3rd Edition) Pearson 1997 9780137371495

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

学部レベルの財務会計の知識を必要とする。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

レジュメ等を作成するために、パソコンが必要である。

その他 / Others

各回の授業内容については、授業の進捗等によって変更の可能性がある。

原価計算特論1

Special Lecture on Cost Accounting 1
原価理論と計算プロセスの批判的研究

内野　一樹(UCHINO KAZUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA409
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	この科目は対面(演習・ゼミの形式)で原則実施するが、ゲスト・スピーカー登壇のためオンラインで1回実施する(第 8 回目の授業)。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA353 原価計算特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

原価計算の研究動向について理解し、批判的に検討できるようになる。
To understand and be able to critically examine the research trend on cost accounting.

授業の内容 / Course Contents

方法論に言及した原価計算の専門文献を輪読し、議論する。外国語文献の場合にも翻訳だけにとどまらず、計算手法とその背後にある理論的根拠を理解するようにする。
Students will read and discuss specialized literatures of cost accounting,refering to its methodology.If the literatures are in foreign language,students will not only translate them,but also understand their calculation methods and theoretical bases behind them.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション(文献および担当者の決定)
【2】:文献の輪読と内容についての議論(1)
【3】:文献の輪読と内容についての議論(2)
【4】:文献の輪読と内容についての議論(3)
【5】:文献の輪読と内容についての議論(4)
【6】:文献の輪読と内容についての議論(5)
【7】:文献の輪読と内容についての議論(6)
【8】:小括(ゲスト・スピーカーによる講評)
【9】:文献の輪読と内容についての議論(7)
【10】:文献の輪読と内容についての議論(8)
【11】:文献の輪読と内容についての議論(9)
【12】:文献の輪読と内容についての議論(10)
【13】:文献の輪読と内容についての議論(11)
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

輪読文献および関連文献を熟読し、議論ができる状態にして授業に参加すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業内の報告、議論の内容:80% 提出物:20%

テキスト / Textbooks

小栗崇資・陣内良昭『会計のオルタナティブ』中央経済社 2022 9784502415210
新谷司『ポスト実証主義の会計学』中央経済社 2023 9784502452819
開講時(4 月)に履修者と相談の上で具体的な文献を指示する。取り敢えずは上記の文献を予定している。

参考文献 / Readings

授業の中で随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:KA410

原価計算特論2

Special Lecture on Cost Accounting 2
欧米原価計算論の批判的研究

内野　一樹(UCHINO KAZUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA410
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	この科目は対面(演習・ゼミ形式)で原則実施するが、ゲスト・スピーカー登壇のためオンラインで1回実施する(第 9 回の授業)。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA354 原価計算特殊講義2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

原価計算の研究動向について理解し、批判的に検討できるようになる。
To understand and be able to critically examine the research trend on cost accounting.

授業の内容 / Course Contents

特論1に引き続き、方法論に言及した原価計算の専門文献を輪読し、議論する。外国語文献の場合にも翻訳だけにとどまらず、計算手法とその背後にある理論的根拠を理解するようにする。
Following Special Lecture 1, students will read and discuss specialized literatures of cost accounting,refering to its methodology.If the literatures are in foreign language,students will not only translate them,but also understand their calculation methods and theoretical bases behind them.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション(文献および担当者の決定)
【2】:文献の輪読と内容についての議論(1)
【3】:文献の輪読と内容についての議論(2)
【4】:文献の輪読と内容についての議論(3)
【5】:文献の輪読と内容についての議論(4)
【6】:文献の輪読と内容についての議論(5)
【7】:文献の輪読と内容についての議論(6)
【8】:文献の輪読と内容についての議論(7)
【9】:小括(ゲスト・スピーカーによる講評)
【10】:文献の輪読と内容についての議論(8)
【11】:文献の輪読と内容についての議論(9)
【12】:文献の輪読と内容についての議論(10)
【13】:文献の輪読と内容についての議論(11)
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

輪読文献および関連文献を熟読し、議論ができる状態にして授業に参加すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業内の報告、議論の内容:80% 提出物:20%

テキスト / Textbooks

小栗崇資・陣内良昭『会計のオルタナティブ』中央経済社 2022 9784502415210
新谷司『ポスト実証主義の会計学』中央経済社 2023 9784502452819
開講時(9 月)に履修者と相談の上で具体的な文献を指示する。取り敢えずは、上記の文献を予定している。

参考文献 / Readings

授業の中で随時紹介する。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

資料の配付、授業中の課題の提出などに「Canvas LMS」を使用するので、授業に PC を持参すること。

国際会計特論1

Special Lecture on International Accounting 1
国際会計を考えて学ぶ

角ヶ谷　典幸(TSUNOGAYA NORIYUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA413
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

国際会計の基礎知識を前提として、ディスカッションを通じて、応用力を身につける。
Students will acquire applied skills through discussion, given the basic knowledge on international accounting included in academic journals.

授業の内容 / Course Contents

参加者(全員)は、毎回、参考文献の該当箇所に目を通し、疑問点や討論したい事項をまとめる。報告者(毎回数名)がテキストの該当箇所について報告を行う。司会者(毎回 1 名)が中心となって、参考文献の疑問点を解決し、全体の討論を進める。参加者(全員)は、学期の最後に、自分の関心のあるテーマでレポートを作成し、報告する。
Participants (all students) will read the relevant parts of the journal and summarize the questions and issues they want to discuss. Presenters (several students) will give presentations on the relevant parts of the journal. The moderator (one student) will take the lead in resolving questions about the journal and facilitating discussion. At the end of the semester, participants (all students) will give a presentation on a topic of their own interest.

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション
【2】:国際会計研究総論(その 1)
【3】:国際会計研究総論(その 2)
【4】:IFRS 適用企業の特性(その 1)
【5】:IFRS 適用企業の特性(その 2)
【6】:IFRS の適用が会計数値に与える影響(その 1)
【7】:IFRS の適用が会計数値に与える影響(その 2)
【8】:日本における IFRS 適用を巡る議論(その 1)
【9】:日本における IFRS 適用を巡る議論(その 2)
【10】:コンバージェンスを巡る現状と課題(その 1)
【11】:コンバージェンスを巡る現状と課題(その 2)
【12】:IFRS の認識と測定(その 1)
【13】:IFRS の認識と測定(その 2)
【14】:学期末レポートの発表と議論

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

参考文献の該当箇所に目を通し、疑問点や討論したい事項をまとめてくること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 報告:60% 講義への貢献(発言):20% 最終レポート:20%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

中野貴之編著 『IFRS 適用の知見』 同文舘 2020

平松一夫・辻山栄子編著 会計基準のコンバージェンス』(体系現代会計学) 中央経済社 2014

その他 / Others

本講義は、教員が一方的に話をしながら進める講義ではなく、受講者がディスカッションをしながら進める講義である。学部上級レベルの財務会計の知識(上記参考文献程度の知識)を前提として進めていく予定である。

作成:2024/10/02
科目コード:KA414

国際会計特論2

Special Lecture on International Accounting 2
仲間とともに深く思考し議論を発展させる

首藤　洋志(SHUTO HIROSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA414
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

国際(財務)会計の基礎知識を前提として、ディスカッションを通じて、応用力を身につける。
Students will acquire applied skills through discussion, given the basic knowledge on international (financial) accounting included in academic journals.

授業の内容 / Course Contents

履修者は、毎回、参考文献の該当箇所に目を通し、疑問点や討論したい事項をまとめる。
報告者(初回オリエンテーション時に決定した数名)は、参考文献に関する報告を行う。その後、報告者が中心となって、参考文献の疑問点を解決し、全体の討論を進める。
参加者(全員)は、学期の最後に、自分の関心のあるテーマでレポートを作成し、報告する。
Participants will read the relevant parts of the journal and summarize the questions and issues they want to discuss.
Presenters (several students) will give presentations on the relevant parts of the journal. The presenters will take the lead in resolving questions about the journal and facilitating discussion.
At the end of the semester, participants (all students) will give a presentation on a topic of their own interest.

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション
【2】:国際会計研究総論(1/3)
【3】:国際会計研究総論(2/3)
【4】:国際会計研究総論(3/3)
【5】:財務報告のコンバージェンスの歴史、現状及び今後の課題(1/3)
【6】:財務報告のコンバージェンスの歴史、現状及び今後の課題(2/3)
【7】:財務報告のコンバージェンスの歴史、現状及び今後の課題(3/3)
【8】:IFRS の認識と測定を巡る議論(1/3)
【9】:IFRS の認識と測定を巡る議論(2/3)
【10】:IFRS の認識と測定(3/3)
【11】:IFRS 適用企業の特性と日本における IFRS 適用を巡る議論(1/3)
【12】:IFRS 適用企業の特性と日本における IFRS 適用を巡る議論(2/3)
【13】:IFRS 適用企業の特性と日本における IFRS 適用を巡る議論(3/3)
【14】:授業の総括と最終報告

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表	○	ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

指定された論文を精読し、疑問点やディスカッションしたい事項を検討した上で授業を受けるようにすること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:40% 討論:40% 最終レポート:20%

テキスト / Textbooks
参考文献 / Readings

平松一夫・辻山栄子(編著)『会計基準のコンバージェンス』(体系現代会計学) 中央経済社 2014 9784502085703
中野貴之(編著)『IFRS 適用の知見』 同文舘 2020 9784495210175
シャム サンダー(著), 徳賀芳弘他(翻訳)『財務報告の再検討―基準・規範・制度』 税務経理協会 2021 9784419067939
桜井久勝(著)『利益調整―発生主義会計の光と影』 中央経済社 2023 9784502451119

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

本科目は、国際会計特論1を履修後に履修することが望ましい。

その他 / Others

全授業回のうち、2-3 回程度、オンライン実施の予定(オンライン実施回については、「Canvas LMS」で指示する)。

作成:2024/10/02
科目コード:KA417

税法特論1

Special Lecture on Enterprise Taxation 1
混合配当をめぐる課税問題

坂本　雅士(SAKAMOTO MASASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA417
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA355 税法特殊講義1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

資本剰余金を原資とする配当をいかに規律するか。これは 2001 年に資本剰余金からの配当の道が拓かれて以降、その時々の税制において重要な課題になっている。本講義では、混合配当をめぐる税務論点を整理し、今後の議論の素材を提供する。
The objective of this course is to cultivate the ability for understanding and interpretation of dividend distribution by capital surplus and retained earnings, and to deepen the understanding of recent cases.

授業の内容 / Course Contents

国際興業管理事件(最一小判令和 3 年 3 月 11 日裁時 1763 号 4 頁)における二つの争点(混合配当の取扱い、プロラタ計算を定める政令の違法性)について、いわゆる先後関係問題、資本払戻し部分の食い込み問題という二つの観点から詳細に分析する。また、最高裁判決では触れていない「残された課題」についても検討する。
Students will deepen their understanding by reading textbooks and articles, attending lectures related supreme court judgement on May11,2021:taxation on dividend distribution by capital surplus and retained earnings.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:資本剰余金を原資とする配当の取扱いをめぐる変遷、発行法人と株主(法人)の税務処理
【3】:混合配当とは何か、またどのように処理するか　～二つの考え方～
【4】:資本剰余金を原資とする配当の取扱い;プロラタ計算について(資本の払戻し部分、みなし配当)
【5】:混合配当をめぐる裁決例・裁判例(地裁、高裁、最高裁)
【6】:混合配当と「先後関係問題」①
【7】:混合配当と「先後関係問題」②
【8】:先後関係問題における「恣意性」とは何か(どのように作用するか)　～簿価純資産の状況との関係から～
【9】:混合配当と「資本払戻し部分の食い込み問題」①
【10】:混合配当と「資本払戻し部分の食い込み問題」②
【11】:先後関係問題と資本払戻し部分の食い込み問題の関係　～両者は併起するか～
【12】:マイナスの利益積立金を前提とする課税関係をいかに規律するか
【13】:納税者の行動と租税回避　～なぜ納税者は混合配当を別個独立の配当として扱ったのか～
【14】:混合配当に係る最高裁判決を受けて　～残された課題～

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時に指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:40% 報告と議論:60%

テキスト / Textbooks

坂本雅士編『現代税務会計論 第7版』中央経済社 2024
初回授業時に指示する。

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:KA418

税法特論2

Special Lecture on Enterprise Taxation 2
会計基準の複線化と法人税法の対応

坂本　雅士(SAKAMOTO MASASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA418
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA356 税法特殊講義2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

企業会計と法人税法との関係はどのようにあるべきか。わが国において、かねて俎上に載せられてきた議論であるが、近年、企業会計側の変容を背景にあらためて関心をあつめている。ここで企業会計の変容とは国際財務報告基準(IFRS)導入を端緒とする会計基準の複線化に他ならない。本講義では、租税法の観点から会計基準の複線化に係る論点を提示し、今後の方向性を考える。

The objective of this course is to cultivate the ability for understanding and interpretation of recent tendencies of accounting standards and its influence on corporate income tax.

授業の内容 / Course Contents

会計基準の複線化に対して、これまで法人税制は是々非々で対応してきたが、今後、個別財務諸表に適用される会計基準について、さらにコンバージェンスが進むか、あるいは IFRS の適用が認められた場合、どのような問題が生じるのであろうか。本講義では、解釈論と立法論の観点から検討する。

Students will deepen their understanding by reading textbooks and academic papers, attending lectures related diversification of accounting standards and its influence on corporate income tax, interpretation of article 22-4 of the corporation tax act.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:会計基準の複線化の現状と課題
【3】:会計基準の複線化が法人税制に及ぼす影響
【4】:非上場企業の会計と税務
【5】:公正処理基準の判定に係る問題(1)　-学説にみる2つの解釈論-
【6】:公正処理基準の判定に係る問題(2)　-裁判例にみる公正処理基準の解釈-
【7】:公正処理基準の判定に係る問題(3)　-大竹貿易事件(1993)の影響-
【8】:個別規定の解釈に及ぼす影響
【9】:公正処理基準の変容と別段の定め　-近年の税制改正を俯瞰して-
【10】:課税所得計算の基本原則(1)
【11】:課税所得計算の基本原則(2)
【12】:確定決算主義の再検討
【13】:損金経理要件
【14】:税制改正の方向

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時に指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:40% 報告と議論:60%

テキスト / Textbooks

坂本雅士編『現代税務会計論 第6版』 中央経済社 2023
初回授業時に指示する。

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:KA419

会計監査特論1

Advanced Auditing1
Audit judgment and decision making, risk-based approach, case studies

小澤　康裕(OZAWA MICHIHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA419
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

財務諸表監査の実務および研究の動向について理解し，批判的に検討できるようになること。
To understand and be able to critically examine practical operation of financial statement audit and the research trends.

授業の内容 / Course Contents

本授業では、監査実施上の諸概念，特に，監査人の判断や意思決定について理解するため，英文のケーススタディを用いて議論する。
In this class, students will use English case studies for discussions to help them understand various audit concepts and particularly auditors' decisions.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション及び担当の決定
【2】:ケーススタディ(1)についての発表・討論
【3】:ケーススタディ(2)についての発表・討論
【4】:ケーススタディ(3)についての発表・討論
【5】:振り返り
【6】:ケーススタディ(4)についての発表・討論
【7】:ケーススタディ(5)についての発表・討論
【8】:ケーススタディ(6)についての発表・討論
【9】:振り返り
【10】:ケーススタディ(7)についての発表・討論
【11】:ケーススタディ(8)についての発表・討論
【12】:ケーススタディ(9)についての発表・討論
【13】:ケーススタディ(10)についての発表・討論
【14】:振り返り・まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回の授業の開始時点で，受講生全員が，前回与えられた課題を提出する必要がある。その内容に基づき，受講者同士が積極的に議論を行うことを求める。

課題は，英文のケーススタディを読み，事前に与えられた設問に回答することである。この課題を前提に毎回の議論が行われるので，授業に参加するためには課題の提出が必須となる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 課題:40% 討論への貢献:60%

テキスト / Textbooks

Michael C. Knapp, Contemporary Auditing: Real Issues and Cases Cengage Learning 2021

その他、開講時に指示する。日本企業に関するケーススタディも検討する。

参考文献 / Readings

山浦久司『会計監査論』中央経済社

亀岡恵理子他『財務諸表監査』国元書房 2021

Peter Roebuck, Nonna Martinov-Bennie, Case Studies in Auditing and Assurance LexisNexis Butterworths 2010

作成:2024/10/02
科目コード:KA420

会計監査特論2

Advanced Auditing2

小澤　康裕(OZAWA MICHIHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA420
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

財務諸表監査の研究の動向について理解し，批判的に検討できるようになること。
To understand and be able to critically examine the research trends on financial statement audit.

授業の内容 / Course Contents

本授業では，現在の監査研究の動向について理解するために，最新の研究論文(英文)を批判的に検討する。受講者の理解度に応じて進めるが、Auditing だけでなく統計学の基礎的な知識も必要となる。
In this class, students will discuss the latest research papers (in English) to understand current audit research trends. Professor will adapt the class to students' level of understanding. In addition to auditing, students need to have basic statistics knowledge.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション及び担当の決定
【2】:監査研究で用いられる統計手法についての解説
【3】:Accounting Horizons 掲載論文の検討
【4】:Behavioral Research in Accounting 掲載論文の検討1
【5】:Behavioral Research in Accounting 掲載論文の検討2
【6】:振り返り
【7】:Accounting, Organizations and Society 掲載論文の検討1
【8】:Accounting, Organizations and Society 掲載論文の検討2
【9】:Accounting, Organizations and Society 掲載論文の検討3
【10】:振り返り
【11】:Auditing: Journal of Practice and Theory(2020)掲載論文の検討1
【12】:Auditing: Journal of Practice and Theory(2021)掲載論文の検討2
【13】:Auditing: Journal of Practice and Theory(2021)掲載論文の検討3
【14】:振り返り・まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表	○	ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回の授業の開始時点で，受講生全員が，前回与えられた課題(主に論文内容の要約と設問への回答)を提出する必要がある。その内容に基づき，受講者同士が積極的に議論を行うことを求める。

課題は，監査に関する最新の学術論文を読み，事前に与えられた設問に回答することである。この課題を前提に毎回の議論が行われるので，授業に参加するためには課題の提出が必須となる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% 課題:40% 討論への貢献:60%

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

山浦久司『会計監査論』 中央経済社

亀岡恵理子他『財務諸表監査』(改訂版) 国元書房 2021

Michael C. Knapp, Contemporary Auditing: Real Issues and Cases Cengage Learning 2021

作成:2024/10/02
科目コード:KA423

税法A特論1

Special Lecture on Taxation A-1
地方分権時代の租税制度

境　勉(SAKAI TSUTOMU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA423
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

この科目は、税法の規定や租税判例を的確に理解し解釈できる能力を身につけるとともに、
地方分権下における我が国の国・地方を通じた租税制度についての理解を深めることを目標とします。
The objective of this course is to cultivate the ability for understanding and interpretation of tax law or tax cases, and to deepen the understanding of Japanese national/local tax system under the decentralization.

授業の内容 / Course Contents

租税の役割、租税法原則を明らかにし、国・地方を通ずる税財政制度と租税体系を概観します。
次いで、国・地方の租税改正過程と税制改正史、税務行政等を概観した上で、
個人所得課税、法人課税、消費課税、資産課税等及び地方分権下における地方税制度を概観します。
The course will clarify the role of tax and the basic principles of tax law, and will outline the national/local finance/tax system. And the course will also outline the national/local tax reform process/history, and the tax administration.
The course will generally outline personal income tax, corporate tax, consumption tax, property tax and local tax under the decentralization.

授業計画 / Course Schedule

【1】:講義内容概説、租税法の位置づけと判例の読み方
【2】:租税の役割と租税原則
【3】:租税法律関係と租税法の基本原則
【4】:租税法の法源と解釈・適用原則、租税分類
【5】:国・地方の税財政制度
【6】:地方財政調整制度
【7】:租税政策決定過程と税制改正
【8】:戦後主要税制改正史
【9】:租税手続と租税争訟
【10】:租税実体法(1)(個人所得課税総論)
【11】:租税実体法(2)(法人課税総論)
【12】:租税実体法(3)(消費課税総論)
【13】:租税実体法(4)(資産課税総論)
【14】:租税実体法(5)(地方分権と地方税総論)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定	○				

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回、講義の内容を踏まえ、教科書等の該当復習箇所を指示しますので、各自、興味・関心を持ったことを自主的に調べ、考えた上で、RP(リアクション・ペーパー)として提出していただきます。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 毎回の講義後に提出するRP(リアクション・ペーパー):60% 毎回の講義における参画度合:40%
各回のRPに対するコメントは、最終回を除き、原則、次の回の講義の冒頭に行います。

テキスト / Textbooks

金子宏 『租税法〈第 24 版〉』 弘文堂 2021 9784335315558
神野直彦 『財政学〈第 3 版〉』 有斐閣 2021 9784641165816
中里実他編 『租税判例百選〈第 7 版〉』 有斐閣 2021 9784641115538
中里実他編 『租税法判例六法〈第 6 版〉』 有斐閣 2023 9784641001602
テキストの他、毎回の講義前日にレジュメをアップしますので、各自、ダウンロード・印刷等の上、講義に臨んでください。

参考文献 / Readings

その他 / Others

各回の講義内容については、多少の変更を行うことがあります。

作成:2024/10/02
科目コード:KA424

税法A特論2

Special Lecture on Taxation A-2
地方分権時代の租税制度

境　勉(SAKAI TSUTOMU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA424
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

この講義は、税法の規定や租税判例を的確に理解し解釈できる能力を身につけるとともに、
地方分権下における我が国の国・地方を通じた租税制度についての理解を深めることを目標とします。
The objective of this course is to cultivate the ability for understanding and interpretation of tax law or tax cases, and to deepen the understanding of Japanese national/local tax system under the decentralization.

授業の内容 / Course Contents

税法A特論1の講義を前提に、地方税制を含むいくつかの重要な論点について、
個人所得課税、法人課税、消費課税、固定資産税に関し、重要な租税判例等を参照しながら概観します。
さらに、地方分権改革における地方団体の課税自主権の変化を概観した上で、
経済社会の構造変化の中での今後の租税制度を展望します。
Based on Taxation A-1 course, the course will outline some important issues including local tax about personal income tax, corporate tax, consumption tax and property tax, with reference to some important tax cases.
The course will also outline the change of local taxation autonomy under the decentralization reform and finally outlook the future of tax system under the change of economic/social conditions.

授業計画 / Course Schedule

【1】:講義内容概説、課税要件総論
【2】:個人所得課税(1)(所得概念と課税単位)
【3】:個人所得課税(2)(所得分類とその計算(1))
【4】:個人所得課税(3)(所得分類とその計算(2)、個人住民税)
【5】:法人課税(1)(法人税の意義とあり方)
【6】:法人課税(2)(益金と損金)
【7】:法人課税(3)(地方法人課税)
【8】:消費課税(1)(消費課税と付加価値税、消費税制度(1))
【9】:消費課税(2)(消費税制度(2)、消費税の課題)
【10】:消費課税(3)(地方消費税)
【11】:資産課税等(1)(固定資産税と資産の評価)
【12】:資産課税等(2)(自動車関係税、地方譲与税、税交付金)
【13】:地方団体の課税権と課税自主権
【14】:経済社会の構造変化と租税制度

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定	○				

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回、講義の内容を踏まえ、教科書等の該当復習箇所を指示しますので、各自、興味・関心を持ったことを自主的に調べ、考えた上で、RP(リアクション・ペーパー)として提出していただきます。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 毎回の講義後に提出するRP(リアクション・ペーパー):60% 毎回の講義における参画度合:40%
各回のRPに対するコメントは、最終回を除き、原則、次の回の講義の冒頭に行います。

テキスト / Textbooks

金子宏 『租税法〈第24版〉』 弘文堂 2021 9784335315558
神野直彦 『財政学〈第3版〉』 有斐閣 2021 9784641165816
中里実他編 『租税判例百選〈第7版〉』 有斐閣 2021 9784641115538
中里実他編 『租税法判例六法〈第6版〉』 有斐閣 2023 9784641001602
テキストの他、毎回の講義前日にレジュメをアップしますので、各自、ダウンロード・印刷等の上、講義に臨んでください。

参考文献 / Readings

その他 / Others

各回の講義内容については、多少の変更を行うことがあります。

作成:2024/10/02
科目コード:KA425

税法B特論1

Special Lecture on Taxation B-1
租税法の基礎理論　ー　租税法総論、所得税法、相続税法

永田　寛幸(NAGATA HIROYUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA425
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期 1
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

経済活動の中での重要な一要素である租税について理解を深めることは、事業者や会計専門家にとって不可欠である。租税 B 特講1、2の講義を通じて、学生が、租税法全体の基本原則を理解し、具体的な問題に関して、租税法条文を的確に解釈し、当てはめることができる能力を身につけることを目標とする。
It is essential for business owners and accounting experts to have deep understanding about taxation, which is an important factor in economic activity. In Special Lecture on Taxation B-1 and B-2, students will understand the basic principles of overall tax law, and cultivate the ability to precisely interpret the tax law texts and apply them to specific issues.

授業の内容 / Course Contents

租税法の基本原則、租税法の解釈における考え方等租税法総論、並びに所得税法及び相続税法の課税要件に関する基本部分について概説する。
関連する重要判例を素材に、学生の積極的なプレゼンや議論を求めつつ、課税庁と納税者それぞれの主張の違いを整理し、判決の論理を検討することにより、具体的な課税事案において、租税法がどのように解釈され適用されるかについて理解を促す。
なお、講義は実際に条文に当たりながら進めるので、条文を参照できる法令集等を持参のこと。
Professor will explain general tax law theories such as how to think when interpret the tax law, and the basic part related to the taxation prerequisite of income tax law and inheritance tax law.
Professor will use related legal cases as materials to organize differences among tax agency and payers' arguments, and discuss theories of legal decisions. Students must participate actively in presentations and discussion. Through these, students will accelerate their understanding about interpretation and application of tax law in these specific taxation cases.
In addition, students should bring statues at large for reference as this lecture will proceed by following actual codes.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション、租税法総論(租税の意義、機能等)
【2】:租税法総論(租税法解釈の基本的な考え方、租税回避行為に対する考え方等)
【3】:包括的所得概念、所得税計算の基本構造
【4】:利子所得、配当所得、不動産所得、譲渡所得、退職所得
【5】:給与所得、事業所得、雑所得
【6】:給与所得、事業所得、雑所得
【7】:収入金額と必要経費、所得の年度帰属と人的帰属

【8】:収入金額と必要経費、所得の年度帰属と人的帰属
【9】:損益通算、所得控除、損失の取扱い、税額計算
【10】:損益通算、所得控除、損失の取扱い、税額計算
【11】:相続税(基本構造)
【12】:相続税(基本構造)
【13】:相続税(近年の動向)
【14】:相続税(近年の動向)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキスト、参考文献等をしっかり予習すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 判例等のプレゼンなど授業への参画度合:60% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

金子宏 『租税法』第 24 版 弘文堂 2021 97843353155581
中里実他編 『租税判例百選』第 7 版 有斐閣 2021 9784641115538641115293
中里実他編 『租税判例六法』第 5 版 有斐閣 2021 978464100157201541
佐藤英明 『スタンダード所得税法』第 3 版 弘文堂 2022 9784335359002

参考文献 / Readings

金子宏他 『ケースブック租税法』第 5 版 弘文堂 2017 9784335305177
井田良他 『法を学ぶ人のための文章作法』第2版 有斐閣 2019 9784641126121

その他 / Others

税制について財務省HPを、通達等の解説や質疑応答事例等について国税庁HPを、判例については裁判所HPを、適宜参考にすること。

作成:2024/10/02
科目コード:KA426

税法B特論2

Special Lecture on Taxation B-2
租税法の基礎理論　ー　法人税法、国際課税、消費税法

永田　寛幸(NAGATA HIROYUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA426
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期 2
単位	2	科目ナンバリング	ECX5920
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

経済活動の中での重要な一要素である租税について理解を深めることは、事業者や会計専門家にとって不可欠である。税法B特論1、2の講義を通じて、学生が、租税法全体の基本原則を理解し、具体的な問題に関して、租税法条文を的確に解釈し、当てはめることができる能力を身につけることを目標とする。
It is essential for business owners and accounting experts to have deep understanding about taxation, which is an important factor in economic activity.
In Special Lecture on Taxation B-1 and B-2, students will understand basic principles of overall tax codes. Students will interpret and apply tax codes accurately in specific problems.

授業の内容 / Course Contents

法人税法及び消費税法の課税要件に関する基本部分及び国際課税について概説する。
関連する重要判例を素材に、学生の積極的なプレゼンや議論を求めつつ、課税庁と納税者それぞれの主張の違いを整理し、判決の論理を検討することにより、具体的な課税事案において、租税法がどのように解釈され適用されるかについて理解を促す。
なお、講義は実際に条文に当たりながら進めるので、条文を参照できる法令集等を持参のこと。
Professor will outline the basic part of the taxation requirements in corporate tax law, consumption tax law and international taxation.
Professor will use related legal cases as materials to organize differences among tax agency and payers' arguments, and discuss theories of legal decisions. Students must participate actively in presentations and discussion. Through these, students will accelerate their understanding about interpretation and application of tax law in these specific taxation cases.
In addition, students should bring statues at large for reference as this lecture will proceed by following actual codes.

授業計画 / Course Schedule

【1】:法人税法の基本構造と基本的な考え方
【2】:企業会計と法人所得計算
【3】:個人所得課税と法人所得課税の調整、受取配当
【4】:資産の評価益、評価損、寄附金
【5】:交際費、役員賞与
【6】:減価償却、繰延資産、圧縮記帳
【7】:貸倒れ、欠損金
【8】:グループ法人税制、連結納税制度

【9】:国際課税(ソースルール等、二重課税の排除等)
【10】:国際課税(タックスヘイブン対策税制(CFC 税制)、移転価格税制)
【11】:消費税(基本構造)
【12】:消費税(基本構造)
【13】:消費税(近年の動向)
【14】:消費税(近年の動向)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキスト、参考文献等をしっかり予習すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 判例等のプレゼンなど授業への参画度合:60% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

金子宏 『租税法』第 24 版 弘文堂 2021 9784335315558315411
中里実他編 『租税判例百選』第 7 版 有斐閣 2021 9784641115538152 93
中里実他編 『租税判例六法』第 5 版 有斐閣 2021 9784641001572015 41
渡辺徹也 『スタンダード法人税法』第 3 版 弘文堂 2023 9784335359255
増井良啓・宮崎裕子 『国際租税法』第 4 版 東京大学出版会 2019 97841303239323

参考文献 / Readings

金子宏他 『ケースブック租税法』第 5 版 弘文堂 2017 9784335305177
井田良他 『法を学ぶ人のための文章作法』第2版 有斐閣 2019 9784641126121

その他 / Others

税制について財務省HPを、通達等の解説について国税庁HPを、判例については裁判所HPを、適宜参考にすること。

作成:2024/10/02
科目コード:KA450

リサーチ手法特論

Special Lecture on Research Methods

山崎　由希子(YAMAZAKI YUKIKO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA450
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX5020
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA357 リサーチ手法特殊講義と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

①社会科学分野におけるさまざまな調査・研究の方法について基礎的な知識を身につけ、自身の行う研究にはどのような方法がもっとも適しているかを批判的に評価検討できるようにする。②課題(文献を読み、その要約を作成する。また文献の中の不明な点・疑問点について簡単なリサーチを行う)を通じて、文章のメインポイントを把握し、端的に要約する力をつける、③授業内での他の参加者との議論を通じ、論理的に考え、話すマナーを身につける。

(1) Students will acquire the basic knowledge about various survey/research methods used in the field of social science to evaluate and examine critically the best method for their own research. (2) Through the assignments (Students will read literatures and create summaries, in addition to conducting basic researches on unclear points or questions found in these literatures). Through these assignments, they will be able to correctly summarize main points in these writings. (3) They will discuss with others in the class to acquire theoretical thinking and conversational skills.

授業の内容 / Course Contents

毎週、課題の読み物が指示される。授業はこの読み物について、学生によるプレゼンテーションと議論を交えて輪読形式で進めていく。基本的なリサーチ手法を学びながら、学生は課題の文献について要約を作成、疑問点・不明な点について自分なりに調べた事柄をまとめたうえで授業に出席することが求められる。

Each week, instructor will assign reading materials. In this class, students will take turns to read these materials, make presentations based on them, and participate in discussions. Students must acquire basic research methods to summarize assigned literatures and research unclear points or questions. Students are requested to research and summarize these in self-directed manner before attending each class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:導入(コース概要・自己紹介)
【2】:社会科学の歴史的展開
【3】:社会科学分野の調査・研究手法 I
【4】:社会科学分野の調査・研究手法 II
【5】:社会科学分野の調査・研究手法 III
【6】:論文計画に関する発表と議論 I
【7】:論文計画に関する発表と議論 II
【8】:論文計画に関する発表と議論 III
【9】:論文計画に関する発表と議論 IV
【10】:論文計画に関する発表と議論 V
【11】:論文計画に関する発表と議論 VI
【12】:論文計画に関する発表と議論 VII

【13】:論文計画に関する発表と議論 VIII
【14】:論文計画に関する発表と議論 IX

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

受講を希望する学生はあらかじめ自身が関心を持っている研究分野、テーマについて授業内で説明できるように考えておくこと。また基本的に毎週、課題の提出が求められる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 出席・議論への参加:40% 課題の提出:30% プレゼンテーション:30%
学生同士の議論を重視する授業であるため、出席は大前提となる(20 分以上の遅刻は出席点が半減する)。また、授業を欠席した学生も課題の提出は必須である。

テキスト / Textbooks

指定の教科書はないが、適宜授業内で課題の読み物について指示する。

参考文献 / Readings

適宜授業内で指示する。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

履修前に特定の研究領域に関する知識は必要ないが、学生には毎週 1 本以上の社会科学系研究論文を読む能力が求められる。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

課題を提出する場合、基本的にワード文書での提出を想定している。また授業内での報告にはパワーポイントプレゼンテーションを使用することを前提としている。

作成:2024/10/02
科目コード:KA455

経済史特論1

Special Lecture on Economic History 1

山本　裕(YAMAMOTO YU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA455
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期 1
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

近代日本経済の歴史について、基礎的な知識を習得する。
特に、企業の活動に焦点を当てて理解を行なう。
Acquire basic knowledge about the history of the modern Japanese economy.
In particular, focus on corporate activities to gain understanding.

授業の内容 / Course Contents

近代日本経済の歴史について考察を行なう。
特に、企業の活動に焦点を当てて考察していく。
具体的には、指定したテキストを読解して、議論を行なう。
Consider the history of the modern Japanese economy.
In particular, we will focus on corporate activities.
Specifically, students will read and understand the specified text and have a discussion.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス。指定したテキストの概要紹介
【2】:テキストの輪読(第 1 回　報告)
【3】:テキストの輪読(第 1 回　質疑応答)
【4】:テキストの輪読(第 2 回　報告)
【5】:テキストの輪読(第 2 回　質疑応答)
【6】:テキストの輪読(第 3 回　報告)
【7】:テキストの輪読(第 3 回　質疑応答)
【8】:テキストの輪読(第 4 回　報告)
【9】:テキストの輪読(第 4 回　質疑応答)
【10】:テキストの輪読(第 5 回　報告)
【11】:テキストの輪読(第 5 回　質疑応答)
【12】:テキストの輪読(第 6 回　報告)
【13】:テキストの輪読(第 6 回　質疑応答)
【14】:講義のまとめと小括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表	○	ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

【予習】指定されたテキストの内容について、事前に読解し、ノート等を作成してくることを要求する。
毎回の事前学習を踏まえた上で、質疑応答等を行なう上で、必須となるが故である。
【復習】毎回の講義終了後、質疑応答等も含めた議論の内容についても、ノート等にまとめ直すことを要求する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

レポート試験 :60%
平常点割合 :40%　　最終レポート割合::40%
レポート試験の内容は、受講者が複数回作成する報告資料の延長線上に課題を設定する予定である。

テキスト / Textbooks

武田晴人 『事件から読みとく日本企業史』 有斐閣 2022 9784641165953

参考文献 / Readings

その他 / Others

担当者のメールアドレスは以下の通りである。
yuyamamoto@dokkyo.ac.jp

作成:2024/10/02
科目コード:KA456

経済史特論2

Special Lecture on Economic History 2

山本　裕(YAMAMOTO YU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA456
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期 2
単位	2	科目ナンバリング	ECX5720
使用言語	日本語	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

現代日本経済の歴史について、基礎的な知識を習得する。
特に、企業の活動に焦点を当てて理解を行なう。
Acquire basic knowledge about the history of the modern Japanese economy.
In particular, focus on corporate activities to gain understanding.

授業の内容 / Course Contents

現代日本経済の歴史について考察を行なう。
特に、企業の活動に焦点を当てて考察していく。
具体的には、指定したテキストを読解して、議論を行なう。
Consider the history of the modern Japanese economy.
In particular, we will focus on corporate activities.
Specifically, students will read and understand the specified text and have a discussion.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス。指定したテキストの概要紹介
【2】:テキストの輪読(第 1 回　報告)
【3】:テキストの輪読(第 1 回　質疑応答)
【4】:テキストの輪読(第 2 回　報告)
【5】:テキストの輪読(第 2 回　質疑応答)
【6】:テキストの輪読(第 3 回　報告)
【7】:テキストの輪読(第 3 回　質疑応答)
【8】:テキストの輪読(第 4 回　報告)
【9】:テキストの輪読(第 4 回　質疑応答)
【10】:テキストの輪読(第 5 回　報告)
【11】:テキストの輪読(第 5 回　質疑応答)
【12】:テキストの輪読(第 6 回　報告)
【13】:テキストの輪読(第 6 回　質疑応答)
【14】:講義のまとめと小括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表	○	ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

【予習】指定されたテキストの内容について、事前に読解し、ノート等を作成してくることを要求する。
毎回の事前学習を踏まえた上で、質疑応答等を行なう上で、必須となるが故である。
【復習】毎回の講義終了後、質疑応答等も含めた議論の内容についても、ノート等にまとめ直すことを要求する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

レポート試験 :60%
平常点割合 :40%　　最終レポート割合::40%
レポート試験の内容は、受講者が複数回作成する報告資料の延長線上に課題を設定する予定である。

テキスト / Textbooks

武田晴人 『事件から読みとく日本企業史』 有斐閣 2022 9784641165953

参考文献 / Readings

その他 / Others

担当者のメールアドレスは以下の通りである。
yuyamamoto@dokkyo.ac.jp

作成:2024/10/02
科目コード:KA457

Special Lecture on Conference Presentation

Special Lecture on Conference Presentation

ウォン, リオン(WONG LEON)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	KA457
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX6011
使用言語	英語	授業形式	講義
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	QA359Advanced Lecture on Conference Presentation と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

For research students, presenting at their first international conferences can be a daunting challenge.
This course provides an opportunity for students to be guided and mentored on the various aspects of participation in international conferences, and to role play their participation, in a supportive environment of other students and the Lecturer, using the content of their actual research dissertation/thesis.

授業の内容 / Course Contents

The course will cover the various aspects of attending an international conference, from choosing a suitable conference, preparing the submission, preparing presentation materials, such as slides or posters, answering audience questions and discussing other papers, and finally, networking with conference participants for future research collaborations.
After the class, students will understand the importance of attending overseas conferences in the development of their future academic careers, in getting feedback for their research and in developing their network of future research collaborators. More practically, students develop the actual materials for their participation in their first international conference, i.e. the conference abstract and conference paper, presentation slides and poster board posters, and practiced responses to questions from the participants of that conference. In addition to the immediate conference materials at hand, students should have the confidence to face the community of scholars in international conferences and beyond.

授業計画 / Course Schedule

【1】:Introduction
【2】:Academic papers and style
【3】:Choosing your international conference
【4】:Writing & submitting your conference paper abstract
【5】:Writing & submitting your conference paper
【6】:Academic presentations
【7】:Conference presenter
【8】:Conference discussant
【9】:Presenter & Discussant (1)
【10】:Presenter & Discussant (2)
【11】:Preparing for a poster board session
【12】:Poster board session
【13】:Networking & collaborations

【14】: Summary & conclusions

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

The various items and documents should be prepared before class for presentation and discussion/feedback.

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% Choosing your conference:5% Conference paper abstract:10% Conference paper:15% Conference presentation/ taking questions:30% Discussant presentation:20% Poster board preparation & session:20%

テキスト / Textbooks

There are no textbooks for this course.
The study material for this course are freely available internet resources or articles.

参考文献 / Readings

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

It would be helpful if students bring along an internet accessible device (tablet, laptop) for use in the workshop.

その他 / Others

Each class may be divided into 2 parts. The first part will be a short lecture presentation or discussion. The second part will be the workshop. In some circumstances, the entire class may be the workshop.

近代経済学1(経済理論)

Field of Economic Theory Modern Economics 1

荒川　章義(ARAKAWA AKIYOSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA106
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA110

近代経済学3(経済理論)

Field of Economic Theory Modern Economics 3

藤原　新(FUJIWARA ARATA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA110
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

経済学史(経済理論)

Field of History of Economic Doctrines History of Economic Doctrines

佐藤　有史(SATO YUJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA115
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

計量経済学(経済理論)

Econometrics

安藤　道人(ANDO MICHIHITO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA116
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

景気変動論(経済理論)

Business Cycles

二宮　健史郎(NINOMIYA KENSHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA117
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA124

日本経済史(経済史)

Field of Economic History Japanese Economic History

岡部　桂史(OKABE KEISHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA124
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA125

アジア経済史(経済史)

Field of Economic History Asian Economic History

湊　照宏(MINATO TERUHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA125
授業形態	オンライン(全回オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

日本経営史(経済史)

History of Japanese Management

島西　智輝(SHIMANISHI TOMOKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA129
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA135

工業経済論(経済政策論)

Field of Applied Economics Industrial Economics

菊池　航(KIKUCHI WATARU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA135
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA137

日本経済論(経済政策論)

Field of Applied Economics Japanese Economic

林　采成(LIM CHAISUNG)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA137
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA138

労働経済学(経済政策論)

Field of Applied Economics Industrial Relations

首藤　若菜(SHUTO WAKANA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA138
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA140

中国経済論(経済政策論)

Field of Applied Economics Chinese Economy

厳　成男(YAN CHENGNAN)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA140
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA141

アメリカ経済論(経済政策論)

Field of Applied Economics American Economy

山縣　宏之(YAMAGATA HIROYUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA141
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA171

経済統計論(経済理論)

Field of Statistics Economic Statistics

櫻本　健(SAKURAMOTO TAKESHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA171
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

価値論(経済理論)

Theory of Value

佐々木　隆治(SASAKI RYUJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA172
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合　:100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

経済政策論(経済政策論)

Field of Applied Economics Economic Policies

櫻井　公人(SAKURAI KIMIHITO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA181
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合　:100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA182

社会政策論(経済政策論)

Field of Applied Economics Social Policies

菅沼　隆(SUGANUMA TAKASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA182
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

証券経済論(経済政策論)

Economic Theory of Securities

三谷　進(MITANI SUSUMU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA183
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合　:100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA186

中小企業論(経済政策論)

Field of Business Management Small Business Problems and Studies

遠山　恭司(TOYAMA KYOJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA186
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA187

都市経済学(経済政策論)

Urban Economics

田島　夏与(TAJIMA KAYO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA187
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA188

現代企業論(経済政策論)

Field of Applied Economics Multinationals Technology & Competitiveness

関　智一(SEKI TOMOKAZU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA188
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

会計学(会計学)

Accounting

山田　康裕(YAMADA YASUHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA201
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

管理会計論(会計学)

Management Accounting

諸藤　裕美(MOROFUJI YUMI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA203
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

租税法(会計学)

Tax Law

坂本　雅士(SAKAMOTO MASASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA207
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

原価計算論(会計学)

Cost Accounting

内野　一樹(UCHINO KAZUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA208
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合　:100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

財政学1(経済理論)

Public Finance 1

池上　岳彦(IKEGAMI TAKEHIKO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA210
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合　:100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA211

財政学2(経済理論)

Public Finance 2

デウィット, A(DEWIT ANDREW)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA211
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

財政学3(経済理論)

Public Finance 3

関口　智(SEKIGUCHI SATOSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA212
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	発話を伴う授業を学内で受講する場合は 8201 教室の利用可。
校地	池袋	学期	通年他
単位	1	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	2020 年度以前入学者対象		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科博士課程後期課程に在学中に必要な指導を受け、博士学位を取得することを目標とする。

授業の内容 / Course Contents

指導教員と相談の上、研究計画書を作成し、それに基づき研究指導を受ける。

授業計画 / Course Schedule

【1】:1. 研究計画書を作成し、報告をもとに指導を行い、ブラッシュアップさせ研究計画を確定させる。
2. 研究リテラシー、研究活動における不正行為への対応、研究活動における不正行為へのガイドライン、研究倫理指導をおこなう。
3. 博士論文中間報告、学会報告準備・指導をおこなう。
4. 博士論文報告・指導、博士論文最終報告・指導、次年度への課題提示をおこなう。

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

博士論文執筆に必要な文献の渉猟またデータの収集・加工

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100%　平常点:100%

テキスト / Textbooks

特に定めない。

参考文献 / Readings

随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA303

景気変動特殊講義1

Advanced Lecture on Business Cycles 1

二宮　健史郎(NINOMIYA KENSHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA303
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA107 景気変動特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済の供給面を重視する(新)古典派経済学と需要面を重視するケインズ経済学の相違を理解した上で、ポスト・ケインズ派マクロ動学モデルの分析手法の基礎を修得することを本講義の目標とする。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。

Students will understand differences between (neo) classical economics which emphasize supply and Keynesian economics which emphasizes demand. The goal of this class is to help students to learn basic analysis methods in post-Keynesian macrodynamic model.

授業の内容 / Course Contents

新古典派、ケインズ派の基本モデルを学習したのち、ポスト・ケインズ派マクロ動学モデルの分析手法等を学習する。さらに、その応用例としてポスト・ケインズ派マクロ動学モデルの一つであるカルドア型循環モデルと数値シミュレーションの方法を学習する。ポスト・ケインズ派のマクロ動学では、Hopf の分岐定理を適用した閉軌道の存在証明など、非線形経済動学が用いられている。

While learning basic neoclassical and Keynesian models, students will learn how to analyze post-Keynesian macrodynamic model. As its application, students will learn Kaldor cycle model, one of post-Keynesian macrodynamic model, and numeral simulation method. Post-Keynesian macrodynamics use non-linear economics such as proving existence of closed orbit with Hopf branch theorem.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:現代の経済と経済学の考え方
【3】:貨幣数量説モデル(1)
【4】:貨幣数量説モデル(2)
【5】:ケインズ派モデル(1)
【6】:ケインズ派モデル(2)
【7】:マクロ動学分析の方法(1)
【8】:マクロ動学分析の方法(2)
【9】:マクロ動学分析の方法(3)
【10】:新古典派成長モデル
【11】:異時点間の最適消費とラムゼイ・モデル
【12】:内生的景気循環論(1)
【13】:内生的景気循環論(2)
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

復習に重点を置くことを勧める。経済数学(特に、微分、微分方程式、線形代数など)を予習しておくことが非常に望ましい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 小レポート:30% 出席討論:70%
授業の性質上、全回出席を前提とする。すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

二宮健史郎・得田雅章 『金融構造の変化と不安定性の経済学』 日本評論社 2024
二宮健史郎 『金融不安定性のマクロ動学』 大月書店 2018

参考文献 / Readings

二宮健史郎 『金融恐慌のマクロ経済学』 中央経済社 2006
A.C.チャン・K.ウエインライト 『現代経済学の数学基礎(上)(下)』 シーエーピー出版 2010
小林幹・吉田博之 『経済数学 15 講義』 新世社 2020
二宮健史郎「物価・利子率の理論と金融の不安定性」『立教経済学研究』第 77 巻第 4 号、2024 年。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

授業の性質上、少なくとも高校時の数学(微分や数列などの概念)が十分に理解できていることが必要である。

その他 / Others

・研究室での対面、Zoom を利用したオンラインを併用して講義を行う。
・景気変動特殊講義 2 も受講することが望ましい。マクロ経済学、ミクロ経済学の基礎は修得済みであることを前提として講義する。本科目では、報告やディスカッションなどの双方向形式で行われることがある。

作成:2024/10/02
科目コード:QA304

景気変動特殊講義2

Advanced Lecture on Business Cycles 2

二宮　健史郎(NINOMIYA KENSHIRO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA304
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA108 景気変動特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

サブプライム問題に端を発した世界的な金融危機により、異端の経済学者ミンスキーの金融不安定性仮説は注目を集めた。 本講義では、金融不安定性仮説を数理モデルに展開した諸研究を概観することにより金融的な景気変動を理解し、モデル分析の素養を身につけることを目標とする。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
After global financial crisis triggered by sub-prime crisis, many have focused on financial instability hypothesis by unorthodox economist Minsky. In this class, students will review various researches that apply mathematical models on financial instability hypothesis. Through this, students will understand economic climate trend and acquire knowledge of model analysis.

授業の内容 / Course Contents

本講義では、ミンスキーの金融不安定性仮説、金融不安定性仮説を数理モデルに展開した諸研究を概観し、関連する論文を輪読する。授業計画の「報告」と書かれている部分は、受講者による論文などの報告である。報告してもらう論文等はこちらが指定する。報告者は、レジュメ、スライド(TeX または Power Point)等を作成して報告すること。
In this class, students will review various researches that apply mathematical models on financial instability hypothesis and read relevant papers. The "report" in the lesson plan refers to the report by students such as papers. Professor will determine theses and other reports to be submitted. Students will create reports such as summaries and slides (TeX or PowerPoint).

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:マンキュー・モデル
【3】:負債効果
【4】:金融不安定性仮説の基本的な考え方(1) 報告
【5】:金融不安定性仮説の基本的な考え方(2) 報告
【6】:内生的景気循環論(3)
【7】:内生的景気循環論(4)
【8】:論文輪読(1) 報告
【9】:論文輪読(2) 報告
【10】:新古典派成長モデル
【11】:論文輪読(3) 報告
【12】:異時点間の最適消費
【13】:ラムゼイ・モデル
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

経済数学(特に、微分、微分方程式、線形代数など)を予習しておくことが望ましい。論文を報告する際には、数式の導出まで説明できるようにすること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業の報告・討論:70% 小レポート、授業内のテスト等:30%
授業の性質上、全回出席を前提とする。すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

二宮健史郎・得田雅章 『金融構造の変化と不安定性の経済学』 日本評論社 2024
二宮健史郎 『金融不安定性のマクロ動学』 大月書店 2018

参考文献 / Readings

二宮健史郎 『金融恐慌のマクロ経済学』 中央経済社 2006
A.C.チャン・K.ウエインライト 『現代経済学の数学基礎(上)(下)』 シーエーピー出版 2010
小林幹・吉田博之 『経済数学 15 講義』 新世社 2020
二宮健史郎「物価・利子率の理論と金融の不安定性」『立教経済学研究』第 77 巻第 4 号、2024 年。

その他 / Others

・研究室での対面と Zoom を利用したオンラインを併用して講義を行う。
・景気変動特殊講義 1 も受講することが非常に望ましい。景気変動特殊講義1の内容を理解できていないと、景気変動特殊講義 2 の内容を理解することはほぼ不可能である。本科目では、全授業回数の 50%以上が論文の報告やディスカッションなどの双方向形式の授業によって運営される。

財政学1特殊講義1

Advanced Lecture on Finance 1-1

池上　岳彦(IKEGAMI TAKEHIKO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA305
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA111 財政学1特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

学生が、経費・租税・公債・地方財政等の理論及び日本財政に関する最近の研究成果等を検討することにより、財政学の理解を深めることができる。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Students will deepen their understanding on public finance by discussing latest research works on public finance and Japanese public financial institutions involving expense, tax, public debt, and local finance.

授業の内容 / Course Contents

財政については、経済学・社会学・政治学・法律学・会計学等、多様な学問分野において研究が進められている。そこで本科目では、経費構造改革、税制改革、財政再建、地方分権推進等の観点から、財政理論及び日本財政の現状分析に関する最近の学術文献を素材として、講義及び議論を行う。
Many researches on public finance are taking place in various intellectual fields, including economics, sociology, politics, law, and accounting. In this class, students will select, study, and discuss about the latest academic literatures on public finance and Japanese public financial institutions. Students will consider perspectives of expense structural reform, tax reform, financial revitalization, decentralization, etc.

授業計画 / Course Schedule

【1】:財政学及び日本財政論の焦点について
【2】:日本の経費について(1)
【3】:日本の経費について(2)
【4】:日本の税制について(1)
【5】:日本の税制について(2)
【6】:日本の税制について(3)
【7】:日本の税制について(4)
【8】:日本の税制について(5)
【9】:公債と財政収支について(1)
【10】:公債と財政収支について(2)
【11】:社会保障財政について(1)
【12】:社会保障財政について(2)
【13】:地方財政について(1)
【14】:地方財政について(2)　及び　まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

本科目では、学部レベルの財政学の内容を理解していることを前提として授業を行うので、復習しておくこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

レポート試験 :50%
平常点割合 :50% 授業への取組み(報告・議論):50%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

下記の参考文献を含む書籍及び学術雑誌掲載論文のなかから選んで講義・議論の素材とする。

参考文献 / Readings

神野直彦 『財政学〔第3版〕』 有斐閣 2021 年 9784641165816
神野直彦・池上岳彦編 『租税の財政社会学』 税務経理協会 2009 年 9784419051969
池上岳彦 『分権化と地方財政』 岩波書店 2004 年 9784000270458
池上岳彦(編) 『現代財政を学ぶ』 有斐閣 2015 年 9784641184244
井手英策編 『危機と再建の比較財政史』 ミネルヴァ書房 2013 年 9784623065790
高端正幸・佐藤滋 『財政学の扉をひらく』 有斐閣 2020 年 9784641150826
沼尾波子・池上岳彦・木村佳弘・高端正幸 『地方財政を学ぶ〔新版〕』 有斐閣 2023 年 9784641184640

その他 / Others

本科目以外の財政学関連科目も履修することが望ましい。

作成:2024/10/02
科目コード:QA306

財政学1特殊講義2

Advanced Lecture on Finance 1-2

池上　岳彦(IKEGAMI TAKEHIKO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA306
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA112 財政学1特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

学生が，外国の財政制度及びその運営に関する最近の研究成果を検討することにより，国際比較の観点から，財政学の理解を深めることができる。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Students will discuss foreign countries' public financial institutions and the latest management research findings on them. Students will deepen their understanding on public finance by making international comparative studies.

授業の内容 / Course Contents

本科目では，外国の財政制度(税制，経費，政府間財政関係等) 及びその運営に関する最近の学術文献を素材として，講義及び議論を行う。さらに，当該国の制度を日本財政と比較した場合の共通点及び相違点，そしてそれが日本における制度改革の参考となるかどうかについて検討する。
In this class, students will select, study, and discuss about the latest academic literatures on foreign countries' public financial institutions (tax system, expense, intergovernmental fiscal relations, etc.) and their operations. Furthermore, students will explore similarities and differences among Japan and foreign countries in terms of these systems. Students will explore their potential as Japanese fiscal reform.

授業計画 / Course Schedule

【1】:財政学における国際比較の意義と課題について
【2】:個人所得課税について(1)
【3】:個人所得課税について(2)
【4】:個人所得課税について(3)
【5】:消費課税について(1)
【6】:消費課税について(2)
【7】:消費課税について(3)
【8】:法人課税について
【9】:資産課税について
【10】:経費について(1)
【11】:経費について(2)
【12】:政府間財政関係について(1)
【13】:政府間財政関係について(2)
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

本科目では，学部レベルの財政学の内容を理解していることを前提として授業を行うので，復習しておくこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

レポート試験 :50%
平常点割合 :50% 授業への取組み(報告・議論):50%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

下記の参考文献を含む書籍及び雑誌論文のなかから選んで講義・議論の素材とする。

参考文献 / Readings

Jonathan Gruber, Public Finance and Public Policy, 7th Edition Worth Publishers, 2022 9781319466923
C. Eugene Steuerle, Dead Men Ruling: How to Restore Fiscal Freedom and Rescue Our Future The Century Foundation Press, 2014 9780870785382
Harvey Rosen, et al., Public Finance in Canada, 5th Canadian Edition McGraw-Hill Education, 2016 9781259030772
Joseph E. Stiglitz and Jay K. Rosengard, Economics of the Public Sector, 4th Edition W.W. Norton, 2015 9780393925227
Leonard E. Burman and Joel Slemrod, Taxes in America: What Everyone Needs to Know, 2nd Edition Oxford University Press, 2020 9780190920852
Nicholas Barr, Economics of the Welfare State, 6th Edition Oxford University Press, 2020 9780198748582
Institute for Fiscal Studies, Tax by Design:The Mirrlees Review Oxford University Press, 2011 9780199553747
また「財政学1特論1」の参考文献は，本科目の参考文献でもある。

その他 / Others

本科目以外の財政学関連科目も履修することが望ましい。

作成：2024/10/02
科目コード：QA307

財政学2特殊講義1

Advanced Lecture on Finance 2-1
DX や GX の同時推進持と続可能なまちづくり

デウィット，A（DEWIT ANDREW）

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA307
授業形態	対面（一部オンライン）	授業形態（補足事項）	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー（履修中止制度なし/ No system for cancellation）	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA113 財政学2特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

政治経済学からみた現代の都市が直面する課題と DX、GX、ESG や SDGs について学習する。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
The goal of the course is to learn the political economy of DX, GX, ESG, and SDGs related to issues confronting contemporary urbanization.

授業の内容 / Course Contents

コース運営については参加者と話し合いの上、決定する。1 冊にまとまった教科書はないため、DX、GX、ESG や SDGs、クリティカル・ミネラルズ、コンパクトシティ、税制改革などのテーマに応じて、関連する論文等を読んでいく。また、学生には発表や討議を通じて、現代財政や都市統治のあり方についての理解を深め、最新の情報を学ぶことも求められる。
Course management will be discussed and determined with the students. Since there is no single applicable textbook, students will read relevant papers and other materials on topics such as DX, GX, ESG and SDGs, critical minerals, compact cities, and tax reform. Students will also be expected to broaden their understanding of contemporary public finance and urban governance through presentations and discussion.

授業計画 / Course Schedule

【1】：DX、GX、ESG や SDGs と持続可能なまちづくり
【2】：DX と持続可能なまちづくり
【3】：GX と持続可能なまちづくり
【4】：ESG と持続可能なまちづくり
【5】：SDGs と持続可能なまちづくり
【6】：実例：スマートシティ東京都と官民連携
【7】：実例：富山市におけるコンパクトでスマートなまちづくり
【8】：実例：浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム
【9】：実例：国土強靭化地域計画とその背景
【10】：実例：大阪モデルのスマートシティ
【11】：実例：福島新エネ社会構想
【12】：実例：スマートシティ会津若松
【13】：実例：災害に強い地域マイクログリッド
【14】：まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習については、別途指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% プレゼンテーション:30% ディスカッション:30% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

KPMG コンサルティング 『スマートシティ 3.0 (日経ムック)』 日本経済新聞出版 2022 9784296113934
瀬藤澄彦 『グローバル都市革命: コンパクトシティ 田園都市 第 3 の都市』 文眞堂 2022 9784830951886
富国生命投資顧問 『ESG 投資 持続可能な将来設計』 ダイヤモンド社 2022 9784478115893
スマートシティ官民連携プラットフォーム
https://www.mlit.go.jp/scpf/
地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム
https://future-city.go.jp/platform/
GX を支える地域・くらしの脱炭素
https://www.env.go.jp/council/content/i_05/000096596.pdf

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

特にない

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

特にない

その他 / Others

国土強靱化
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/
地域強靱化計画(国土強靱化地域計画)
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/tiiki.html
本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが，後期課程の受講者においては，全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

作成：2024/10/02
科目コード：QA308

財政学2特殊講義2

Advanced Lecture on Finance 2-2
DX や GX の同時推進と持続可能なまちづくり

デウィット，A（DEWIT ANDREW）

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA308
授業形態	対面（一部オンライン）	授業形態（補足事項）	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー（履修中止制度なし/ No system for cancellation）	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA114 財政学2特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

政治経済学からみた現代の都市が直面する課題と DX、GX、ESG、SDGs について学習する。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。
The goal of the course is to learn the political economy of DX, GX, ESG, and SDGs related to issues confronting contemporary urbanization.
The course goal also aims to provide students with more advanced knowledge and skills.

授業の内容 / Course Contents

コース運営については参加者と話し合いの上、決定する。1 冊にまとまった教科書はないため、DX、GX、ESG や SDGs、クリティカル・ミネラルズ、コンパクトシティ、税制改革などのテーマに応じて、関連する論文等を読んでいく。また、学生には発表や討議を通じて、現代財政や都市統治のあり方についての理解を深め、最新の情報を学ぶことも求められる。
Course management will be discussed and determined with the students. Since there is no single applicable textbook, students will read relevant papers and other materials on topics such as DX, GX, ESG and SDGs, critical minerals, compact cities, and tax reform. Students will also be expected to broaden their understanding of contemporary public finance and urban governance through presentations and discussion.

授業計画 / Course Schedule

【1】：世界における都市化と DX、GX、ESG、SDGs
【2】：スマートシティとエネルギー安全保障
【3】：実例：日米スマートシティ協力1
【4】：実例：日米スマートシティ協力2
【5】：実例：日印スマートシティ協力1
【6】：実例：日印スマートシティ協力2
【7】：実例：日欧スマートシティ協力1
【8】：実例：日欧スマートシティ協力2
【9】：実例：NEC とスマートシティ
【10】：実例：国際協力機構とスマートシティ
【11】：実例：日立とスマートシティ
【12】：実例：日建設計とスマートシティ
【13】：実例：新エネルギー・産業技術総合開発機構とスマートシティ
【14】：まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習については、別途指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% プレゼンテーション:30% ディスカッション:30% 最終レポート割合::40%

テキスト / Textbooks

安岡 美佳;ユリアン 森江 原 ニールセン『北欧のスマートシティ: テクノロジーを活用したウェルビーイングな都市づくり』学芸出版社 2022 9784761528386
ジェフ・スペック『ウォーカブルシティ入門』学芸出版社 2022 9784761528249
IMF Climate Crossroads: Fiscal Policies in a Warming World IMF 2023
アジアの脱炭素都市の実現に向けた情報提供サイト
https://www.env.go.jp/earth/coop/lowcarbon-asia/
日米グローバル地方ゼロカーボン促進イニシアティブ
https://www.env.go.jp/press/110703.html
持続可能な開発目標(SDGs) - 2030 アジェンダ | 国連広報センタ
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

特にない

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

特にない

その他 / Others

全世界 スマートシティアプローチの適用性に係る
https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12342507.pdf
本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが，後期課程の受講者においては，全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA309

経済統計特殊講義1

Advanced Lecture on Economic Statistics 1
公的のミクロデータを利用した分析方法を知る

櫻本　健(SAKURAMOTO TAKESHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA309
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA121 経済統計特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済統計の設計を把握しながら、政府の HP や統計アプリを使用しながら統計データを分析できるようになること。公的統計の二次的利用制度を利用したミクロデータと分析手法を学ぶ。
なお前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。
to analyze statistical data while understanding the design of Official Statistics and using government websites and statistical applications. To learn micro data and analytical methods using the secondary use system of Official Statistics. In addition, the course aims to provide students with more advanced knowledge and skills than the first semester.

授業の内容 / Course Contents

公的統計全体のフレームと内側の国民経済計算体系のフレームの 2 つのフレームのうち、主に後者について輪読形式で授業を進める。部分的に PC による演習を行って、概念と実際の数値の利便性の両方を理解する。多くの場合、統計整備は社会問題をきっかけに進む。統計作成と社会問題との関係は授業時に随所に触れることになる。e-Stat や OECD.Stat といったフリーの統計データベースと利用方法を学ぶ。

授業計画 / Course Schedule

【1】:輪読・討論 1
【2】:輪読・討論 2
【3】:輪読・討論 3
【4】:輪読・討論 4
【5】:輪読・討論 5
【6】:輪読・討論 6
【7】:輪読・討論 7
【8】:輪読・討論 8
【9】:輪読・討論 9
【10】:輪読・討論 10
【11】:輪読・討論 11
【12】:輪読・討論 12
【13】:輪読・討論 13
【14】:輪読・討論 14

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験	○	学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストを事前に読み、関連する著作物を調べてくること。授業に関連して学課外で社会情報教育研究センターでのセミナーへの参加やコンテンツに基づく自主学習をお願いする。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 提出物:50% 報告:30% 討論:20%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

テキストはいくつかの候補の中から受講者と相談して決める。社会情報教育研究センター『日本の公的統計・統計調査』も利用するが、学内資料のため、教員が印刷して配布する。

参考文献 / Readings

李潔 『入門 GDP 統計と経済波及効果分析 第 2 版』 大学教育出版 2018 9784864295369
ダイアン・コイル, 高橋 璃子 『GDP――〈小さくて大きな数字〉の歴史』 みすず書房 2015 4622079119
アンガス・マディソン 『世界経済史概観 紀元 1 年～2030 年』 岩波書店 2015 4000610333
宮川努 『生産性とは何か』 筑摩書房 2018 448007189
テキストは上記の 4 冊に経済財政白書を加えた 5 冊から 1 冊選んで取り組む。授業範囲と統計調査士試験の内容が重複するため、資格取得をお勧めする。

その他 / Others

履修者が統計学を学んできた内容に応じて授業内容を変える。社会情報教育研究センターHP が関連情報となる。

作成:2024/10/02
科目コード:QA310

経済統計特殊講義2

Advanced Lecture on Economic Statistics 2
公的統計の体系的理解

櫻本　健(SAKURAMOTO TAKESHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA310
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA122 経済統計特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済統計のうち、コアとなるマクロの統計について体系だった理解できるようにする。データの利用方法、分析手法が習得され、国民経済計算に関する理解が深まる。
なお前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。
To provide a systematic understanding of core macroeconomic statistics. Students will learn how to use and analyze data, and deepen their understanding of national accounts.
The course aims to provide students with more advanced knowledge and skills than the first semester.

授業の内容 / Course Contents

国民経済計算体系(SNA)は公的統計のコア勘定として位置付けられている。SNA を中心に、国際収支統計・付加価値貿易指標、金融統計、生産性統計、開発指標等、供給使用産業連関表、政府財政統計、マクロの統計を体系的に学ぶ。統計に必要な分類として産業分類、生産物分類も扱う。授業は輪読形式のものと、演習形式も組み合わせたものと 2 種類ある。Excel を利用した演習や宿題を多く課すと同時に、テキストの報告を定期的に求める。
The System of National Accounts (SNA) is positioned as the core account of official statistics, and this course systematically studies balance of payments statistics, value-added trade indicators, financial statistics, productivity statistics, development indicators, etc., supply-use input-output table, government finance statistics, and macro statistics with a focus on the SNA. Industrial and product classifications will also be covered as necessary classifications for statistics. There will be two types of classes: one is in the form of reading in a circular format and the other is combined with exercises; students will be required to do many exercises and homework assignments using Excel, as well as to report on the textbook on a regular basis.

授業計画 / Course Schedule

【1】:テキストに基づく輪読・討論 1
【2】:テキストに基づく輪読・討論 2
【3】:テキストに基づく輪読・討論 3
【4】:テキストに基づく輪読・討論 4
【5】:テキストに基づく輪読・討論 5
【6】:テキストに基づく輪読・討論 6
【7】:テキストに基づく輪読・討論 7
【8】:テキストに基づく輪読・討論 8
【9】:テキストに基づく輪読・討論 9
【10】:テキストに基づく輪読・討論 10

【11】:テキストに基づく輪読・討論 11
【12】:テキストに基づく輪読・討論 12
【13】:テキストに基づく輪読・討論 13
【14】:テキストに基づく輪読・討論 14

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験	○	学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストは事前に読み、テキストに関する周辺の情報も調べてくること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 複数回の提出物:50% 報告:30% 討論:20%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

授業冒頭でテキストを選ぶ。授業では経済財政白書も参考にする。教科書以外に授業に必要な資料・データは、授業時に配布する。

参考文献 / Readings

ダイアン・コイル 『GDP――〈小さくて大きな数字〉の歴史』 みすず書房 2015 4622079119
ポール シュライアー 『OECD 生産性測定マニュアル』 慶應義塾大学出版会 2009 4766413555
François Lequiller,Derek Blades Understanding National Accounts 2014 Oecd Publishing 2014 9264214623
宮川努 『生産性とは何か』 ちくま新書 2018 9784480071897
授業内容は統計検定統計調査士試験と重複する部分があるため、統計調査士試験を受験してついでに資格取得することもお勧めできる。その場合、本学社会情報教育研究センターが提供している統計検定の HP を参考にする。

その他 / Others

e-Stat HP,社会情報教育研究センターHP と各種指標も活用する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA311

近代経済学1特殊講義1

Advanced Lecture on Modern Economics 1-1
制度の経済学の発展

荒川　章義(ARAKAWA AKIYOSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA311
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA123 近代経済学1特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

大学院レヴェルの制度と進化の経済学の基礎を学び，今後の研究のための土台を作る。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

大学院レヴェルの制度の経済学の代表的なテキストを用いてその内容を学ぶ。現在では，制度の経済学と呼ばれる学問分野は，コモンズやミッチェルなどの旧制度派経済学からコースやノースの新制度派経済学、青木昌彦の比較制度分析などの幅広い領域に及んでいる。この授業では，参加者の関心に応じて，上記のいずれかの領域における代表的なテキストを取り上げ，その内容を学んでいくことにしたい。

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション
【2】:参加者による発表と議論
【3】:参加者による発表と議論
【4】:参加者による発表と議論
【5】:参加者による発表と議論
【6】:参加者による発表と議論
【7】:参加者による発表と議論
【8】:参加者による発表と議論
【9】:参加者による発表と議論
【10】:参加者による発表と議論
【11】:参加者による発表と議論
【12】:参加者による発表と議論
【13】:参加者による発表と議論
【14】:参加者による発表と議論

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

大学院修士レベルのミクロ経済学をマスターしておくことが望ましい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度並びに授業内での報告:50% 発表と議論:50%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

詳細は参加者と相談の上決定する。

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:QA312

近代経済学1特殊講義2

Advanced Lecture on Modern Economics 1-2
進化の経済学の発展

荒川　章義(ARAKAWA AKIYOSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA312
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA124 近代経済学1特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

大学院レヴェルの制度と進化の経済学の発展を学び，今後の研究のための土台を作る。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

大学院レヴェルの進化の経済学の代表的なテキストを用いてその内容を学ぶ。現在では、進化の経済学は、シュンペーターの経済学から、ネルソン・ウィンターのアプローチ、ボールズやギンタスのアプローチなど多岐に及んでいる。また進化心理学も人間行動の非合理性の説明に大いに寄与している。この授業では，参加者の関心に応じて，進化の経済学の代表的なテキストを取り上げ，その内容を学んでいくことにしたい。

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション
【2】:参加者による発表と議論
【3】:参加者による発表と議論
【4】:参加者による発表と議論
【5】:参加者による発表と議論
【6】:参加者による発表と議論
【7】:参加者による発表と議論
【8】:参加者による発表と議論
【9】:参加者による発表と議論
【10】:参加者による発表と議論
【11】:参加者による発表と議論
【12】:参加者による発表と議論
【13】:参加者による発表と議論
【14】:参加者による発表と議論

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

大学院修士レベルのミクロ経済学をマスターしておくことが望ましい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度並びに授業内での報告:50% 発表と議論:50%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

詳細は参加者と相談の上決定する。

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:QA313

近代経済学2特殊講義1

Advanced Lecture on Modern Economics 2-1
制度と進化のミクロ経済学

池田　毅(IKEDA TAKESHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA313
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA125 近代経済学2特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

近年のミクロ経済学の新たな展開を学び，同時に新たな分析手法の可能性を理解する。特に，個々の経済主体の行動と制度との関連，あるいはそれらの共進化といった問題を理解する。
なお，前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。
Students will learn about new developments in microeconomics in recent years and, at the same time, understand the possibilities of new analytical methods. In particular, students will understand the relationship between the behaviour of individual economic agents and institutions and their co-evolution.

授業の内容 / Course Contents

近年ミクロ経済学と呼ばれる分野の変貌は著しい。従来，完全競争市場を前提に議論されてきた価格メカニズム中心の分析はもはや後景に退き，経済主体間の戦略的相互作用，経済における制度の役割，さらには経済進化の問題といった多様なトピックへと分析の重心は移動しつつある。
こうした中，米ラディカル派のS．ボウルズによって近年，包括的なテキストが出版された。この講義では，この大著を輪読し，ミクロ経済学の新たな展開について，その基礎から学ぶ。また関連する分析手法についても学ぶことにしたい。
The field of microeconomics has undergone a remarkable transformation in the last thirty years. Modern microeconomic analysis includes various topics, such as strategic interactions among economic agents, the role of institutions in the economy, and the problem of economic evolution. In this lecture, we will read through Samuel Bowles's book, Microeconomics, which shows a brilliant synthesis and development in the theory of economic behaviour. We will also learn about related analytical methods.

授業計画 / Course Schedule

【1】:Prologue: Economics and the Wealth of Nations and People
【2】:Social Interactions and Institutional Design
【3】:Spontaneous Order: The Self-organization of Economic Life
【4】:Preferences and Behavior
【5】:Coodination Failures and Institutional Responses
【6】:Dividing the Gains to Cooperation: Bargaining and Rent Seeking
【7】:Utopian Capitalism: Decentralized Coodination
【8】:Exchange: Contracts, Norms, and Power
【9】:Employment, Unemployment, and Wages
【10】:Credit Markets, Wealth Constraints, and Allocative Inefficiency
【11】:The Institutions of a Capitalist Economy

【12】:Institutional and Individual Evolution
【13】:Chance, Collective Action, and Institutional Innovation
【14】:The Coevolution of Institutions and Preferences

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

報告担当者はもちろんのこと，参加者全員が事前にテキストを精読し，授業内でのディスカッションに備えること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告担当:50% ディスカッション:50%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

Samuel Bowles, Microeconomics:Behavior, Institutions, and Evolution Princeton University Press 2006: Paper Back

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:QA314

近代経済学2特殊講義2

Advanced Lecture on Modern Economics 2-2
ポスト・ケインジアンのマクロ経済分析

池田　毅(IKEDA TAKESHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA314
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA126 近代経済学2特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

いわゆるポスト・ケインジアンと呼ばれるアプローチのマクロ経済分析について，その基礎的な内容を学び，その分析手法の可能性を理解する。
なお，前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。
Students will learn modern structuralist and post-Keynesian macroeconomic approaches and understand the potential of these approaches, focusing on the interaction of growth, stability and income distribution under different social relations.

授業の内容 / Course Contents

ポスト・ケインジアンのマクロ経済分析の知的源泉の一つである Structuralist の代表的な論者である Lance Taylor の著作を輪読し，オルタナティブなマクロ経済分析の方向性と可能性を検討する。
また，いわゆる主流派と呼ばれるスタンダードなアプローチについても，適宜参照しながら，それとの対比の上で，　上記のアプローチを検討する。
Students will read "Reconstructing Macroeconomics" by Lance Taylor, a well-known structuralist and post-Keynesian macroeconomist. Students will discuss modern structuralist approaches and critiques of mainstream macroeconomics from a structuralist perspective in learning about the standard technical tools of economics.

授業計画 / Course Schedule

【1】:Social Accounts and Social Relations
【2】:Prices and Distribution 1
【3】:Prices and Distribution 2
【4】:Money, Interest, and Inflation 1
【5】:Money, Interest, and Inflation 2
【6】:Short-Term Model Closure and Long-Term Growth
【7】:Chicago Monetarism, New Classical Macroeconomics, and Mainstream Finance
【8】:Effective Demand and the Distributive Curve 1
【9】:Effective Demand and the Distributive Curve 2
【10】:Structuralist Finance and Money
【11】:A Genus of Cycles 1
【12】:A Genus of Cycles 2
【13】:Exchange Rate Complications
【14】:Growth and Development Theories

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

報告担当者はもちろんのこと，参加者全員が事前にテキストを精読し，授業内でのディスカッションに備えること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告担当:50% ディスカッション:50%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

Lance Taylor Reconstructing Macroeconomics: Structuralist Proposals and Critiques of the Mainstream Harvard University Press 2004

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:QA317

財政学3特殊講義1

Advanced Lecture on Finace 3-1
財政・租税政策の国際比較

関口　智(SEKIGUCHI SATOSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA317
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA129 財政学3特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

各国の財政・租税制度及び社会保障制度等の動向を理解する。特に後期課程においては、財政学研究における代表的なアプローチを理解し、自身の研究に応用できるようにする。

尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

本講義では，財政・租税論や社会保障論等を念頭に置きつつ，各国の財政・租税制度及び社会保障制度等の国際比較を行う。

講義は担当者による簡単な解説の後，受講者によるレジュメ報告，全体での議論，担当者による論点整理により進めることを想定している。

講義開始時に具体的な題材を例示するが，前半は最新の日本語文献を，後半は最新の外国語文献を取り上げる。

授業計画 / Course Schedule

【1】:財政学 3 特講1のガイダンスとテキスト選定
【2】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【3】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【4】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【5】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【6】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【7】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【8】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【9】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【10】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【11】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【12】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【13】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【14】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

財政学に隣接する多様な領域に関心のある学生の参加も歓迎する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100%　授業中の発言，課題，出席の総合評価:80%　　最終レポート割合：:20%

後期課程においては、前期課程の評価方法に加えて課題を課して評価する。

テキスト / Textbooks

特定・単一のテキストは用いない。受講者と相談しながら決定する。

参考文献 / Readings

関口　智『現代アメリカ連邦税制-付加価値税なき国家の租税構造』東京大学出版会　2015 年　9784130461146

その他は,輪読の際に適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA318

財政学3特殊講義2

Advanced Lecture on Finace 3-2
財政・金融政策と公会計制度の国際比較

関口　智(SEKIGUCHI SATOSHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA318
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA130 財政学3特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

財政学や金融論等の視点から，公会計制度論の動向と予算・決算論との関連を理解する。特に後期課程においては、財政学研究における代表的なアプローチを理解し、自身の研究に応用できるようにする。

尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

本講義では，現代日本における財政・金融政策上の諸問題を念頭に置きつつ，近年盛んに議論されている公会計制度について，国際比較の観点からその意義と問題点について議論する。

講義は担当者による簡単な解説の後，受講者によるレジュメ報告，全体での議論，担当者による論点整理を行うことを想定している。

講義開始時に具体的な題材を例示するが，前半は最新の日本語文献を，後半は最新の外国語文献を取り上げる。

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス:財政学3特講2の内容とテキスト選定
【2】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【3】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【4】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【5】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【6】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【7】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【8】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【9】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【10】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【11】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【12】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【13】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)
【14】:輪読(レジュメ報告，全体議論，論点整理)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

財政学に隣接する多様な領域に関心のある学生も歓迎する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100%　授業中の発言，課題，出席の総合評価:80%　　最終レポート割合：:20%

後期課程においては、前期課程の評価方法に加えて課題を課して評価する。

テキスト / Textbooks

特定・単一のテキストは用いない。受講者と相談しながら決定する。

参考文献 / Readings

関口　智『イギリス及びスウェーデンの国家財政における予算・公会計制度と会計検査院ーミクロ予算編成とマクロ予算編成の視点からー』会計検査院　2017 年

関口　智編『地方財政・公会計制度の国際比較』日本経済評論社　2016 年

その他は,輪読の際に適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA321

日本経済史特殊講義1

Advanced Lecture on Japanese Economic History 1
近現代日本の経済と経営

岡部　桂史(OKABE KEISHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA321
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA211 日本経済史特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「一般的ならびに専門的教養の上に，経済，経済政策，会計，経営を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」が実現するように，次の 3 点を目標とします。
1.日本経済史・経営史の基礎的な文献を理解する。
2.日本経済史・経営史の研究方法を獲得する。
3.日本経済史・経営史に基づくプレゼンテーション能力を獲得する。
前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Students will study universal and specialized subjects found in curriculum of Graduate School of Economics, “researching and understanding in depth general and specialized studies as well as economics, accountancy, and train one’s personality based on the Christian teaching and to contribute to cultural development”. Students will aim to achieve the following three points.
1. Students will understand basic literatures on Japan economic and management history.
2. Students will acquire research methods on Japan economic and management history.
3. Students will acquire ability to make presentations based on Japanese economic and management history.

授業の内容 / Course Contents

本授業では，近現代日本経済史，特に「産業史」研究の学術論文を複数輪読(音読)していきます。受講にあたって，明治以降の日本経済史に関する専門的知識や学習を求めませんが，指定論文について事前に精読し，固有名詞や歴史的背景を確認しておく必要があります。授業では輪読を進めながら，随時，担当教員と受講者でディスカッションを行い，理解を深めていきます。1 論文を輪読後に受講者に A4 用紙 1 枚程度のレポートを課し，授業内でフィードバックすることで，対象論文をさらに理解するようにします。
In this class, we will read academic papers on modern Japanese economic history, especially on ″industrial history. No specialized knowledge or study of Japanese economic history since the Meiji period is required for this course. However, students are expected to read the papers carefully in advance, and to confirm proper nouns and the historical background of the papers. In class, we will read the papers by turns, and at the same time, the instructor and students will discuss and deepen their understanding of the papers. After the reading, students will be required to write a report and feedback will be given in class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:日本経済史・経営史に関する文献輪読(1)

【3】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(2)
【4】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(3)
【5】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(4)
【6】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(5)
【7】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(6)
【8】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(7)
【9】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(8)
【10】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(9)
【11】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(10)
【12】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(11)
【13】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(12)
【14】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(13)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

課題文献を精読し，論点をまとめる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:60% レポート:40%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

日本経済史に対する興味・関心

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

特になし

その他 / Others

【授業形態】授業では学生への質問も活発に行う予定なので，積極的な受講態度が期待される。
【課題に対するフィードバック】最終授業時に，全体に対するフィードバックを行う。

作成:2024/10/02
科目コード:QA322

日本経済史特殊講義2

Advanced Lecture on Japanese Economic History 2
近現代日本の経済と経営

岡部　桂史(OKABE KEISHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA322
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA212 日本経済史特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「一般的ならびに専門的教養の上に，経済，経済政策，会計，経営を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」が実現するように，次の 3 点を目標とします。
1.日本経済史・経営史の基礎的な文献を理解する。
2.日本経済史・経営史の研究方法を獲得する。
3.日本経済史・経営史に基づくプレゼンテーション能力を獲得する。
前期課程よりも高度な知識・スキルを着けることを目標とする。
Students will study universal and specialized subjects found in curriculum of Graduate School of Economics, “researching and understanding in depth general and specialized studies as well as economics, accountancy, and train one’s personality based on the Christian teaching and to contribute to cultural development”. Students will aim to achieve the following three points.
1. Students will understand basic literatures on Japan economic and management history.
2. Students will acquire research methods on Japan economic and management history.
3. Students will acquire ability to make presentations based on Japanese economic and management history.

授業の内容 / Course Contents

本授業では，近現代日本経済史，特に「産業史」研究の学術論文を複数輪読(音読)していきます。受講にあたって，明治以降の日本経済史に関する専門的知識や学習を求めませんが，指定論文について事前に精読し，固有名詞や歴史的背景を確認しておく必要があります。授業では輪読を進めながら，随時，担当教員と受講者でディスカッションを行い，理解を深めていきます。1 論文を輪読後に受講者に A4 用紙 1 枚程度のレポートを課し，授業内でフィードバックすることで，対象論文をさらに理解するようにします。
In this class, we will read academic papers on modern Japanese economic history, especially on ″industrial history. No specialized knowledge or study of Japanese economic history since the Meiji period is required for this course. However, students are expected to read the papers carefully in advance, and to confirm proper nouns and the historical background of the papers. In class, we will read the papers by turns, and at the same time, the instructor and students will discuss and deepen their understanding of the papers. After the reading, students will be required to write a report and feedback will be given in class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:日本経済史・経営史に関する文献輪読(1)

【3】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(2)
【4】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(3)
【5】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(4)
【6】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(5)
【7】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(6)
【8】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(7)
【9】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(8)
【10】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(9)
【11】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(10)
【12】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(11)
【13】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(12)
【14】: 日本経済史・経営史に関する文献輪読(13)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

課題文献を精読し，論点をまとめる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:60% レポート:40%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

日本経済史に対する興味・関心

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

特になし

その他 / Others

【授業形態】授業では学生への質問も活発に行う予定なので，積極的な受講態度が期待される。
【課題に対するフィードバック】最終授業時に，全体に対するフィードバックを行う。

作成:2024/10/02
科目コード:QA323

経営史特殊講義1

Advanced Lecture on Business History 1
近現代日本経営史の探究

島西　智輝(SHIMANISHI TOMOKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA323
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA217 経営史特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

近現代日本経営史研究の方法と研究の現状を理解し、論評と討論に加え、自らの問題意識に基づいた研究報告ができる。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Students should become able to understand, critique and discuss methods of researching the business history of modern Japan and the current state of research in this field. Furthermore, they should become able to the research presentation based on their original point of view.

授業の内容 / Course Contents

近現代日本経営史の研究文献・論文を検討し、専門的知識と文章作成能力を身につけた上で、自らの問題意識について研究を実施し、研究報告を行う。
We will study literature and academic papers containing research on the business history of modern Japan, and students will develop specialized knowledge and writing skills for writing academic papers.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(1)
【3】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(2)
【4】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(3)
【5】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(4)
【6】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(5)
【7】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(6)
【8】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(7)
【9】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(8)
【10】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(総括と討論)
【11】:研究報告と討論(1)
【12】:研究報告と討論(2)
【13】:研究報告と討論(3)
【14】:講義のまとめと夏期休暇に向けた研究指導

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	

個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	○
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

輪読の際は、事前に文献・論文を精読し、報告資料を準備する必要がある。
授業外の時間を利用して、先行研究を踏まえて文献・論文を検討したり、自らの研究を実施したりする必要がある。
平均して毎日 120 分以上を事前・事後学習時間とすることを目安とする。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:50% 研究報告:50%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

履修者と相談の上、決定する。

参考文献 / Readings

授業中に適宜提示する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA324

経営史特殊講義2

Advanced Lecture on Business History 2
近現代日本経営史の探究

島西　智輝(SHIMANISHI TOMOKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA324
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA218 経営史特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

近現代日本経営史研究の方法と研究の現状を理解し、論評と討論に加え、自らの問題意識に基づいた研究報告ができる。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Students should become able to understand, critique and discuss methods of researching the business history of modern Japan and the current state of research in this field. Furthermore, Students should become able to the research presentation based on their original point of view.

授業の内容 / Course Contents

近現代日本経営史の研究文献・論文を検討し、専門的知識と文章作成能力を身につけた上で、自らの問題意識について研究を実施し、研究報告を行う。
We will study literature and academic papers containing research on the business history of modern Japan, and students will develop specialized knowledge and writing skills for writing academic papers.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(1)
【3】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(2)
【4】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(3)
【5】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(4)
【6】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(5)
【7】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(6)
【8】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(7)
【9】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(8)
【10】:近現代日本経営史に関する文献・論文の輪読(総括と討論)
【11】:研究報告と討論(1)
【12】:研究報告と討論(2)
【13】:研究報告と討論(3)
【14】:講義のまとめと春期休暇に向けた研究指導

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	

個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	○
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

輪読の際は、事前に文献・論文を精読し、報告資料を準備する必要がある。
授業外の時間を利用して、先行研究を踏まえて文献・論文を検討したり、自らの研究を実施したりする必要がある。
平均して毎日 120 分以上を事前・事後学習時間とすることを目安とする。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:50% 研究報告:50%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

履修者と相談の上、決定する。

参考文献 / Readings

授業中に適宜提示する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA325

経済政策特殊講義1

Advanced Lecture on Economic Policies 1
グローバル資本主義の持続可能性と反グローバリズム政策の背景を探る

櫻井　公人(SAKURAI KIMIHITO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA325
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA301 経済政策特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

転機にあるグローバル資本主義は生き延びることができるのか。そのために必要な政策課題は何か。定義，歴史，多様性など，グローバリゼーションについて多次元的に理解する。また，反グローバリズムの政策背景を理解する。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Can global capitalism survive ? What policy issues does it need to cope with ?
To understand multi dimensions of globalization such as its definition, history and diversity.
To understand the background of anti-globalist economic policies.

授業の内容 / Course Contents

21 世紀の資本主義は転機にある。グローバル金融危機，情報技術革新，さらには資源・エネルギーにおける持続可能性が，反グローバリズムとポピュリズムのゆくえを左右するだろう。
金融化とカジノ資本主義化，マッド・マネー化のもたらした危機に，非伝統的な政策とグローバル金融規制で対処できるのか。「インダストリアル・インターネット」や「IoT」などのデジタル技術や AI が産業と雇用の構造を変え，失業・格差・貧困の構図をどう変えるのか。人口増加と水・食糧の需要など，資源・エネルギー面は持続可能か。今日の資本主義が抱えるグローバルな政策課題への対処のため，グローバリゼーションの起源にさかのぼって検討する。なお，テキストは 2023 年刊行の 6th edition を用いる。
21 century capitalism is now at the turning point. Global financial crisis, IT, sustainability of resource and energy will be at stake. We have also antiglobaism and populism. Can we cope with crises caused by financialization, casino capitalism, and 'mad money'? How do digital technologies such as industrial internet and I o T transform the structure of industry and labor ? Can we deal with population, water and food issues?　Explanations will be given from historical view with the origin of globalization to correspond to the global capitalism today.

授業計画 / Course Schedule

【1】:はじめに
Introduction
【2】:グローバリゼーションとは何か？
What is Globalization？
【3】:歴史の中のグローバリゼーション
Globalization in history
【4】:グローバリゼーションの経済的・テクノロジー的次元
The economic and technological dimension of globalization
【5】:グローバリゼーションの政治的次元ー国民国家のゆくえ，移民，EU

The political dimension of globalization
【6】:グローバリゼーションの文化的次元ーマクドナルド化, メディア, 言語
The cultural dimension of globalization
【7】:グローバリゼーションのエコロジー的次元
The ecological dimension of globalization
【8】:グローバリゼーションをめぐるイデオロギー対立
Ideologiical confrontations over globalization
【9】:ー市場派グローバリズム
market globalism
【10】:ー正義派グローバリズム
justice globalism
【11】:ー宗教派グローバリズム
religious globalism
【12】:反グローバリスズム, ポピュリズム, Dトランプ
antiglobalist populism and D. Trump
【13】:現状と将来の傾向
Present and future trends
【14】:グローバリゼーションと政策対応
Globalization and policy response

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

講義前の事前準備は必須である。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 毎回の講義での報告:50% 講義への貢献度:30% 最終レポート割合::20%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

Manfred B. Steger Globalization 6th ed.: A Very Short Introduction Oxford U. P. 2023 0192886193
斉藤・古川編『分水嶺にたつ市場と社会』文眞堂 2020 9784830950766

参考文献 / Readings

S. ストレンジ『国家の退場』岩波書店 2011 9784000285155
斎藤修・古川純子編『分水嶺にたつ市場と社会』文眞堂 2020 9784830950766

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

英語を日本語にする能力を鍛えようという意志が求められる。当初つらくても、取り組みを続けることで、知らず知らずのうちに能力がついてくるはずである。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

テキストを購入し、ZOOM 接続できる環境を備えておくこと。

作成：2024/10/02
科目コード：QA326

経済政策特殊講義2

Advanced Lecture on Economic Policies 2
経済危機への政策対応とグローバル経済史―資本主義の持続可能性と反グローバリズムに関する研究
Global economic history of policy responses to crisis－on sustainability of capitalism and anti-globalism

櫻井　公人（SAKURAI KIMIHITO）

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA326
授業形態	対面（一部オンライン）	授業形態（補足事項）	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	－（履修中止制度なし/ No system for cancellation）	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA302 経済政策特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

グローバル経済史と危機への政策対応の歴史を学ぶ。転機にある 21 世紀に資本主義が生き延びるために必要な政策課題は何か。定義，歴史，多様性を学びつつ，グローバル資本主義とその危機について理解する。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
To understand global economic history and its crisis.
Can global capitalism survive in the age of transition?
What policy issues does it need to cope with ?
To understand crisis and multi dimensions of globalization such as its definition, history and diversity.

授業の内容 / Course Contents

21 世紀の資本主義は転機にある。グローバル金融危機，情報技術革新，さらには資源・エネルギーにおける持続可能性が，今後のゆくえを左右するだろう。ところが、世界システムの不安定性が増している。アメリカは，国内の分断に対処できずに信頼を失う一方で、中国は国内経済の停滞によりアメリカに追いつくことができない。
金融化とカジノ資本主義化，マッド・マネー化のもたらした危機に，非伝統的な政策とグローバル金融規制で対処できるのか。「インダストリアル・インターネット」や「IoT」などのデジタル技術や AI が産業と雇用の構造を変え，失業・格差・貧困の構図をどう変えるのか。人口増加と水・食糧の需要など，資源・エネルギー面は持続可能か。今日のグローバル資本主義の抱える多くの政策課題を，その起源にさかのぼって検討する（受講者との相談もふまえ，秋学期内容とどちらを先に行うかを決める）。
21 century capitalism is now at the turning point. Global financial crisis, IT, sustainability of resource an energy will be at stake. But USA is losing trust in its foreign policy because of divided domestic politics, while China can't catch up with USA because of stagnant domestic economy.
Can we cope with crises caused by financialization, casino capitalism, and 'mad money' ? How do digital technologies such as industrial internet and I o T transform the structure of industry and labor ? Can we deal with population, water and food issues? Explanations will be given from the historical view with the origin of globalization to correspond to the global capitalism today.

授業計画 / Course Schedule

【1】：はじめに
【2】：What is capitalism?
【3】：資本主義とは何か
【4】：Where did capitalism come from?

【5】:資本主義はどこで生まれたのか
【6】:How did we get here?
【7】:こに至るまでの資本主義のあゆみと大きな分岐
【8】:Is capitalism everywhere the same?
【9】:資本主義の多様性？
【10】:Has capitalism gone global?
【11】:グローバル資本主義か資本主義のグローバル化か
【12】:Crisis? What crisis?
【13】:何が資本主義の危機なのか
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

講義前の事前準備は必須である。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 講義内での発表:50% 講義への貢献:30% 最終レポート割合::20%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

James Fulcher Capitalism 2nd ed.: A very Short Introduction Oxford U.P. 2015 9780198726074

参考文献 / Readings

斎藤修・古川純子編『分水嶺にたつ市場と社会』文眞堂 2020 年 9784830950766

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

ZOOM に接続できるデバイスと環境を用意すること。

作成:2024/10/02
科目コード:QA327

世界経済特殊講義1

Advanced Lecture on the Global Economies 1
欧州グリーンディールについて学ぶ。

蓮見　雄(HASUMI YU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA327
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA307 世界経済特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

EU の成長戦略である欧州グリーンディールについて学ぶ。
Students will learn about the European Green Deal as a Growth Strategy.

授業の内容 / Course Contents

この講義では、欧州グリーンディールについて EU の一次資料(英文)を輪読する。
In this lecture, we will read the primary source on the European Green Deal.

授業計画 / Course Schedule

【1】:本年度の論文執筆計画について協議
【2】:関連資料のリストアップ
【3】:関連資料の輪読
【4】:同上
【5】:同上
【6】:同上
【7】:論文執筆計画について協議
【8】:追加資料のリストアップ
【9】:追加資料の輪読
【10】:同上
【11】:同上
【12】:同上
【13】:論文草稿について協議
【14】:同上

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回、資料を読み報告の準備を行うこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業時の報告と討論:100%

テキスト / Textbooks

Conceição Rego, Maria Raquel Lucas eds. Entrepreneurship, Technological Change and Circular Economy for a Green Transition: Research Contributions for a More Productive Environment Springer 2024
Mar Campins Eritja, Xavier Fernández-Pons eds. Deploying the European Green Deal: Protecting the Environment Beyond the EU Borders Routledge 2024

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

欧州グリーンディールに関する基礎知識を有すること。

作成：2024/10/02
科目コード：QA328

世界経済特殊講義2

Advanced Lecture on the Global Economies 2
サーキュラー・エコノミーの社会実装

蓮見　雄（HASUMI YU）

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA328
授業形態	対面（一部オンライン）	授業形態（補足事項）	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー（履修中止制度なし/ No system for cancellation）	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA308 世界経済特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

EU のサーキュラー・エコノミーについて学ぶ。
Students will learn about the circular economy of the EU.

授業の内容 / Course Contents

この講義では、EU のサーキュラー・エコノミー戦略について一次資料（英文）を輪読する。
In this lecture, we will read the primary source on the EU's Circular Economy Strategy.

授業計画 / Course Schedule

【1】：本年度の論文執筆計画について協議
【2】：関連資料のリストアップ
【3】：資料の輪読
【4】：同上
【5】：同上
【6】：同上
【7】：論文執筆計画について協議
【8】：追加資料のリストアップ
【9】：追加資料の輪読
【10】：同上
【11】：同上
【12】：同上
【13】：同上
【14】：論文草稿について協議

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ（ﾊﾟﾜﾎﾟ等）の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

毎回、資料を読み、報告の準備をして参加すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業時の報告と討論:100%

テキスト / Textbooks

Terry Tudor, Cleber JC. Dutra eds. The Routledge Handbook of Waste, Resources and the Circular Economy Routledge 2024
Hanna Lehtimaeki eds. The Routledge Handbook of Catalysts for a Sustainable Circular Economy Routledge 2023
Dagmara Lewicka Circular Economy in the European Union: Organisational Practice and Future Directions in Germany, Poland and Spain Dagmara Lewicka 2023

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

サーキュラー・エコノミーおよび EU に関する基礎知識を有すること。

作成:2024/10/02
科目コード:QA331

社会政策特殊講義1

Advanced Lecture on Social Policies 1
イノベーティブ福祉国家としてのデンマークの社会経済構造分析
(Analysis on socio-economic structure of Denmark as an innovative welfare state)

菅沼　隆(SUGANUMA TAKASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA331
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA313 社会政策特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

福祉国家の 21 世紀的形態である「イノベーティブ福祉国家」システムを、労使のパートナーシップのもとでの職業と教育に着目して構造を分析し、日本への示唆を得る。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
The "Innovative Welfare State" is the 21st century form of the welfare state. To analyze its structure, we will study labor-management relations and vocational training under labor-management partnership.

授業の内容 / Course Contents

イノベーティブ福祉国家は「福祉国家の諸制度・諸価値によりイノベーティブな人材や組織が促進され、イノベーションが誘発されやすい国家」と定義できる。北欧諸国はイノベーティブ福祉国家のモデルになりうる国である。特にデンマークは発達した職業訓練制度、高い労使のパートナーシップ、小さい社会的格差という点でモデル国にふさわしい。日本の「新しい資本主義」が「成長と分配の好循環」を目標に掲げているが、そのモデルを提供している。春学期は、まず、日本の「新しい資本主義」の概念を吟味し、また、日本の職業訓練制度に関する研究論文を確認する。次いで、デンマークの職業訓練政策に関する論文を読む。
Innovative welfare states can be defined as "states in which the institutions and values of the welfare state promote innovative human resources and organizations, and in which innovation is easily induced. The Nordic countries can serve as models for innovative welfare states. Denmark, in particular, is a good model in terms of its well-developed vocational training system, high level of labor-management partnership, and small social disparities. It offers a model for Japan's "new capitalism," whose goal is a "virtuous circle of growth and distribution. In the spring semester, we will first examine the concept of Japan's "new capitalism" and also review research papers on Japan's vocational training system. Next, we will read a paper on Danish vocational training policy.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:新しい資本主義実現会議政策文書分析(1)
【3】:新しい資本主義実現会議政策文書分析(2)
【4】:日本の職業訓練システム概観
【5】:ヨーロッパの社会的パートナーシップ
【6】:ヨーロッパの社会的パートナーシップ
【7】:Social Partnership and Employment Relations(英語文献)
【8】:Social Partnership and Employment Relations(英語文献)
【9】:Socia Partnership(英語文献)

【10】:Social Partnership(英語文献)
【11】:Vocational Education(英語文献)
【12】:Vocational Education(英語文献)
【13】:Nordic Vocational Education System(英語文献)
【14】:Nordic Vocational Education System(英語文献)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

指定した論文を予め読み、関係情報を収集した上で、授業に参加していただく。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告とディスカッション:100%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

Svein Michelsen, et. al. Vocational Education in the Nordic Countries Routledge 2020 9781315411811
中野聡『社会的パートナーシップ』日本評論社 2018 9784535559134
James Arrowsmith, et.al. The Transformation of Employment Relations in Europe Routledge 2013 9780415875936
Ulf Blossing et.al. The Nordic Education Model Springer 2014 9789400771253
浅見和彦『労使関係論とはなにか』旬報社 2021 9784845116997
上記はテキストの例である。日本語の論文を取り上げることもある。受講者の問題意識に基づいて選定する。

参考文献 / Readings

クラウス・ペーターセン他『北欧福祉国家は持続可能か』ミネルヴァ書房 2017 9784623075355
斉藤弥生、石黒暢『北欧』旬報社 2019 9784845115976
佐野利男『女神フライアが愛した国』東海大学出版社 2017 9784486021629
Torben M.Andersen.et.al. The Danish Economy in a Global Context Djoef Publishing 2017 9788757436358

作成:2024/10/02
科目コード:QA332

社会政策特殊講義2

Advanced Lecture on Social Policies 2
イノベーティブ福祉国家としてのデンマークの社会経済構造分析
(Analysis on socio-economic structure of Denmark as an innovative welfare state)

菅沼　隆(SUGANUMA TAKASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA332
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA314 社会政策特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

デンマークのイノベーションシステムについて、企業と職場と公共部門に注目して、学究型職場、従業員主導のイノベーション、公共部門のイノベーションの具体的な内容について理解することを目的とする。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
The aim of the seminar is to understand the Danish innovation system, with a focus on companies, workplaces and the public sector, and the specifics of academic workplaces, employee-led innovation and public sector innovation.

授業の内容 / Course Contents

秋学期は、職場、企業、自治体、研究機関でどのようにイノベーティブな活動が行われているのか、を知る研究論文を読んでいく。デンマークのイノベーションシステムの最先端の研究動向を扱う。
The project deals with cutting-edge research trends in the Danish innovation system. Focusing on government policies, the research will study innovation in general, digital policies, and green policies.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:Learning Factories, Learning Economy (学究企業、学究経済)
【3】:Learning Factories, Learning Economy (学究企業、学究経済)
【4】:Employee Driven Innovation(従業員主導のイノベーション)
【5】:Employee Driven Innovation(従業員主導のイノベーション)
【6】:Employee Driven Innovation(従業員主導のイノベーション)
【7】:Innovative Companies(イノベーティブな企業)
【8】:Innovative Companies(イノベーティブな企業)
【9】:Innovative Companies(イノベーティブな企業)
【10】:Innovative Companies(イノベーティブな企業)
【11】:Collaborative Innovation in the Public Sector(公共部門における共同的イノベーション)
【12】:Collaborative Innovation in the Public Sector(公共部門における共同的イノベーション)
【13】:Collaborative Innovation in the Public Sector(公共部門における共同的イノベーション)
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

指定した論文を予め読み、関係情報を収集した上で、授業に参加していただく。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告とディスカッション:100%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する

テキスト / Textbooks

Halvor Holtskog Learning Factories Palgrave Macmillan 2018 9783319824567
Jacob Torfing Collaborative Innovation Georgetown University Press 2016 9781626163614
Nicolai J. Foss Innovating Orgnization & Management Cambridge 2012 9781107011052
Peter Oeij, et.al. Workplace Innovation Springer 2017 9783319858876
Nora Rathzel, et.al Trade Unions in th Green Economy earthscan 2013 9781849714648
上記はテキストの例である。日本語の論文を取り上げることもある。受講者の問題意識に基づいて選定する。

参考文献 / Readings

Bent Greve Den sociale og innovative velfaerdsstat Hans Reitzel 2015 9788741261065
Mazzucato The entrepreneurial state : debunking public vs. private sector myths Anthem 2013 9780857282521
Augustin K. Fosu Development success : historical accounts from more advanced countries Oxford Univ. 2013 9780199660704
豊泉周治『幸福のための社会学ー日本とデンマークの間』星雲社 2021 9784434292644
Francis Fukuyama Political order and political decay : from the industrial revolution to the globalization of democracy Farrar, Straus and Giroux 2014 9780374227357
Ove Kaj Pedersen Konkurrencestaten Hans Reitzel 2011 9788741251561
he Observatory of Public Sector Innovation in OECD Directorate for Public Governance Public Sector Innovation Scan of Denmark OECD 2021

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

Zoom と Slack を使用するので PC が必要である。

作成:2024/10/02
科目コード:QA333

労働経済特殊講義1

Advanced Lecture on Labor Economics 1
日本の労使関係・雇用慣行

首藤　若菜(SHUTO WAKANA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA333
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA315 労働経済特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

日本の労使関係・雇用慣行について，その特質，形成過程を理解したうえで，今日の変化を議論する。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

かつて日本の国際競争力を牽引してきたとされる日本型雇用慣行は，今日，大きく揺らいでいる。有期雇用者や短時間労働者の増加，職務給や成果・業績給制度の導入がすすむなか，長期に安定した雇用や年功型の賃金体系は，過去の産物として語られることが多い。本講義では，まず日本的雇用システムとは何であったのかについて，その形成過程から論じ，そこに内包されてきた問題を検討する。同時に，賃金制度，技能育成のあり方，労使関係について，先進諸外国の実態と比較することで，日本的特質を明らかにする。そのうえで，今日，日本型雇用慣行が質的にどう変わりつつあるのかを議論し，今後の労使関係，雇用慣行を展望する。

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション
【2】:参加者による報告，議論(1)
【3】:参加者による報告，議論(2)
【4】:参加者による報告，議論(3)
【5】:参加者による報告，議論(4)
【6】:参加者による報告，議論(5)
【7】:参加者による報告，議論(6)
【8】:参加者による報告，議論(7)
【9】:参加者による報告，議論(8)
【10】:参加者による報告，議論(9)
【11】:参加者による報告，議論(10)
【12】:参加者による報告，議論(11)
【13】:参加者による報告，議論(12)
【14】:全体総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

講義のなかで適宜指示する

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告および発言を総合的に評価する:100%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

テキストは参加者と相談して決める。

参考文献 / Readings

講義のなかで適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA334

労働経済特殊講義2

Advanced Lecture on Labor Economics 2
グローバル化と労使関係の変化

首藤　若菜(SHUTO WAKANA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA334
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA316 労働経済特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

グローバル化に対応した労使関係の枠組みについて議論し，理解を深める。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

経営のグローバル化が進展する一方で，労働組合による国際連帯の強化が叫ばれて久しいが，日本の多くの労働組合は，未だ一国的な活動にとどまっている。本講義では，企業のグローバル化と労働組合の一国的運動という労使間のズレが何をもたらすのか，議論する。そのうえで，欧州を中心に，多国籍企業に対する社会的規制や労働組合のネットワークの拡大のケースを考察し，グローバル化に対応した労使関係のあり方を検討したい。

授業計画 / Course Schedule

【1】:オリエンテーション
【2】:参加者による報告，議論(1)
【3】:参加者による報告，議論(2)
【4】:参加者による報告，議論(3)
【5】:参加者による報告，議論(4)
【6】:参加者による報告，議論(5)
【7】:参加者による報告，議論(6)
【8】:参加者による報告，議論(7)
【9】:参加者による報告，議論(8)
【10】:参加者による報告，議論(9)
【11】:参加者による報告，議論(10)
【12】:参加者による報告，議論(11)
【13】:参加者による報告，議論(12)
【14】:全体総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業のなかで適宜指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告および発言を総合的に評価する:100%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

テキストは参加者と相談して決める。

参考文献 / Readings

授業のなかで適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA335

中小企業特殊講義1

Advanced Lecture on Small Business Problems and Studies 1

遠山　恭司(TOYAMA KYOJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA335
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA317 中小企業特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

日本経済におけるものづくり中小企業の理論・実態を踏まえて、グローバル化する経済構造と分業体制、研究開発や知財連携、市場創造など、産業競争力基盤を体系的に理解し、政策的含意を抽出する能力を身につける。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。

Students will consider theories and current states of SMEs and Monozukuri corporations in Japanese economy. Students will understand systematically foundation of industrial competitive edge and be able to extract its political significance. These subjects include globalized economic structure, system of division of labor, R&D, intellectual collaboration, and market creation.

授業の内容 / Course Contents

日本産業の国際競争力が問われて久しい。全国の企業数、事業所数は減少傾向にあるが、付加価値を増大させ、あるいは海外とのネットワーク形成で雇用を維持している分野や地域も存在する。本講では、港徹雄著『日本のものづくり　競争力基盤の変遷』日本経済新聞出版社を取り上げ、各章ごとに輪読形式で日本のものづくり産業の競争力基盤を考察していく。

受講者は、各章を読むだけではなく、そこで示されている参考文献や関連する複数の論文をあわせて読み込んで、毎回、レジメ形式にて報告と討論を行う。ものづくりの思想と方法に日本企業の競争力を見いだす議論が多いが、ここでは分業の効率化からR＆D型プロダクトイノベーションへの競争要因シフトを提示している。こうした論理を複眼的で多角的に検討し、中小企業・ベンチャー企業の存立基盤と役割、政策課題を考察する。

Since long ago, many people have been questioning international competitiveness of Japanese industries. Nationwide corporations and businesses are decreasing. Some sectors and regions sustain their employment by increasing their added value or forming network with foreign countries. Students will study Japanese Monozukuri: Changing Competitive Edge (Nikkei Publishing) by Tetsuo Minato. Students will read each chapter and analyze foundation of competitive edge Japanese Monozukuri industry .

Students will read not only each chapter, but also reference literatures and several related papers shown. Each time, students will submit summary report and participate in discussion. Many people sought Japanese corporation competitive edge in Monozukuri thinking and method. Here, students will see shifting competition factor from more efficient labor division to R&D product innovation. Students will discuss these theories from multiple perspectives and angles. In addition to political issues, students will consider existential foundation of SMEs, Business Vuntures and their roles.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:競争力基盤と国際分業

【3】:分業システム転換と国際競争力
【4】:分業システム転換と世界不況
【5】:日本産業の競争力要因
【6】:国際競争環境の変化と海外投資
【7】:競争力基盤と国際移転性
【8】:研究開発投資と知的生産性
【9】:起業選択とベンチャーのリスク耐性
【10】:大企業と中小企業との知的連携
【11】:中小企業の共同技術開発
【12】:21 世紀の知的競争力基盤
【13】:下請システムの源流と進化
【14】:パワーと信頼形成による分業システム進化

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

準備学習の指示は、履修登録完了後に立教メール(または Canvas LMS)で履修者に対して行う。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告と討論の参加・貢献度:60% 授業参加度:40%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

港徹雄『日本のものづくり 競争力基盤の変遷』日本経済新聞出版社 2011 9784532134082

参考文献 / Readings

藤本隆宏『日本のもの造り哲学』日本経済新聞出版社 2004 9784532311391

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

日本産業とりわけ製造業に関する中小企業研究成果を理解し、現状・実態とのインタラクティブな確認・ディスカッションを積極的におこなう能力が求められる。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

テキストおよびレジュメを用意すること。

その他 / Others

授業に関する連絡は、立教 G メールを利用します。

作成:2024/10/02
科目コード:QA336

中小企業特殊講義2

Advanced Lecture on Small Business Ploblems and Studies 2

遠山　恭司(TOYAMA KYOJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA336
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA318 中小企業特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

日本の中小企業とグローバル経済を有機的に考察し,「東アジア」における現代的諸問題を切り口に複眼的な思考をもった研究推進能力の形成を目指す。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Students will analyze Japanese SMEs and global economy organically. Students will acquire research skills to think about various modern issues in East Asia from multiple perspectives.

授業の内容 / Course Contents

本授業では, 中小企業の事業活動範囲・ビジネスモデル・存立構造を東アジア大の経済社会構造の中でとらえ, 主体的な姿勢で考察することが肝要である。経済大国の中国・日本, 韓国・台湾, 東南アジアの間には, 産業, 企業, 技術, 生産, 組織, 分業といった複雑な「競争と協調」,「成長・発展」のメカニズムが存在する。これらを俯瞰的かつ複眼的に検討し, 日本中小企業の諸問題と可能性を考察する。授業は受講生によるテキストの輪読と報告, それに対するディスカッションによって進められる。
In this class, students will think about activities of SMEs, models, and structures in terms of East Asian economic and social structures. It is crucial for students to conduct self-directed analyses. Competition and cooperation, growth and development - These complicated mechanisms exist among economic giants such as China-Japan, South Korea-Taiwan, and among Southeast Asian countries. These mechanisms cover industry, corporation, technology, production, organization, and labor division. Students will discuss these from bird-eye view and multiple perspectives to explore various issues and potential in Japanese SMEs. In the class, students will report, read textbooks, and participate in discussion.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:新興アジア経済論の視角
【3】:歴史の中のアジア・世界の中のアジア
【4】:アジア化するアジア
【5】:キャッチアップ型工業論再考
【6】:「鼎構造」論
【7】:中所得国の罠
【8】:社会大変動の時代
【9】:社会発展なき成長
【10】:経済と社会のバランス　日本の役割
【11】:東アジアと中小企業1
【12】:東アジアと中小企業2

【13】:東アジアと中小企業3
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

準備学習の指示は，初回授業時(ガイダンス)にて，履修者に対して行う。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告とディスカッション:100%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

末廣 昭『新興アジア経済論』岩波書店 2014 9784000287425 0333
そのほか，必要に応じて指示する。

参考文献 / Readings

遠藤 環他『現代アジア経済論』有斐閣 2018 9784641184428

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

アジア経済社会の変化を踏まえ、アジア大における中小企業に関する現状や課題を議論する能力を形成する。

その他 / Others

授業に関する連絡は、立教 G メールを利用します。

作成:2024/10/02
科目コード:QA337

アジア経済特殊講義1

Advanced Lecture on Structure of Asian Economy 1

郭　洋春(KWAK YANGCHOON)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA337
授業形態	対面(全回対面)	授業形態(補足事項)	
校地	池袋	学期	春学期 1
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

アジア各国の経済構造の分析を通し，アジア地域が抱えている諸問題の解明とその解決方法について考察する。
Through the analysis of the economic structure of Asian countries, we will consider the elucidation of various problems in the Asian region and their solutions.

授業の内容 / Course Contents

テキストの輪読を通して，アジア地域が抱えている諸問題－所得格差，環境破壊，ジェンダー問題，地域紛争等－の発生の背景，課題などを考える。
授業の進め方は，履修者による報告と議論を通して上記問題を履修者自らの頭で考える力を養う。
Through reading the textbook, we will consider the background and issues of various problems (income disparity, environmental destruction, gender problems, regional conflicts, etc.) that the Asian region has.
As for how to proceed with the lessons, students will develop the ability to think about the above problems by themselves through reports and discussions by the students.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:経済開発の今日的課題
【3】:萌芽期の経済開発 1
【4】:萌芽期の経済開発 2
【5】:物的成長から人間の成長へと転化した開発経済学
【6】:もう 1 つの潮流としての開発経済学1
【7】:もう 1 つの潮流としての開発経済学2
【8】:OECD レポートと NICs
【9】:量から質へと転換する経済開発目標
【10】:持続可能な経済開発
【11】:開発経済学の再生に向けて1
【12】:開発経済学の再生に向けて2
【13】:21 世紀の開発経済学
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

テキストは事前に読んでくること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業中での発表:50% 授業での発言:30% 授業への貢献:20%

テキスト / Textbooks

郭洋春 経済開発の過去・現在・未来 : 開発経済学の果たした役割 文眞堂 2023

参考文献 / Readings

郭洋春編著『開発リスクの政治経済学』文眞堂 2013 483094806
郭洋春著『国家戦略特区の正体』集英社 2016
郭洋春 100 均資本主義～脱成長社会「幸せな暮らし」のつかみ方 プレジデント社 2022 9784833424653

注意事項

本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが，後期課程の受講者においては，全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA338

アジア経済特殊講義2

Advanced Lecture on Structure of Asian Economy 2

郭　洋春(KWAK YANGCHOON)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA338
授業形態	対面(全回対面)	授業形態(補足事項)	
校地	池袋	学期	秋学期 1
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

アジアで起きている諸問題を学ぶことで，21世紀のアジア，日本とアジアとの関係などを理解する。アジアのダイナミズムの理解を通して、日本経済の抱えている課題を振り返る。最終的には世界経済の中で、アジア経済の占める位置・意義について理解する。

By studying various problems occurring in Asia, we will understand Asia in the 21st century and the relationship between Japan and Asia. Through understanding the dynamism of Asia, we will look back on the challenges facing the Japanese economy. Finally, understand the position and significance of the Asian economy in the world economy.

授業の内容 / Course Contents

アジアで起きている諸問題を解説しながら，その発生要因，解決方法等を理解する。また，アジアの一員である日本が、今後アジア諸国とどのように付き合っていくのかを解説することで、アジアの中の日本の果たすべき役割について考える契機とする。授業の後半にはバズセション(グループディスカッション)を行い，受講生自らが上記問題について考える力を養えるようにする。

While explaining various problems that are currently occurring in Asia, understand the causes and solutions. In addition, by explaining how Japan, which is a member of Asia, will deal with Asian countries in the future, it will be an opportunity to think about the role that Japan should play in Asia. Buzz sessions (group discussions) will be held in the latter half of the class so that students can develop their own ability to think about the above problems.

授業計画 / Course Schedule

【1】:世界が注目するアジア
【2】:なぜアジアは経済成長したのか 1
【3】:なぜアジアは経済成長したのか 2
【4】:巨大サプライチェーンの拠点・アジア
【5】:本物を凌駕する？アジアのコピー商品
【6】:成長戦略と化したアジアのエンタメ 1
【7】:成長戦略と化したアジアのエンタメ 2
【8】:インバウンドこそ日本が生き残る道1
【9】:インバウンドこそ日本が生き残る道2
【10】:増える人口・減る食糧
【11】:アジアに広がる領土問題
【12】:増える人口・減る食糧
【13】:アジアにおける環境問題
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストは事前に読んできて，持参すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業での報告:50% 授業中の発言:30% 授業への貢献:20%

テキスト / Textbooks

第 1 回授業で提示

参考文献 / Readings

郭洋春 『TPP すぐそこに迫る亡国の罠』 三交社 2013 4879197122
郭洋春 『100 均資本主義～脱成長社会「幸せな暮らし」のつかみ方』 プレジデント社 2022 9784833424653
郭洋春 『国家戦略特区の正体』 集英新書 2016

注意事項

本科目は博士課程前期課程と博士課程後期課程の合同授業となるが，後期課程の受講者においては，全ての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

証券経済特殊講義1

Advanced Lecture on Economic Theory of Securities 1

現代の資本主義システムを「金融化(ファイナンシャリゼーション)」という観点から分析し、金融システムや金融市場の歴史的な発展を理論的・実証的に解明していく。

Students will analyze modern capitalism system from financialization perspective. Students will clarify theoretically and empirically historical development of financial system and market.

三谷　進(MITANI SUSUMU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA339
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	14 回目の授業の総括はオンラインで実施する。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA321 証券経済特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

現代の資本主義システムを「金融化(ファイナンシャリゼーション)」という観点から分析し、金融システムや金融市場の歴史的な発展を理論的・実証的に解明していく。

尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

Students will analyze modern capitalism system from financialization perspective. Students will clarify theoretically and empirically historical development of financial system and market.

The goal is to acquire more advanced knowledge and skills than in the Master's program.

授業の内容 / Course Contents

この授業では、コスタス・ラパヴィツァスの『金融化資本主義』(2018 年、日本経済評論社)をテキストにしながら、現代の金融市場の基本的な仕組みや、金融機関における証券投資や資産運用のあり方について学んでいく。また、授業の進め方としては、テキストを輪読しながら、報告者による発表とその内容に関する討論を行っていく。

In this class, students will use Financialised Capitalism by Costas Lapavistas (2018, published by Nihon Keizai Hyoronsha) as textbook. Students will learn about basic framework of modern financial market, securities investment, and asset management in financial institutions. This class will proceed with textbook reading, reporters' presentations, and discussion about these contents.

授業計画 / Course Schedule

【1】:授業のガイダンス
【2】:金融化の分析視角について
【3】:金融化の文献および理論
【4】:金融化についてのアプローチ
【5】:金融の優位の第一波動
【6】:資本主義の変化についてのヒルファディングの分析
【7】:株式市場と金融資本
【8】:金融化資本主義の貨幣的基礎
【9】:現代貨幣に関する理論
【10】:金融化資本主義における新たな形態の貨幣

【11】:金融化の流動領域 :金融と資本主義経済
【12】:資本主義的な社会的条件が要求する金融システム
【13】:資本市場、投資銀行、機関投資家および金融システムのデザイン
【14】:授業の総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの事前学習と、発表時のレジュメ等の準備が必要となる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:50% 報告および討論:25% レポート:25%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

コスタス・ラパヴィツァス『金融化資本主義』 日本経済評論社 2018 9784818825000

参考文献 / Readings

参考文献については、授業の際に、適宜、指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA340

証券経済特殊講義2

Advanced Lecture on Economic Theory of Securities 2

現代の資本主義システムを「金融化(ファイナンシャリゼーション)」という観点から分析し、金融システムや金融市場の歴史的な発展を理論的・実証的に解明していく。

Students will analyze modern capitalism system from financialization perspective. Students will clarify theoretically and empirically historical development of financial system and market.

三谷　進(MITANI SUSUMU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA340
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	14 回目の授業の総括はオンラインで実施する。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA322 証券経済特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

現代の資本主義システムを「金融化(ファイナンシャリゼーション)」という観点から分析し、金融システムや金融市場の歴史的な発展を理論的・実証的に解明していく。

尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

Students will analyze modern capitalism system from financialization perspective. Students will clarify theoretically and empirically historical development of financial system and market.

The goal is to acquire more advanced knowledge and skills than in the Master's program.

授業の内容 / Course Contents

この授業では、コスタス・ラパヴィツァスの『金融化資本主義』(2018 年、日本経済評論社)をテキストにしながら、現代の金融市場の基本的な仕組みや、金融機関における証券投資や資産運用のあり方について学んでいく。また、授業の進め方としては、テキストを輪読しながら、報告者による発表とその内容に関する討論を行っていく。

In this class, students will use Financialised Capitalism by Costas Lapavistas (2018, published by Nihon Keizai Hyoronsha) as textbook. Students will learn about basic framework of modern financial market, securities investment, and asset management in financial institutions. This class will proceed with textbook reading, reporters' presentations, and discussion about these contents.

授業計画 / Course Schedule

【1】:授業のガイダンス
【2】:金融利潤の難問
【3】:株式保有から生じる金融利潤
【4】:金融化的蓄積の背景
【5】:国家が形作る金融化的蓄積の「チャネル」
【6】:成熟した金融化と従属的金融化
【7】:実物的蓄積と金融的蓄積の間の区分
【8】:バブルの崩壊と金融危機の発生
【9】:国家の介入と危機の財政化
【10】:金融のコントロール

【11】:第二次世界大戦後の金融規制の軌跡
【12】:金融化の条件下における規制
【13】:金融化への対抗:いくつかの結論
【14】:授業の総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの事前学習と、発表時のレジュメ等の準備が必要となる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:50% 報告および討論:25% レポート:25%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

コスタス・ラパヴィツァス『金融化資本主義』 日本経済評論社 2018 9784818825000

参考文献 / Readings

参考文献については、授業の際に、適宜、指示する。

作成：2024/10/02
科目コード：QA341

日本経済特殊講義1

Advanced Lecture on Japanese Economic 1
日本と東アジアの経済成長史研究 1

林　采成（LIM CHAISUNG）

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA341
授業形態	対面（一部オンライン）	授業形態（補足事項）	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー（履修中止制度なし/ No system for cancellation）	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA325 日本経済特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

戦後東アジア経済は冷戦の傍ら長期間にわたる「高度成長」あるいは「圧縮成長」を経験した。経済史的観点から見れば、日本、台湾、韓国、中国の隣接する 4 つの地域あるいは国が時間差を置きながら、このような高成長を工業化に基づいて成し遂げたのは人類史上、東アジアに限られる現象である。その中で日本経済がいわゆる投資循環型高度成長メカニズムを構築し、1955 年から石油危機が起こる 1973 年にかけて年平均 10％前後の成長率を記録している。日本は外資の導入と高い貿易依存度を前提として全く別の国となってしまうが、高度成長の原型ともいえる。こうした比較の視点から、なぜ日本と東アジアでは成長メカニズムが作動して展開し、最後には終息に向かえざるを得なかったのかを明らかにする。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。

Post-war East Asian economy has experienced long period of high or compressed growth parallel to the cold war. From perspective of economic history, Japan, Taiwan, South Korea, China and their surrounding 4 regions and countries have achieved great economic growth based on industrialization despite lag in their progress. In human history this phenomenon is only observed in Easy Asia. Amidst this, Japan has constructed high-growth mechanism through the so-called investment cycle model. Through these, Japan has recorded roughly 10% annual growth from 1955 to crude oil crisis 1973. Although Japan seems like different country if we look at foreign capital inflow and high dependency on trade, it is still the prototype for high growth. Through comparative perspective, professor will clarify how these economic growth mechanisms work in Japan and East Asia, and why they had inevitably end.

授業の内容 / Course Contents

林采成（2021）『東アジアのなかの満鉄：鉄道帝国のフロンティア』名古屋大学出版会、松本俊郎編（2023）『「満洲国」以後：中国工業化の源流を考える』名古屋大学出版会などを順番に読んでいく。そして東アジアにおける戦後経済成長の歴史的前提として戦前経済体制の成立と戦後再編過程を検討する。具体的には院生との相談の上、テキストなどを決定する。

Students will read South Manchurian Railway in East Asia: The Frontier of the Railway Empire (2021), After "Manchukuo": Thinking about the origins of China's industrialization (2023). Students will examine the establishment of the prewar economic system and the postwar reorganization process as historical premises for postwar economic growth in East Asia. Specifically, the text will be determined in consultation with graduate students.

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:『東アジアのなかの満鉄：鉄道帝国のフロンティア』
【3】:『東アジアのなかの満鉄：鉄道帝国のフロンティア』
【4】:『東アジアのなかの満鉄：鉄道帝国のフロンティア』

【5】:『東アジアのなかの満鉄:鉄道帝国のフロンティア』
【6】:『東アジアのなかの満鉄:鉄道帝国のフロンティア』
【7】:関連論文および資料分析
【8】:関連論文および資料分析
【9】:関連論文および資料分析
【10】:関連論文および資料分析
【11】:関連論文および資料分析
【12】:関連論文および資料分析
【13】:関連論文および資料分析
【14】:中間まとめ―「高度成長」の歴史的条件

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

参加者は交代でレポーターとなる。レポーターはもちろん、その他の参加者も熟読の上、必ず討論点を提出する。また、適宜討論内容を記録し、中間まとめレポートの材料とする。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% ディスカッション技術など:60% 最終レポート割合::40%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

武田晴人・林采成 『歴史としての高成長:東アジアの経験』 京都大学出版会 2019 9784814002474
堀和生 『東アジア高度成長の歴史的展開』 京都大学出版会 2016 9784814000548
林采成 『東アジアのなかの満鉄:鉄道帝国のフロンティア』 名古屋大学出版会 2021 9784815810139
松本俊郎 『「満洲国」以後:中国工業化の源流を考える 名古屋大学出版会 2023 9784815811143

参考文献 / Readings

授業時に提示する。

作成：2024/10/02
科目コード：QA342

日本経済特殊講義2

Advanced Lecture on Japanese Economic 2
日本と東アジアの経済成長史研究2

林　采成（LIM CHAISUNG）

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA342
授業形態	対面（一部オンライン）	授業形態（補足事項）	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー（履修中止制度なし/ No system for cancellation）	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA326 日本経済特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

戦後東アジア経済は冷戦の傍ら長期間にわたる「高度成長」あるいは「圧縮成長」を経験した。経済史的観点から見れば、日本、台湾、韓国、中国の隣接する 4 つの地域あるいは国が時間差を置きながら、このような高成長を工業化に基づいて成し遂げたのは人類史上、東アジアに限られる現象である。その中で日本経済がいわゆる投資循環型高度成長メカニズムを構築し、1955 年から石油危機が起こる 1973 年にかけて年平均 10％前後の成長率を記録している。日本は外資の導入と高い貿易依存度を前提として全く別の国となってしまうが、高度成長の原型ともいえる。こうした比較の視点から、なぜ日本と東アジアでは高成長メカニズムが作動して展開し、最後には終息に向かえざるを得なかったのかを明らかにする。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。

Post-war East Asian economy has experienced long period of high or compressed growth parallel to the cold war. From perspective of economic history, Japan, Taiwan, South Korea, China and their surrounding 4 regions and countries have achieved great economic growth based on industrialization despite lag in their progress. In human history this phenomenon is only observed in Easy Asia. Amidst this, Japan has constructed high-growth mechanism through the so-called investment cycle model. Through these, Japan has recorded roughly 10% annual growth from 1955 to crude oil crisis 1973. Although Japan seems like different country if we look at foreign capital inflow and high dependency on trade, it is still the prototype for high growth. Through comparative perspective, professor will clarify how these high-growth mechanisms work in Japan and East Asia, and why they had inevitably end.

授業の内容 / Course Contents

林采成（2019）『鉄道員と身体：帝国の労働衛生』京都大学出版会、林采成(2024)『健康朝鮮：植民地のなかの感染症・衛生・身体』名古屋大学出版会、林采成 ・武田晴人編(2022)『企業類型と産業育成』京都大学学術出版会、関連論文などを順番に読んでいく。そしてそれを基に戦前東アジアの社会経済メカニズムを探る。

Students will read Railroad Workers and the Body: Labor Hygiene in the Empire (Kyoto University Press, 2019), Healthy Korea: Infectious Disease, Hygiene, and the Body in the Colonies (Nagoya University Press, 2024), Enterprise Types and Industrial Development (Kyoto University Press 2022), and related papers. And based on them, we will explore the socioeconomic mechanisms of prewar East Asia.

授業計画 / Course Schedule

【1】：戦前東アジアの経済成長に関する経済史的分析
【2】：関連論文および資料分析
【3】：関連論文および資料分析
【4】：関連論文および資料分析
【5】：関連論文および資料分析

【6】:関連論文および資料分析
【7】:関連論文および資料分析
【8】:関連論文および資料分析
【9】:関連論文および資料分析
【10】:関連論文および資料分析
【11】:関連論文および資料分析
【12】:関連論文および資料分析
【13】:関連論文および資料分析
【14】:まとめ―経済成長史の総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

輪読については日本経済特論1に同じ。資料分析については担当した資料群の分析経過を報告し、分析上の隘路についは打開方法を協議するので、それらを明確にしておくこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% ディスカッション技術など:60% 最終レポート割合::40%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

林采成 『健康朝鮮:植民地のなかの感染症・衛生・身体』 名古屋大学出版会 2024 9784815811440
林采成 『鉄道員と身体:帝国の労働衛生』 京都大学学術出版会 2019 9784814001842
武田晴人・林采成 『歴史としての高成長』 京都大学学術出版会 2019 9784814002474
林采成 ・武田晴人 『企業類型と産業育成』 京都大学学術出版会 2022 9784814004485
授業時、院生との相談の上、決定する。

参考文献 / Readings

授業時に提示する。

都市政策特殊講義1

Advanced Lecture on Urban Policy 1
都市と地域の経済学

香川　涼亮(KAGAWA RYOSUKE)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA343
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	数値計算を実演する 3・6・8・11 回目をオンラインで行う(受講生と相談の上、変更の場合は事前に Canvas で連絡)。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA327 都市政策特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

・経済学の理論的枠組みに沿って、都市と地域に関する諸問題を分析できるようになる。
・大学教員や実務家となることを念頭に、都市と地域の経済学に関する考え方を、論理的に説明できるようになる。また受講者間の議論を主導することができるようになる。なお、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

都市経済学の基本概念と理論的枠組みをカバーしたテキストを演習形式で学ぶ。導入として経済活動の分布は空間的に不均一であることを確認する。前半では都市経済学の枠組みにおいて、都市内構造および複数都市間の規模の関係を考察する。後半では空間経済学を用いて、経済活動の分布(集積が起きる理由)をヒト・モノの流れを内生化して説明できることを理解する。
授業においては、受講者によるプレゼンテーションおよび、活発な議論を重視する。使用するテキストや授業の内容は、受講者の理解度や関心領域によって変更することがある。

授業計画 / Course Schedule

【1】:Introduction: A Spiky World
【2】:Geo-Human Interaction (1)
【3】:Geo-Human Interaction (2)
【4】:Space Within Cities (1)
【5】:Space Within Cities (2)
【6】:Space Within Cities (3)
【7】:City Systems (1)
【8】:City Systems (2)
【9】:The Core Model (1)
【10】:The Core Model (2)
【11】:The Core Model (3)
【12】:Extensions of the Core Model (1)
【13】:Extensions of the Core Model (2)
【14】:Extensions of the Core Model (3)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

・予習として毎回テキストを精読し、授業内での議論に備えること。
・復習として授業内で課す練習問題を解き、説明できるようにすること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業内での報告や議論への貢献:70% 最終レポート割合::30%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

Steven Brakman, Harry Garretsen and Charles van Marrewijk An Introduction to Geographical and Urban Economics: A Spiky World 3rd. edition Cambridge University Press 2019 9781108407366
英文のテキストを利用するが、適宜和文の資料を紹介して受講者の理解に資する。
初回授業時までに用意する必要はない。

参考文献 / Readings

門川和男 『例題で学ぶ 地域経済学入門』 学術研究出版 2020 9784865844436
神取道宏 『ミクロ経済学の力』 日本評論社 2014 9784535557567

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

履修の前提として、中級レベルのミクロ経済学を習得していることが望ましい。

作成:2024/10/02
科目コード:QA344

都市政策特殊講義2

Advanced Lecture on Urban Policy 2
都市・地域の実証経済分析

香川　涼亮(KAGAWA RYOSUKE)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA344
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	計量分析の実演、実習を行う第 7・12 回をオンラインで実施する(受講生との相談により変更の可能性あり)。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA328 都市政策特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

・経済学の理論的枠組みに沿って、都市と地域に関する諸問題を分析できるようになる。
・計量経済学の手法を用いた実証分析や政策評価の方法を理解し、研究能力を身につける。
・大学教員や実務家となることを念頭に、実証分析・政策評価手法について的確に説明できるようになる。また受講者間の議論を主導することができるようになる。なお、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

都市・地域の実証経済分析をカバーしたテキストを演習形式で学ぶ。導入として空間固有の指標である不平等指標および経済集積指標に触れるとともに、因果推論や自然実験の手法について確認する。前半では都市経済学のうち、集積の経済の実証分析を扱う。後半では経済地理学の実証分析を扱い、自国市場効果、空間的賃金構造、交易費用といったトピックの実証分析を理解する。
また分析手法にとどまらず実際の分析事例を取り上げて検討し、受講者自身の研究ができるように統計ソフトや GIS の活用についての演習を行う。
授業においては、受講者によるプレゼンテーションおよび、活発な議論を重視する。使用するテキストや授業の内容は、受講者の理解度や関心領域によって変更することがある。

授業計画 / Course Schedule

【1】:Introduction: Empirical Methods
【2】:Inequality and Economic Concentration Measures
【3】:Spatial Concentration and Productivity
【4】:The Empirics of Agglomeration (1)
【5】:The Empirics of Agglomeration (2)
【6】:The Empirics of Agglomeration (3)
【7】:Exercises in The Empirics of Agglomeration
【8】:Empirics of Economic Geography (1)
【9】:Empirics of Economic Geography (2)
【10】:Empirics of Economic Geography (3)
【11】:Empirics of Economic Geography (4)
【12】:Exercises in Empirics of Economic Geography
【13】:Policy Implications (1)

【14】:Policy Implications (2)

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

・予習として毎回テキストを精読し、授業内での議論に備えること。
・復習として授業内で課す練習問題を解き、説明できるようにすること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業内での報告や議論への貢献:70% 最終レポート割合::30%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

Steven Brakman, Harry Garretsen and Charles van Marrewijk An Introduction to Geographical and Urban Economics: A Spiky World 3rd. edition Cambridge University Press 2019 9781108407366
英文のテキストを利用するが、適宜和文の資料を紹介して受講者の理解に資する。

参考文献 / Readings

鹿野繁樹 『新しい計量経済学 データで因果関係に迫る』 日本評論社 2015 9784535557710
加藤久和 『やさしい計量経済学: プログラミングなしで身につける実証分析』 オーム社 2019 9784274224539
河端瑞貴 『事例で学ぶ経済・政策分析のための GIS 入門: QGIS,R,GeoDa 対応』 古今書院 2022 9784772242301
星野匡郎 他 『R による実証分析 [第 2 版] 回帰分析から因果分析へ』 オーム社 2023 9784274230028

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

大学院前期課程レベルのミクロ経済学・計量経済学を習得していることが望ましい。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

進度に応じて gretl, R, QGIS 等をインストールする(授業中に指示)。

作成:2024/10/02
科目コード:QA345

アメリカ経済特殊講義1

Advanced Lecture on American Economy 1

山縣　宏之(YAMAGATA HIROYUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA345
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA329 アメリカ経済特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

アメリカ経済に関連する内外の研究論文を講読する。あわせて参加者の研究テーマ設定の一助となるよう研究指導を行う。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

博士後期課程学生向けに，アメリカ経済に関連する論文や文献を精読する。2022 年度は河崎信樹・河音琢郎・藤木剛康編著(2021)『現代アメリカ政治経済入門』ミネルヴァ書房などを検討対象として想定している。
学会報告や博士論文執筆に向けた，受講者の研究報告を行う。研究テーマの設定に際して重要となるのは当該分野のすぐれた研究者を特定し，その著作や論文を熟読理解し未だ解明されていない論点を見出すことである。受講者には早期にこの課題に取り組むことを推奨している。

授業計画 / Course Schedule

【1】:開講ガイダンス
【2】:テキスト検討(1)
【3】:テキスト検討(2)
【4】:テキスト検討(3)
【5】:受講者の研究報告およびディスカッション(1)
【6】:テキスト検討(4)
【7】:テキスト検討(5)
【8】:テキスト検討(6)
【9】:受講者の研究報告およびディスカッション(2)
【10】:博士後期院生に必要なアカデミックスキル(学術論文読解法および先行研究評価法)教授(英語論文読解を含む)(1)
【11】:博士後期院生に必要なアカデミックスキル(学術論文読解法および先行研究評価法)教授(英語論文読解を含む)(2)
【12】:博士後期院生に必要なアカデミックスキル(学術論文読解法および先行研究評価法)教授(英語論文読解を含む)(3)
【13】:受講者の研究報告およびディスカッション(3)
【14】:総括　受講者の研究成果報告およびディスカッション，今後の研究計画作成のアドバイス

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習に関する指示は，必要に応じて別途行う。大学院生は自立した研究者を目指し，指定文献や自らの研究報告に関する十分な予習を行うこと。講義内容やテキスト読解に関する復習も継続することが望まれる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告，ディスカッション，その他研究に関わる成果:100%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

藤木剛康編『アメリカ政治経済論』ミネルヴァ書房 2012 9784623062102
河音琢郎・藤木剛康編『オバマ政権の経済政策』ミネルヴァ書房 2016 9784623077939
河崎信樹・河音琢郎・藤木剛康(編著)『現代アメリカ政治経済入門』ミネルヴァ書房 2021 9784623092673
「授業の内容」に記載した文献を含め受講生と相談して決定する。

参考文献 / Readings

講義中に適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA346

アメリカ経済特殊講義2

Advanced Lecture on American Economy 2

山縣　宏之(YAMAGATA HIROYUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA346
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA330 アメリカ経済特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

博士後期課程院生の研究に資する，最新の政策資料や政策論争に関する研究文献の読み込みを進め，アメリカ経済政策の最新の展開を理解する。あわせて参加者に研究指導を行う。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

アメリカ経済特殊講義1に続き，「現代アメリカ政治・経済の新展開」を検討テーマとする。この講義ではアメリカ経済政策の基本線を巡る最新の政策論争を検討する。博士後期課程院生の参加者の希望があれば，種々の文献の輪読を行うことも可能である。多様なジャンルに対応している。
博士後期課程院生の研究に役立つよう，受講者の研究報告を行う。研究テーマの設定に際して重要となるのは当該分野のすぐれた研究者を特定し，その著作や論文を熟読理解し未だ解明されていない論点を見出すことである。博士論文執筆を想定し，受講者には早期にこの課題に取り組むことをお願いしたい。

授業計画 / Course Schedule

【1】:開講ガイダンス
【2】:テキスト検討(1)
【3】:テキスト検討(2)
【4】:テキスト検討(3)
【5】:テキスト検討(4)
【6】:受講者の研究報告およびディスカッション(1)
【7】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(1)
【8】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(2)
【9】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(3)
【10】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(4)
【11】:受講者の研究報告およびディスカッション(2)
【12】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(5)
【13】:政策資料・政策論争に関する論文・資料読解(6)
【14】:総括　受講者の研究成果のまとめとディスカッション　博士論文執筆に向けた研究アドバイス等

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	○
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

授業時間外の学習に関する指示は，必要に応じて別途行う。大学院生は自立した研究者を目指し，指定文献や自らの研究報告に関する十分な予習を行うこと。講義内容やテキスト読解に関する復習も継続することが望まれる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告内容，ディスカッション内容，その他研究に関わる成果:100%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

河音琢郎・藤木剛康（編著）『G・W・ブッシュ政権の経済政策』ミネルヴァ書房 2008 9784623052295
河音琢郎・藤木剛康（編著）『オバマ政権の経済政策』ミネルヴァ書房 2016 9784623077939
河崎信樹・河音琢郎・藤木剛康（編著）『現代アメリカ政治経済入門』ミネルヴァ書房 2021 9784623092673
受講生と相談して決定する。

参考文献 / Readings

講義中に適宜指示する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA347

現代企業特殊講義1

Advanced Lecture on the Contemporary Firm 1
イノベーションと経済的価値

坂本　義和(SAKAMOTO YOSHIKAZU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA347
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA343 現代企業特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

本講義の目標は、現代社会、特に市場経済の観点において重要な概念となっているイノベーションについて理解することにあります。特にイノベーションとは何かを理解する目的から、イノベーションの概念に論者によって違いはあるのか、イノベーションが経済状況や経済体制に対してどのような影響を与えるのか、イノベーションはどのように実現されるのか、といった問題を検討することにあります。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
This lecture aims to understand the concept of 'Innovation'. We will primarily focus on such points as whether there are any differences in definitions among scholars, how innovations affect the situation or regime of the economy, and how players succeed in innovations.

授業の内容 / Course Contents

様々なトピックを通じてイノベーションの概観を理解する目的から、指定のテキスト『イノベーション』の各章を読解することから始めます。読解した内容をベースに関連する諸問題について議論を行います。ただし参加者の関心に応じて取り上げるトピックを柔軟に変更したいと思います。
This lecture asks participants to read the text to understand various topics of the concept of 'Innovation'. And we will discuss related problems on every topic. However, we will change the issue flexibly depending on the interests of the participants.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:イノベーションとは何か
【3】:イノベーションの測定
【4】:イノベーションのパターン
【5】:イノベーションを持続的に生み出す要因
【6】:国によるイノベーションの違い
【7】:産業によるイノベーションの違い
【8】:企業によるイノベーションの違い
【9】:イノベーションと企業:企業の特性
【10】:イノベーションと企業:企業の戦略
【11】:イノベーションと企業:企業間関係
【12】:イノベーションと政策
【13】:イノベーションと社会
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

予習、復習等の指示は毎回の講義内において行います。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業貢献度:60% 報告:40%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

清水洋『イノベーション』有斐閣 2022 9784641166028

参考文献 / Readings

J. A. シュムペーター『経済発展の理論 上・下』岩波書店 1977 9784003414712978400341471297840034147 29
ブノワ ゴダン『イノベーション概念の現代史』名古屋大学出版会 2021 9784815810467
フィリップ アギヨン・セリーヌ アントニン・サイモン ブネル『創造的破壊の力』東洋経済新報社 2022 9784492396711
ウィリアム J. ボーモル『自由市場とイノベーション』勁草書房 2010 9784326503421
岡田羊祐『イノベーションと技術変化の経済学』日本評論社 2019 9784535559141
鈴木潤・安田聡子・後藤晃(編)『変貌する日本のイノベーション・システム』有斐閣 2021 9784641165786
一橋大学イノベーション研究センター(編)『イノベーション・マネジメント入門』日本経済新聞出版社 2001 9784532134747

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

指定のテキストを読解し、それをベースに議論を行います。関連のトピックスを事前に調べ、議論の場において疑問点や議論点を開示し、議論に積極的に参加することを望みます。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

オンラインにて講義を行う際は、ネットにつながる情報機器を用意してください。

その他 / Others

オンラインにて講義を行う回を設定する予定です。

作成:2024/10/02
科目コード:QA348

現代企業特殊講義2

Advanced Lecture on the Contemporary Firm 2
イノベーションとアントレプレナーシップ

坂本　義和(SAKAMOTO YOSHIKAZU)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA348
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA344 現代企業特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

本講義の目標は、現代社会、特に市場経済の観点において重要な概念となっているイノベーションについて理解することにあります。特にイノベーションの担い手とされるアントレプレナー(企業家)とそのあり方としてのアントレプレナーシップ(企業家精神)について理解することにあります。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
This lecture aims to understand the concept of 'Innovation'. We will primarily focus on 'Entrepreneur' and 'Entrepreneurship', which are thought of as the leader of 'Innovation'.

授業の内容 / Course Contents

様々なトピックを通じてイノベーションの概観を理解する目的から、指定のテキスト『アントレプレナーシップ』の各章を読解することから始めます。読解した内容をベースに関連する諸問題について議論を行います。ただし参加者の関心に応じて取り上げるトピックを柔軟に変更したいと思います。
This lecture asks participants to read the text to understand various topics of the concept of 'Innovation'. And we will discuss related problems on every topic. However, we will change the issue flexibly depending on the interests of the participants.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:アントレプレナーシップとは何か
【3】:新しいビジネスの機会
【4】:アントレプレナーシップの測定
【5】:起業の方法
【6】:資金調達の方法
【7】:生存率を上げる方法
【8】:撤退の決定
【9】:組織とアントレプレナーシップ
【10】:アントレプレナーの特性
【11】:アントレプレナーと社会的ネットワーク
【12】:アントレプレナーシップと政策
【13】:アントレプレナーシップと社会
【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

予習、復習等の指示は毎回の講義内において行います。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業貢献度:60% 発言:40%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

清水洋『アントレプレナーシップ』有斐閣 2022 9784641165984

参考文献 / Readings

J. A. シュンペーター『企業家とは何か』東洋経済新報社 1998 9784492370896
J. A. シュンペーター『新装版 資本主義・社会主義・民主主義』東洋経済新報社 1995 9784492370797
R. F. ヘバート・A. N. リンク『企業者論の系譜』ホルト・サウンダース・ジャパン 1984 9784833750158
池本正純『企業家とはなにか』八千代出版 2005 9784842913414
關智一『イノベーションと内部非効率性』白桃書房 2017 9784561267027
加藤雅俊『スタートアップの経済学』有斐閣 2022 9784641166011
トム ニコラス『ベンチャーキャピタル全史』新潮社 2022 9784105072919

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

指定のテキストを読解し、それをベースに議論を行います。関連のトピックスを事前に調べ、議論の場において疑問点や議論点を開示し、議論に積極的に参加することを望みます。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

オンラインにて講義を行う際は、ネットにつながる情報機器を用意してください。

その他 / Others

オンラインにて講義を行う回を設定する予定です。

作成:2024/10/02
科目コード:QA349

会計学特殊講義1

Advanced Lecture on Accounting 1

浅野　敬志(ASANO TAKASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA349
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンラインの回は受講生と相談のうえ決定する。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA401 会計学特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

現行の会計制度の背後にある仕組みや考え方について理解を深めるとともに、伝統的な会計理論や企業会計原則についても理解を深める。
前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
We deepen our understanding of the mechanisms and ideologies behind the current accounting system, while also enhancing our understanding of traditional accounting theories and corporate accounting principles.

授業の内容 / Course Contents

会計は多くの複雑なルールに基づいているが、その背後にある仕組みや考え方について、主に輪読を通じて理解を深める。過去 100 年にわたり、会計は静態論から動態論へ、収益費用アプローチから資産負債アプローチへと、基本的な足場を移行させている。この移行の中で、従来の会計基準全体を支える基本的な考え方との整合性が常に検討されており、伝統的な会計理論や企業会計原則についても理解を深める。
Accounting is based on many complex rules, but understanding the underlying mechanisms and principles is primarily achieved through group reading. Over the past 100 years, accounting has transitioned from static to dynamic perspectives and from revenue-cost to asset-liability approaches, shifting its foundational framework. Within this transition, the consistency with the fundamental principles supporting traditional accounting standards is constantly under scrutiny. It is important to deepen understanding of traditional accounting theories and corporate accounting principles as well.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:会計の機能
【3】:会計のルール
【4】:会計の制度性
【5】:会計の基礎概念
【6】:会計の仕組み
【7】:利益計算の考え方
【8】:発生主義会計
【9】:配分と評価
【10】:資産負債アプローチと収益費用アプローチ
【11】:資産・負債の認識と測定(1)
【12】:資産・負債の認識と測定(2)
【13】:純資産の会計

【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの該当箇所に目を通し、疑問点や討論したい事項をまとめてくること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:40% 討論:40% 最終レポート:20%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

藤井秀樹 入門財務会計(第 4 版) 中央経済社 2021 4502375519

参考文献 / Readings

佐藤信彦ほか スタンダードテキスト財務会計論Ⅰ(基本論点編)(第 16 版) 中央経済社 2023 4502461911
桜井久勝 財務会計講義(第 25 版) 中央経済社 2024 9784502500718
本講義は、受講者がディスカッションをしながら進める講義である。学部上級レベルの財務会計の知識(上記参考文献程度の知識)を前提として進めていく予定である。

作成:2024/10/02
科目コード:QA350

会計学特殊講義2

Advanced Lecture on Accounting 2

浅野　敬志(ASANO TAKASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA350
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンラインの回は受講生と相談のうえ決定する。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA402 会計学特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

企業による会計処理や情報開示の選択が財務会計の機能に及ぼす影響について理解するとともに、会計基準や財務報告制度の理論を通じて、制度設計に関する示唆を得ることを目標とする。
前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
The goal is to understand how companies' choices in accounting policy and disclosure affect the function of financial accounting, and to derive insights for institutional design through an understanding of accounting standards and financial reporting theories.

授業の内容 / Course Contents

企業が会計処理や情報開示の選択を行うプロセスを確認しつつ、これらが財務会計に期待される情報提供機能と利害調整機能にどのような影響を与えるかを学習する。さらに、会計基準や財務報告制度の理論についても理解を深めることで、制度設計への示唆を考察する予定である。
We will examine the process through which companies make choices regarding accounting policy and disclosure while learning about the impact of these choices on the information-providing and stakeholder alignment functions expected of financial accounting. Furthermore, by deepening our understanding of accounting standards and financial reporting system theories, we plan to consider implications for system design.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:利益調整
【3】:発生主義会計の優位性の源泉
【4】:発生主義会計の潜在的な弱点
【5】:財務報告の機能と制度
【6】:利害調整機能
【7】:情報提供機能
【8】:利益調整による株価形成の誤導
【9】:財務報告の制度設計と株価・会計情報研究の役割
【10】:基準設定の理論(1)
市場の失敗と情報開示インセンティブ
【11】:基準設定の理論(2)
財務報告の質と量
【12】:基準設定の理論(3)
基準設定のデュープロセス

【13】:基準設定の理論(4)
資本市場の国際統合と会計
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの該当箇所に目を通し、疑問点や討論したい事項をまとめてくること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:40% 討論:40% 最終レポート:20%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

桜井久勝 利益調整:発生主義会計の光と影 中央経済社 2023 9784502451119
ウィリアム・R・スコット 新版 財務会計の理論と実証 中央経済社 2022 4502427616

参考文献 / Readings

浅野敬志 会計情報と資本市場:変容の影響と分析 中央経済社 2018 9784502250415

その他 / Others

本講義は、受講者がディスカッションをしながら進める講義である。学部上級レベルの財務会計の知識(上記参考文献程度の知識)を前提として進めていく予定である。

作成:2024/10/02
科目コード:QA351

管理会計特殊講義1

Advanced Lecture on Management Accounting 1

諸藤　裕美(MOROFUJI YUMI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA351
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA405 管理会計特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経営管理者の意思決定や業績管理に有用な会計手法についての知識をブラッシュアップしたうえで、日本企業の管理会計・原価計算の動向、理論と実務の乖離の状況などに関する文献を読み、適切な管理会計システムの設計・利用について自身で考えられるようになる。管理会計が人の行動や心理に与える影響にも焦点を当てる。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。

After brushing up your knowledge of accounting methods useful for business managers' decision-making and performance management, read literature on trends in management accounting and cost accounting in Japanese companies, the state of disparity between theory and practice, and apply appropriate methods. Students will be able to think about the design and use of management accounting systems on their own. We will also focus on the impact of management accounting on human behavior and psychology.

授業の内容 / Course Contents

管理会計の理論体系を数回で大まかに復習し、日本企業の管理会計・原価計算の動向、理論と実務の乖離などに関する文献を輪読する。管理会計が人の行動や心理に与える影響にも焦点を当てる。

We will briefly review the theoretical system of management accounting, and read literature on trends in management accounting and cost accounting in Japanese companies, and the gap between theory and practice. We will also focus on the impact of management accounting on human behavior and psychology.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:管理会計に関するテキストの輪読(1)
【3】:管理会計に関するテキストの輪読(2)
【4】:管理会計に関するテキストの輪読(3)
【5】:管理会計に関するテキストの輪読(4)
【6】:管理会計に関する文献の輪読(1)
【7】:管理会計に関する文献の輪読(2)
【8】:管理会計に関する文献の輪読(3)
【9】:管理会計に関する文献の輪読(4)
【10】:管理会計に関する文献の輪読(5)
【11】:管理会計に関する文献の輪読(6)
【12】:管理会計に関する文献の輪読(7)
【13】:管理会計に関する文献の輪読(8)
【14】:振り返り

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

各回の文献をよく読み、議論ができる状態にして授業に臨むこと。自分の報告担当章については、明らかでない点は他の文献等で調べて報告に臨むこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 出席、報告・質疑応答・議論への取り組み:70% 小テスト・提出課題の質:30%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

谷武幸『エッセンシャル管理会計第4版』 中央経済社 2022 9784502439018
川野克典『管理会計・原価計算の変革』 中央経済社 2023 9784502479212
前半の管理会計の復習については受講者のバックグラウンドをもとに確定する。

参考文献 / Readings

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

開講時に、学部レベル(概ね日商簿記工業簿記 2 級レベル)の管理会計の知識を習得していることを前提とする。

その他 / Others

正当な理由のない欠席は、減点の対象となる。

作成:2024/10/02
科目コード:QA352

管理会計特殊講義2

Advanced Lecture on Management Accounting 2

諸藤　裕美(MOROFUJI YUMI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA352
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA406 管理会計特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経営管理者や組織成員の意思決定、行動、心理に望ましい影響を与えるための管理会計のあり方について自身で考えられるようになる。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Students will be able to think for themselves about how management accounting should affect the decision-making, behavior, and psychology of managers and organizational members.

授業の内容 / Course Contents

近年、組織成員の創造性発揮や組織成員間の連携が一層重要になってきている。創造性や連携のための管理会計に関する論文を読み、議論する。
In recent years, it has become more important for organizational members to exhibit their creativity and to cooperate with each other. Read and discuss papers on management accounting for creativity and collaboration.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:管理会計に関する文献の輪読(1)
【3】:管理会計に関する文献の輪読(2)
【4】:管理会計に関する文献の輪読(3)
【5】:管理会計に関する文献の輪読(4)
【6】:管理会計に関する文献の輪読(5)
【7】:管理会計に関する文献の輪読(6)
【8】:管理会計に関する文献の輪読(7)
【9】:管理会計に関する文献の輪読(8)
【10】:管理会計に関する文献の輪読(9)
【11】:管理会計に関する文献の輪読(10)
【12】:管理会計に関する文献の輪読(11)
【13】:管理会計に関する文献の輪読(12)
【14】:振り返り

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	

上記いずれも用いない予定	

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

各回の文献を熟読し、議論ができる状態にして授業に臨むこと。自分の報告担当章については、明らかでない点は他の文献等で調べて報告に臨むこと。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 出席、報告・質疑応答・議論への取り組み:70% レポート:30%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

諸藤裕美 『自律的組織の管理会計 原価企画の進化』 中央経済社 2013
浅田拓史 『自律創造型コントロールの理論と実践』 中央経済社 2023
上記文献以外に、『原価計算研究』や Accounting, Organizations and Society などに掲載されている、創造性とコントロールに関する論文を扱う。

参考文献 / Readings

谷武幸 『エッセンシャル管理会計(第 4 版)』 中央経済社 2022

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

管理会計の学部レベル(概ね日商簿記 2 級程度)の知識を前提とする。このトピックの著名な英語論文を数本読む可能性が高いため、春学期から構文読解の準備をしておくこと。

その他 / Others

管理会計特論 1 を受講していることが望ましい。正当な理由のない欠席は、減点の対象となる。

作成:2024/10/02
科目コード:QA353

原価計算特殊講義1

Advanced Lecture on Cost Accounting 1

内野　一樹(UCHINO KAZUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA353
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	この科目は対面(個人発表が中心)で原則実施するが、ゲスト・スピーカー登壇のためオンラインを1回実施する(第8回目の授業)。
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA409 原価計算特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

博士論文作成の準備として、原価計算の研究動向について理解し、批判的に検討できるようになる。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

方法論に言及した原価計算の専門文献を輪読し、議論する。外国語文献の場合にも翻訳だけにとどまらず、計算手法とその背後にある理論的根拠を理解するようにする。

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション(文献および担当者の決定)
【2】:文献の輪読と内容についての議論(1)
【3】:文献の輪読と内容についての議論(2)
【4】:文献の輪読と内容についての議論(3)
【5】:文献の輪読と内容についての議論(4)
【6】:文献の輪読と内容についての議論(5)
【7】:文献の輪読と内容についての議論(6)
【8】:小括(ゲスト・スピーカーによる講評)
【9】:文献の輪読と内容についての議論(7)
【10】:文献の輪読と内容についての議論(8)
【11】:文献の輪読と内容についての議論(9)
【12】:文献の輪読と内容についての議論(10)
【13】:文献の輪読と内容についての議論(11)
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

輪読文献および関連文献を熟読し、議論ができる状態にして授業に参加すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業内の報告、議論の内容:80% 提出物:20%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

小栗崇資・陣内良昭『会計のオルタナティブ』 中央経済社 2022 9784502415210
新谷司『ポスト実証主義の会計学』 中央経済社 2023 9784502452819
開講時(4 月)に履修者と相談の上具体的な文献を指示する。前半は日本語文献を、後半は外国語文献を取り上げる。

参考文献 / Readings

授業の中で随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA354

原価計算特殊講義2

Advanced Lecture on Cost Accounting 2

内野　一樹(UCHINO KAZUKI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA354
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	この科目は対面(個人発表が中心)で原則実施するが、ゲスト・スピーカー登壇のためオンラインで1回実施する(第9回の授業)。
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA410 原価計算特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

博士論文作成の準備として、原価計算の研究動向について理解し、批判的に検討できるようになる。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

特殊講義1に引き続き、方法論に言及した原価計算の専門文献を輪読し、議論する。外国語文献の場合にも翻訳だけにとどまらず、計算手法とその背後にある理論的根拠を理解するようにする。

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション(文献および担当者の決定)
【2】:文献の輪読と内容についての議論(1)
【3】:文献の輪読と内容についての議論(2)
【4】:文献の輪読と内容についての議論(3)
【5】:文献の輪読と内容についての議論(4)
【6】:文献の輪読と内容についての議論(5)
【7】:文献の輪読と内容についての議論(6)
【8】:文献の輪読と内容についての議論(7)
【9】:小括(ゲスト・スピーカーによる講評)
【10】:文献の輪読と内容についての議論(8)
【11】:文献の輪読と内容についての議論(9)
【12】:文献の輪読と内容についての議論(10)
【13】:文献の輪読と内容についての議論(11)
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

輪読文献および関連文献を熟読し、議論ができる状態にして授業に参加すること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業内の報告、議論の内容:80% 提出物:20%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

小栗崇資・陣内良昭『会計のオルタナティブ』 中央経済社 2022 9784502415210
新谷司『ポスト実証主義の会計学』 中央経済社 2023 9784502452819
開講時(9 月)に履修者と相談の上具体的な文献を指示する。前半は日本語文献を、後半は外国語文献を取り上げる。

参考文献 / Readings

授業の中で随時紹介する。

作成:2024/10/02
科目コード:QA355

税法特殊講義1

Advanced Lecture on Enterprise Taxation 1
混合配当をめぐる課税問題

坂本　雅士(SAKAMOTO MASASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA355
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA417 税法特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

資本剰余金を原資とする配当をいかに規律するか。これは 2001 年に資本剰余金からの配当の道が拓かれて以降、その時々の税制において重要な課題になっている。本講義では、混合配当をめぐる税務論点を整理し、今後の議論の素材を提供する。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

国際興業管理事件(最一小判令和 3 年 3 月 11 日裁時 1763 号 4 頁)における二つの争点(混合配当の取扱い、プロラタ計算を定める政令の違法性)について、いわゆる先後関係問題、資本払戻し部分の食い込み問題という二つの観点から詳細に分析する。また、最高裁判決では触れていない「残された課題」についても検討する。

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:資本剰余金を原資とする配当の取扱いをめぐる変遷、発行法人と株主(法人)の税務処理
【3】:混合配当とは何か、またどのように処理するか　～二つの考え方～
【4】:資本剰余金を原資とする配当の取扱い;プロラタ計算について(資本の払戻し部分、みなし配当)
【5】:混合配当をめぐる裁決例・裁判例(地裁、高裁、最高裁)
【6】:混合配当と「先後関係問題」①
【7】:混合配当と「先後関係問題」②
【8】:先後関係問題における「恣意性」とは何か(どのように作用するか)　～簿価純資産の状況との関係から～
【9】:混合配当と「資本払戻し部分の食い込み問題」①
【10】:混合配当と「資本払戻し部分の食い込み問題」②
【11】:先後関係問題と資本払戻し部分の食い込み問題の関係　～両者は併起するか～
【12】:マイナスの利益積立金を前提とする課税関係をいかに規律するか
【13】:納税者の行動と租税回避　～なぜ納税者は混合配当を別個独立の配当として扱ったのか～
【14】:混合配当に係る最高裁判決を受けて　～残された課題～

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	

上記いずれも用いない予定	

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

授業時に指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:40% 報告と議論:60%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

坂本雅士編『現代税務会計論 第7版』中央経済社 2024
初回授業時に指示する。

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:QA356

税法特殊講義2

Advanced Lecture on Enterprise Taxation 2
会計基準の複線化と法人税法の対応

坂本　雅士(SAKAMOTO MASASHI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA356
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA418 税法特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

企業会計と法人税法との関係はどのようにあるべきか。わが国において、かねて俎上に載せられてきた議論であるが、近年、企業会計側の変容を背景にあらためて関心をあつめている。ここで企業会計の変容とは国際財務報告基準(IFRS)導入を端緒とする会計基準の複線化に他ならない。本講義では、租税法の観点から会計基準の複線化に係る論点を提示し、今後の方向性を考える。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

会計基準の複線化に対して、これまで法人税制は是々非々で対応してきたが、今後、個別財務諸表に適用される会計基準について、さらにコンバージェンスが進むか、あるいは IFRS の適用が認められた場合、どのような問題が生じるのであろうか。本講義では、解釈論と立法論の観点から検討する。

授業計画 / Course Schedule

【1】:ガイダンス
【2】:会計基準の複線化の現状と課題
【3】:会計基準の複線化が法人税制に及ぼす影響
【4】:非上場企業の会計と税務
【5】:公正処理基準の判定に係る問題(1)　-学説にみる2つの解釈論-
【6】:公正処理基準の判定に係る問題(2)　-裁判例にみる公正処理基準の解釈-
【7】:公正処理基準の判定に係る問題(3)　-大竹貿易事件(1993)の影響-
【8】:個別規定の解釈に及ぼす影響
【9】:公正処理基準の変容と別段の定め　-近年の税制改正を俯瞰して-
【10】:課税所得計算の基本原則(1)
【11】:課税所得計算の基本原則(2)
【12】:確定決算主義の再検討
【13】:損金経理要件
【14】:税制改正の方向

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	

実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外（予習・復習等）の学習 / Study Required Outside of Class

授業時に指示する。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業参加度:40% 報告と議論:60%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

坂本雅士編『現代税務会計論 第 7 版』 中央経済社 2024
初回授業時に指示する。

参考文献 / Readings

作成:2024/10/02
科目コード:QA357

リサーチ手法特殊講義

Advanced Lecture on Research Methods

山崎　由希子(YAMAZAKI YUKIKO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA357
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	7 回
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA450 リサーチ手法特論と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

①社会科学分野におけるさまざまな調査・研究の方法について基礎的な知識を身につけ、自身の行う研究にはどのような方法がもっとも適しているかを批判的に評価検討できるようにする。②課題(文献を読み、その要約を作成する。また文献の中の不明な点・疑問点について簡単なリサーチを行う)を通じて、文章のメインポイントを把握し、端的に要約する力をつける、③授業内での他の参加者との議論を通じ、論理的に考え、話すマナーを身につける。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを身に付けることを目標にする。
(1) Students will acquire the basic knowledge about various survey/research methods used in the field of social science to evaluate and examine critically the best method for their own research. (2) Through the assignments (Students will read literatures and create summaries, in addition to conducting basic researches on unclear points or questions found in these literatures). Through these assignments, they will be able to correctly summarize main points in these writings. (3) They will discuss with others in the class to acquire theoretical thinking and conversational skills.

授業の内容 / Course Contents

毎週、課題の読み物が指示される。授業はこの読み物について、学生によるプレゼンテーションと議論を交えて輪読形式で進めていく。基本的なリサーチ手法を学びながら、学生は課題の文献について要約を作成、疑問点・不明な点について自分なりに調べた事柄をまとめたうえで授業に出席することが求められる。
Each week, instructor will assign reading materials. In this class, students will take turns to read these materials, make presentations based on them, and participate in discussions. Students must acquire basic research methods to summarize assigned literatures and research unclear points or questions. Students are requested to research and summarize these in self-directed manner before attending each class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:導入(コース概要・自己紹介)
【2】:社会科学の歴史的展開
【3】:社会科学分野の調査・研究手法 I
【4】:社会科学分野の調査・研究手法 II
【5】:社会科学分野の調査・研究手法 III
【6】:論文計画に関する発表と議論 I
【7】:論文計画に関する発表と議論 II
【8】:論文計画に関する発表と議論 III
【9】:論文計画に関する発表と議論 IV
【10】:論文計画に関する発表と議論 V
【11】:論文計画に関する発表と議論 VI
【12】:論文計画に関する発表と議論 VII

【13】:論文計画に関する発表と議論 VIII
【14】:論文計画に関する発表と議論 IX

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

受講を希望する学生はあらかじめ自身が関心を持っている研究分野、テーマについて授業内で説明できるように考えておくこと。また基本的に毎週、課題の提出が求められる。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 出席・議論への参加:40% 課題の提出:30% プレゼンテーション:30%
学生同士の議論を重視する授業であるため、出席は大前提となる(20 分以上の遅刻は出席点が半減する)。また、授業を欠席した学生も課題の提出は必須である。
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

指定の教科書はないが、適宜授業内で課題の読み物について指示する。

参考文献 / Readings

適宜授業内で指示する。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

履修前に特定の研究領域に関する知識は必要ないが、学生には毎週 1 本以上の社会科学系研究論文を読む能力が求められる。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

課題を提出する場合、基本的にワード文書での提出を想定している。また授業内での報告にはパワーポイントプレゼンテーションを使用することを前提としている。

作成:2024/10/02
科目コード:QA359

Conference Presentat

Advanced Lecture on Conference Presentation

ウォン, リオン(WONG LEON)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA359
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA457Special Lecture on Conference Presentation と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

For research students, presenting at their first international conferences can be a daunting challenge.
This course provides an opportunity for students to be guided and mentored on the various aspects of participation in international conferences, and to role play their participation, in a supportive environment of other students and the Lecturer, using the content of their actual research dissertation/thesis.

授業の内容 / Course Contents

The course will cover the various aspects of attending an international conference, from choosing a suitable conference, preparing the submission, preparing presentation materials, such as slides or posters, answering audience questions and discussing other papers, and finally, networking with conference participants for future research collaborations.
After the class, students will understand the importance of attending overseas conferences in the development of their future academic careers, in getting feedback for their research and in developing their network of future research collaborators. More practically, students develop the actual materials for their participation in their first international conference, i.e. the conference abstract and conference paper, presentation slides and poster board posters, and practiced responses to questions from the participants of that conference. In addition to the immediate conference materials at hand, students should have the confidence to face the community of scholars in international conferences and beyond.

授業計画 / Course Schedule

【1】:Introduction
【2】:Academic papers and style
【3】:Choosing your international conference
【4】:Writing & submitting your conference paper abstract
【5】:Writing & submitting your conference paper
【6】:Academic presentations
【7】:Conference presenter
【8】:Conference discussant
【9】:Presenter & Discussant (1)
【10】:Presenter & Discussant (2)
【11】:Preparing for a poster board session
【12】:Poster board session
【13】:Networking & collaborations

【14】: Summary & conclusions

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

The various items and documents should be prepared before class for presentation and discussion/feedback.

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ

平常点割合 :100% Choosing your conference:5% Conference paper abstract:10% Conference paper:15% Conference presentation/ taking questions:30% Discussant presentation:20% Poster board preparation & session:20%

All evaluation methods require a higher level of achievement than those of the Master's Program.

テキスト / Textbooks

There are no textbooks for this course.

The study material for this course are freely available internet resources or articles.

参考文献 / Readings

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

It would be helpful if students bring along an internet accessible device (tablet, laptop) for use in the workshop.

その他 / Others

Each class may be divided into 2 parts. The first part will be a short lecture presentation or discussion. The second part will be the workshop. In some circumstances, the entire class may be the workshop.

作成:2024/10/02
科目コード:QA361

価値論特殊講義1

Advanced Lecture on Theory of Value 1

佐々木　隆治(SASAKI RYUJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA361
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

『資本論』および『資本論草稿』をドイツ語の原典で読解し，内容を正確に理解する。また、それをつうじて、マルクスの経済学批判体系の現代的意義についての理解を深めるとともに、関連する論争や学説についての理解も深める。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

『資本論』および関連草稿を輪読する。詳細は参加院生の研究テーマを踏まえて決定する。

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(1)
【3】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(2)
【4】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(3)
【5】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(4)
【6】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(5)
【7】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(6)
【8】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(7)
【9】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(8)
【10】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(9)
【11】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(10)
【12】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(11)
【13】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(12)
【14】:振り返り

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの予習。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:100%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

Karl Marx Marx Engels Gesamtausgabe, Zweite Abteilung Akademie Verlag

参考文献 / Readings

適宜授業中に指示する。

価値論特殊講義2

Advanced Lecture on Theory of Value 2

佐々木　隆治(SASAKI RYUJI)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA362
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考			

授業の目標 / Course Objectives

『資本論』および『資本論草稿』をドイツ語の原典で読解し，内容を正確に理解する。また、それをつうじて、マルクスの経済学批判体系の現代的意義についての理解を深めるとともに、関連する論争や学説についての理解も深める。
尚、前期課程よりも高度な知識・スキルを付けることを目標にする。

授業の内容 / Course Contents

『資本論』および関連草稿を輪読する。詳細は参加院生の研究テーマを踏まえて決定する。

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(1)
【3】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(2)
【4】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(3)
【5】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(4)
【6】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(5)
【7】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(6)
【8】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(7)
【9】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(8)
【10】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(9)
【11】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(10)
【12】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(11)
【13】:『資本論』および関連草稿のテキストないし関連論文の輪読(12)
【14】:振り返り

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

テキストの予習。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 報告:100%
すべての評価方法において高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

Karl Marx Marx Engels Gesamtausgabe, Zweite Abteilung Akademie Verlag

参考文献 / Readings

適宜授業中に指示する。

作成：2024/10/02
科目コード：QA363

ヨーロッパ経済史特殊講義1

Advanced lecture on Economic History of Europe1
中世～近代のヨーロッパ商人と経済発展

菊池　雄太（KIKUCHI YUTA）

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA363
授業形態	対面（一部オンライン）	授業形態（補足事項）	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー（履修中止制度なし/ No system for cancellation）	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA213 ヨーロッパ経史特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

ヨーロッパ経済史に関する知識を獲得し，ヨーロッパ経済の構造について考察できるようになる。それに基づき，経済史研究における問題の所在や議論の枠組みを理解する。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Students will acquire knowledge on Europe economic history and be able to analyze its economic structure. Based on that, students will understand problems found in economic history researches and their discussion frameworks.

授業の内容 / Course Contents

社会・経済は，どのようにして発展するのでしょうか。この授業では，そのことを歴史的に考察・分析します。とくに注目するのは，商人・企業家が果たした役割です。商人・企業家は，人びとが求めるモノを調達し，商業で世界各地を結びつけ，また，さまざまな部門でイノヴェーションを引き起こします。
中世から近代にかけてのヨーロッパの商人について，英語を含む専門文献の精読を基に解説と議論を行います。
受講者は授業で与えられた課題（テーマに関する簡単なメモないしレジュメの作成，受講者の研究に関する自由発表）をこなすことが求められます。毎回何らかの課題が与えられます。
How society and economy develop? In this seminar, we consider and analyze this subject from the historical approaches. A special focus is put on the role of merchants/entrepreneuers. They procure products people demand, connect and integrate all parts of the world, create innovation in various economic sectors.
We argue the role of merchants/entrepreneur of Europe from the Middle Ages to the 19th century. Main topics will be "merchants/entrepreneur".
Students must complete assignments given in the class (create simple note or summary on these subjects or free research presentation). Professor will give assignment in every class.

授業計画 / Course Schedule

【1】：イントロダクション
【2】：中世ヨーロッパ商人／企業家の役割（1）
【3】：中世ヨーロッパ商人／企業家の役割（2）
【4】：中世ヨーロッパ商人／企業家の役割（3）
【5】：近世ヨーロッパ商人／企業家の役割（1）
【6】：近世ヨーロッパ商人／企業家の役割（2）
【7】：近世ヨーロッパ商人／企業家の役割（3）
【8】：近代ヨーロッパ商人／企業家の役割（1）
【9】：近代ヨーロッパ商人／企業家の役割（1）

【10】:近代ヨーロッパ商人／企業家の役割(2)
【11】:近代ヨーロッパ商人／企業家の役割(3)
【12】:受講者による自由発表と議論
【13】:受講者による自由発表と議論
【14】:総括

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

文献(日本語・英語)を事前に指示あるいは配布します。それを授業前までに精読し，論点をまとめてくること。自由発表の準備を計画的に進めること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業への参加(事前準備・議論への参加):80% 発表:20%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

とくに指定しません。文献は授業中に適宜指示します。文献は英語のものを含みます。

参考文献 / Readings

ここではとくに指定しません。文献は授業中に適宜指示します。文献は英語のものを含みます。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

日本語が母国語でない場合は，大学授業レベルの日本語能力が求められます。それ以外は，特別な能力は求められません。ヨーロッパの歴史に関する予備知識がなくても，授業にしっかり取り組めば理解できる内容になっています。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

ノート PC またはタブレット端末

作成:2024/10/02
科目コード:QA364

ヨーロッパ経済史特殊講義2

Advanced lecture on Economic History of Europe2
ハンザ史

菊池　雄太(KIKUCHI YUTA)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA364
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA214 ヨーロッパ経史特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

「ハンザ」というテーマから，ヨーロッパ経済の地域的特徴を考察できるようになる。とくに制度やネットワークが経済発展に果たした役割について理解できるようになる。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Consider the regional characteristics from the perspective of the "Hanseatic History". Understand the role of institutions and networks for the economic development.

授業の内容 / Course Contents

「ハンザ」の歴史を学ぶことを通じて，ヨーロッパ経済の地域的・歴史的特徴とその発展過程を考察します。その際は，とくにハンザの制度やネットワークが果たした役割に注目します。
中世から近代にかけてのハンザ，またはハンザ都市およびハンザ商人の発展，衰退または構造変化について，英語を含む専門文献の精読を基に解説と議論を行います。
受講者は授業で与えられた課題(テーマに関する簡単なメモないしレジュメの作成，受講者の研究に関する自由発表)をこなすことが求められます。毎回何らかの課題が与えられます。
We consider the regional and historical characteristics of European economy and the process of its development through the history of the German Hanse. A special attention is put on the role of the institutions and networks of the Hanse.
We argue the historical development, decline, or structural change of the Hanse as well as Hanseatic cities and merchants, reading and discussing the relevant literature written in Japanese and English.
Students must complete assignments given in the class (create simple note or summary on these subjects or free research presentation). Professor will give assignment in every class.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:ハンザ形成前の北海・バルト海地域(1)
【3】:ハンザ形成前の北海・バルト海地域(2)
【4】:ハンザの形成と興隆(1)
【5】:ハンザの形成と興隆(2)
【6】:ハンザの構造とハンザ経済(1)
【7】:ハンザの構造とハンザ経済(2)
【8】:ハンザの構造とハンザ経済(3)
【9】:ハンザの構造とハンザ経済(4)
【10】:ハンザの衰退をめぐって

【11】:近世・近代のハンザ(1)
【12】:近世・近代のハンザ(2)
【13】:近世・近代のハンザ(3)
【14】:まとめと研究発表

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用		左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

文献(日本語・英語)を事前に指示あるいは配布します。それを授業前までに精読し，論点をまとめてくること。自由発表の準備を計画的に進めること。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 授業への参加(事前準備・議論への参加):80% 発表:20%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する

テキスト / Textbooks

とくに指定しません。文献は授業中に適宜指示します。文献は英語のものを含みます。

参考文献 / Readings

ここではとくに指定しません。文献は授業中に適宜指示します。文献は英語のものを含みます。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

日本語が母国語でない場合は，大学授業レベルの日本語能力が求められます。それ以外は，特別な能力は求められません。ヨーロッパの歴史に関する予備知識がなくても，授業にしっかり取り組めば理解できる内容になっています。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

ノート PC またはタブレット端末

作成：2024/10/02
科目コード：QA365

工業経済特殊講義1

Advanced lecture on　Industrial Economics1

菊池　航（KIKUCHI WATARU）

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA365
授業形態	対面（一部オンライン）	授業形態（補足事項）	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー（履修中止制度なし/ No system for cancellation）	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA303 工業経済特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「一般的ならびに専門的教養の上に，経済，経済政策，会計，経営を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」を実現できるように，産業の理論・歴史・実態を学びます。
産業を分析対象とした研究は，重厚な蓄積を有しています。産業とは，個別企業と経済全体の中間に位置する広い概念であるため，積み重ねられた研究は多様です。工業経済特殊講義1では，膨大であり多様な蓄積を有する産業研究のなかでも，主に，日本企業が高い国際競争力を有する自動車産業を対象とした実証研究を輪読します。
工業経済特殊講義1では，次の2点を目標とします。
1．工業経済に関する基礎的な知識を獲得する。
2．工業経済の研究方法に関する基礎的な知識を獲得する。
なお，前期課程よりも高度な知識やスキルを獲得することを目標とします。
Students will study the theory, history, and actual conditions of industry in order to realize the Graduate School of Economics’ curricular policy: ″On the basis of general and specialized education, study the economy, economic policy, accounting, and management, and pursue their depths, while cultivating character and contributing to the advancement of culture on the basis of Christianity.
There is wealth of cumulative researches that analyze industries. Industry refers to broad concept placed amidst individual company and overall economy. Because of that, there have been many cumulative researches. In Special Lecture on Industrial Economics 1, from large store of industrial researches, students select and read about empirical researches targeting Japanese automotive industry with large global competitive edge.

授業の内容 / Course Contents

輪読する論文の意義を理解するため，まず，Academy of Management Journal, Academy of Management Review などに掲載された定性的研究方法に関する論文を輪読します。その後，Enterprise & Society, Industrial and Corporate Change などに掲載された自動車産業を分析対象とした論文を輪読します。
Students will read articles on qualitative research methods published in the Academy of Management Journal, Academy of Management Review and other journals. In addition, we will also read papers on the automobile industry published in Enterprise & Societ and other journals.

授業計画 / Course Schedule

【1】：イントロダクション：工業経済特殊講義1の課題
【2】：輪読：産業や企業を対象とした定性的研究の方法（1）
：Building Theories from Case Study Research
【3】：輪読：産業や企業を対象とした定性的研究の方法（2）

:Eisenhardt Method
【4】:輪読:産業や企業を対象とした定性的研究の方法(3)
:Understanding Historical Methods in Organization Studies
【5】:輪読:産業や企業を対象とした定性的研究の方法(4)
:Analyzing and Interpreting Historical Sources
【6】:輪読:産業や企業を対象とした定性的研究の方法(5)
:Oral History and Business History
【7】:輪読:産業や企業を対象とした定性的研究の方法(6)
:Oral History and Business History
【8】:輪読:自動車産業研究(1)
:Chinese government and automobile industry
【9】:輪読:自動車産業研究(2)
:Chinese government and automobile industry
【10】:輪読:自動車産業研究(3)
:Hierarchical Clusters
【11】:輪読:自動車産業研究(4)
:Hierarchical Clusters
【12】:輪読:自動車産業研究(5)
:Mirroring in production
【13】:輪読:自動車産業研究(6)
:Mirroring in production
【14】:まとめ:現代自動車産業の競争力とは

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

講義は，主に，英語論文の内容に関するディスカッションです。ディスカッションは日本語で行います。
十分な予習をしてから講義に臨んでください。
そのほか，授業時間外の学習に関する指示は，必要に応じて別途指示します。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 輪読の報告:40% ディスカッションへの貢献:60%
前期課程よりも高度な達成水準を要求します。

テキスト / Textbooks

初回講義に文献リストを配布します。

参考文献 / Readings

適宜，講義中に提示します。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

大学で学習する経営学の基礎的な知識を必要とします。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

輪読の報告(個人発表)に必要な提出物のやりとりは，Canvas LMS を通じて行ないます。

作成：2024/10/02
科目コード：QA366

工業経済特殊講義2

Advanced lecture on　Industrial Economics2

菊池　航（KIKUCHI WATARU）

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA366
授業形態	対面（一部オンライン）	授業形態（補足事項）	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー（履修中止制度なし/ No system for cancellation）	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針（DP）や教育課程編成の方針（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA304 工業経済特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

経済学研究科の教育課程編成方針に掲げる「一般的ならびに専門的教養の上に，経済，経済政策，会計，経営を研究し，その深奥を究め，かつキリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与する」を実現できるように，産業の理論・歴史・実態を学びます。
産業を分析対象とした研究は，重厚な蓄積を有しています。産業とは，個別企業と経済全体の中間に位置する広い概念であるため，積み重ねられた研究は多様です。工業経済特殊講義 2 では，膨大であり多様な蓄積を有する産業研究のなかでも，デザインやブランドに着目した実証研究を輪読します。
工業経済特殊講義2では，次の2点を目標とします。
1．工業経済に関する基礎的な知識を獲得する。
2．工業経済の研究方法に関する基礎的な知識を獲得する。
なお，前期課程よりも高度な知識やスキルを獲得することを目標とします。
Students will study the theory, history, and actual conditions of industry in order to realize the Graduate School of Economics' curricular policy: "On the basis of general and specialized education, study the economy, economic policy, accounting, and management, and pursue their depths, while cultivating character and contributing to the advancement of culture on the basis of Christianity.
There is wealth of cumulative researches that analyze industries. Industry refers to broad concept placed amidst individual company and overall economy. Because of that, there have been many cumulative researches. In Industrial Economics 2, students will read through empirical studies focusing on design and brands.

授業の内容 / Course Contents

輪読する論文の意義を理解するため，まず，Research Policy，Journal of Business Research などに掲載されたデザインマネジメントやブランドマネジメントに関する論文を輪読します。その後，Business History，Business Horizons などに掲載された特定の産業を分析対象とした論文を輪読します。
Students will first read articles on design management and brand management published in Research Policy, Journal of Brand Management, and other journals. After that, we will read papers on specific industries published in Business History, etc. in order to understand the significance of the papers.

授業計画 / Course Schedule

【1】：イントロダクション：工業経済特殊講義 2 の課題
【2】：輪読：デザインマネジメント（1）
：Design, innovation, boundaries of the firm
【3】：輪読：デザインマネジメント（2）
：Design, innovation, boundaries of the firm

【4】:輪読:ブランドマネジメント(1)
:What is a luxury brand?
【5】:輪読:ブランドマネジメント(2)
:Luxury brand marketing
【6】:輪読:産業研究(1)
:European luxury big business
【7】:輪読:産業研究(2)
:European luxury big business
【8】:輪読:産業研究(3)
:Transformation of global luxury brands
【9】:輪読:産業研究(4)
:Transformation of global luxury brands
【10】:輪読:産業研究(5)
:Role of history in corporate brand strategy
【11】:輪読:産業研究(6)
:Role of history in corporate brand strategy
【12】:輪読:産業研究(7)
:Governance of Global Value Chains
【13】:輪読:産業研究(8)
:Governance of Global Value Chains
【14】:まとめ:産業の競争力とは

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書		ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表	○	グループ発表		ディスカッション・ディベート	○
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

講義は，主に，英語論文の内容に関するディスカッションです。ディスカッションは日本語で行います。
十分な予習をしてから講義に臨んでください。
そのほか，授業時間外の学習に関する指示は，必要に応じて別途指示します。

成績評価方法・基準 / Evaluation

平常点のみ
平常点割合 :100% 輪読の報告:40% ディスカッションへの貢献:60%
前期課程よりも高度な達成水準を要求します。

テキスト / Textbooks

初回講義に文献リストを配布します。

参考文献 / Readings

適宜，講義中に提示します。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

大学で学習する経営学の基礎的な知識を必要とします。

学生が準備すべき機器等 / Equipment, etc., that Students Should Prepare

輪読の報告(個人発表)に必要な提出物のやりとりは，Canvas LMS を通じて行ないます。

作成:2024/10/02
科目コード:QA367

計量経済特殊講義1

Advanced lecture on　Econometrics 1

安藤　道人(ANDO MICHIHITO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA367
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	春学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA109 計量経済特論1と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

計量経済学の理論の基礎を学び、実証分析を行う際に必要となる知識を身に着ける。計量経済特殊講義1では伝統的な計量経済学の基礎を学ぶ。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。
Students will learn basics of econometrics and acquire the knowledge required to conduct empirical analysis. Students will study basics of traditional econometrics in Special Lecture on Econometrics 1.

授業の内容 / Course Contents

学部上級及び大学院修士レベルの計量経済学の基礎理論を学ぶ。確率・統計の復習から入り、単回帰分析や多重回帰分析などの基礎事項を学んだあとに、パネルデータ分析、線形確率・ロジット・プロビットモデルの分析、操作変数法を用いた分析などを学ぶ。計量経済特論2で取り上げる、より現代的な分析フレームや分析手法を意識しつつ、伝統的な計量経済学の考え方の基礎を身に着けることに重点を置く。なお、本授業に必要な数学レベルは、テキストである Stock and Watson(2014)"Introduction to Econometrics"である。
Students will study basic econometrics at senior undergraduate or master's degree level. Students will review probability and statistics before progressing to single regression analysis and multiple regression analysis. After that, students will study analyses that use panel data analysis, linear statistics, logit and probit models, and instrumental variable method. Students will focus on learning basics of traditional econometric thinking, while considering modern analytical frameworks and analytical techniques covered in Special Lecture on Econometrics 2. Students should have mathematical skill equivalent to Introduction to Econometrics (2014) by Stock and Watson.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:確率・統計の基礎 1
【3】:確率・統計の基礎 2
【4】:単回帰分析の基礎:回帰係数と決定係数 1
【5】:単回帰分析の基礎:回帰係数と決定係数 2
【6】:単回帰分析の基礎:推定と仮説検定 1
【7】:単回帰分析の基礎:推定と仮説検定 2
【8】:不均一分散と均一分散
【9】:説明変数が二値変数のときの回帰分析
【10】:多重回帰分析
【11】:非線形回帰分析1
【12】:非線形回帰分析 2
【13】:目的変数が二値変数の場合の回帰分析

【14】:まとめ

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回、授業の復習を行い、授業の内容を理解した上で次の授業にのぞむようにして下さい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

筆記試験 :100%
平常点割合 :0%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

Stock and Watson Introduction to Econometrics, fourth edition Pearson Education Limited 2019 129226456
※Fourth edition (Global Edition)はやや高額です。したがって、比較的安価な Updated Third Edition, Global Edition (ISBN-10; 935286350X)でも構いません。

参考文献 / Readings

田中 隆一 『計量経済学の第一歩 -- 実証分析のススメ』 有斐閣ストゥディア 2015 9784641150287
参考文献については適宜授業で紹介する。

履修に当たって求められる能力/ Abilities Required to Take the Course

基礎的な数学力

その他 / Others

講義は、https://sites.google.com/site/michihito7ando/lectures/econome_lec に掲載する講義ノートに沿って行います。
教科書や参考書については初回授業時に説明します。

作成:2024/10/02
科目コード:QA368

計量経済特殊講義2

Advanced lecture on　Econometrics 2

安藤　道人(ANDO MICHIHITO)

科目設置学部	経済学研究科		
開講年度	2024	科目コード等	QA368
授業形態	対面(一部オンライン)	授業形態(補足事項)	オンライン実施回は科目担当者に確認をすること
校地	池袋	学期	秋学期
単位	2	科目ナンバリング	ECX7023
使用言語	その他	授業形式	演習・ゼミ
履修登録方法	科目コード登録		
配当年次	配当年次は開講学部の R Guide に掲載している科目表で確認してください。		
先修規定			
他学部履修可否	履修登録システムの『他学部・他研究科履修不許可科目一覧』で確認してください。		
履修中止可否	ー(履修中止制度なし/ No system for cancellation)	オンライン授業 60 単位制限対象科目	
学位授与との関連	各授業科目は、学部・研究科の定める学位授与方針(DP)や教育課程編成の方針(CP)に基づき、カリキュラム上に配置されています。詳細はカリキュラム・マップで確認することができます。		
備考	KA110 計量経済特論2と合同授業		

授業の目標 / Course Objectives

計量経済学の理論の基礎を学び、実証分析を行う際に必要となる知識を身に着ける。特殊講義2ではミクロ計量経済学における政策評価分析や統計的因果推論の基礎を学ぶ。前期課程よりも高度な知識・スキルを身に着けることを目標とする。

Students will learn basics of econometrics and acquire the knowledge required to conduct empirical analysis. In Special Lecture 2, students will learn fundamentals of policy evaluation analysis and statistical causal inference used in microeconometrics.

授業の内容 / Course Contents

ミクロ計量経済学における統計的因果推論や政策評価分析の基礎理論を学ぶ。計量経済学とりわけ現代的なミクロ計量経済学では、単に回帰分析を行った結果を「因果効果」と解釈するのではなく、「どのような場合に回帰分析や他の統計分析の分析結果を因果効果と解釈することができるのか」を詳細に検討することがスタンダードとなっている。したがって、本講義では、計量経済特論1で学んだ計量経済学の基礎をベースに、このような「統計的因果推論」の考え方に基づいた分析手法や分析デザインを学ぶ。また実際の論文で用いられている分析例を紹介しながら、具体的な分析手順についても学ぶ。

Students learn the basic theory of statistical causal inference and policy evaluation analysis used in microeconometrics. In econometrics, especially modern microeconometrics, results using regression analysis are not automatically interpreted as “causal effects,” and the standard is to consider in detail “in which cases can the analytical results of regression analysis and other statistical analysis be interpreted as causal effects?” Therefore, in this lecture students will capitalize on econometric basics learnt in Special Lecture on Econometrics 1. They will learn analytical techniques and analysis designs based on this statistical causal inference concept. In addition, students will study specific analysis processes while being introduced to analysis examples used in actual academic papers.

授業計画 / Course Schedule

【1】:イントロダクション
【2】:ルービンの因果モデルと潜在的結果
【3】:割当メカニズム / ルービンの因果モデルの利点
【4】:実験と疑似実験
【5】:Directed Acyclic Graphs (DAG)
【6】:交絡要因の制御:クロス集計
【7】:交絡要因の制御:マッチングと傾向スコア
【8】:パネルデータ分析(その1)
【9】:パネルデータ分析(その2)

【10】:差の差法1
【11】:差の差法2
【12】:操作変数法1
【13】:操作変数法2
【14】:回帰不連続デザイン

活用される授業方法 / Teaching Methods Used

板書	○	ｽﾗｲﾄﾞ(ﾊﾟﾜﾎﾟ等)の使用	○	左記以外の視聴覚教材の使用	
個人発表		グループ発表		ディスカッション・ディベート	
実技・実習・実験		学内の教室外施設の利用		校外実習・フィールドワーク	
上記いずれも用いない予定					

授業時間外(予習・復習等)の学習 / Study Required Outside of Class

毎回、授業の復習を行い、授業の内容を理解した上で次の授業にのぞむようにして下さい。

成績評価方法・基準 / Evaluation

筆記試験 :100%
平常点割合 :0%
すべての評価方法で前期課程より高度な達成水準を要求する。

テキスト / Textbooks

講義ノート中心に授業を行います。

参考文献 / Readings

Stock & Watson Introduction to Econometrics, Fourth Edition Pearson Education Limited 2019 9781292264561
田中隆一『計量経済学の第一歩 -- 実証分析のススメ』有斐閣 2015 9784641150287
Angrist and Pischke Mostly Harmless Econometrics: An Empiricist's Companion Princeton University Press 2008 9780691120355
伊藤 公一朗『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』光文社 2014 9784334039868
安井翔太『効果検証入門～正しい比較のための因果推論/計量経済学の基礎』技術評論社 2020 9784297111175
参考文献は適宜紹介します。

その他 / Others

講義は、https://sites.google.com/site/michihito7ando/lectures/econome_lec に掲載する講義ノートに沿って行います。
教科書や参考書については初回授業時に説明します。